

第二期八王子市子ども・若者育成支援計画 づくりに向けたアンケート調査

報 告 書

（就学前児童保護者）

令和 6 年 8 月

八 王 子 市

I 調査の概要	1
1. 調査目的	3
2. 調査方法	3
3. 回収状況	3
4. 調査項目	3
5. 報告書の見方	4
II 調査の結果	5
1. 地域について	
2. 家族の状況について	
（1）子どもの年齢	7
（2）回答者の続柄	8
（3）回答者の年代	8
（4）配偶者の有無	9
（5）日ごろ子どもを見てくれる親族・知人	10
（6）公的年金、社会保障給付金	15
（7）公的年金、社会保障給付金以外の収入	16
（8）食料を買えなかった経験	17
（9）衣類を買えなかった経験	19
（10）世帯の家計	21
3. 保護者の就労状況について	
（1）母親の現在の就労状況	25
（2）母親の今後の就労希望	27
（3）母親の今後就労を希望する時期	29
（4）父親の現在の就労状況	30
（5）父親の今後の就労希望	32
（6）父親の今後就労を希望する時期	33

目 次

4. 平日の定期的な教育・保育事業の利用状況について

(1) 定期的な教育・保育事業の利用の有無	34
(2) 定期的な教育・保育事業の利用している主な理由	35
(3) 利用している定期的な教育・保育事業の種類	36
(4) 定期的な教育・保育事業の今後の利用希望	37
(5) 今後利用したい定期的な教育・保育事業の種類	38
(6) 幼稚園の利用希望	39
(7) 平日の教育・保育として、最も利用したい事業	40
(8) 希望するお迎えの時間	41
(9) 夜間の定期的な教育・保育事業の利用希望	41
(10) 夜間の定期的な教育・保育事業を利用したい理由	42

5. 土曜・日曜・祝日や長期休暇中の定期的な教育・保育事業の利用状況について

(1) 定期的な教育・保育事業の利用の有無	43
(2) 定期的な教育・保育事業の利用希望時間帯	44
(3) 長期休暇期間中の利用の有無	46
(4) 長期休暇期間中の利用希望時間帯	47

6. 子どもが病気やけがの時の対応

(1) 子どもが病気やけがの時の対処方法	48
(2) 子どもが病気やけがの時に対処した日数	49
(3) 病児・病後児保育の今後の利用希望	51
(4) 病児・病後児保育の今後の利用希望日数	52
(5) 病児・病後児保育を利用したいと思わない理由	53

7. 不定期の教育・保育事業の利用状況

(1) 不定期の教育・保育事業の利用状況	54
(2) 不定期の教育・保育事業を利用した日数	55
(3) 不定期の教育・保育事業を利用しなかった理由	56
(4) 不定期の教育・保育事業の今後の利用希望	57
(5) 不定期の教育・保育事業の利用希望日数	57
(6) ショートステイ事業利用時の用事の種類	58
(7) 毎週決まった曜日に子どもを預けられる制度の利用意向	59

8. 子育てひろばの利用状況

(1) 子育てひろばの利用状況	61
(2) 子育てひろばの利用回数	62
(3) 子育てひろばを利用しなかった理由	63
(4) 子育てひろばの今後の利用希望	64
(5) 子育てひろばの今後の利用希望回数	64

9. 小学校就学後の放課後の過ごし方

(1) 放課後の過ごし方の希望	65
(2) ファミリー・サポート・センターの利用日数	67

10. 保護者の職場における仕事と子育ての両立支援制度

(1) 育児休業の取得状況	68
(2) 育児休業の希望取得期間と実際の取得期間の差異の状況	69
(3) 育児休業を希望より短く取得した理由	70
(4) 育児休業を希望より長く取得した理由	71
(5) 「子どもが1歳になれば必ず教育・保育事業を利用できる」とした場合の育児休業の取得希望	72
(6) 育児休業を取得しなかった理由	73

11. 日ごろの子育ての状況

(1) 安心して子育てができていると感じるか	75
(2) 地域の人が子育てを支えてくれていると感じるか	78
(3) 子育てに関して悩んでいること、気になること	81
(4) 子育てに関する悩みを実際に相談した相手・機関	82
(5) 子育てに関する悩みを相談したいと考える相手・機関	83
(6) 子育てにかかる経済的な不安の具体的な内容	84
(7) 子育てにかかる負担感	85
(8) 子育て支援事業の利用状況	88
(9) 子育てに関する情報入手先	90
(10) 市の子育て支援環境充実のための施策のうち重要だと思う施策	92

12. 八王子市での子育てについて

(1) 八王子市に住み始めたきっかけ	93
(2) 今後も八王子市で子育てをしたいと思うかどうか	97
(3) 八王子市で子育てをしたくない理由	99

Ⅲ 使用した調査票	102
-----------------	-----

I 調査の概要

I 調査の概要

1. 調査目的

こども基本法に基づくこども計画を策定するため、市内での子ども・子育てに係るニーズや意識を把握し、調査結果を子ども・子育て施策の資料として有効に活用する。

2. 調査方法

- (1) 調査対象 就学前児童の保護者
- (2) 対象者数 4,800人（0～5歳児保護者各800人）
- (3) 調査方法 対象者に調査票を郵送し、返信用封筒で回答
- (4) 調査期間 令和5年（2023年）12月25日～令和6年（2024年）1月15日

3. 回収状況

調査対象	対象者数	有効回収数	有効回収率
① 0歳児保護者	800	349	43.6%
② 1歳児保護者	800	316	39.5%
③ 2歳児保護者	800	345	43.1%
④ 3歳児保護者	800	340	42.5%
⑤ 4歳児保護者	800	324	40.5%
⑥ 5歳児保護者	800	326	40.8%
年齢不明	—	52	—

4. 調査項目

- (1) 居住地域について
- (2) 家族の状況について
- (3) 保護者の就労状況について
- (4) 平日の定期的な教育・保育事業の利用状況について
- (5) 休日の定期的な教育・保育事業の利用希望について
- (6) 子どもが病気やけがの時の対応
- (7) 不定期の教育・保育事業の利用状況
- (8) 子育てひろばの利用状況
- (9) 小学校就学後の放課後の過ごし方
- (10) 保護者の職場における仕事と子育ての両立支援
- (11) 日ごろの子育ての状況
- (12) 八王子市での子育てについて

5. 報告書の見方

- (1) 図表中の「n」は、各質問の回答者数を表す。
- (2) 選択肢の回答の比率はnを100.0%として算出し、小数点第2位を四捨五入して示した。したがって、すべての選択肢の比率を合計しても、必ずしも100.0%ちょうどにならない場合がある。
- (3) 複数回答の質問では、すべての選択肢の比率を合計すると通常100.0%を超える。
- (4) 「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせて『思う（計）』とする場合など、2つ以上の選択肢を合わせた表記の回答割合は、選択肢の回答者数を合わせた値を、全回答者で割った値を採用しているため、選択肢の回答割合を単純に足した値と異なることがある。

Ⅱ 調査の結果

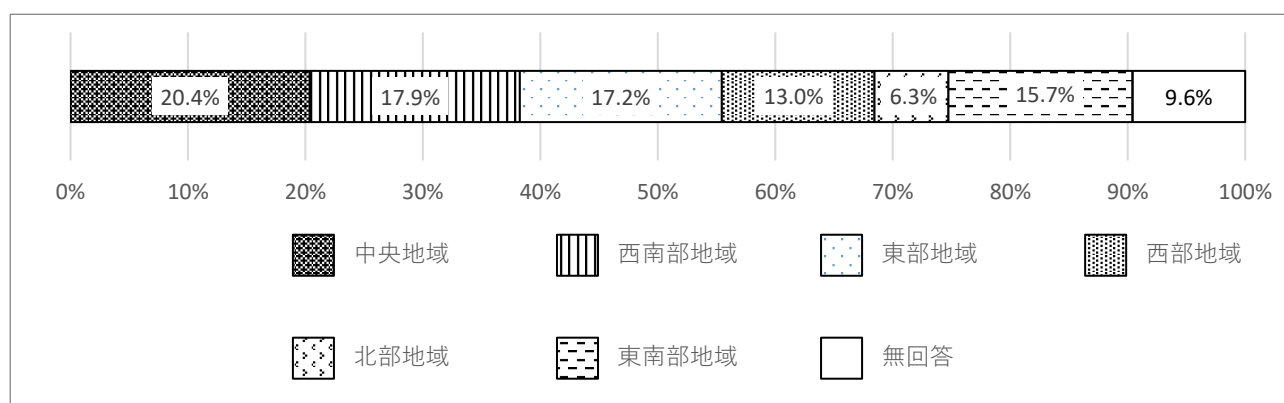
Ⅱ 調査の結果

1. 地域について

問1 あなたの家は何町にありますか。

住んでいる町丁名を質問し、回答内容を市内の6つの地域に分類したところ以下のとおりとなった。(図表1-1-1)

図表1-1-1 性別



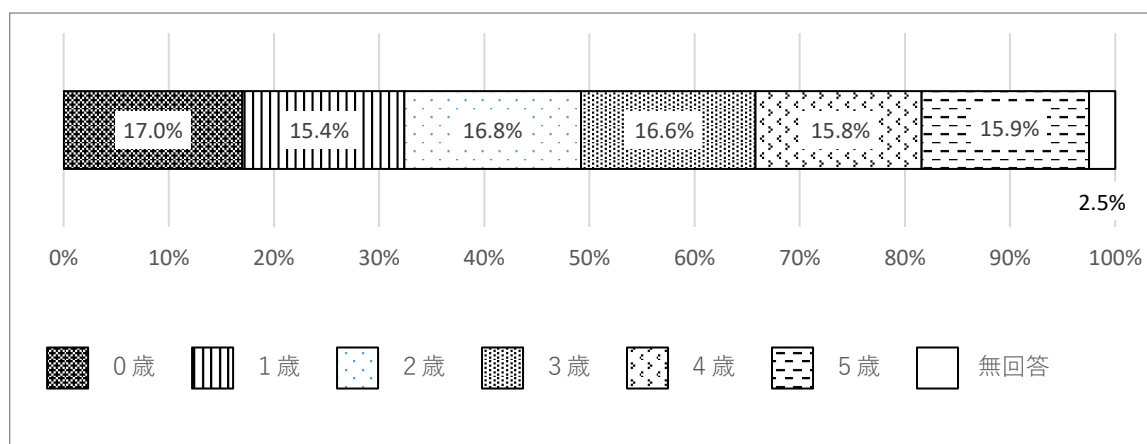
2. 家族の状況について

(1) 子どもの年齢

問2 宛て名のお子さんの生年月を、数字でご記入ください。

子どもの生年月を質問し、回答内容で年齢を6区分に分類したところ以下のとおりとなった。(図表2-1-1)

図表2-1-1 子どもの年齢

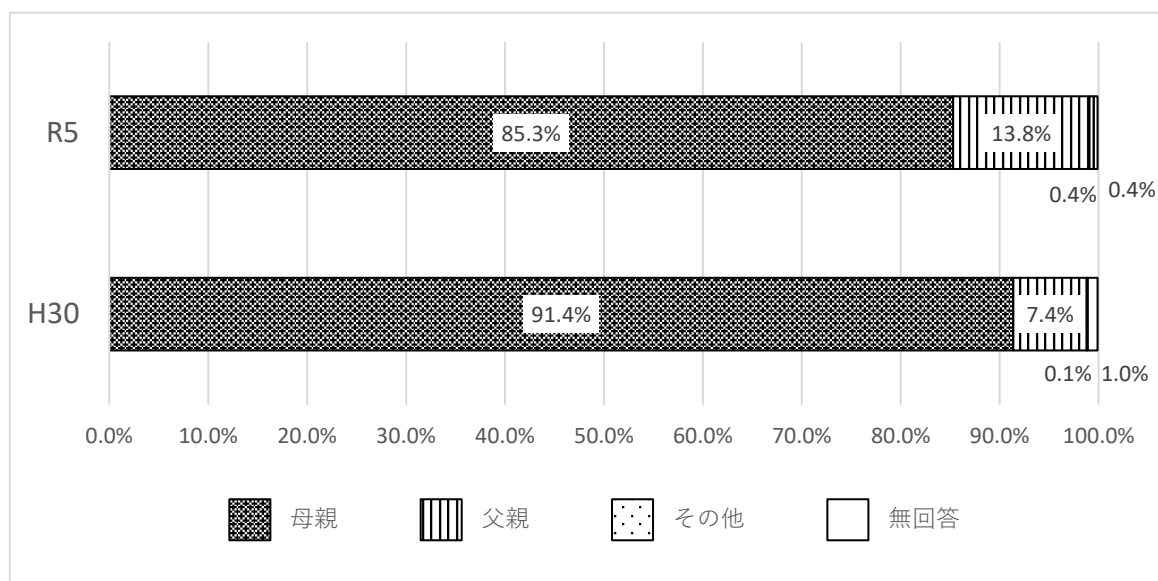


(2) 回答者の続柄

問3 宛て名のお子さんからみて、この調査票に回答している方はどなたですか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

回答者の続柄について質問したところ、85.3%が母親、13.8%が父親という結果になった。平成30年度と比較すると、父親の回答割合は上昇している。(図表2-2-1)

図表2-2-1 回答者の続柄

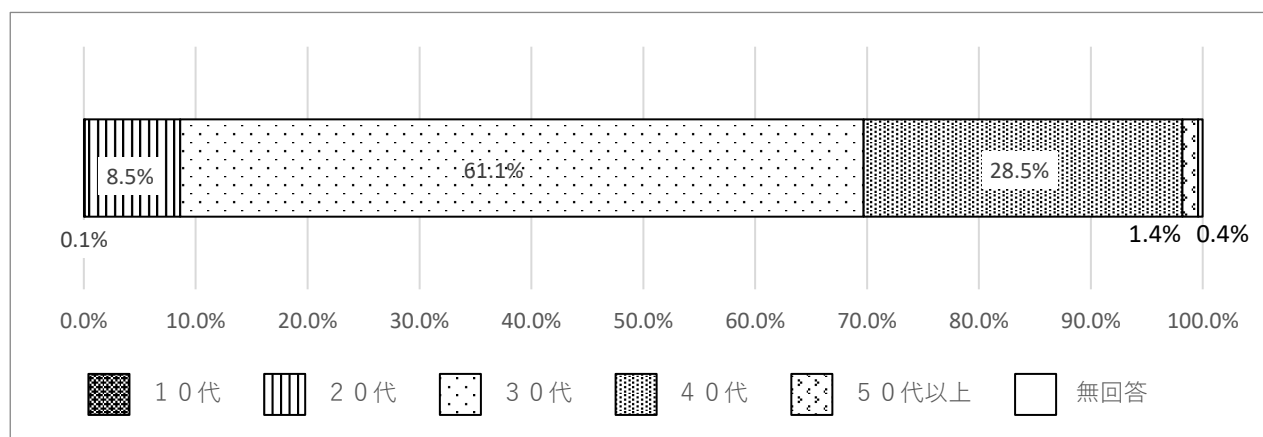


(3) 回答者の年代

問4 回答している方の年代について、当てはまる番号1つに○をつけてください。

回答者の年代について質問したところ、「30代」が61.1%で最も多く、次いで「40代」(28.5%)、「20代」(8.5%)の順となっている。(図表2-3-1)

図表2-3-1 回答者の年代

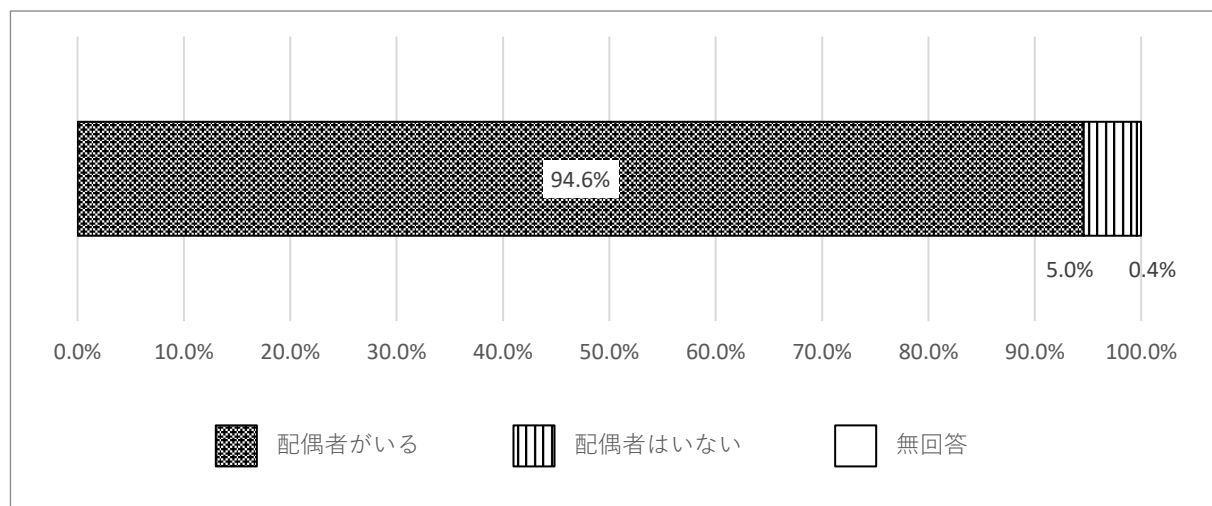


(4) 配偶者の有無

問5 回答している方の現在の配偶関係について、当てはまる番号1つに○をつけてください。

配偶者の有無を聞いたところ、「配偶者がいる」が94.6%、「配偶者はいない」が5.0%となっている。(図表2-4-1)

図表2-4-1 配偶者の有無

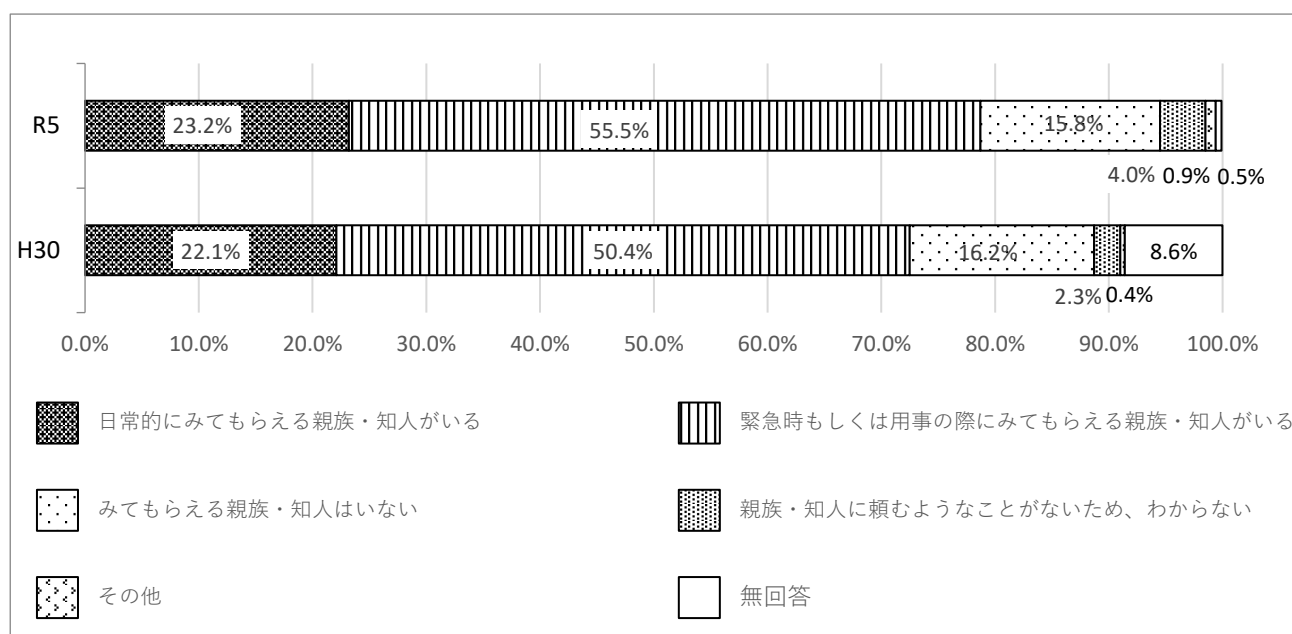


（５）日ごろ子どもを見てくれる親族・知人

問６ 日ごろ、お子さんをみてもらえる親族・知人について、当てはまる番号１つに○をつけてください。

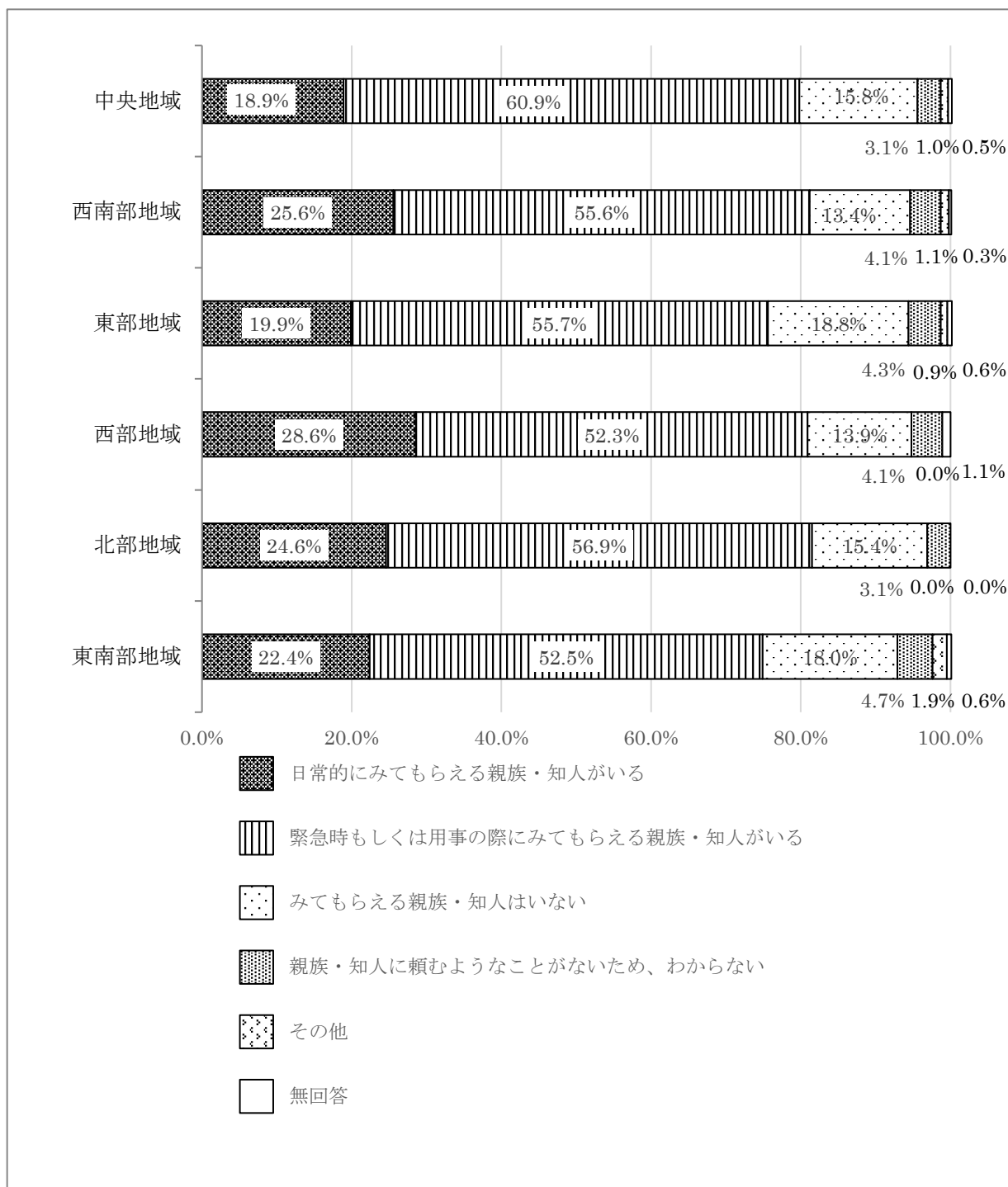
日ごろ子どもを見てくれる親族・知人を聞いたところ、「日常的にみてもらえる親族・知人がいる」が23.2%、「緊急時もしくは用事の際にみてもらえる親族・知人がいる」が55.5%、「みてもらえる親族・知人はいない」15.8%となっている。平成30年度調査と比較すると、「日常的にみてもらえる親族・知人がいる」、「緊急時もしくは用事の際にみてもらえる親族・知人がいる」と答えた人は増加している。（図表２－５－１）

図表２－５－１ 日ごろ子どもを見てくれる親族・知人



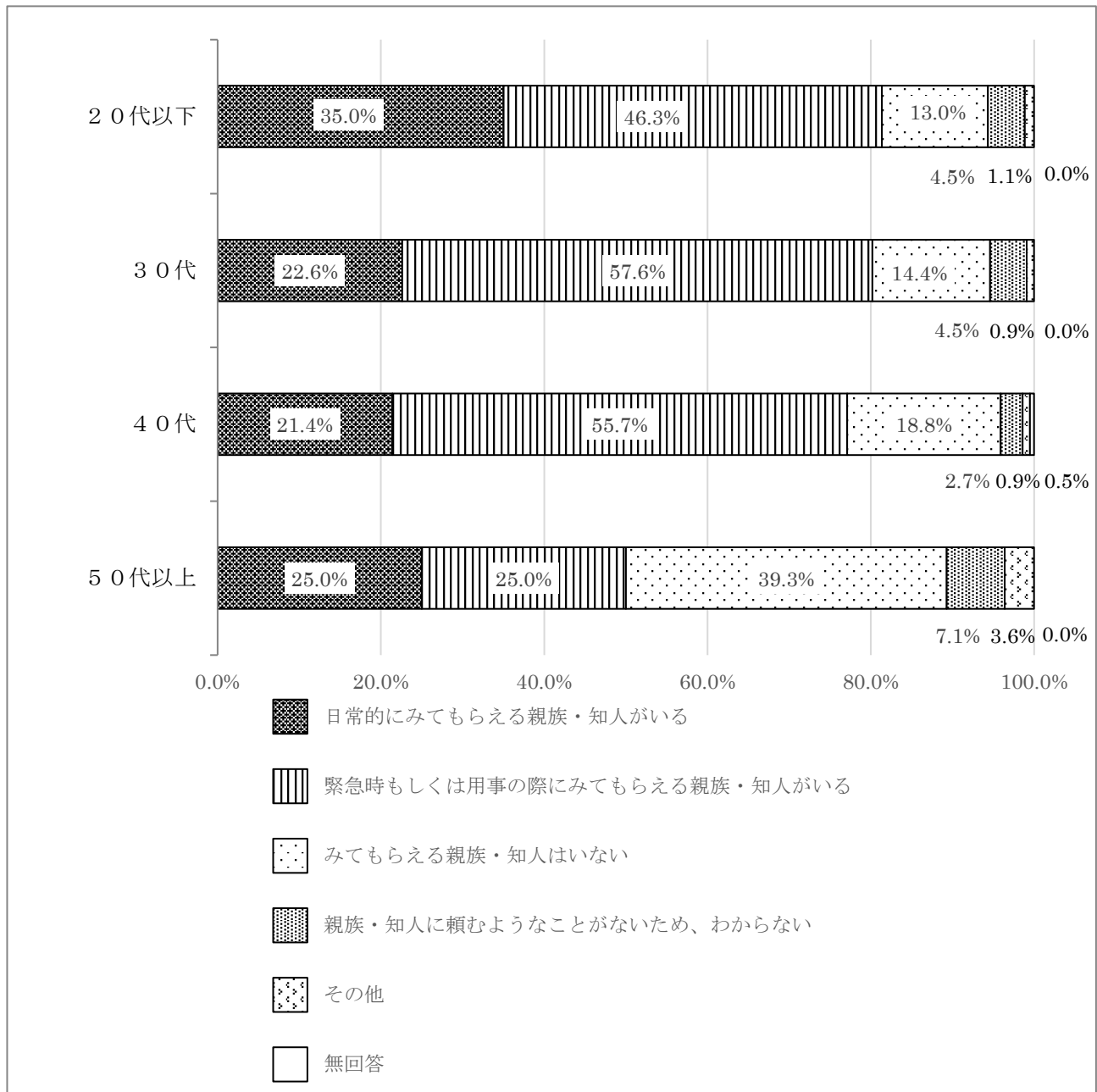
居住地域別では、「日常的にみてもらえる親族・知人がいる」と回答した人の割合は西部地域（28.6%）が最も高く、東部地域（19.9%）が最も低くなった。（図表２－５－２）

図表２－５－２ 日ごろ子どもを見てくれる親族・知人（居住地域別）



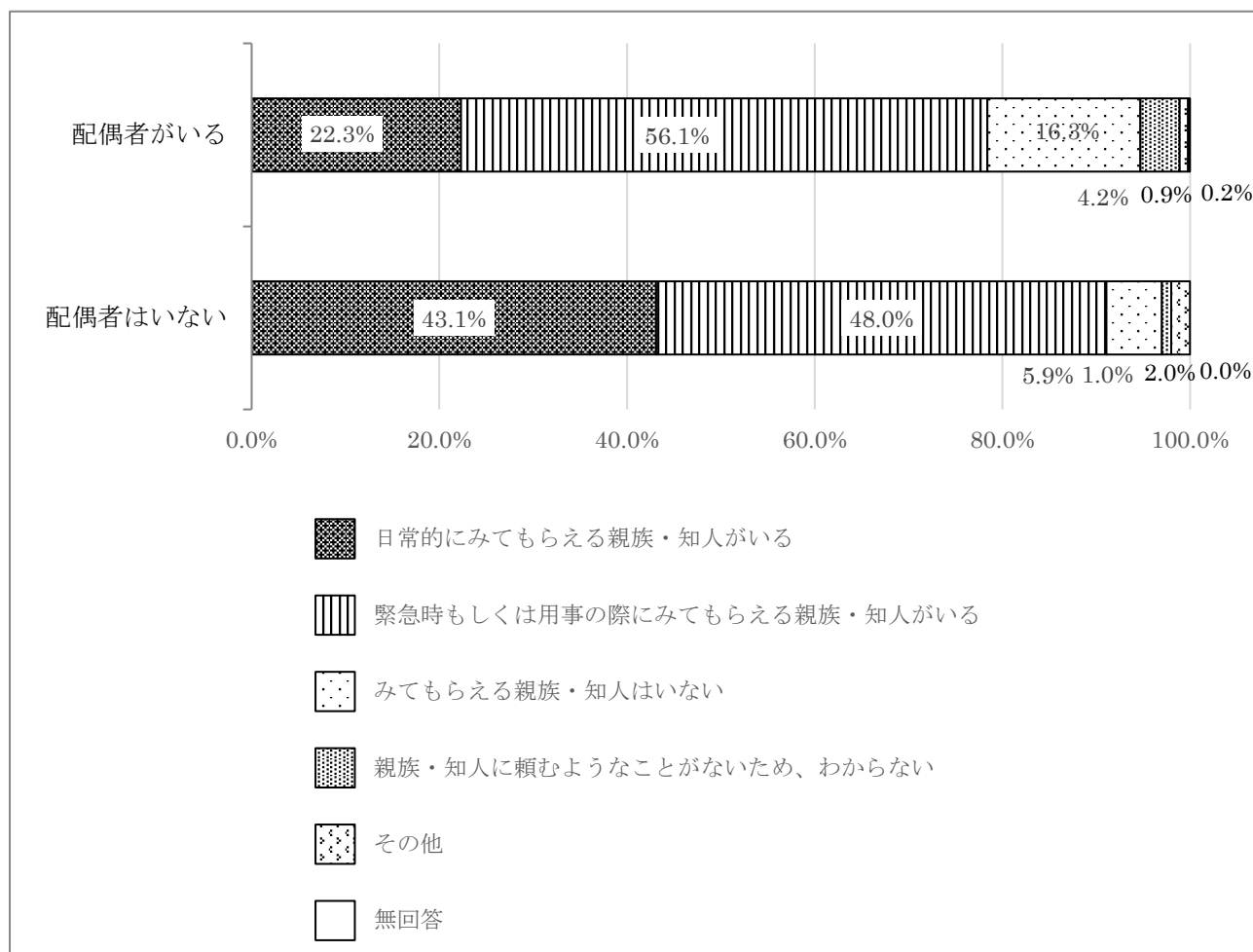
保護者の年代別では、「日常的にみてもらえる親族・知人がある」と回答した人の割合は20代以下（35.0%）が最も高く、「みてもらえる親族・知人はいない」は50代以上（39.3%）で最も高くなった。（図表2-5-3）

図表2-5-3 日ごろ子どもを見てくれる親族・知人（保護者の年代別）



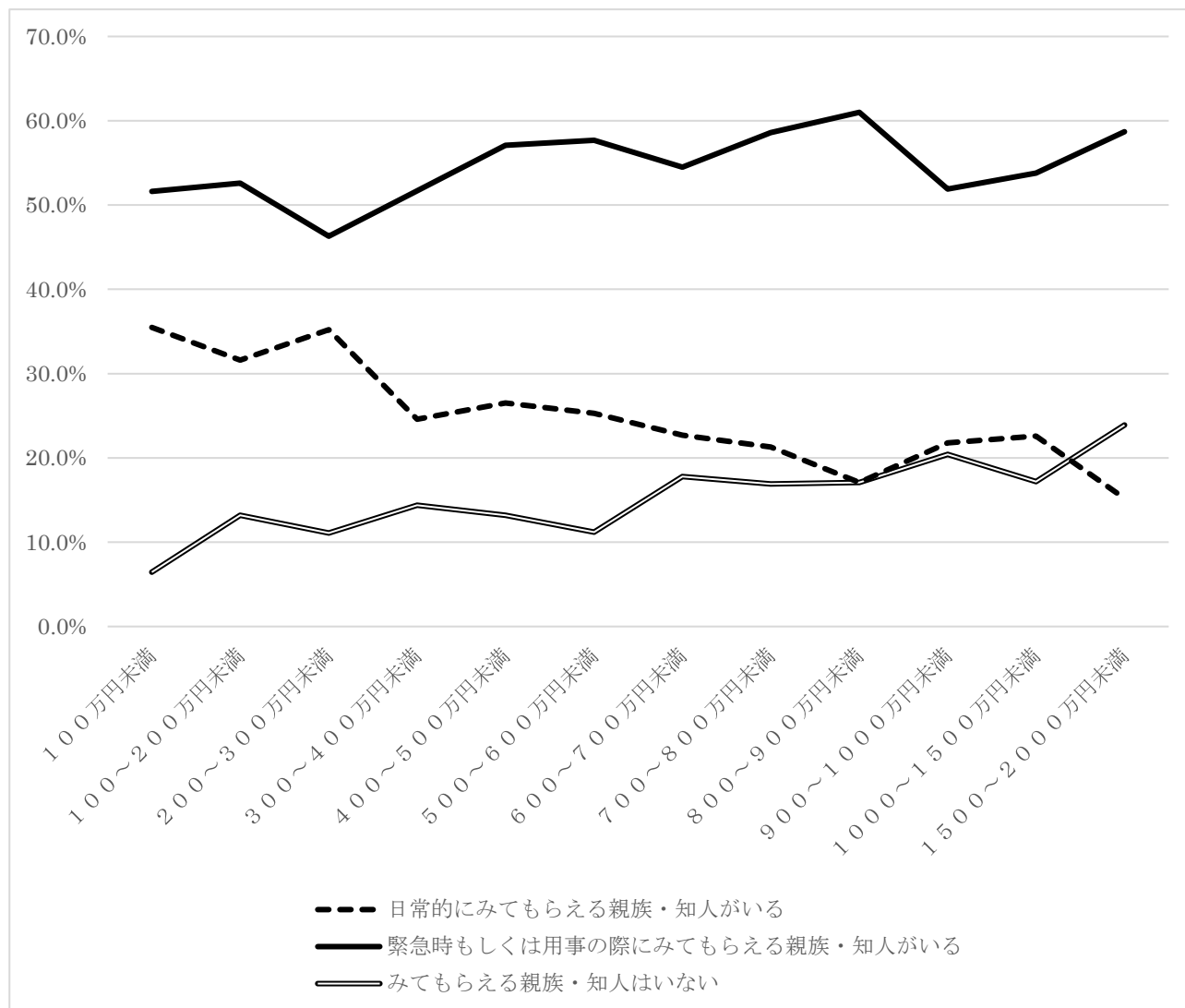
配偶者の有無別では、「日常的にみてもらえる親族・知人がいる」と回答した人の割合は「配偶者がいる」(22.3%)を「配偶者はいない」(43.1%)が上回った。(図表2-5-4)

図表2-5-4 日ごろ子どもを見てくれる親族・知人（配偶者の有無別）



収入別では、「日常的にみてもらえる親族・知人がいる」と回答した人の割合は収入が高くなるほど低下する傾向がみられた。一方で、「みてもらえるような親族・知人はいない」と回答した人の割合は、収入が高くなるほど上昇する傾向がみられた。(図表2-5-5)

図表2-5-5 日ごろ子どもを見てくれる親族・知人（収入別）

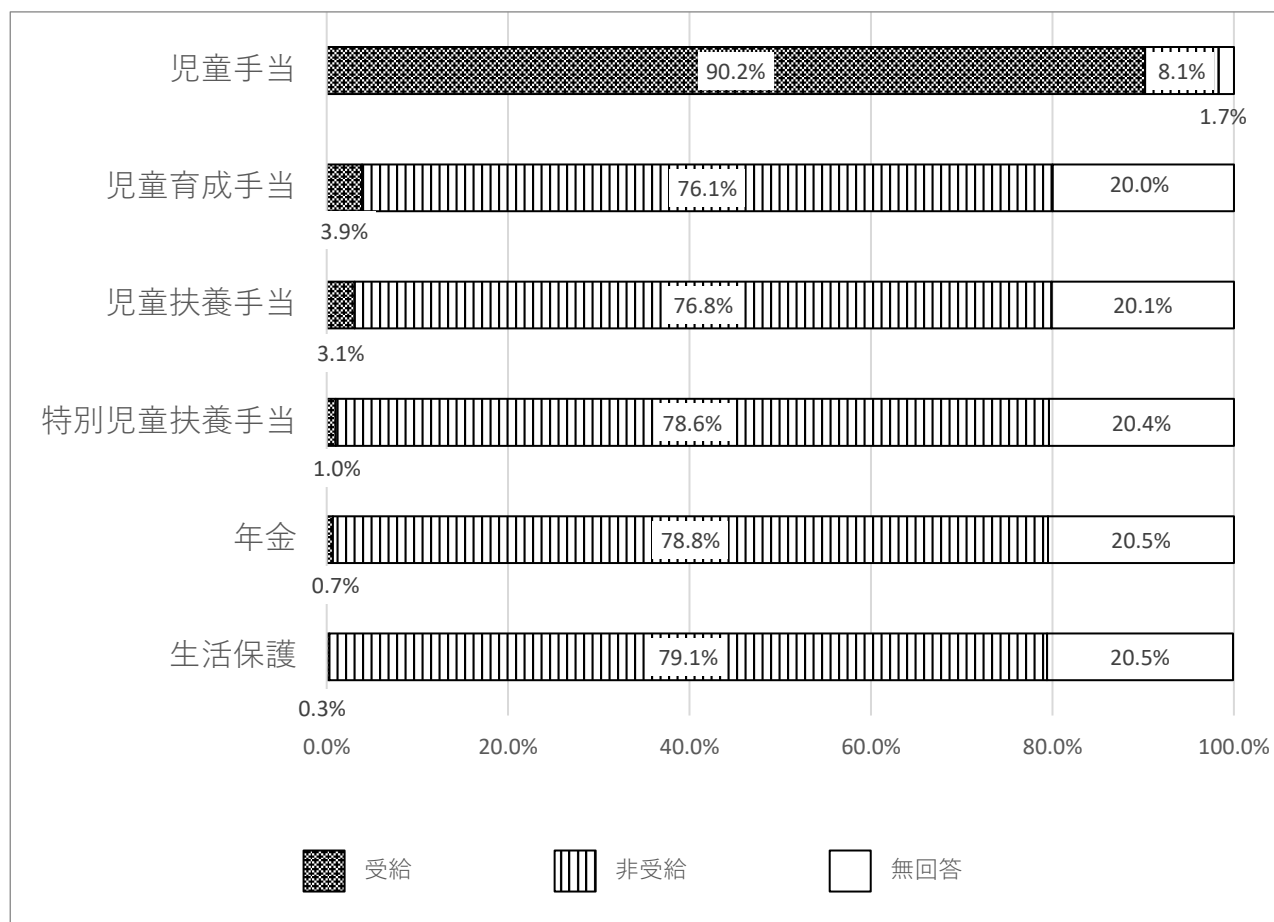


(6) 公的年金、社会保障給付金

問7 あなたの世帯で次のような公的年金、社会保障給付金を受給していますか。（受給か非受給に○）

公的年金、社会保障給付金の受給状況について質問したところ、結果は以下のとおりとなった。（図表2－6－1）

図表2－6－1 公的年金、社会保障給付金

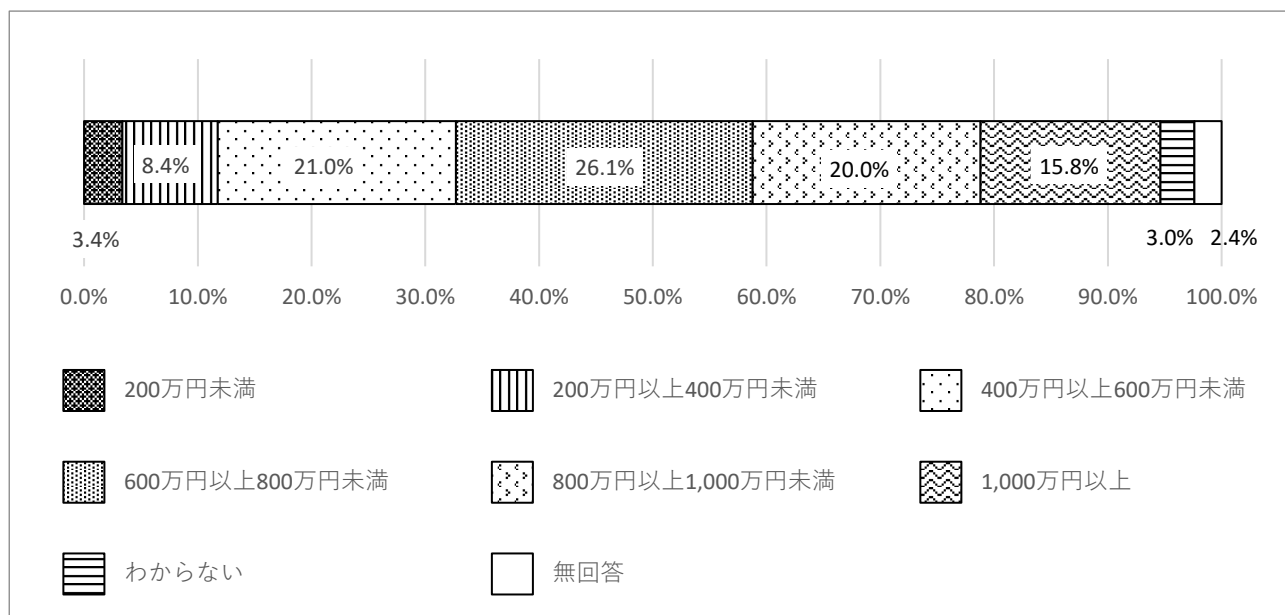


（７）公的年金、社会保障給付金以外の収入

問８ 問７で回答いただいた、公的年金と社会保障給付金以外の収入についてお聞きします。
お子さんと生計を共にしている世帯全員の方の、おおよその年間収入（税込）はいくら
ですか。（○は１つ）

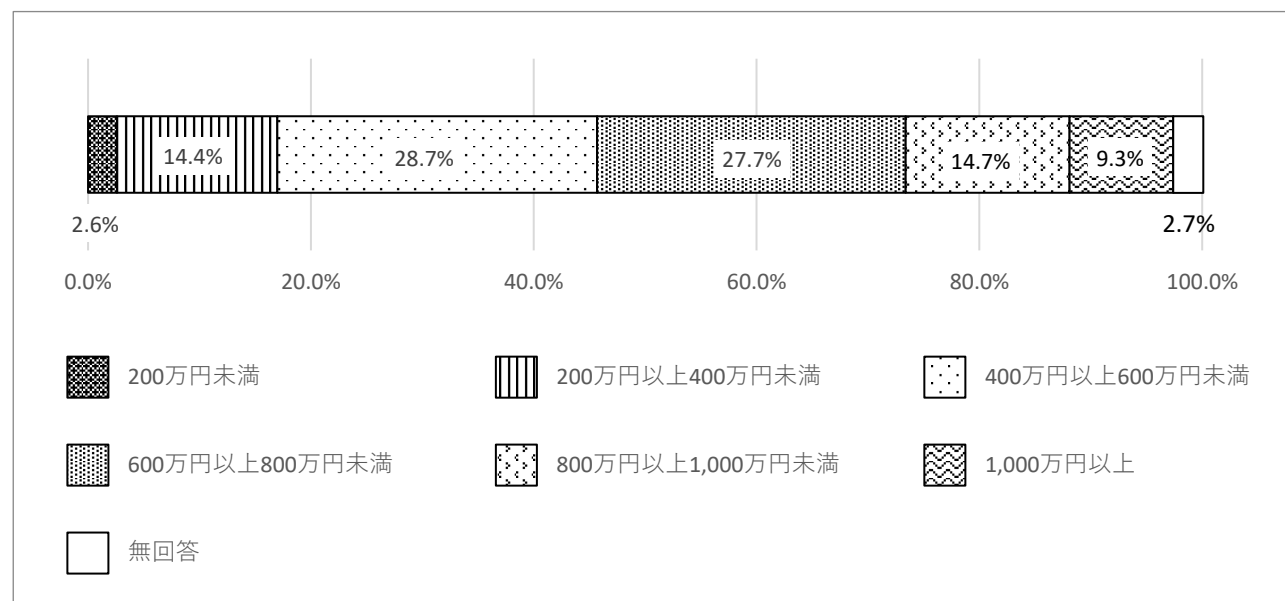
公的年金と社会保障給付金以外の収入について質問したところ、結果は以下のとおりとなっ
た。（図表２－７－１）

図表２－７－１ 公的年金、社会保障給付金以外の収入



平成30年度の調査では「わからない」という選択肢がなかったため厳密な比較はできないが、
参考として平成30年度の結果は次のとおりである。

図表２－７－２ 公的年金、社会保障給付金以外の収入（平成30年度）

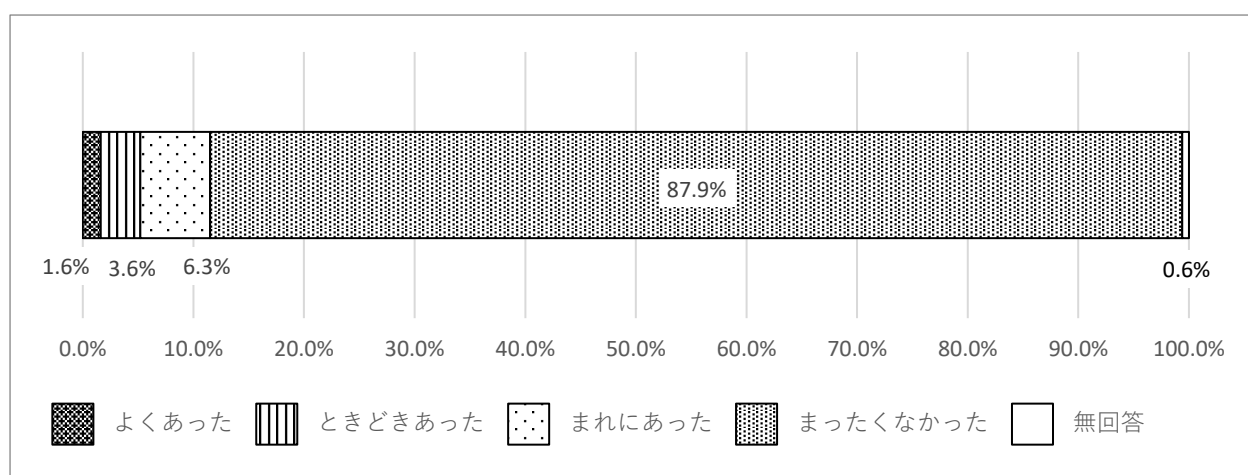


(8) 食料を買えなかった経験

問9 あなたのご家庭では、過去1年の間に、お金が足りなくて、家族が必要とする食料を買えないことがありましたか。(〇は1つ)

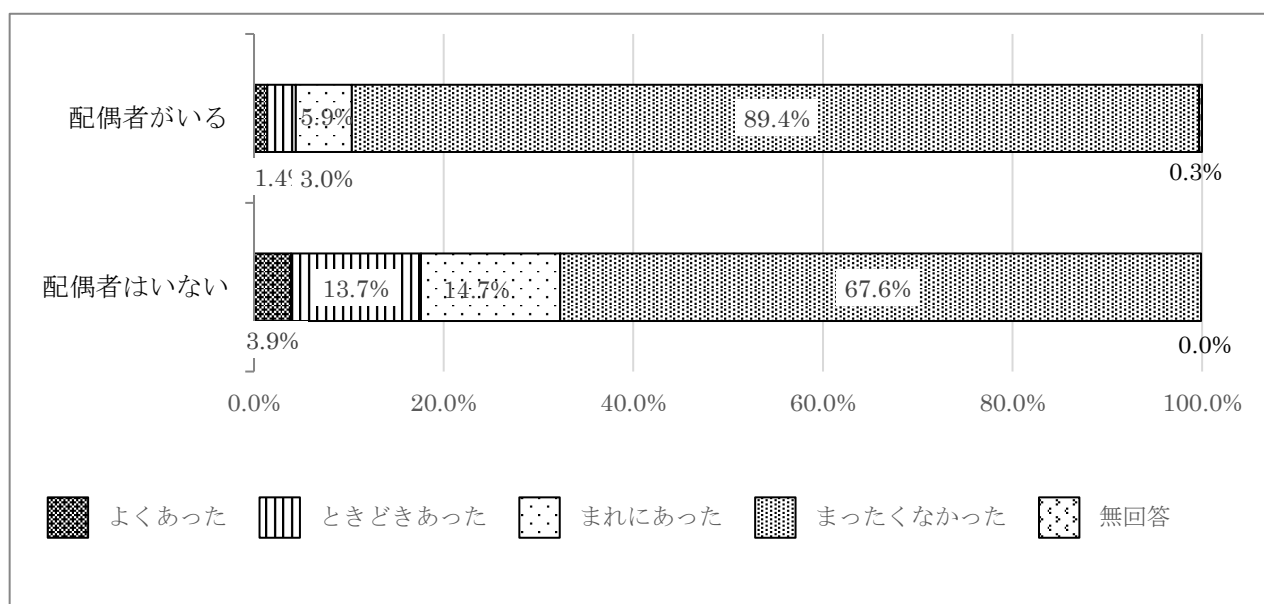
食料を買えなかった経験について質問したところ、「よくあった」が1.6%、「ときどきあった」が3.6%、「まれにあった」が6.3%となった。(図表2-8-1)

図表2-8-1 食料を買えなかった経験



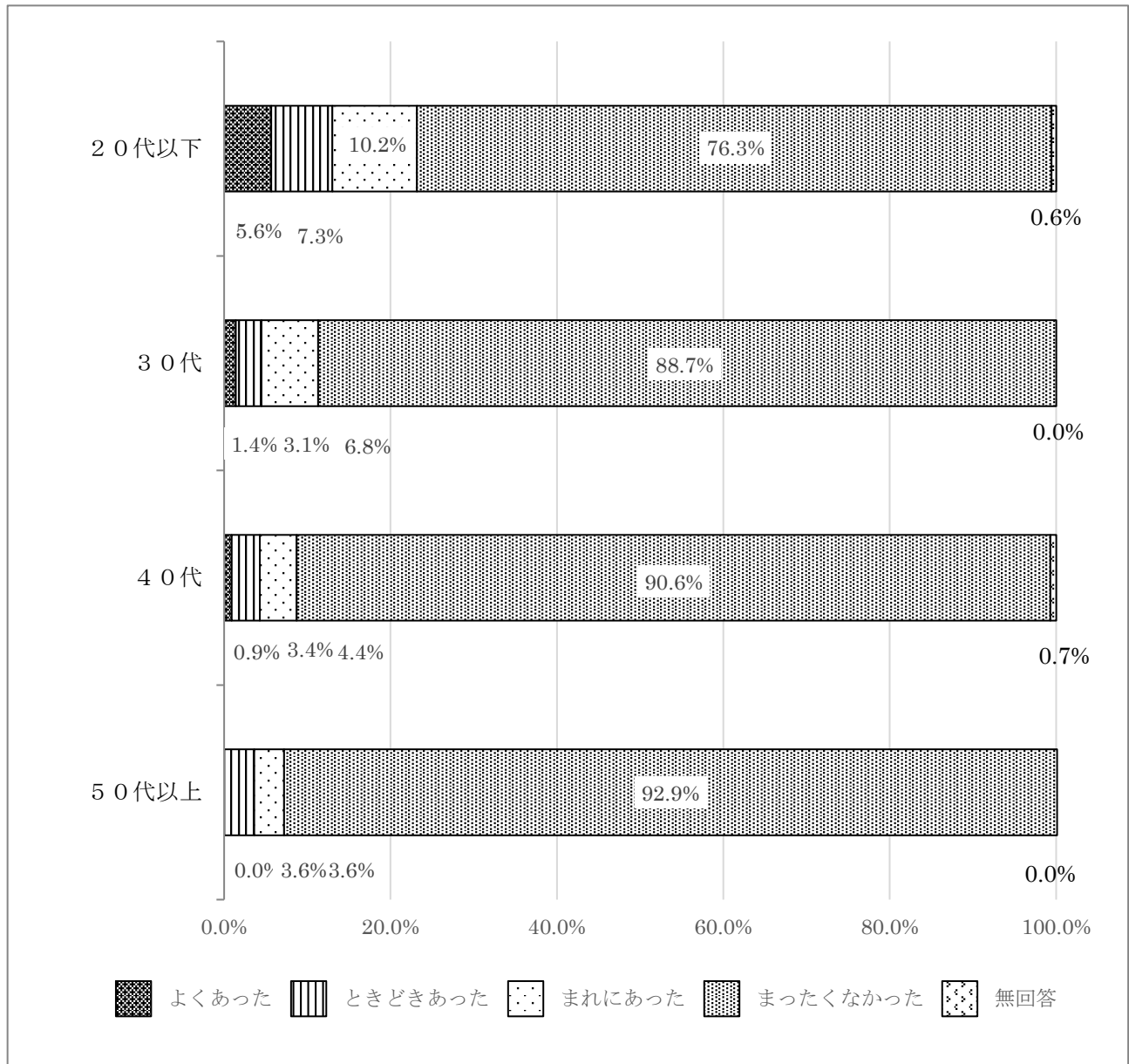
配偶者の有無別では、「よくあった」と回答した人の割合は、「配偶者がいる」(1.4%)を「配偶者はいない」(3.9%)が上回った。一方で、「まったくなかった」と回答した人の割合は、「配偶者がいる」(89.4%)を配偶者がいらない(67.6%)が下回った。(図表2-8-2)

図表2-8-2 食料を買えなかった経験(配偶者の有無別)



保護者の年代別では、「よくあった」と回答した人の割合は20代以下（5.6%）が最も高くなった。（図表2－8－3）

図表2－8－3 食料を買えなかった経験（保護者の年代別）

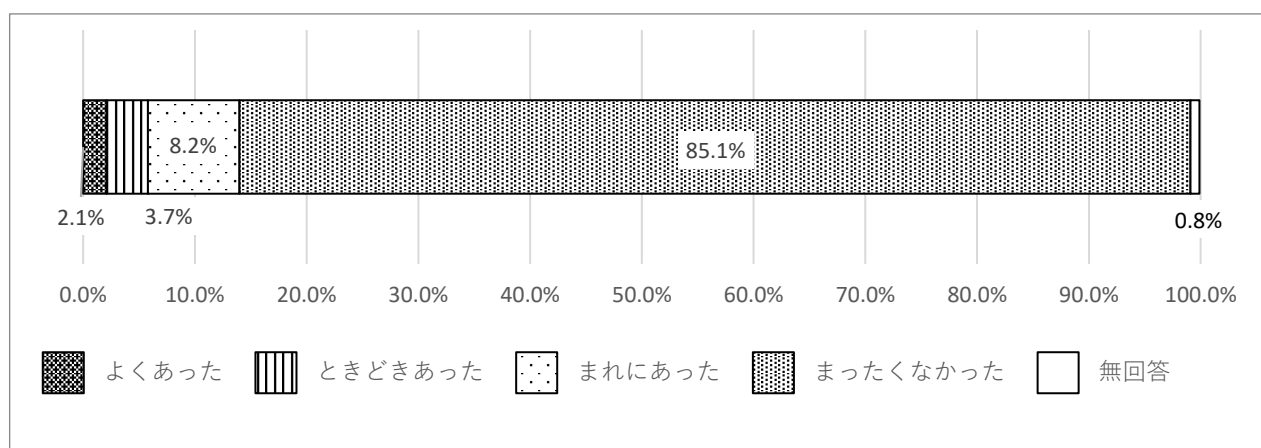


(9) 衣類を買えなかった経験

問10 あなたのご家庭では、過去1年の間に、お金が足りなくて、家族が必要とする衣類が買えないことがありましたか。(〇は1つ)

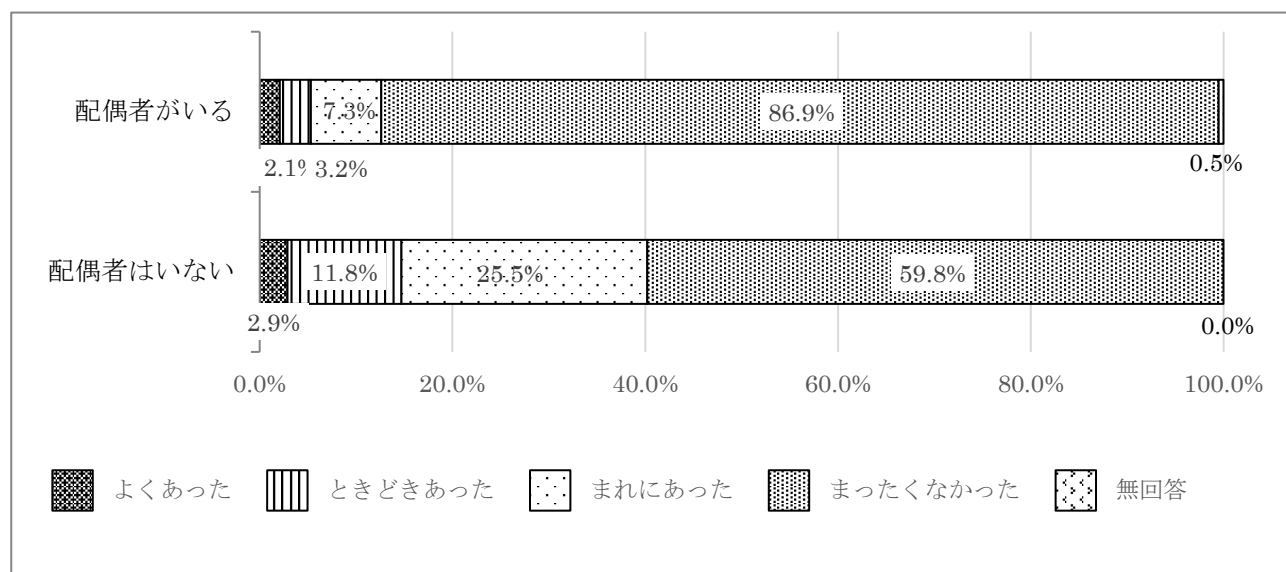
衣類を買えなかった経験について質問したところ、「よくあった」が2.1%、「ときどきあった」が3.7%、「まれにあった」が8.2%となった。(図表2-9-1)

図表2-9-1 食料を買えなかった経験



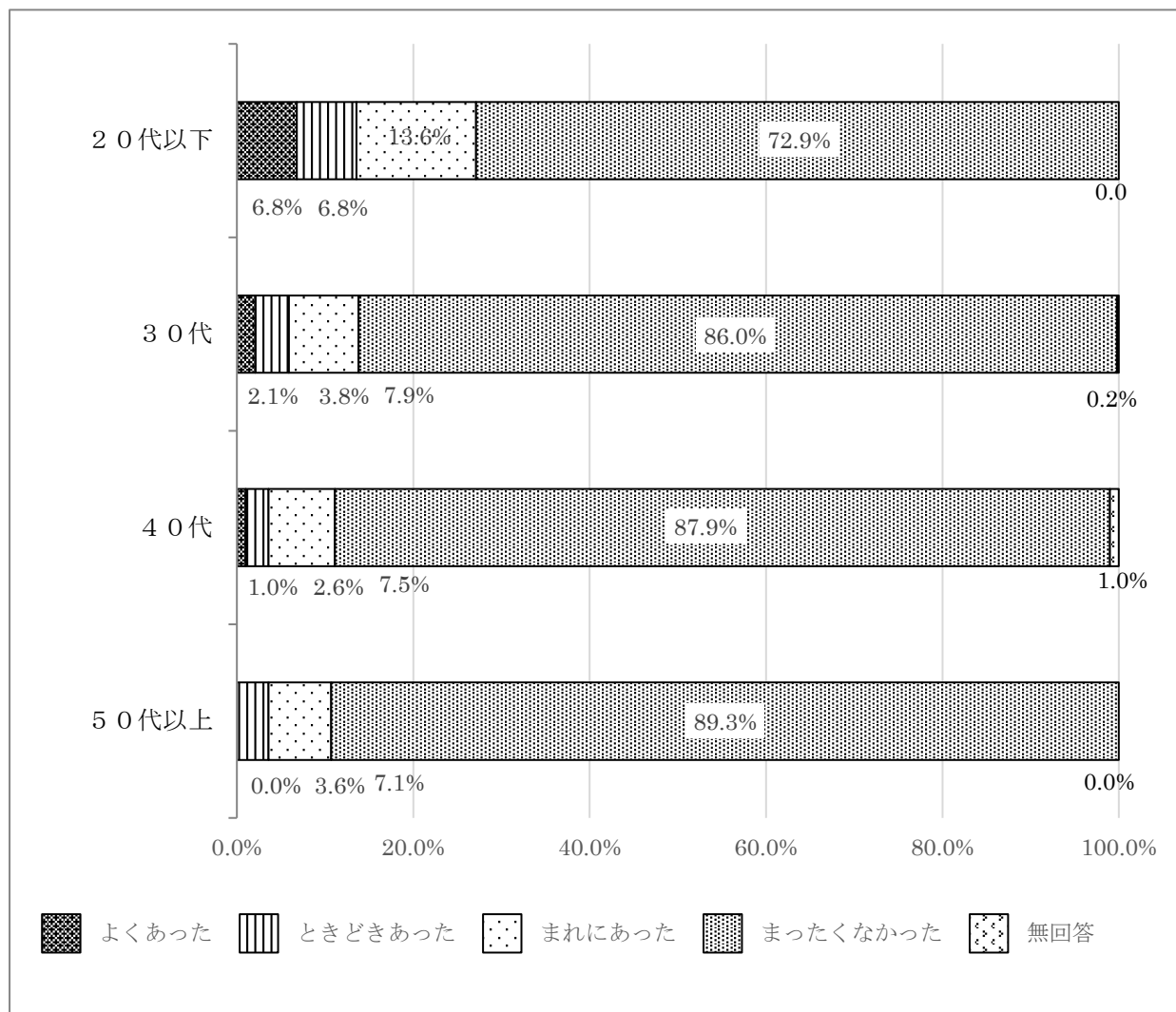
配偶者の有無別では、「よくあった」と回答した人の割合は、「配偶者がいる」(2.1%)を「配偶者がいない」(2.9%)が上回った。一方で、「まったくなかった」と回答した人の割合は、「配偶者がいる」(86.9%)を配偶者がいない(59.8%)が下回った。(図表2-9-2)

図表2-9-2 食料を買えなかった経験(配偶者の有無別)



保護者の年代別では、「よくあった」と回答した人の割合は20代以下（6.8%）が最も高くなった。（図表2-9-3）

図表2-9-3 食料を買えなかった経験（保護者の年代別）

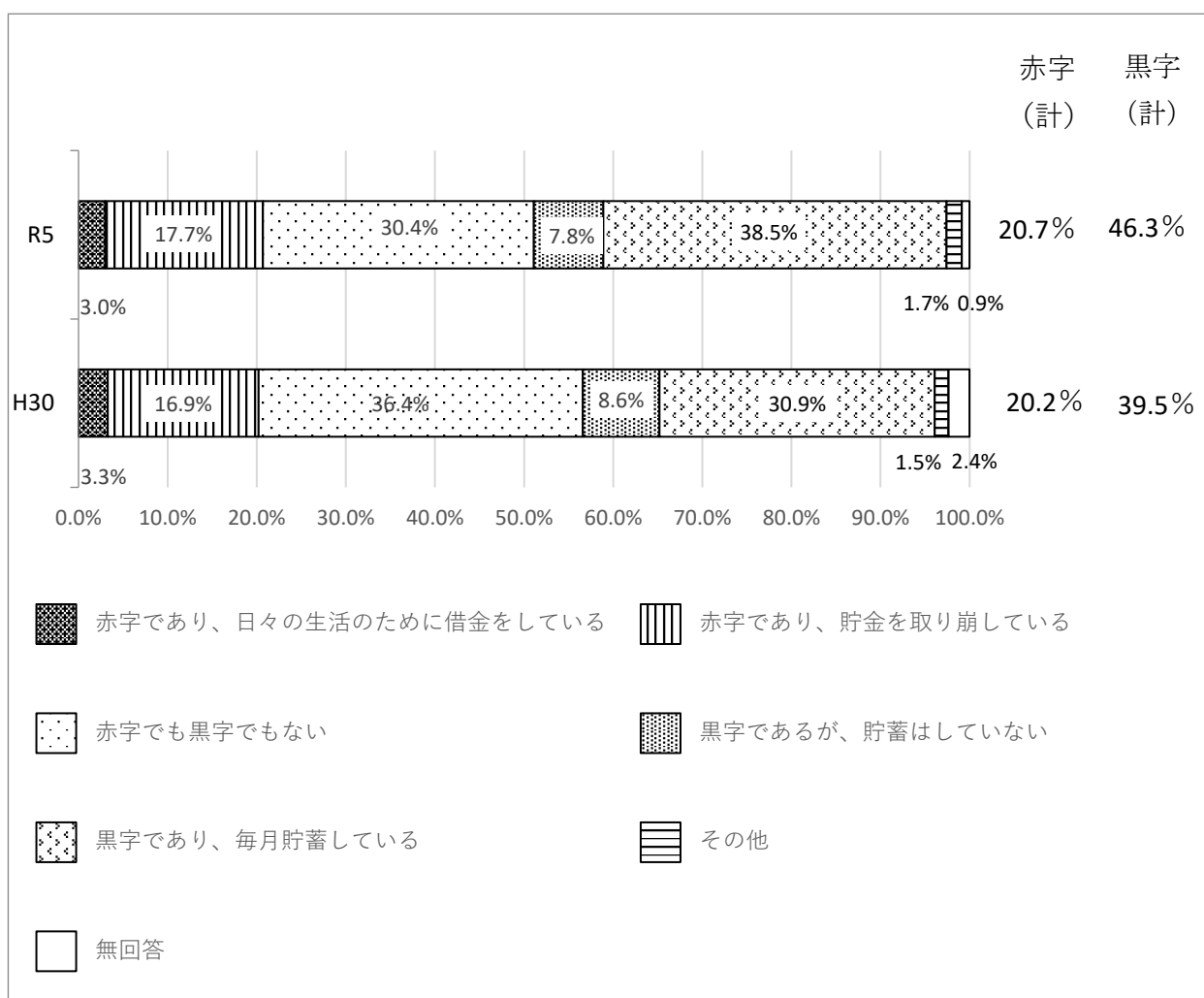


(10) 世帯の家計

問 11 世帯の家計について、最も当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

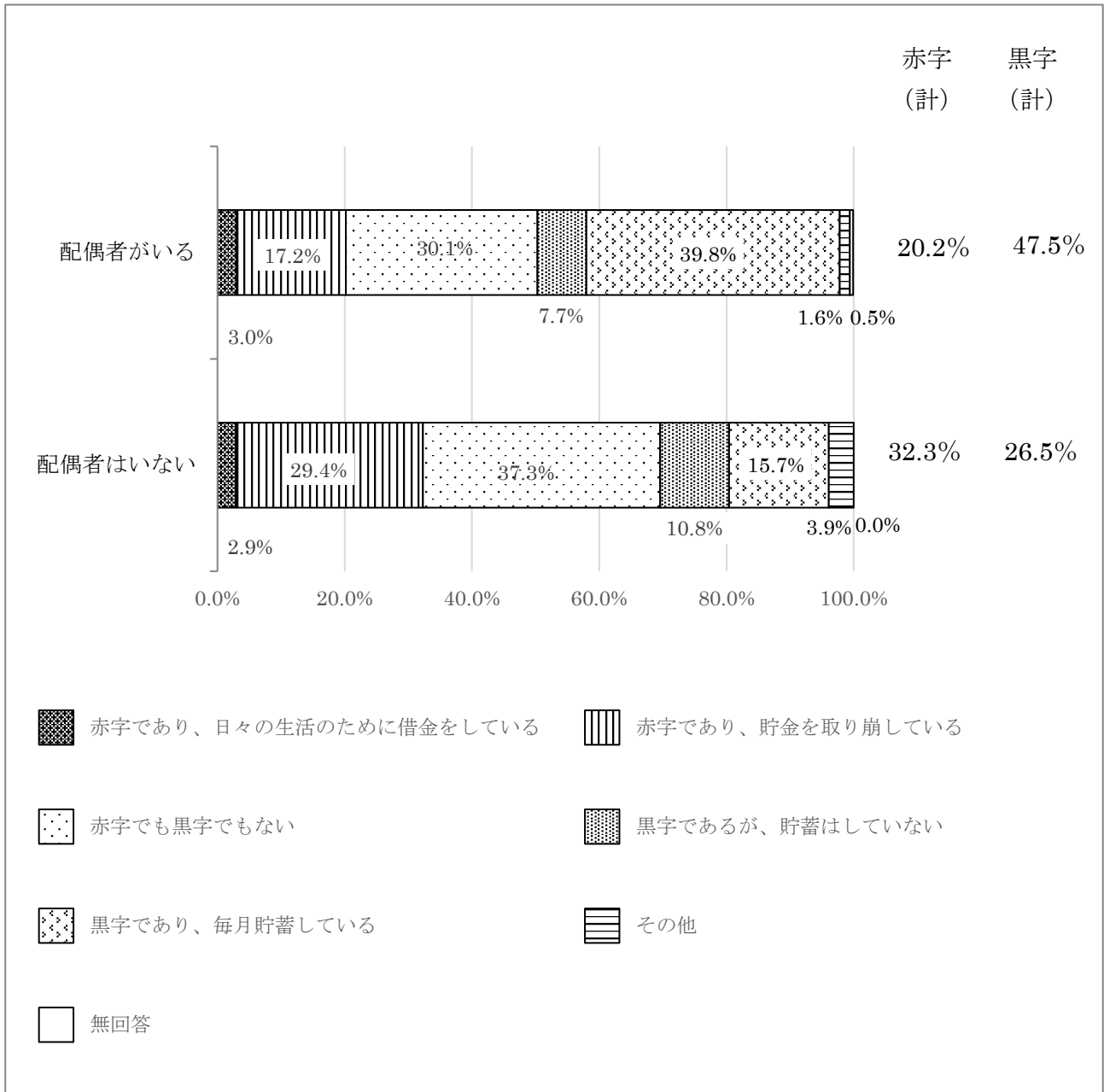
世帯の家計について質問したところ、「赤字であり、日々の生活のために借金をしている」(3.0%)と「赤字であり、貯金を取り崩している」(17.7%)を合わせた『赤字(計)』は20.7%となった。一方で、「黒字であるが、貯蓄はしていない」(7.8%)と「黒字であり、毎月貯蓄している」(38.5%)を合わせた『黒字(計)』は46.3%となった。平成30年度調査と比較すると、「赤字でも黒字でもない」が減少し、「黒字であり、毎月貯蓄している」が増加している。(図表2-10-1)

図表2-10-1 世帯の家計（平成30年度調査との比較）



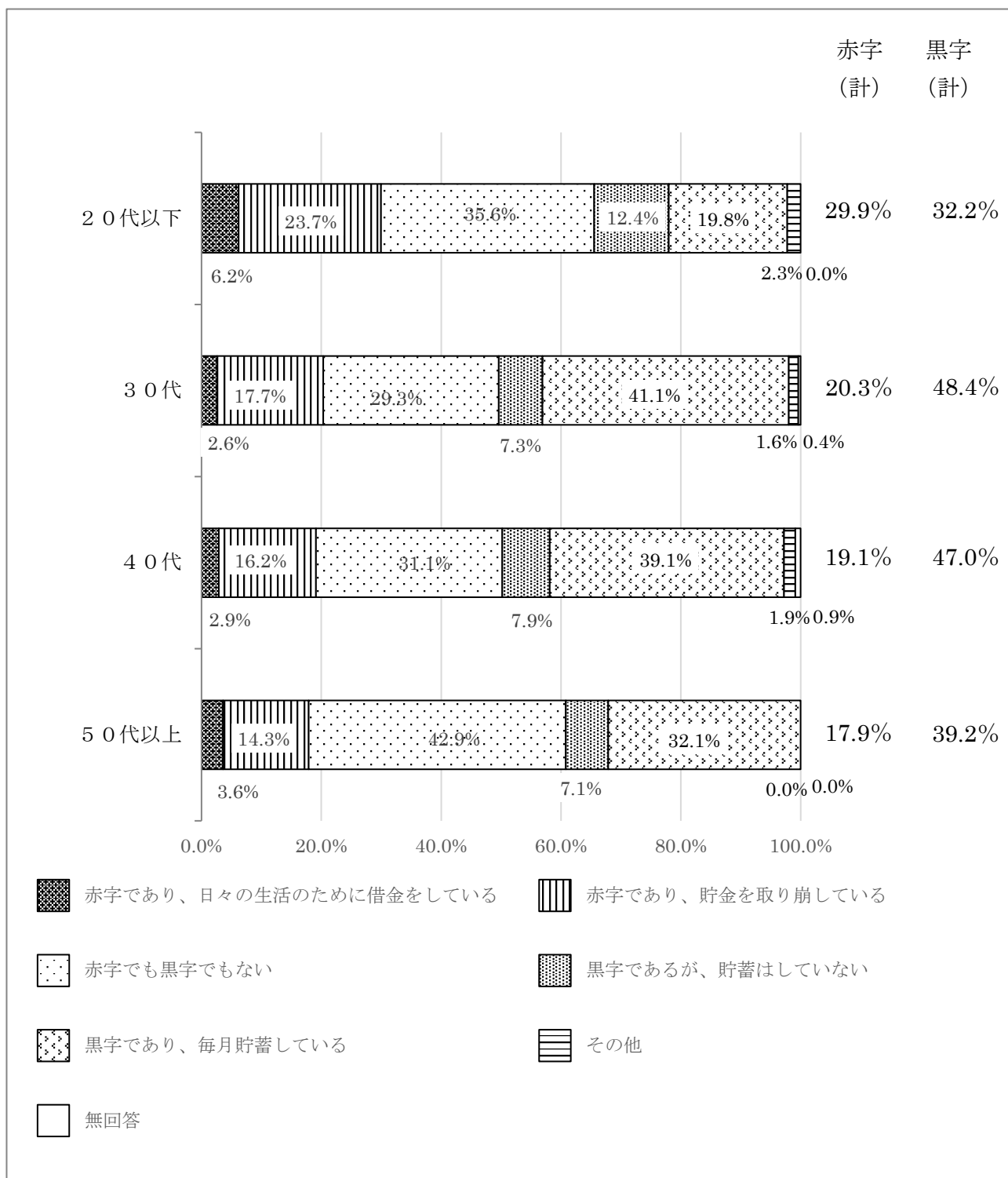
配偶者の有無別では、「赤字（計）」は、「配偶者がいる」（20.2％）を「配偶者がいない」（32.3％）が上回った。一方で、「黒字（計）」は、「配偶者がいる」（47.5％）を配偶者がいない（26.5％）が下回った。（図表 2－10－2）

図表 2－10－2 世帯の家計（配偶者の有無別）



保護者の年代別では、「赤字（計）」は20代以下（29.9%）が最も高くなった。一方で、黒字（計）は20代以下（32.2%）が最も低くなった。（図表2-10-3）

図表2-10-3 世帯の家計（保護者の年代別）

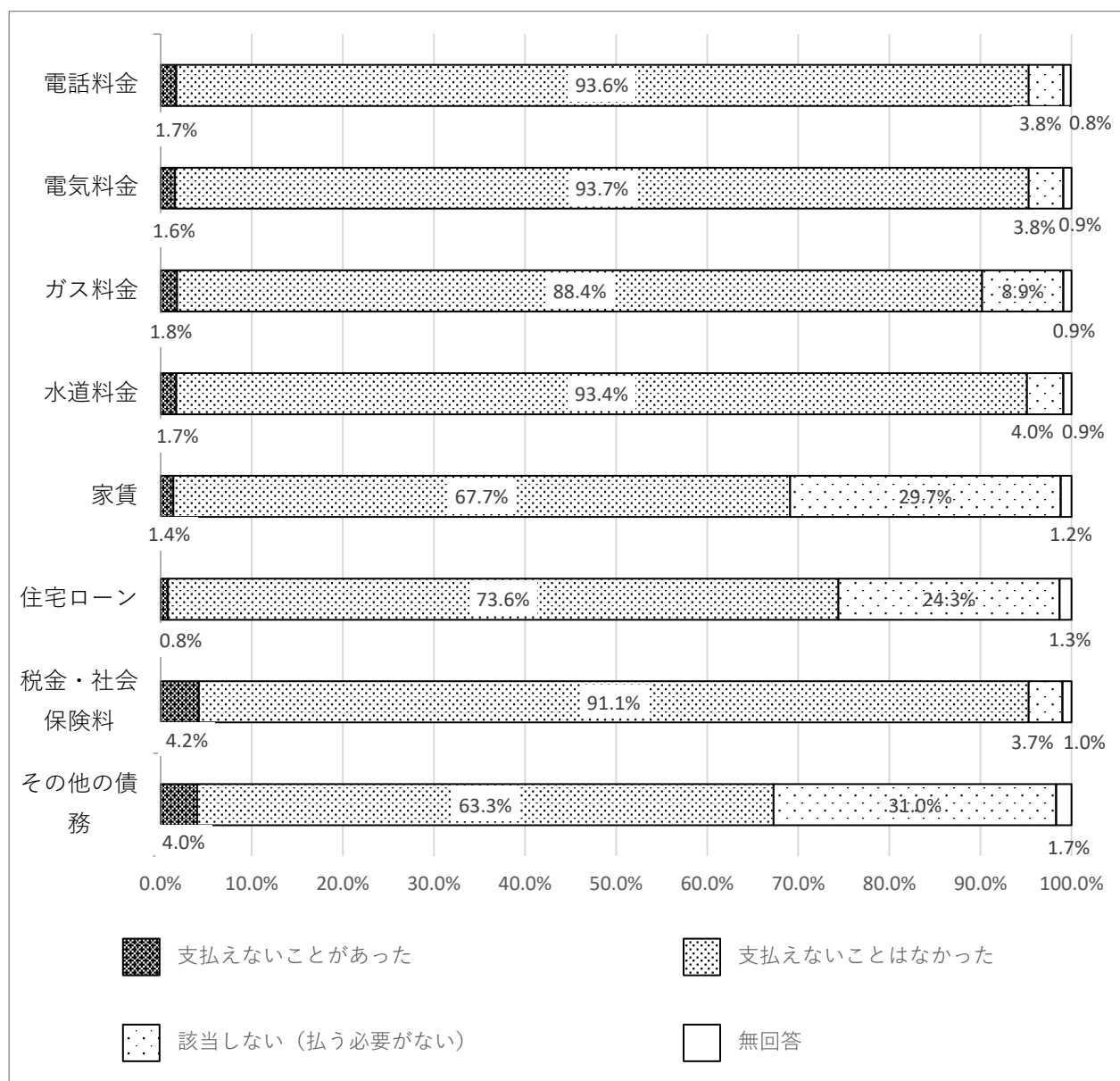


(11) 経済的な理由で支払いができなかったサービス・料金

問 12 過去 1 年の間に、経済的な理由で、以下の A～H のサービス・料金について、支払えないことがありましたか。（それぞれ○は 1 つ） A 電話料金・ B 電気料金・ C ガス料金・ D 水道料金・ E 家賃・ F 住宅ローン・ G 税金・ 社会保険料・ H その他の債務

経済的な理由で支払いができなかったサービス・料金について質問したところ、「支払えないことがあった」と回答があった割合は、「電話料金」で 1.7%、「電気料金」で 1.6%、「ガス料金」で 1.8%、「水道料金」で 1.7%、「家賃」で 1.4%、「住宅ローン」で 0.8%、「税金・社会保険料」4.2%、「その他の債務」で 4.0%となった（図表 2-11-1）

図表 2-11-1 食料を買えなかった経験



3. 保護者の就労状況について

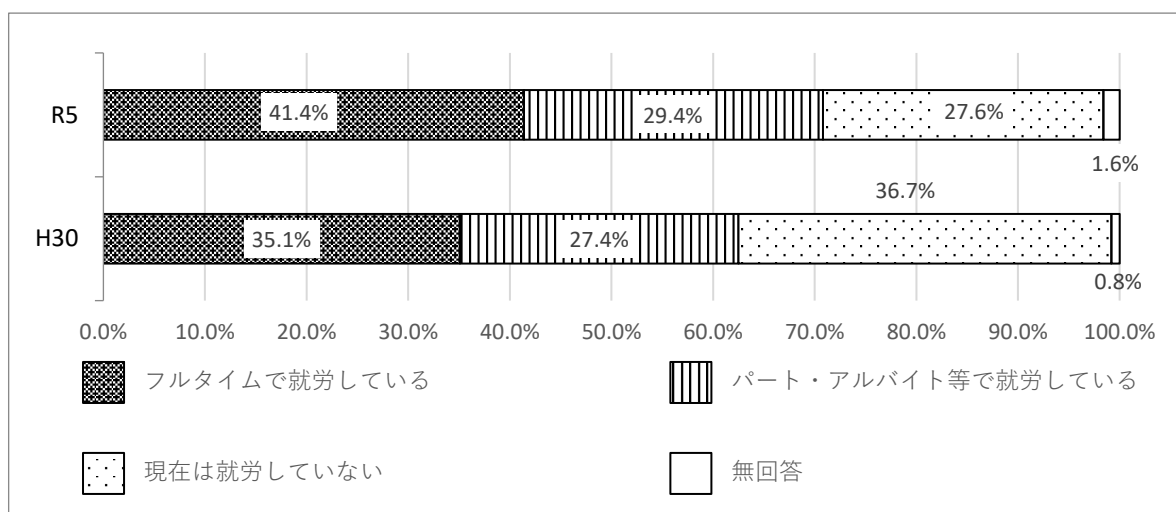
(1) 母親の現在の就労状況

問 13 母親の現在の就労状況と今後の就労希望について、(1)～(6)にお答えください。
産育休を取得中の方は取得前の状況で、就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンでお答えください。※父子家庭の場合は記入不要

- (1) 就労状況（当てはまる番号 1 つに○）
- (2) 週当たりの就労日数
- (3) 1 日当たりの就労時間

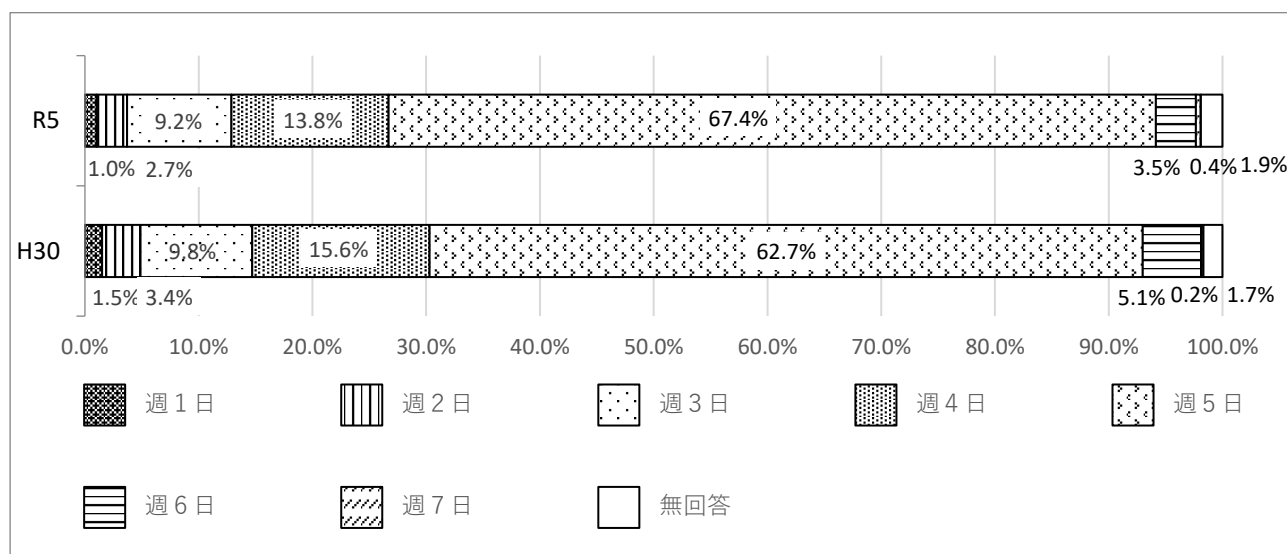
母親の現在の就労状況を質問したところ、「フルタイムで就労している」が41.4%、「パート・アルバイト等で就労している」が29.4%、「現在は就労していない」が27.6%となった。平成30年調査と比較すると、就労している割合は増加している。（図表 3－1－1）

図表 3－1－1 母親の現在の就労状況

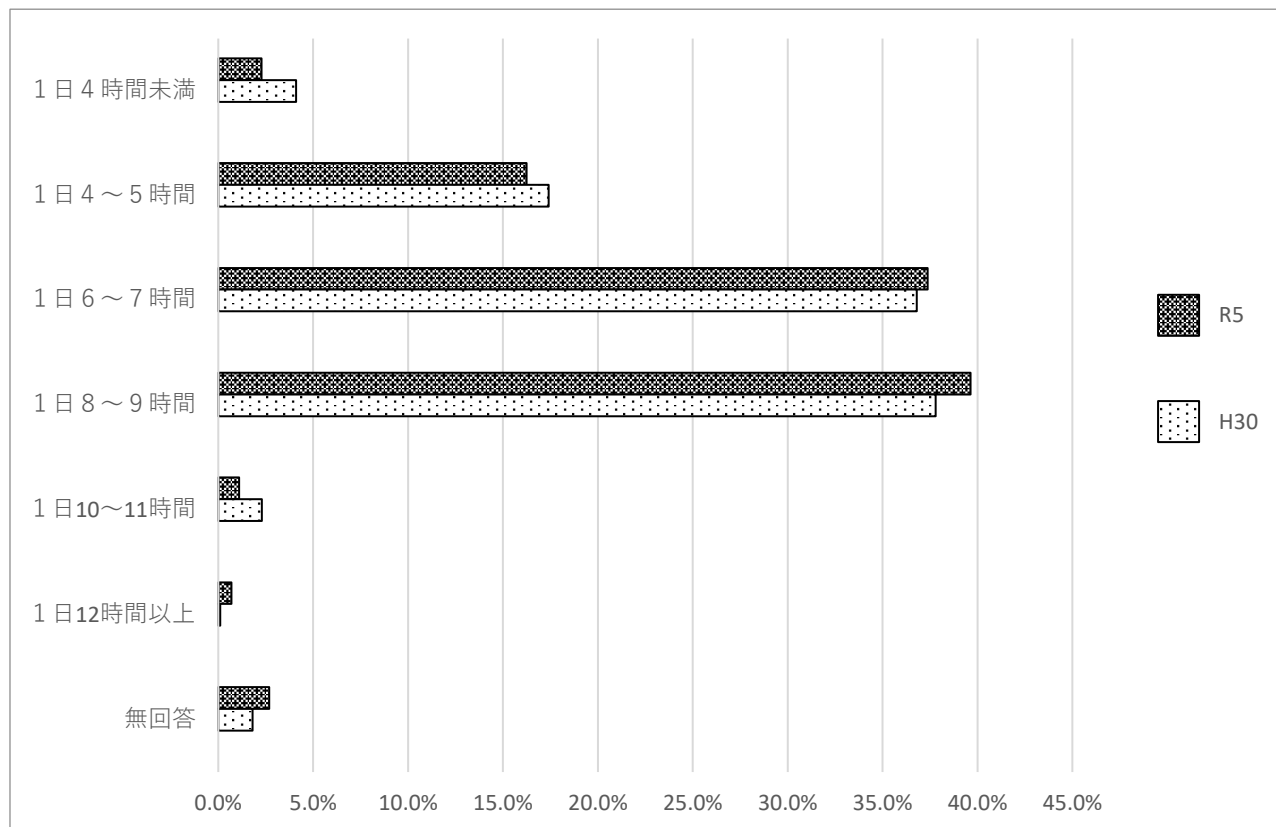


「フルタイムで就労している」または「パート・アルバイト等で就労している」と答えた母親に現在の週当たりの就労日数及び現在の１日当たりの就労時間を質問したところ、以下の結果となった。平成30年度調査との比較では、週当たりの就労日数では、「週５日」がやや増加したものの、１日当たりの就労時間では大きな差は見られなかった。（図表３－１－２、図表３－１－３）

図表３－１－２ 母親の現在の週当たりの就労日数



図表３－１－３ 母親の現在の１日当たりの就労時間



(2) 母親の今後の就労希望

問 13 母親の現在の就労状況と今後の就労希望について、(1)～(6)にお答えください。
産育休を取得中の方は取得前の状況で、就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンでお答えください。※父子家庭の場合は記入不要

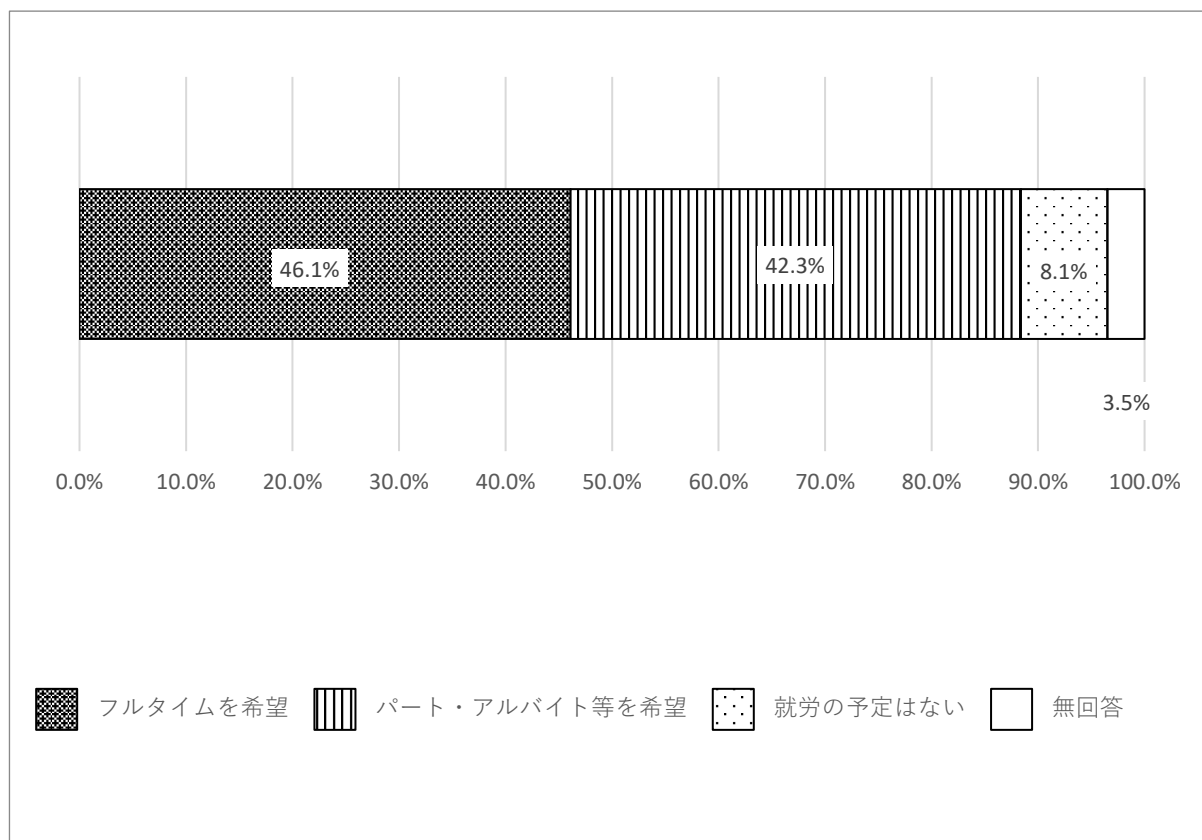
(4) 就労希望（当てはまる番号 1 つに○）

(5) 週当たりの就労希望日数

(6) 1日当たりの就労希望時間

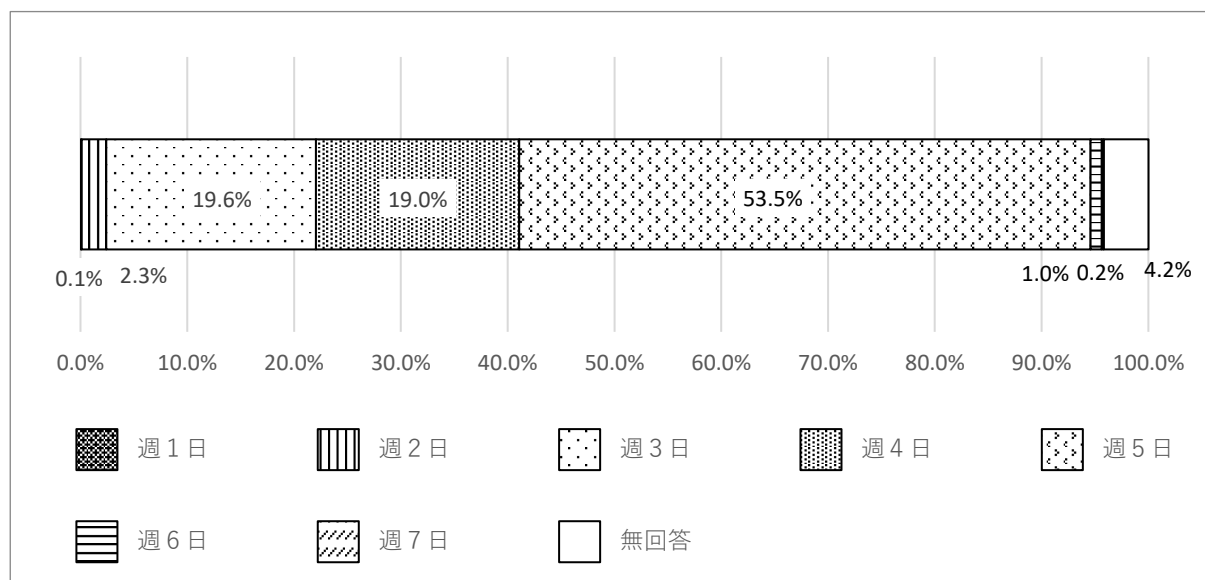
母親の今後の就労希望を質問したところ、「フルタイムを希望」が46.1%、「パート・アルバイト等を希望」が42.3%、「就労の予定はない」が8.1%となった。（図表 3－2－1）

図表 3－2－1 母親の今後の就労希望

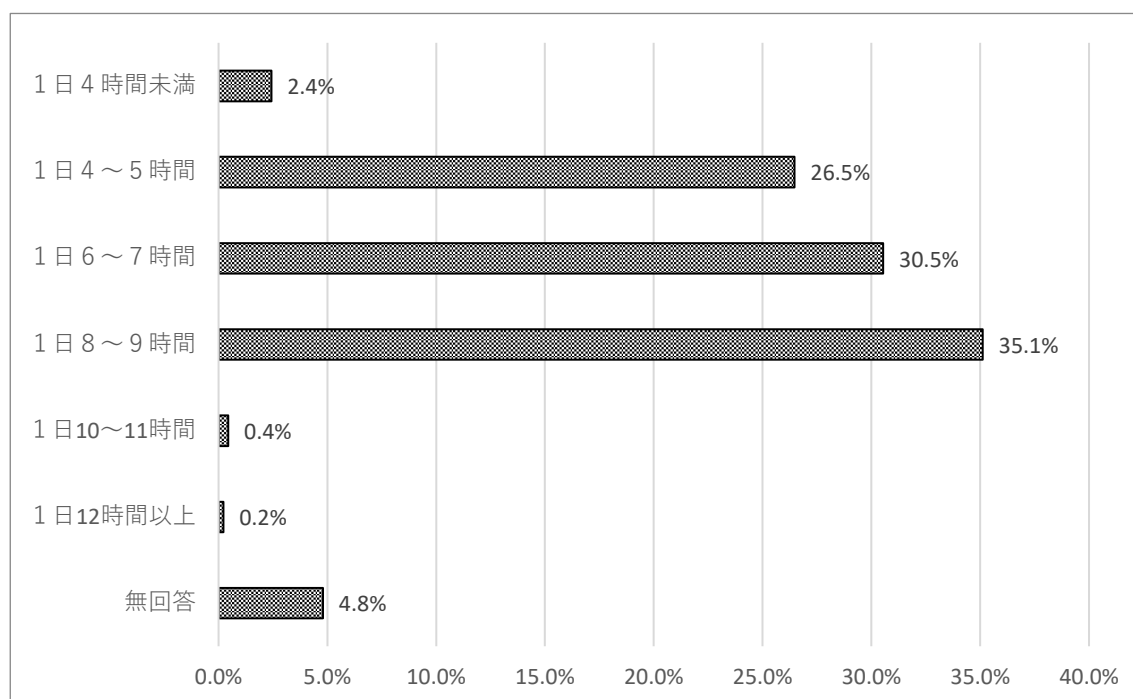


「フルタイムを希望」または「パート・アルバイト等を希望」と答えた母親に今後の週当たりの希望就労日数及び今後の１日当たりの希望就労時間を質問したところ、以下の結果となった。
 (３－２－２，３－２－３)

図表３－２－２ 母親の今後の就労希望日数



図表３－２－３ 母親の今後の１日当たりの就労希望時間



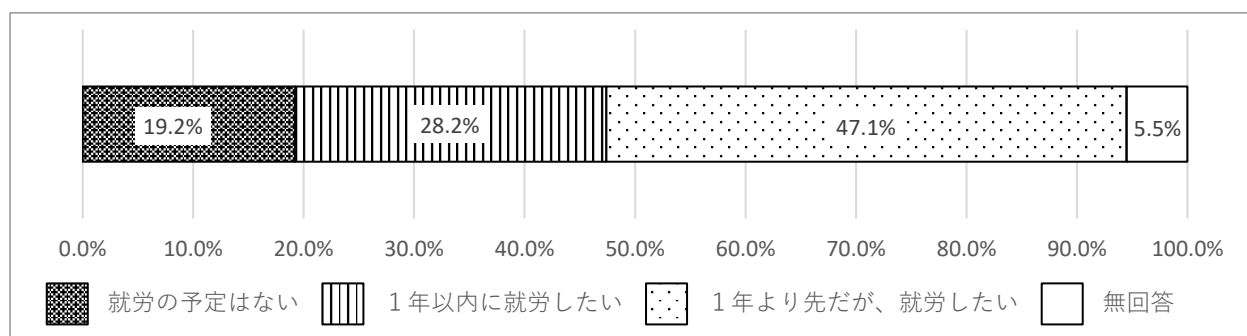
(3) 母親の今後就労を希望する時期

【問 13 (1) で「現在は就労していないと回答した方のみ】

問 14 今後の就労時期について、当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

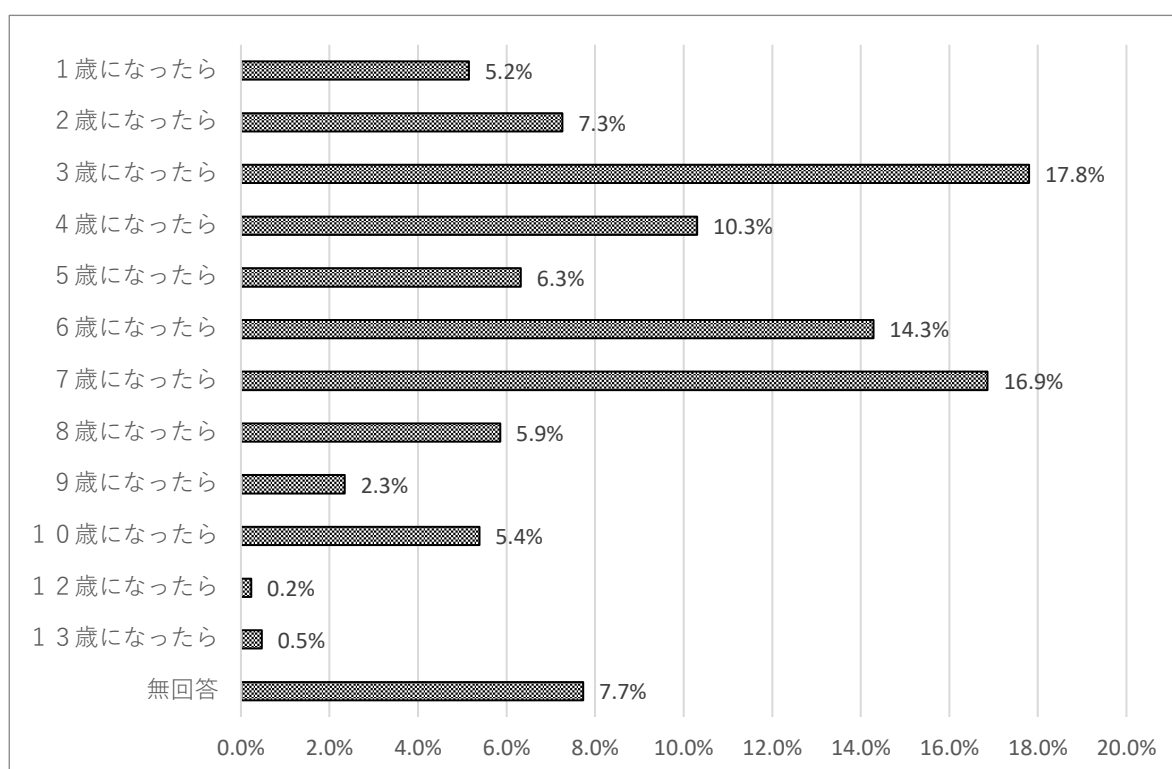
「現在は就労していない」と答えた母親に今後就労を希望する時期を質問したところ、「1 年より先だが就労したい」が47.1%で最も高く、次いで「1 年以内に就労したい」(28.2%)、「就労の予定はない」(19.2%) の順になっている。

図表 3-3-1 母親の今後の 1 日当たりの就労希望時間



「1 年より先だが就労したい」または「1 年以内に就労したい」と答えた母親に今後就労を希望する具体的な時期を子どもの年齢に沿って質問したところ、「3 歳になったら」が17.8%で最も高く、次いで「7 歳になったら」(16.9%)、「6 歳になったら」(14.3%) の順になっている。(図表 3-3-1)

図表 3-3-2 母親の今後就労を希望する具体的な時期



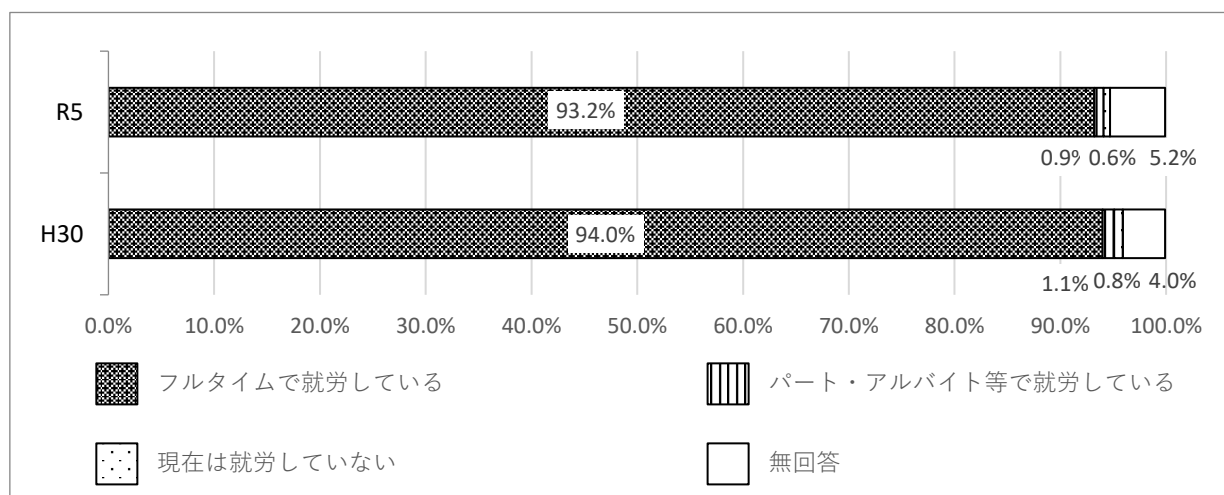
(4) 父親の現在の就労状況

問 15 父親の現在の就労状況と今後の就労希望について、(1)～(6)にお答えください。
産育休を取得中の方は取得前の状況で、就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンでお答えください。※母子家庭の場合は記入不要

- (1) 就労状況（当てはまる番号 1 つに○）
- (2) 週当たりの就労日数
- (3) 1 日当たりの就労時間

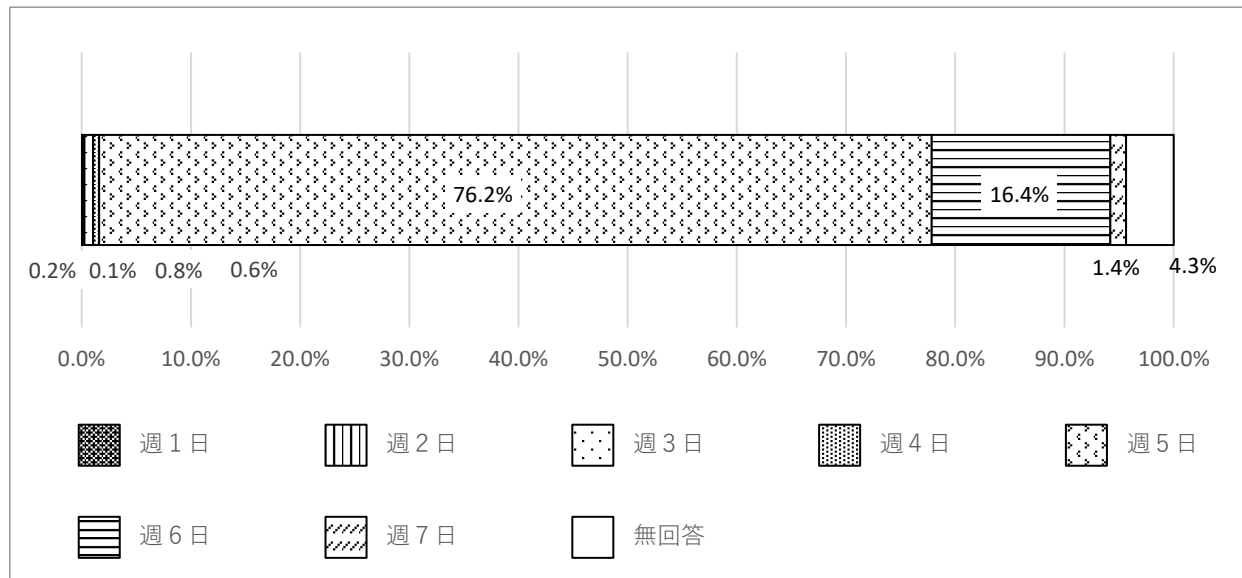
父親の現在の就労状況を質問したところ、「フルタイムで就労している」が93.2%、「パート・アルバイト等で就労している」が0.9%、「現在は就労していない」が0.6%となった。平成30年度調査と大きな差は見られなかった。(図表 3-4-1)

図表 3-4-1 父親の現在の就労状況

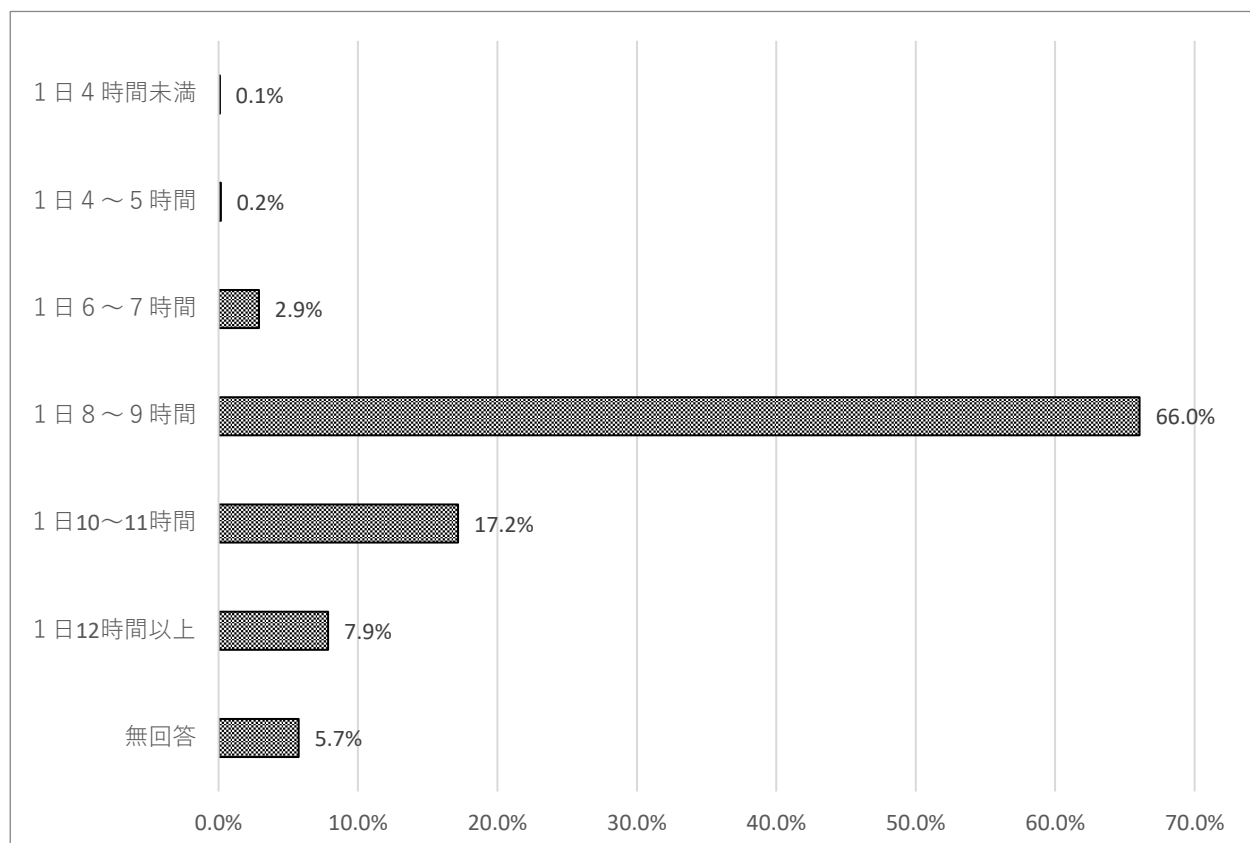


「フルタイムで就労している」または「パート・アルバイト等で就労している」と答えた父親に現在の週当たりの就労日数及び現在の１日当たりの就労時間を質問したところ、以下の結果となった。

図表３－４－３ 父親の現在の週当たりの就労日数



図表３－４－４ 父親の現在の１日当たりの就労時間



(5) 父親の今後の就労希望

問 15 父親の現在の就労状況と今後の就労希望について、(1)～(6)にお答えください。
産育休を取得中の方は取得前の状況で、就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンでお答えください。※母子家庭の場合は記入不要

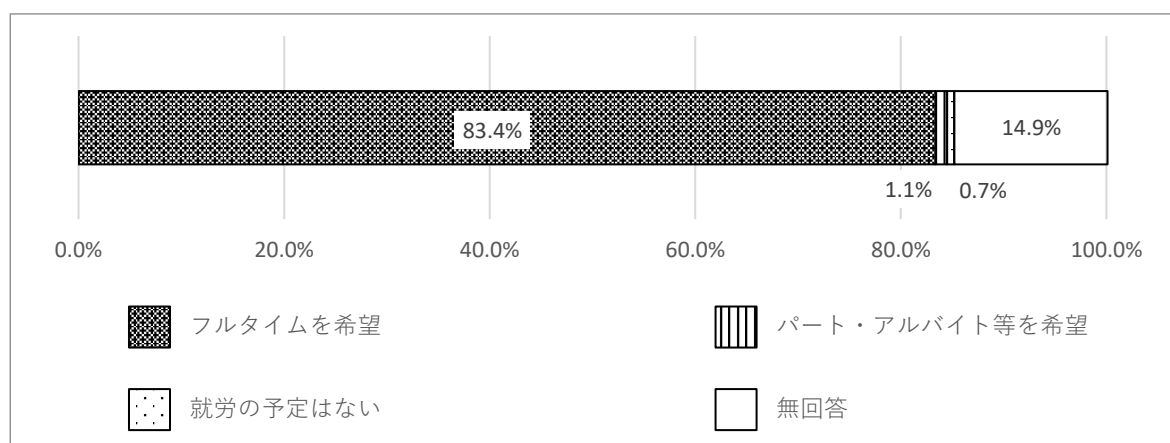
(4) 就労希望（当てはまる番号 1 つに○）

(5) 週当たりの就労希望日数

(6) 1 日当たりの就労希望時間

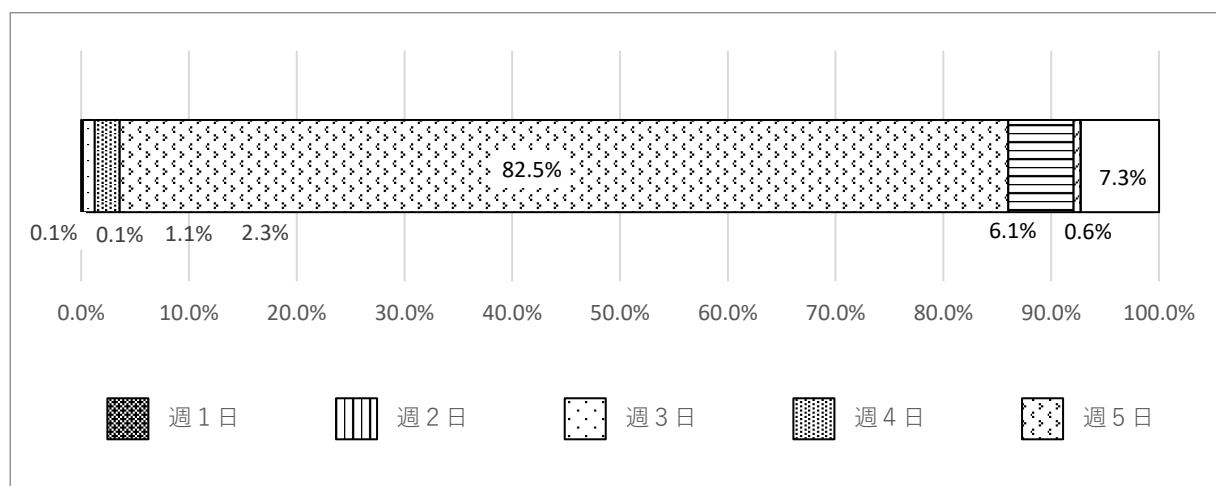
父親の今後の就労希望を質問したところ、「フルタイムを希望」が83.4%、「パート・アルバイト等を希望」が1.1%、「就労の予定はない」が0.7%となった。（図表 3－5－1）

図表 3－5－1 父親の今後の就労希望

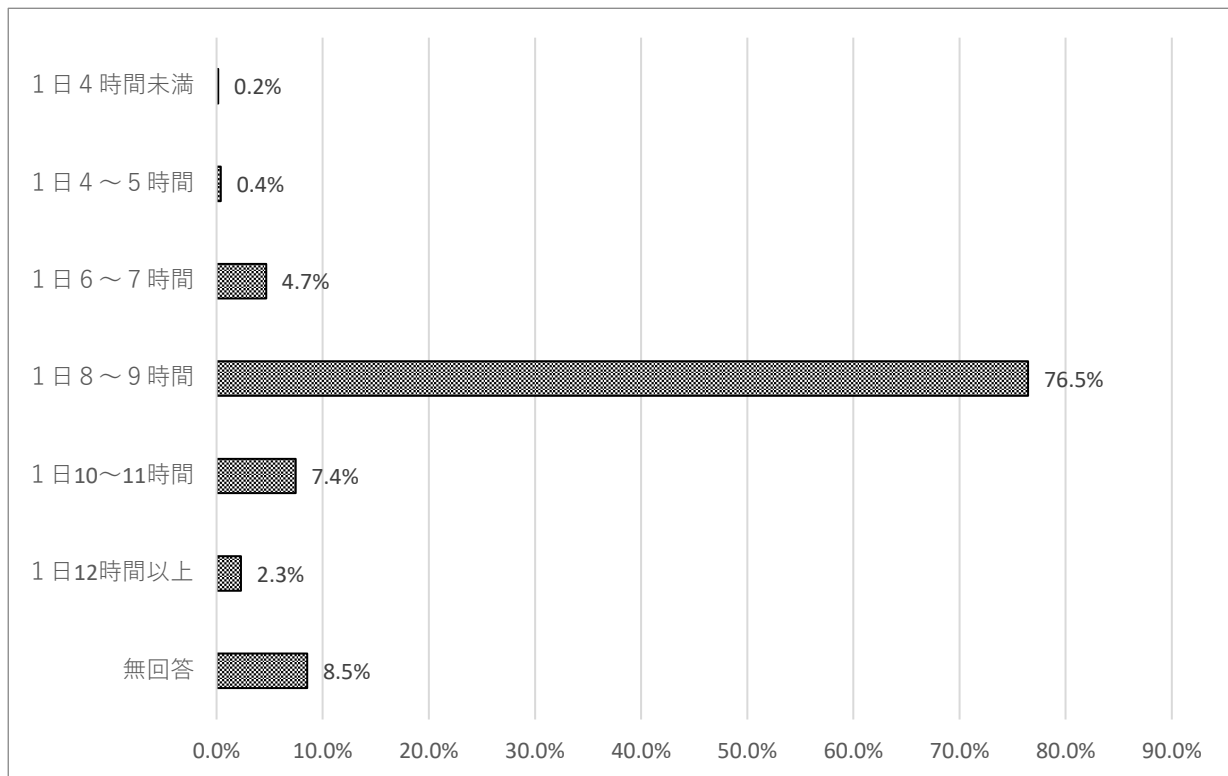


「フルタイムを希望」または「パート・アルバイト等を希望」と答えた父親に今後の週当たりの希望就労日数及び今後の 1 日当たりの希望就労時間を質問したところ、以下の結果となった。（図表 3－5－2）

図表 3－5－2 父親の今後の就労希望日数



図表 3－5－3 父親の今後の１日当たりの就労希望時間



(6) 父親の今後就労を希望する時期

【問 15（１）で「現在は就労していないと回答した方のみ】

問 16 今後の就労時期について、当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

当該設問については対象者が少なく、また、そのほとんどが無回答であったため、結果の記載を省略する。

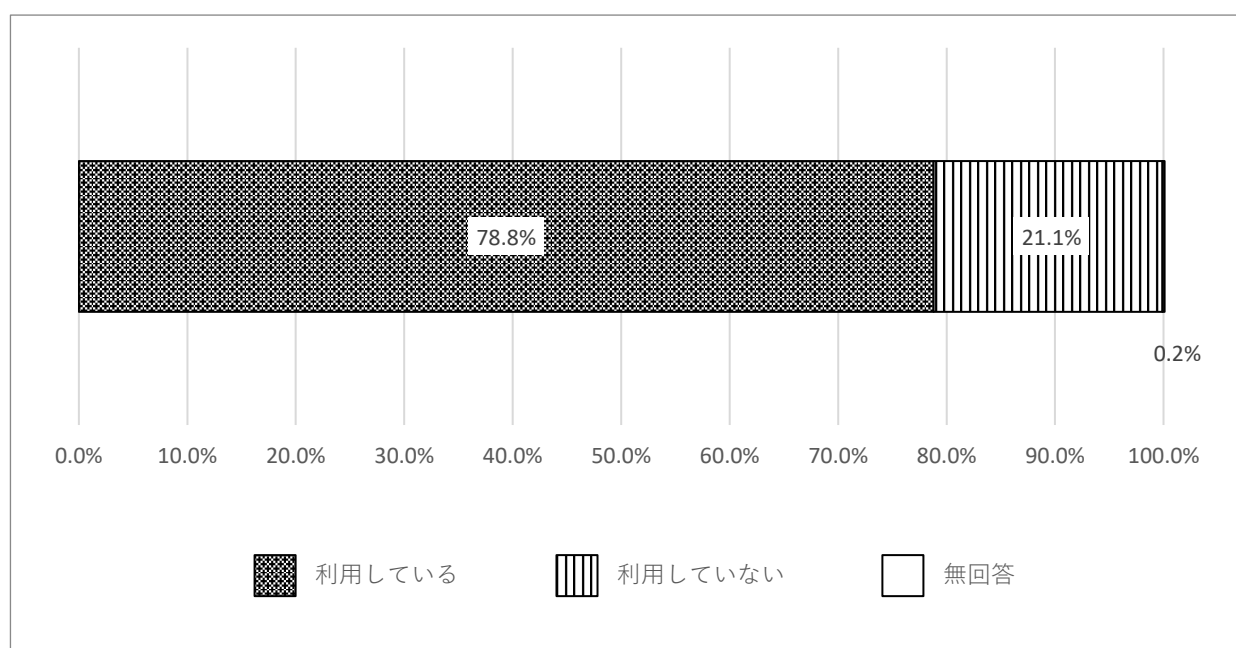
4. 平日の定期的な教育・保育事業の利用状況について

(1) 定期的な教育・保育事業の利用の有無

問 17 現在、定期的な教育・保育事業を利用していますか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

定期的な教育・保育事業の利用状況を質問したところ、「利用している」が78.8%、「利用していない」が21.1%となった。(図表4-1-1)

図表 4 - 1 - 1 定期的な教育・保育事業の利用状況



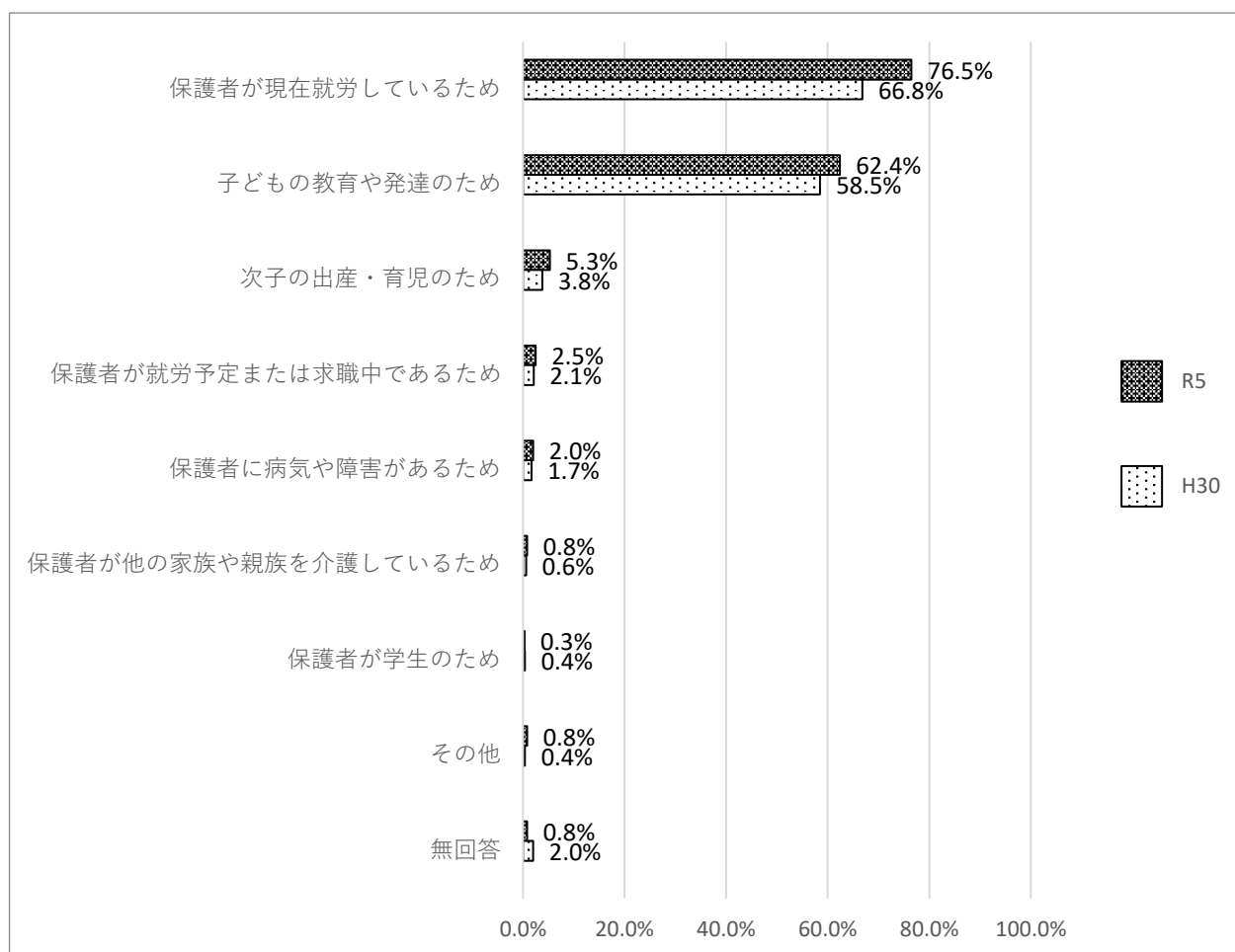
（２）定期的な教育・保育事業の利用している主な理由

【問 17 で「１．利用している」と回答した方のみ】

問 18 定期的な教育・保育事業を利用している主な理由について、当てはまる番号すべてに○をつけてください。

問17で「利用している」と回答した人を対象に定期的な教育・保育事業を利用している主な理由を質問したところ、「保護者が現在就労しているため」が76.5%で最も多く、次いで「子どもの教育や発達のため」(62.4%)、「次子の出産・育児のため」(5.3%)の順となった。平成30年度調査との比較では、傾向は変わらないものの、「保護者が現在就労しているため」は10ポイント近く上昇している。(図表４－２－１)

図表４－２－１ 定期的な教育・保育事業の利用している主な理由



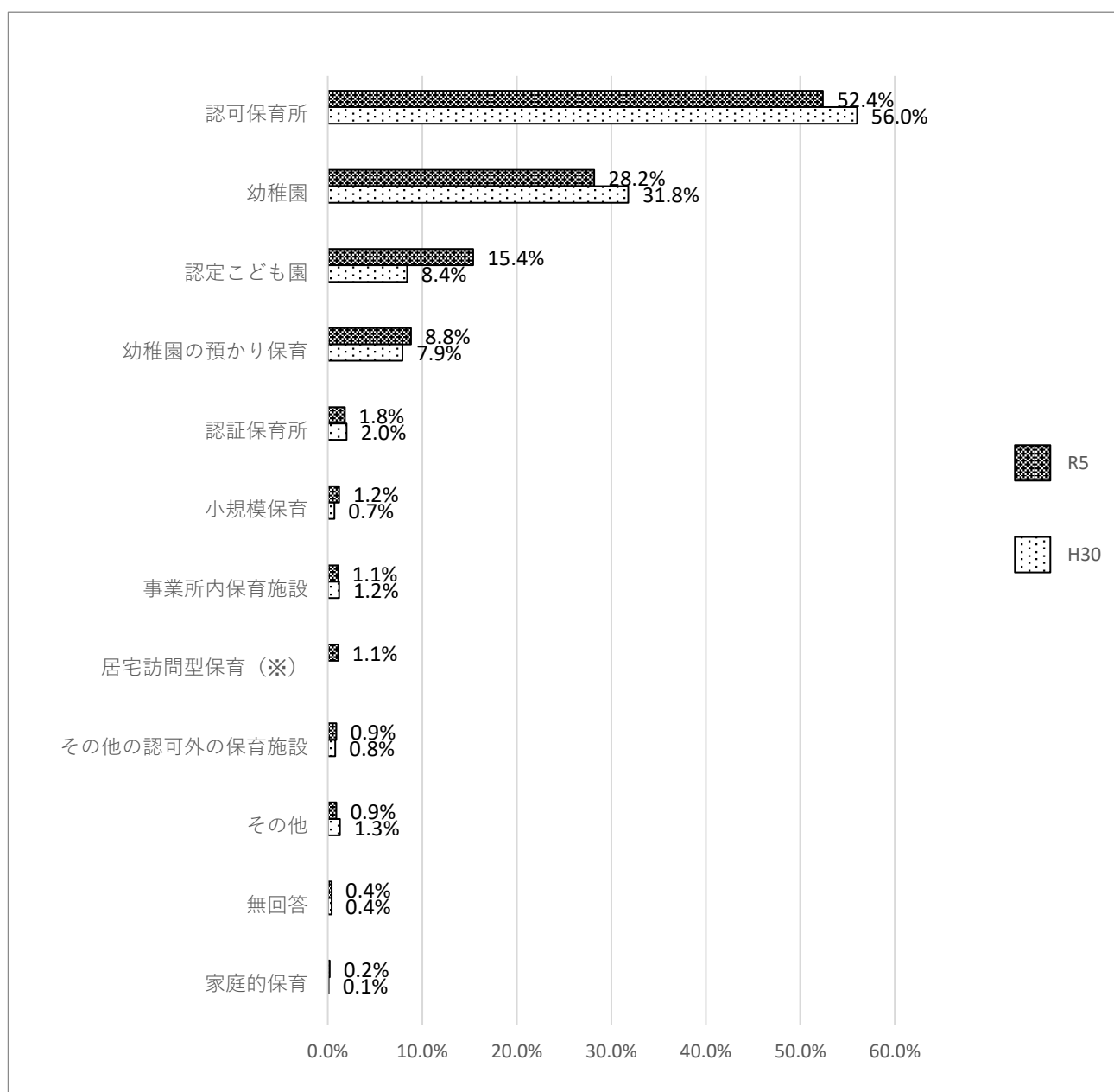
(3) 利用している定期的な教育・保育事業の種類

【問17で「1. 利用している」と回答した方のみ】

問19 利用している教育・保育事業について、当てはまる番号すべてに○をつけてください。

問17で「利用している」と回答した人を対象に利用している定期的な教育・保育事業の種類を質問したところ、「認可保育所」が52.4%で最も多く、次いで「幼稚園」(28.2%)、「認定こども園」(5.3%)の順となった。平成30年度調査と比較すると、「認可保育所」及び「幼稚園」が減少し、「認定こども園」が増加している。(図表4-3-1)

図表4-3-1 利用している定期的な教育・保育事業の種類



※居宅訪問型保育は今回追加した選択肢である

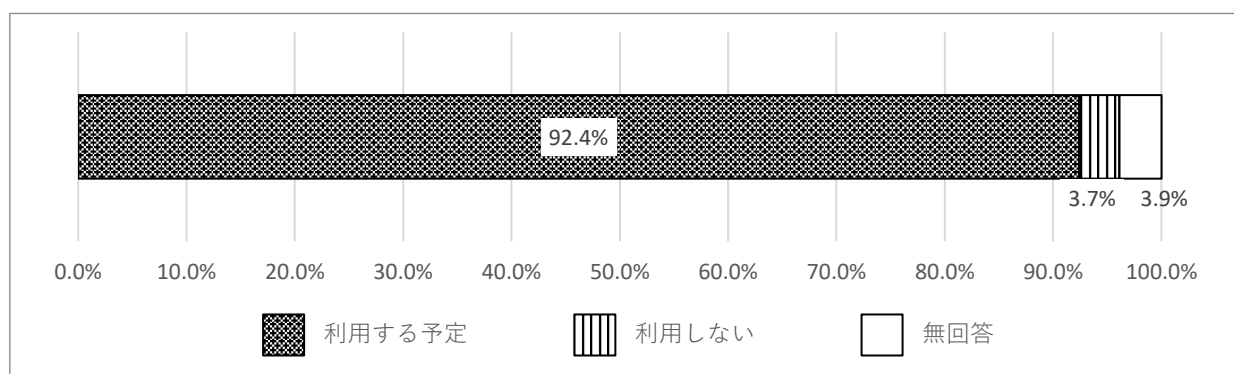
(4) 定期的な教育・保育事業の今後の利用希望

【問17で「2. 利用していない」と回答した方のみ】

問20 宛て名のお子さんが小学校入学までに定期的な教育・保育事業のいずれかを利用する予定はありますか。当てはまる番号1つに○を、□内に数字で記入してください。

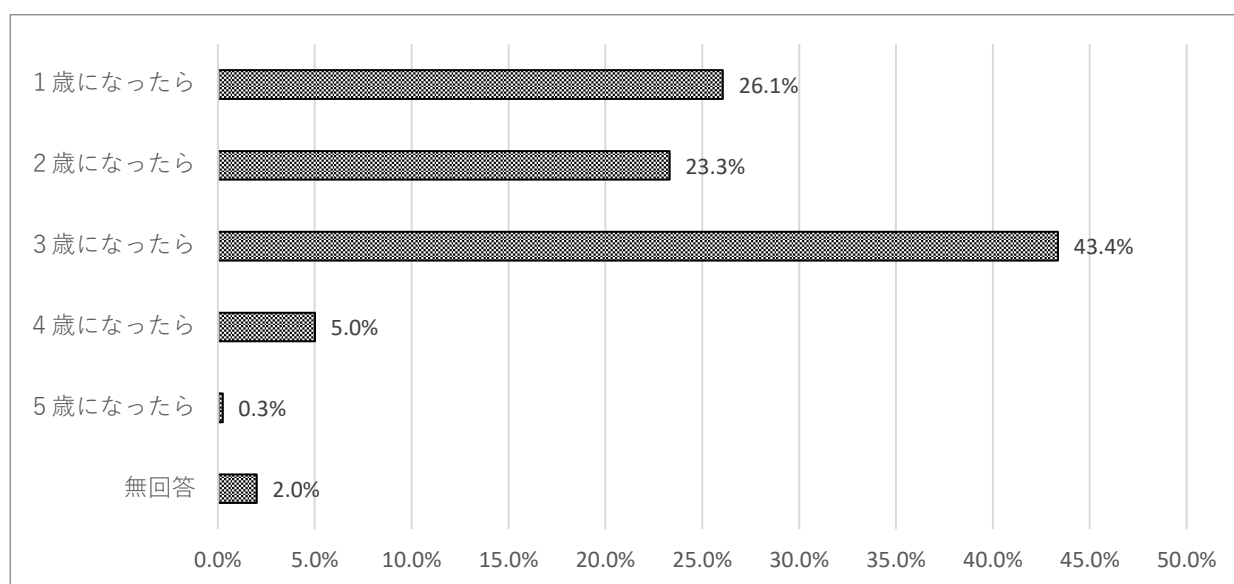
問17で「利用していない」と回答した人を対象に定期的な教育・保育事業の利用予定を質問したところ、「利用する予定」が92.4%、「利用しない」が3.7%となった。(図表4-4-1)

図表4-4-1 定期的な教育・保育事業の今後の利用希望



「利用する予定」と答えた人に子どもが何歳になったら利用したいか聞いたところ、「3歳になったら」が43.4%で最も多く、次いで「1歳になったら」(26.1%)、「2歳になったら」(23.3%)の順となった。(図表4-4-2)

図表4-4-2 定期的な教育・保育事業の利用を今後希望する人の利用開始希望時期

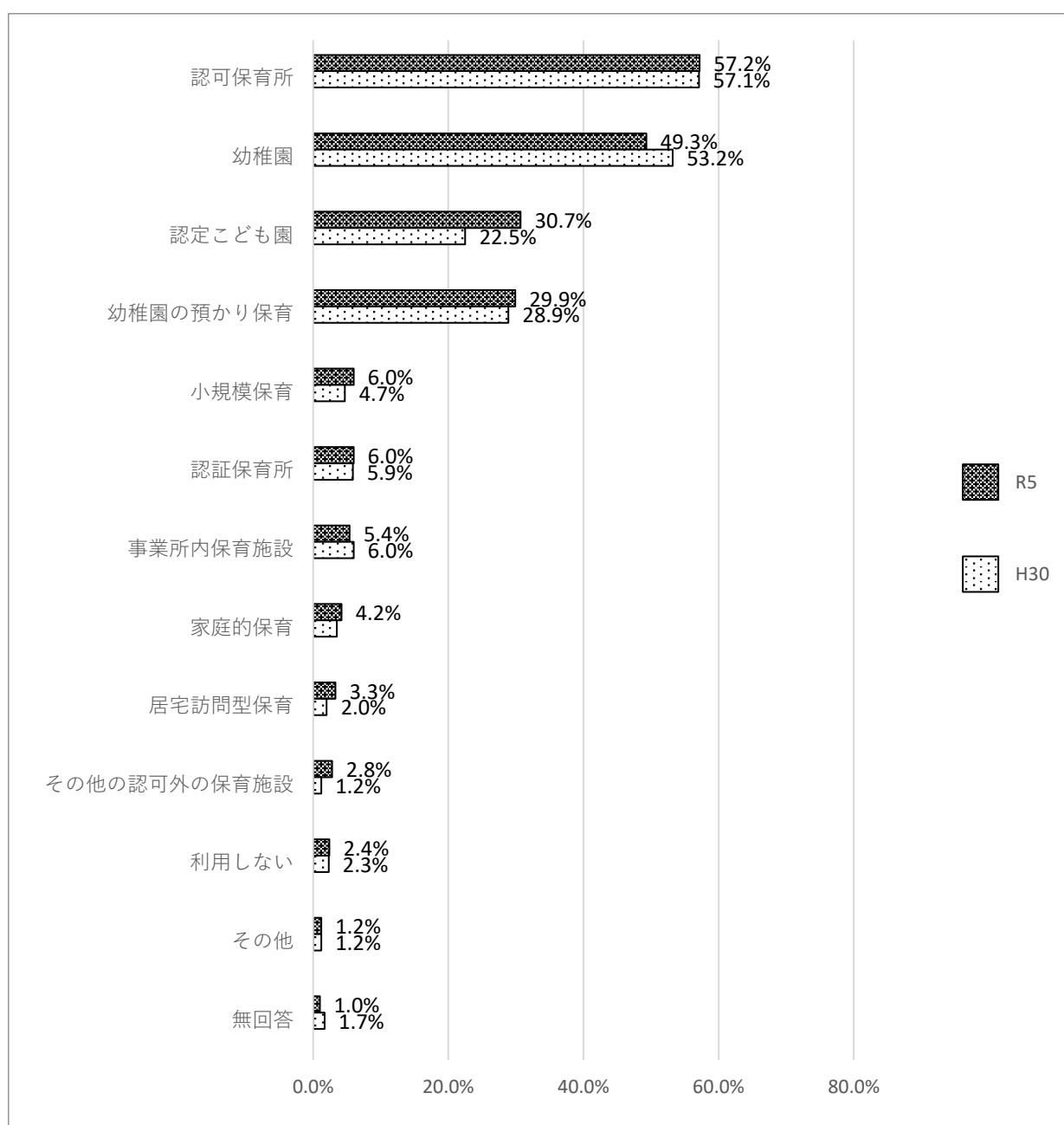


（５）今後利用したい定期的な教育・保育事業の種類

【問 21 現在、利用している、利用していないにかかわらず、宛て名のお子さんの平日の教育・保育として、定期的に利用したい事業について、当てはまる番号すべてに○をつけてください。なお、利用には利用者負担（利用料）がかかります。

現在、利用している、利用していないにかかわらず、子どもの平日の教育・保育として定期的に利用したい事業は何かを質問したところ、「認可保育所」が57.2%で最も多く、次いで「幼稚園」（49.3%）、「認定こども園」（30.7%）の順となった。平成30年度と比較すると「幼稚園」が減少し、「認定こども園」が増加している。（図表４－５－１）

図表４－５－１ 今後利用したい定期的な教育・保育事業の種類



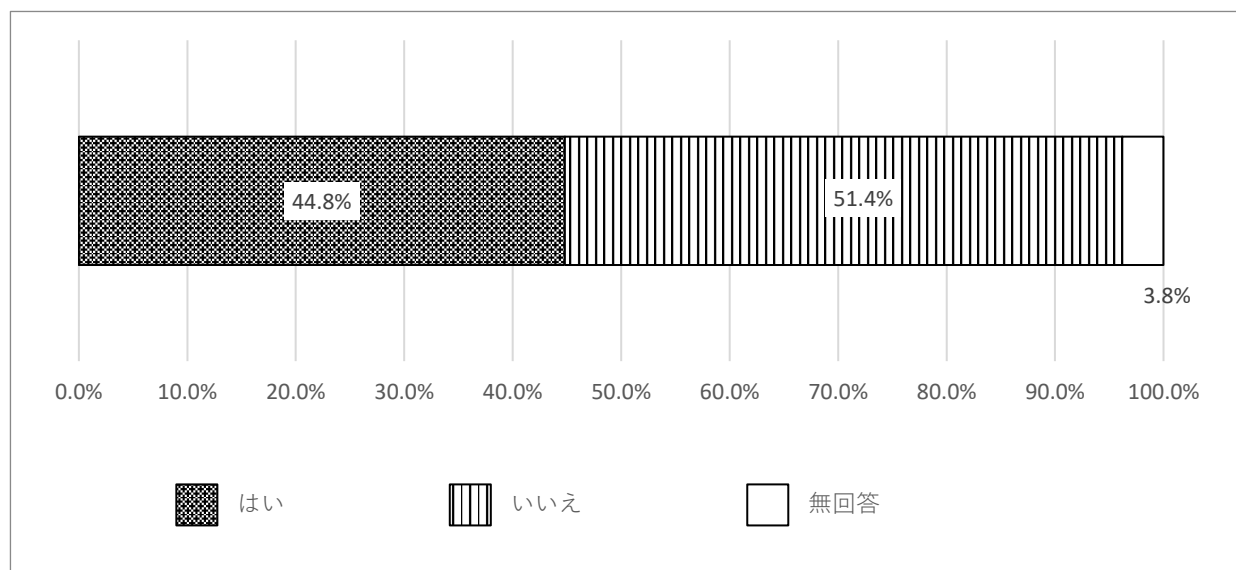
(6) 幼稚園の利用希望

問 22 問 21 で「1. 幼稚園」または「2. 幼稚園の預かり保育」に○をつけ、かつ3～11にも○をつけた方にうかがいます。特に幼稚園の利用を強く希望しますか。当てはまる番号に○をつけてください。

問21で「幼稚園」または「幼稚園の預かり保育」かつその他の事業の利用を希望する人に幼稚園の利用を強く希望するかを質問したところ、「はい」が44.8%、「いいえ」が51.4%となった。

(図表 4－6－1)

図表 4－6－1 幼稚園の利用希望



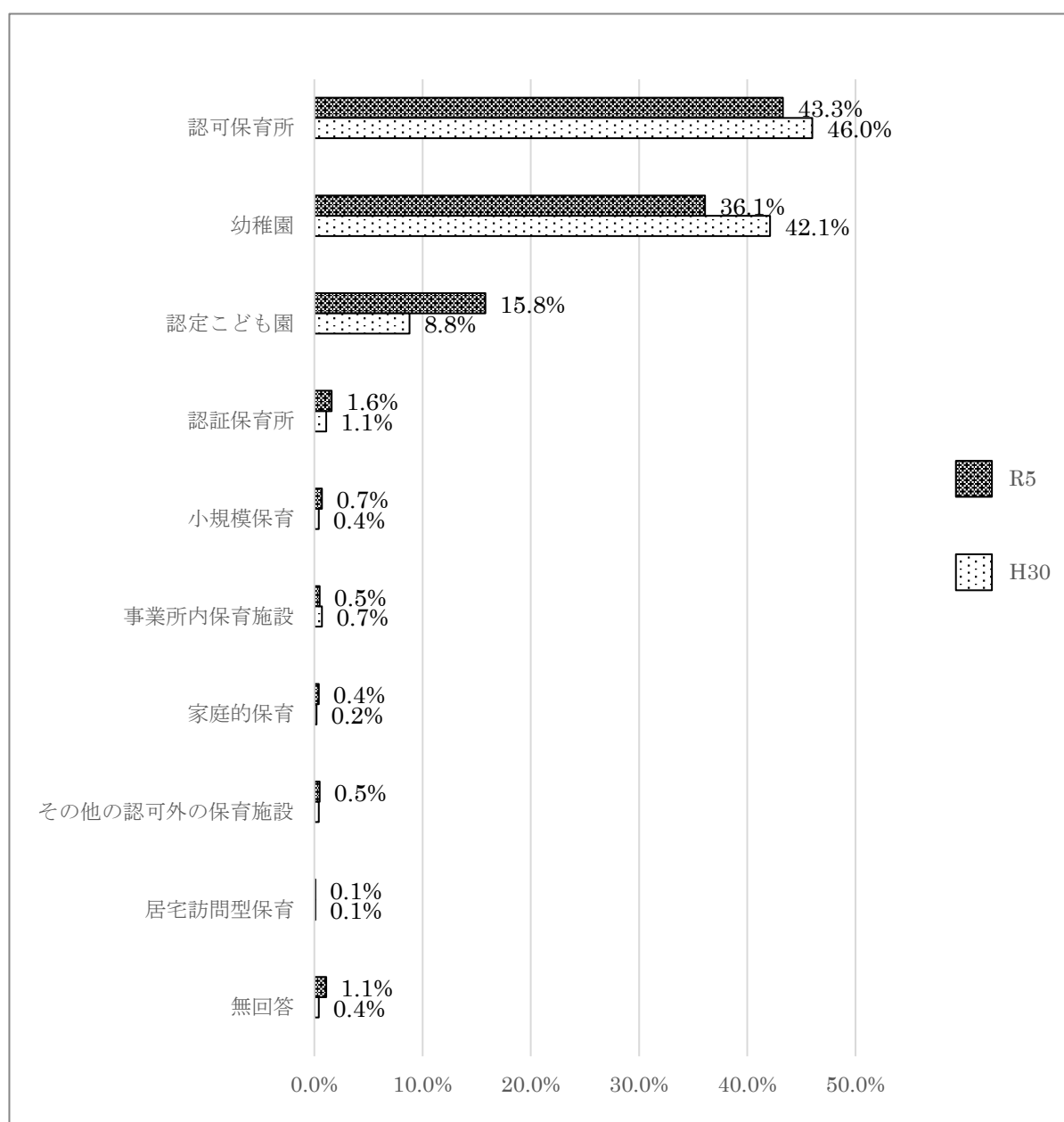
(7) 平日の教育・保育として、最も利用したい事業

【問21で「1」～「10」のいずれかを回答した方のみ】

問23 宛て名のお子さんの平日の教育・保育として、最も利用したい事業の番号1つに○をつけてください。

問21で各事業の利用を希望する人に最も利用したい事業を質問したところ、「認可保育所」が43.3%で最も多く、次いで「幼稚園」(36.1%)、「認定こども園」(15.8%)の順となった。平成30年度調査と比較すると、「認可保育所」及び「幼稚園」が減少し、「認定こども園」が増加している。(図表4-7-1)

図表4-7-1 平日の教育・保育として、最も利用したい事業



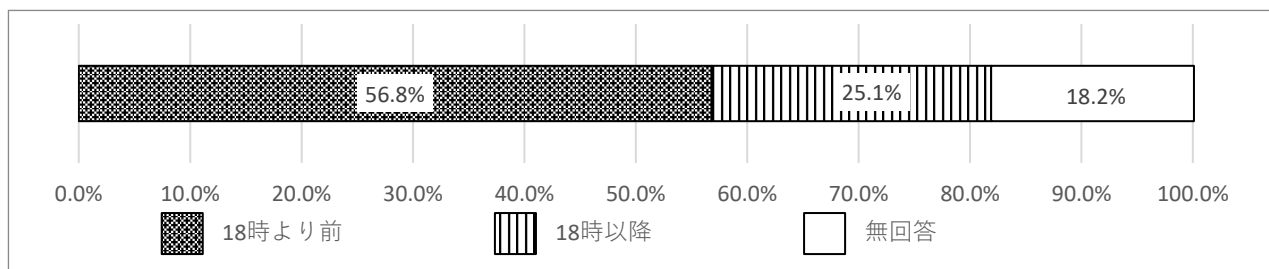
(8) 希望するお迎えの時間

【問 21 で「3」～「9」のいずれかを回答した方のみ】

問 24 希望するお迎えの時間について、該当する番号 1 つに○をつけてください。

問21で「幼稚園」、「幼稚園の預かり保育」以外の各施設を利用したいと答えた人に希望するお迎えの時間を質問したところ、「18時より前」が56.8%、18時以降が25.1%となった。(図表 4－8－1)

図表 4－8－1 希望するお迎えの時間



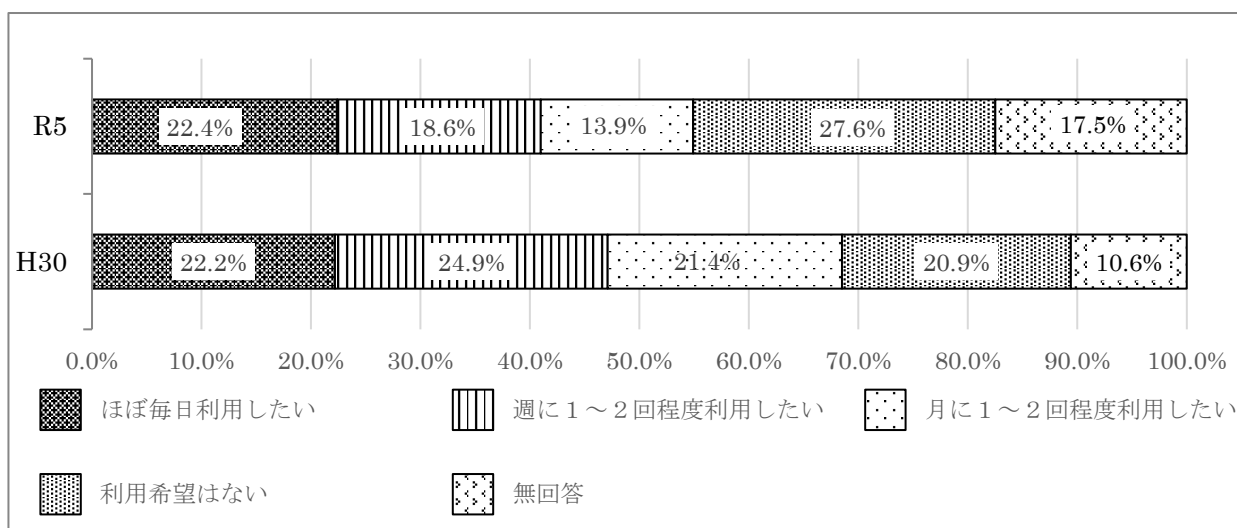
(9) 夜間の定期的な教育・保育事業の利用希望

【問 24 で「2. 18 時以降」と回答した方のみ】

問 25 保育園等の延長保育以降も、夜間に定期的な教育・保育事業があった場合、利用したいですか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。なお、利用には利用者負担（利用料）がかかります。

問24で「18時以降」と回答した人に夜間の定期的な教育・保育事業があった場合の利用希望を質問したところ、「ほぼ毎日利用したい」が22.4%、「週に1～2回程度利用したい」が18.6%、「月に1～2回程度利用したい」が13.9%、「利用希望はない」が27.6%となった。平成30年度調査と比較すると、「週に1～2回程度利用したい」及び「月に1～2回程度利用したい」が減少し、「利用希望はない」が増加している。(図表 4－9－1)

図表 4－9－1 夜間の定期的な教育・保育事業の利用希望



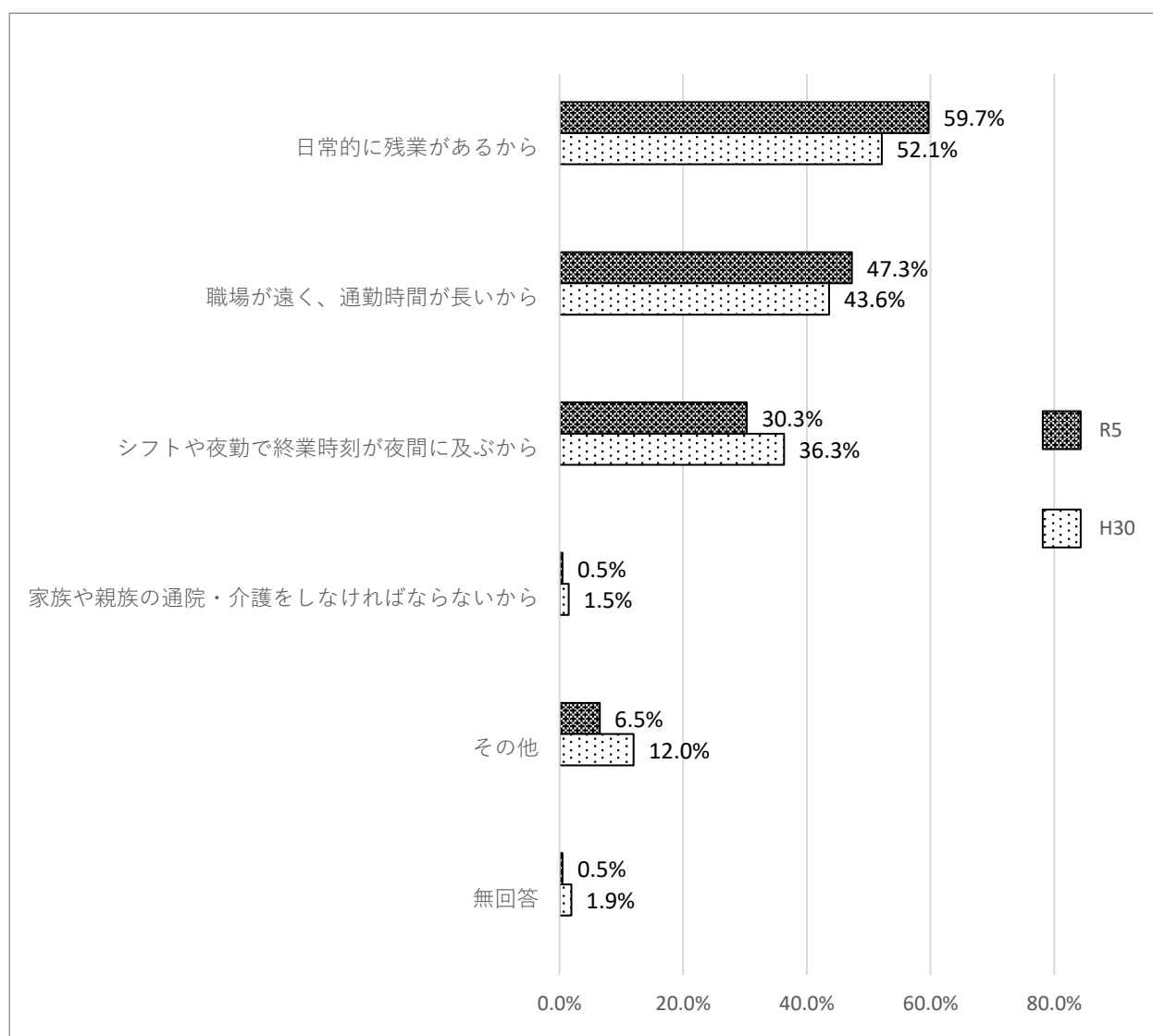
(10) 夜間の定期的な教育・保育事業を利用したい理由

【問 25 で「1」～「3」のいずれかを回答した方のみ】

問 26 利用したい理由について、当てはまる番号すべてに○をつけてください。

問25で「ほぼ毎日利用したい」、「週に1～2回程度利用したい」、「月に1～2回程度利用したい」と回答した人に利用したい理由を質問したところ、「日常的に残業があるから」が59.7%で最も高く、次いで「職場が遠く、通勤時間が長いから」(47.3%)、「シフトや夜勤で就業時間が夜間に及ぶから」(30.3%)の順となった。平成30年度調査と比較すると、傾向に大きな変化は見られないが、「日常的に残業があるから」及び「職場が遠く、通勤時間が長いから」が増加し、「シフトや夜勤で終業時刻が夜間に及ぶから」が増加した。(図表4-10-1)

図表 4-10-1 夜間の定期的な教育・保育事業を利用したい理由



5. 土曜・日曜・祝日や長期休暇中の定期的な教育・保育事業の利用状況について

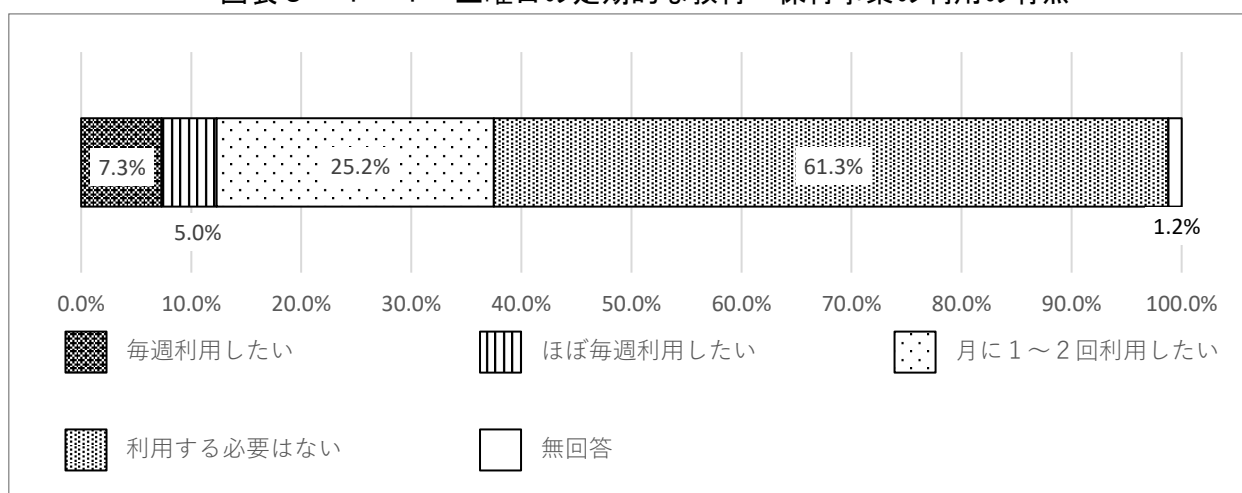
(1) 定期的な教育・保育事業の利用の有無

問 27 宛て名のお子さんの土曜日、日曜日・祝日における定期的な教育・保育事業の利用希望についてうかがいます。

(1) 利用希望について、当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

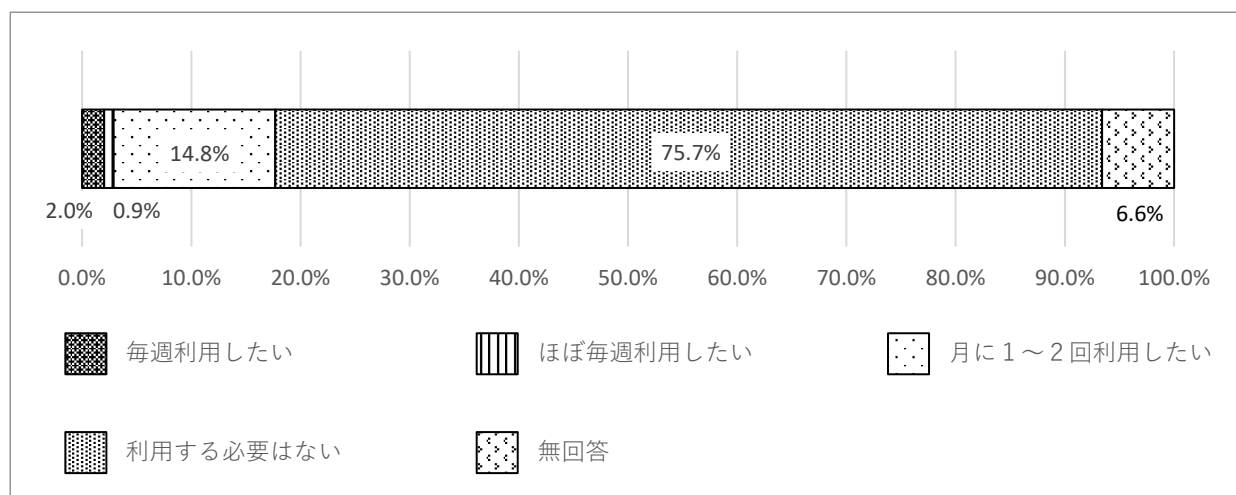
土曜日における定期的な教育・保育事業の利用希望を質問したところ、「毎週利用したい」が 7.3%、「ほぼ毎週利用したい」が 5.0%、「月に 1 ～ 2 回程度利用したい」が 25.2%、「利用する必要はない」が 61.3% となった。(図表 5－1－1)

図表 5－1－1 土曜日の定期的な教育・保育事業の利用の有無



日曜日・祝日における定期的な教育・保育事業の利用希望を質問したところ、「毎週利用したい」が 2.0%、「ほぼ毎週利用したい」が 0.9%、「月に 1 ～ 2 回程度利用したい」が 14.8%、「利用する必要はない」が 75.7% となった。(図表 5－1－2)

図表 5－1－2 日曜日・祝日の定期的な教育・保育事業の利用の有無



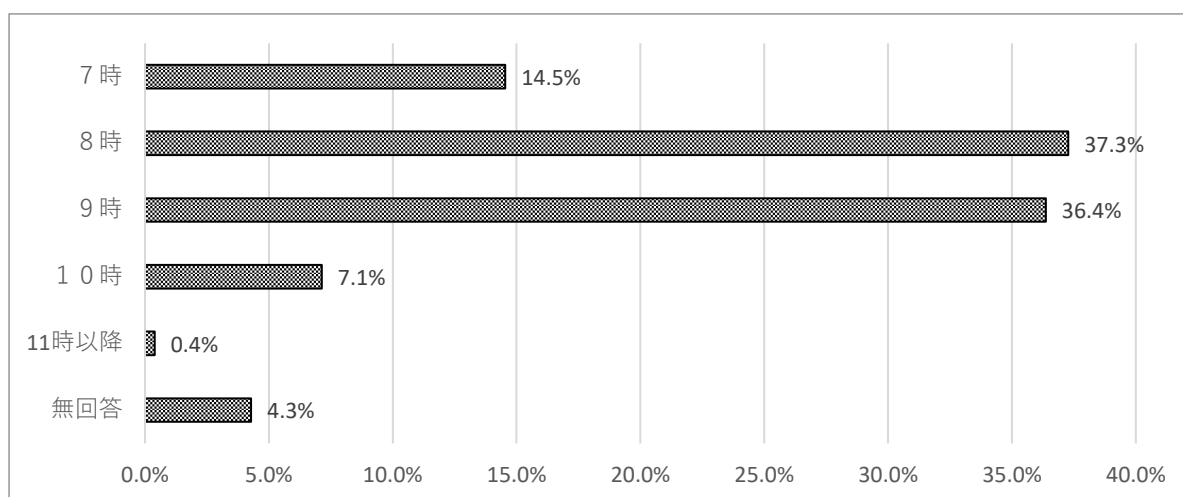
(2) 定期的な教育・保育事業の利用希望時間帯

問 27 宛て名のお子さんの土曜日、日曜日・祝日における定期的な教育・保育事業の利用希望についてうかがいます。

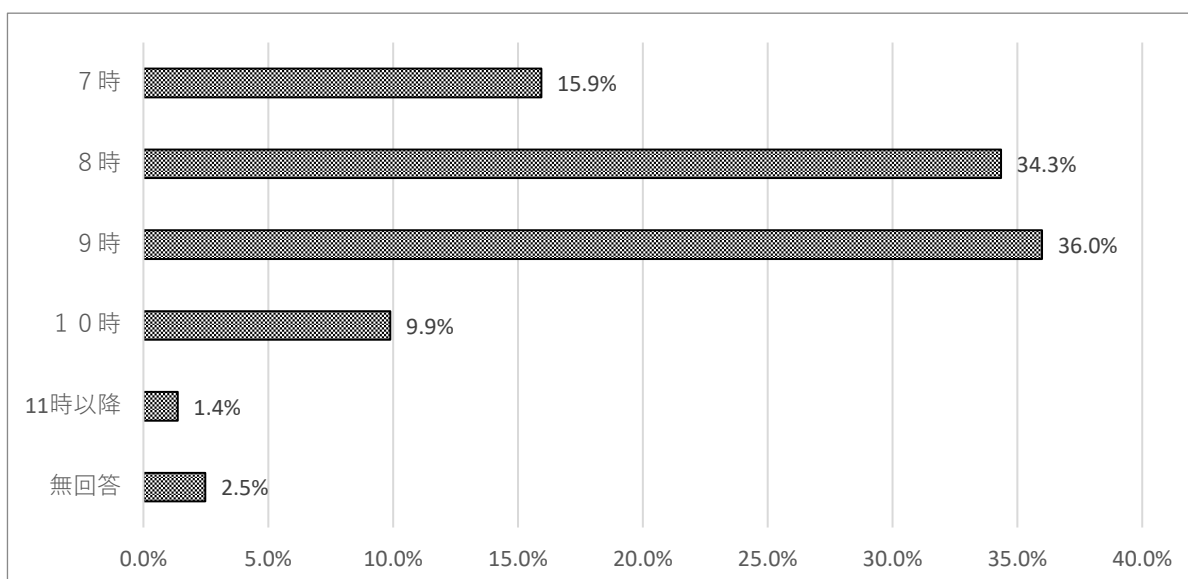
(2) 利用する場合、何時から何時まで利用したいですか。口内に 24 時間表記でご記入ください。

土曜日・日曜日・祝日における定期的な教育・保育事業の利用希望を質問したところ、「毎週利用したい」、「ほぼ毎週利用したい」、「月に 1～2 回程度利用したい」と答えた人にそれぞれの利用希望時間帯を質問したところ、開始時刻では「8 時」(土曜日 37.3%、日曜日・祝日 34.3%)と 9 時「土曜日 36.4%、日曜日 36.0%」が 3 割台で高くなっている。(図表 5－2－1、5－2－2)

図表 5－2－1 土曜日の利用開始希望時間帯

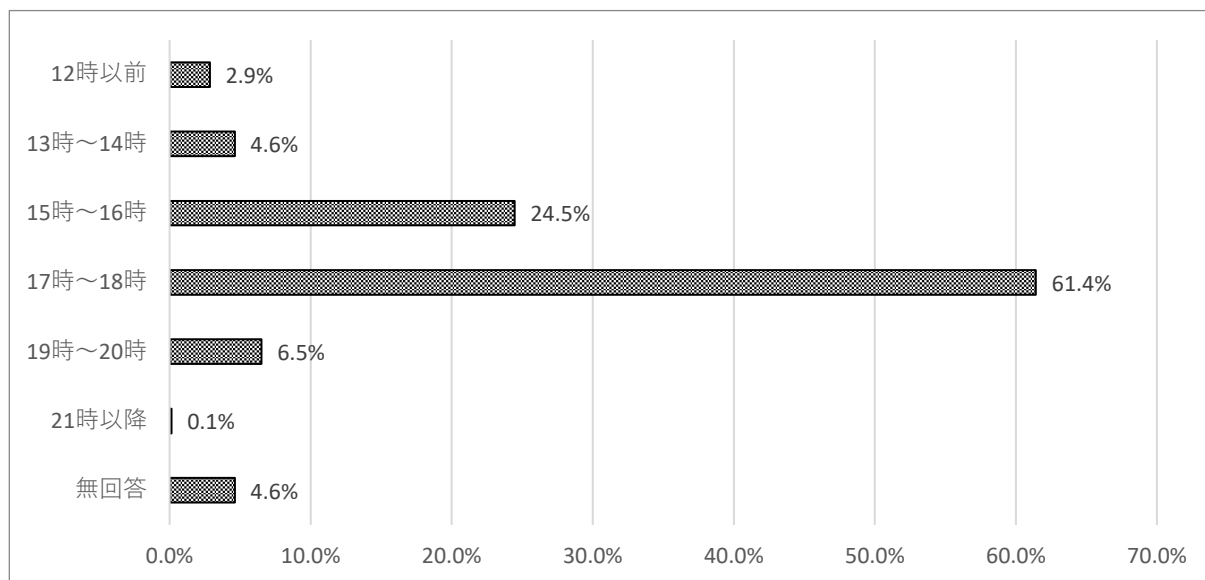


図表 5－2－2 日曜日・祝日の利用開始希望時間帯

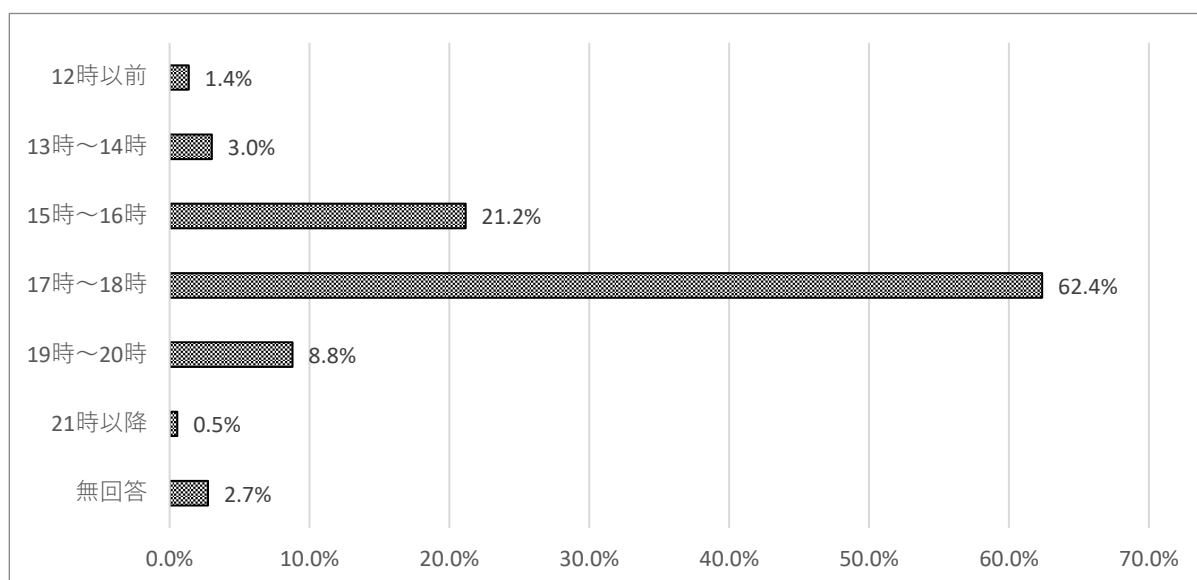


また、終了時刻では「17時～18時」（土曜日61.4%、日曜日・祝日62.4%）が6割台で最も高く、次いで「15時～16時」（土曜日24.5%、日曜日・祝日21.2%）の順となっている。（図表5－2－3、5－2－4）

図表5－2－3 土曜日の利用終了希望時間帯



図表5－2－4 日曜日・祝日の利用終了希望時間帯



(3) 長期休暇期間中の利用の有無

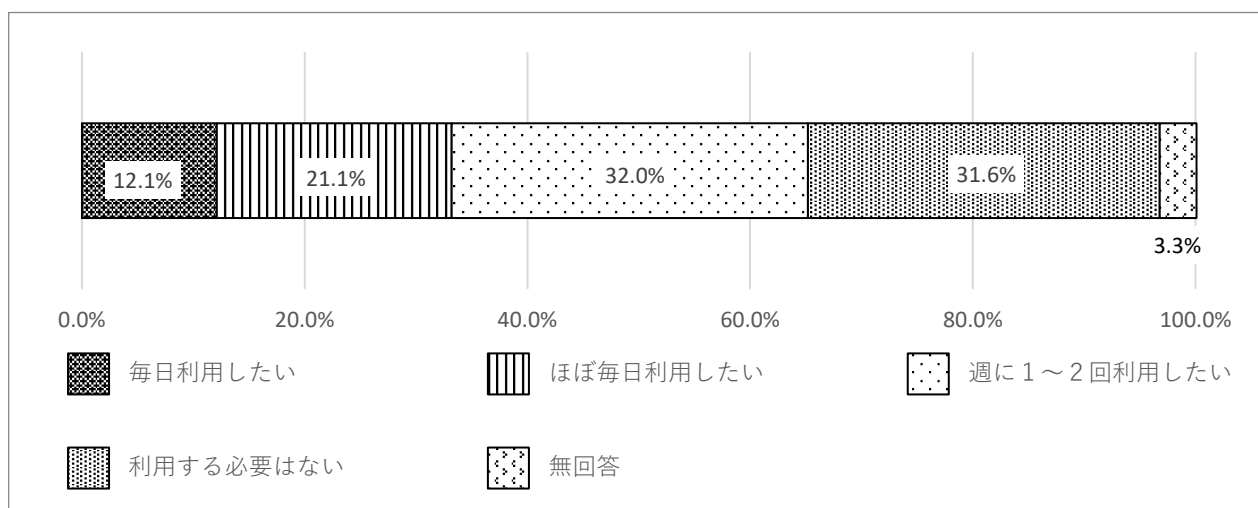
【問 19 で、定期的に「1. 幼稚園」を利用していると回答した方のみ】

問 28 宛て名のお子さんの長期休暇期間中（夏休みや冬休みなど）における定期的な教育・保育事業のいずれかの事業の利用希望についてうかがいます。

(1) 利用希望について、当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

定期的に「幼稚園」を利用していると答えた人に、長期休暇期間中の定期的な教育・保育事業の利用希望を質問したところ、「毎日利用したい」が12.1%、「ほぼ毎日利用したい」が21.1%、「週に1～2回利用したい」が32.0%、「利用する必要はない」が31.6%となった。(図表5-3-1)

図表5-3-1 長期休暇期間中の利用の有無



(4) 長期休暇期間中の利用希望時間帯

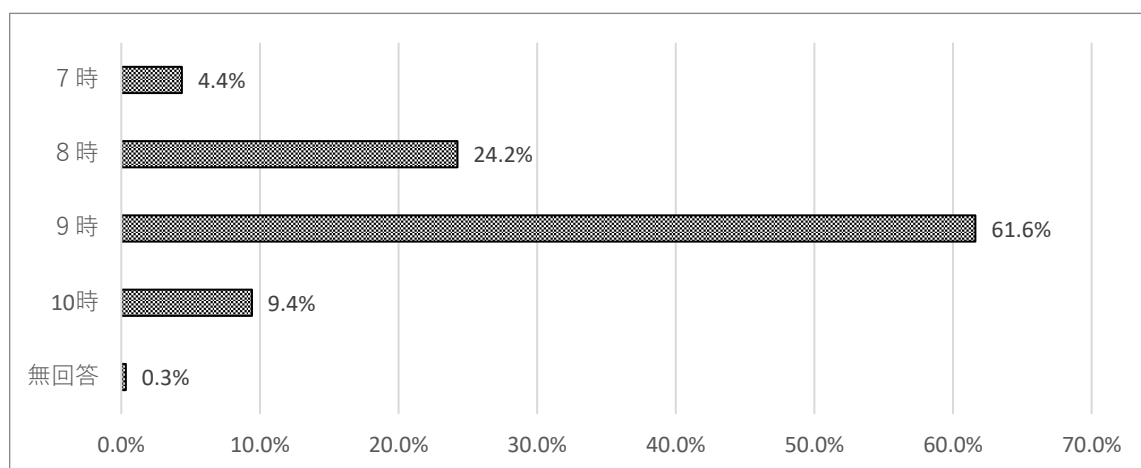
【問 19 で、定期的に「1. 幼稚園」を利用していると回答した方のみ】

問 28 宛て名のお子さんの長期休暇期間中（夏休みや冬休みなど）における定期的な教育・保育事業のいずれかの事業の利用希望についてうかがいます。

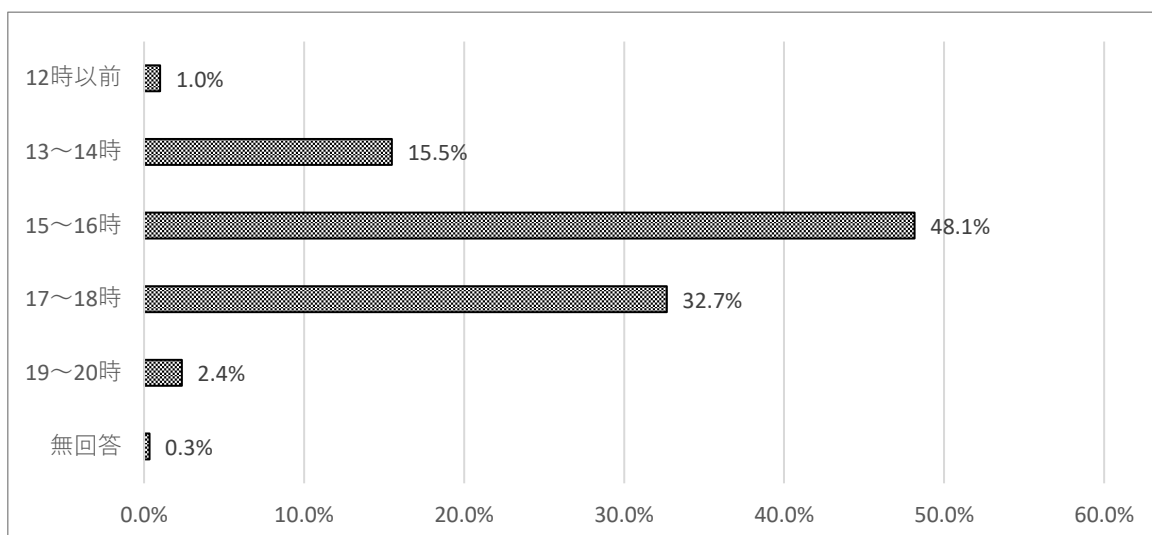
（2）利用する場合、何時から何時まで利用したいですか。口内に 24 時間表記でご記入ください。

定期的に「幼稚園」を利用していて、長期休暇期間中に定期的な教育・保育事業を「毎日利用したい」、「ほぼ毎日利用したい」、「週に 1～2 回利用したい」と回答した人に利用希望時間帯を質問したところ、開始時刻では「9 時」が 61.6% で最も高く、次いで「8 時」(24.2%)、「10 時」(9.4%) の順となっている。終了時刻では、「15 時～16 時」が 48.1% で最も高く、次いで「17 時～18 時」(32.7%)、「13 時～14 時」(15.5%) の順となっている。(図表 5－4－1、5－4－2)

図表 5－4－1 長期休暇期間中の利用開始希望時間帯



図表 5－4－2 長期休暇期間中の利用終了希望時間帯



6 . 子どもが病気やけがの時の対応

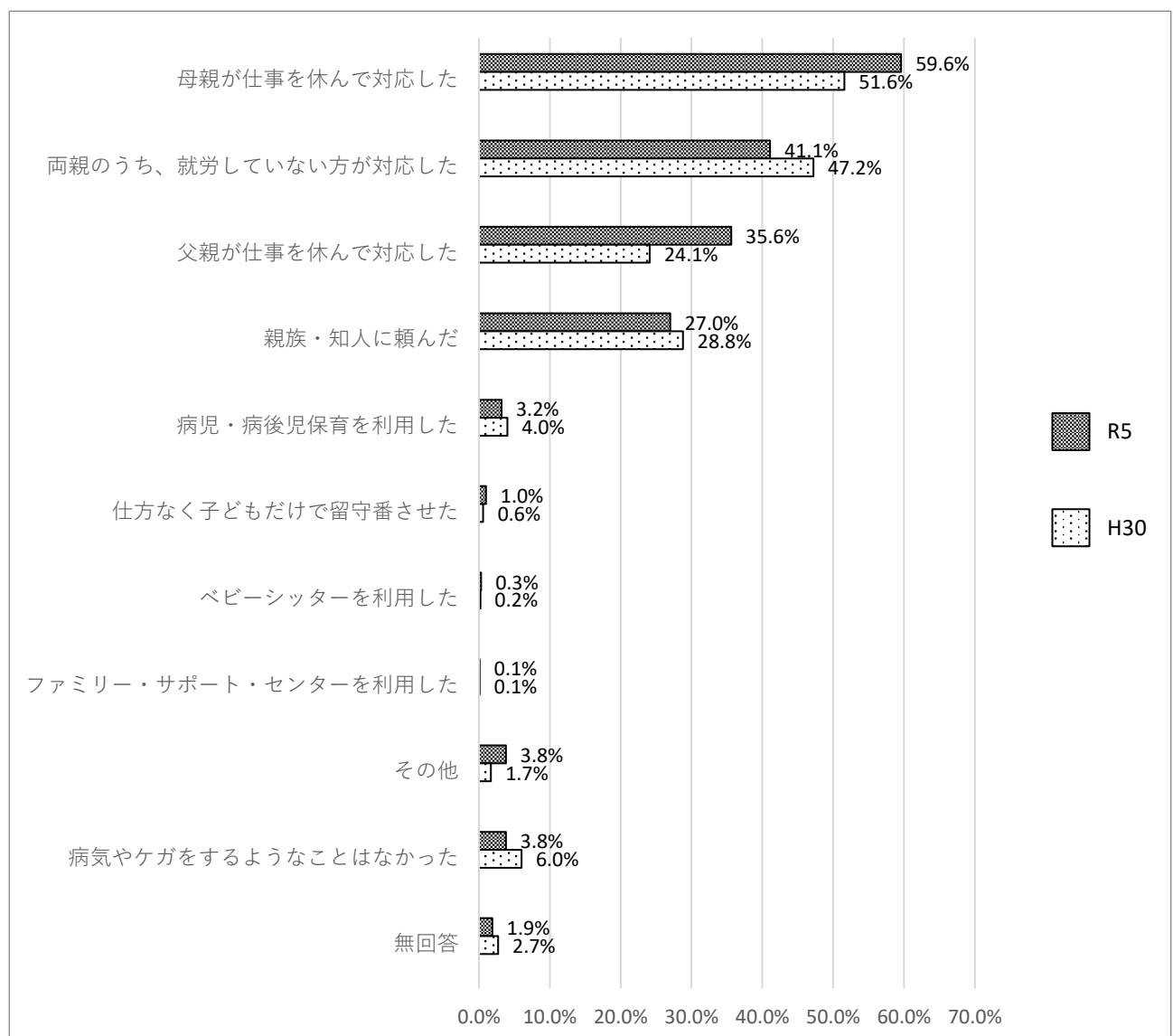
(1) 子どもが病気やけがの時の対処方法

問 29 宛て名のお子さんが病気になったり、けがをした時の対処方法についてうかがいます。

(1) 対処方法として当てはまる番号すべてに○をつけてください。

子どもが病気になったり、けがをしたりした時の対処方法を聞いたところ、「母親が仕事を休んで対応した」が59.6%で最も高く、次いで「両親のうち、就労していないほうが対応した」(41.1%)、「父親が仕事を休んで対応した」(35.6%)、「親族・知人に頼んだ」(27.0%)の順となっている。平成30年度調査と比較すると、「母親が仕事を休んで対応した」、「父親が仕事を休んで対応した」が増加し、「両親のうち、就労していないほうが対応した」が減少している。(図表6-1-1)

図表 6-1-1 子どもが病気やけがの時の対処方法



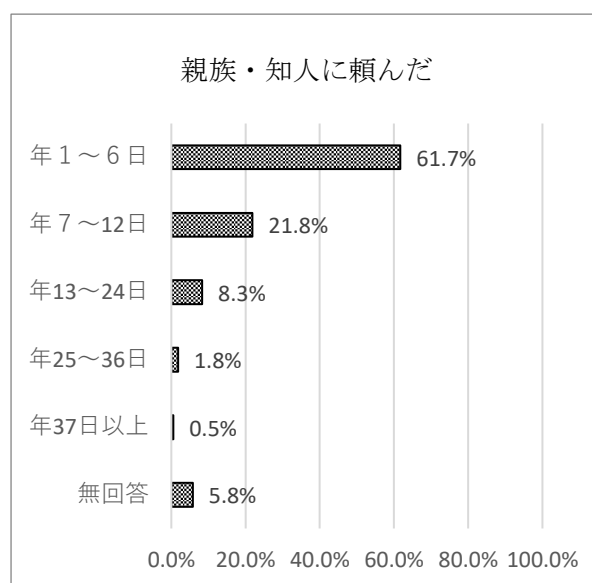
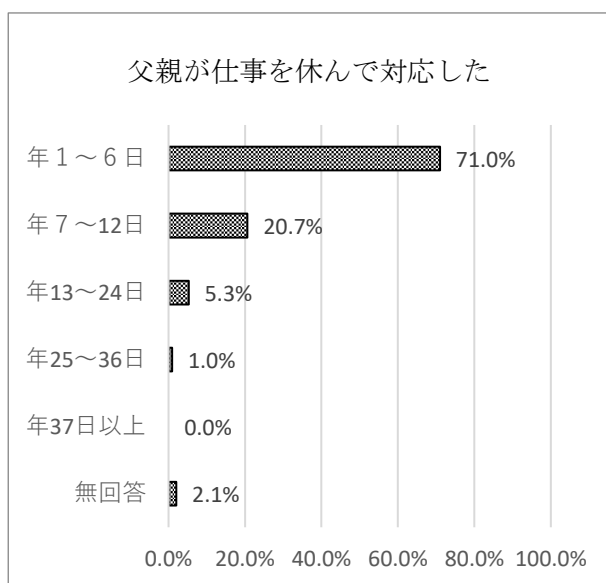
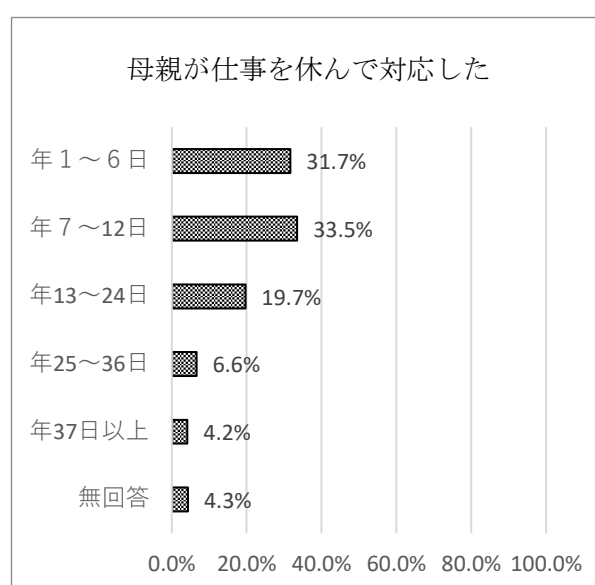
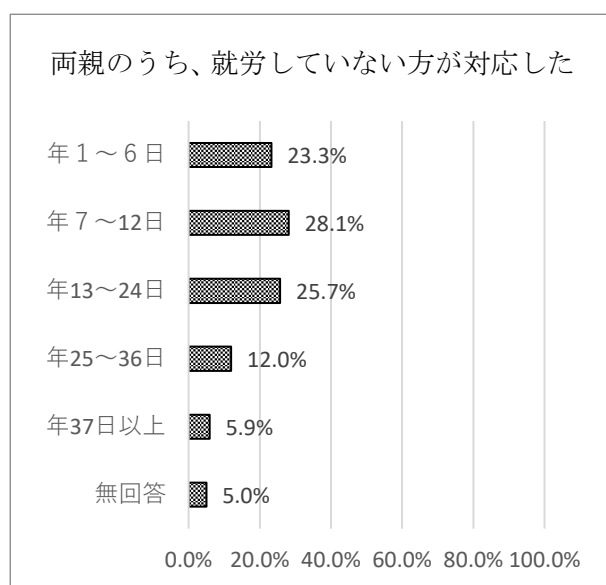
（２）子どもが病気やけがの時に対処した日数

問 29 宛て名のお子さんが病気になったり、けがをした時の対処方法についてうかがいます。

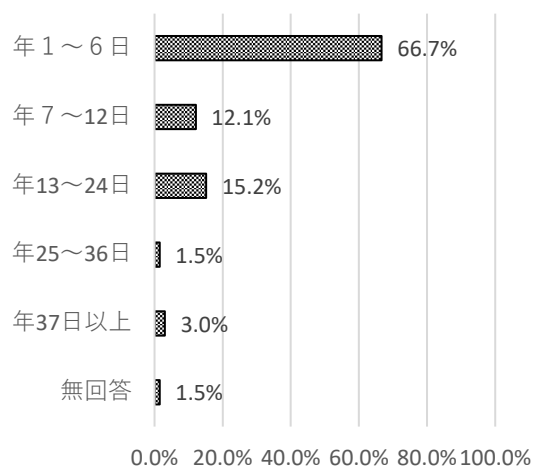
（２）（１）で○をつけた対処方法について、この１年間でおよそ何日ありましたか。□内に数字でご記入ください。

子どもが病気になったり、けがをしたりした時の対処方法を回答した人に、それぞれの対処方法がこの１年間でおよそ何日あったか質問したところ、以下の結果となった。（図表６－１－１）

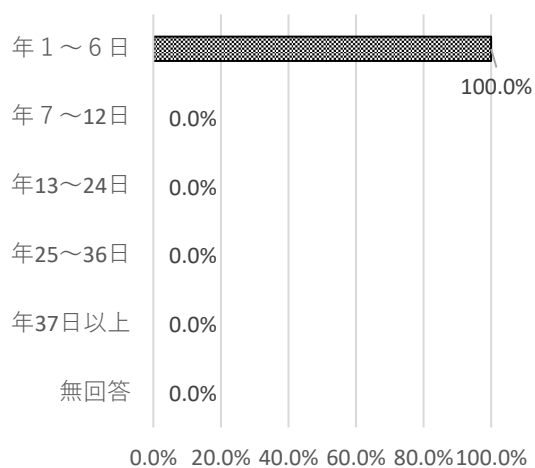
図表６－２－１ 子どもが病気やけがの時に対処した日数



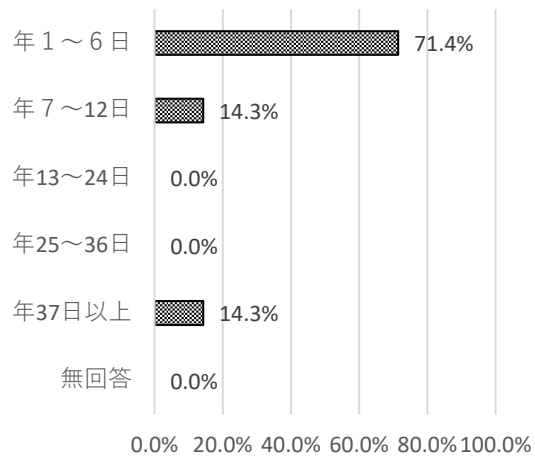
病児・病後児保育を利用した



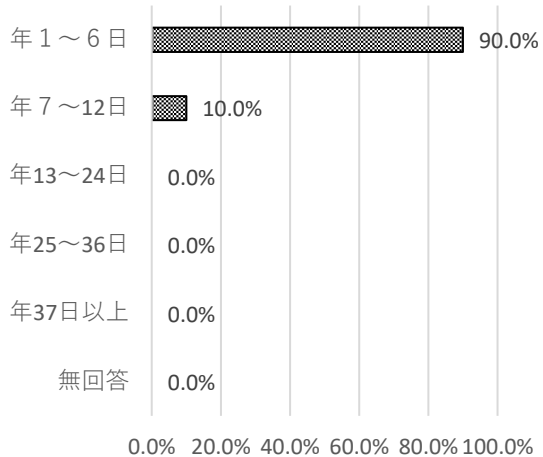
ファミリー・サポート・センターを利用した



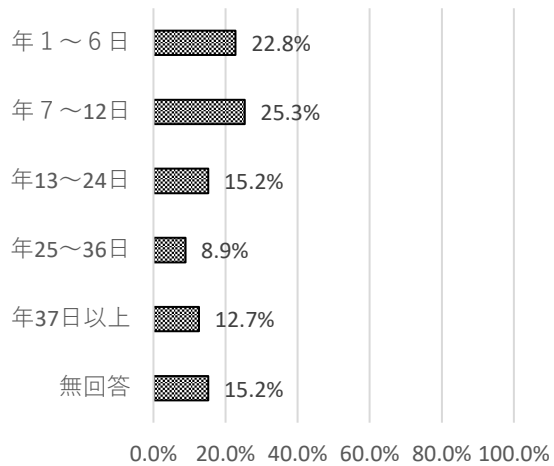
ベビーシッターを利用した



仕方なく子どもだけで留守番させた



その他

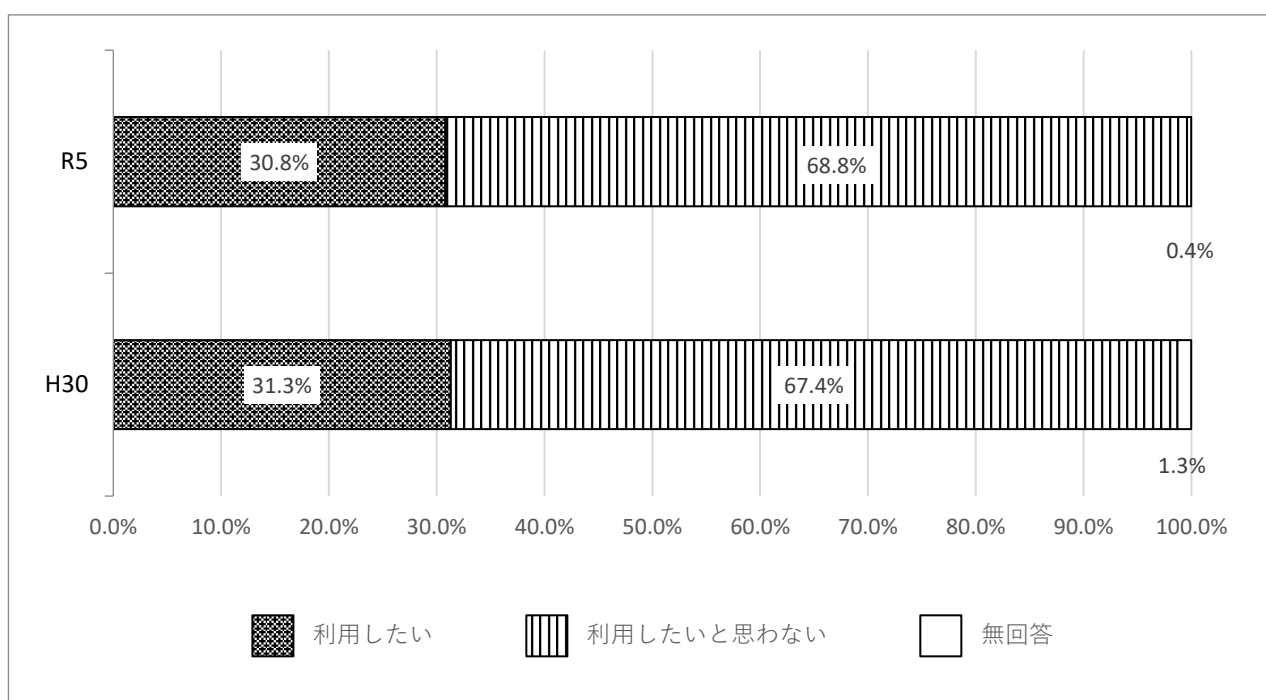


(3) 病児・病後児保育の今後の利用希望

問 30 今後、宛て名のお子さんが病気やけがの時、病児・病後児保育を利用したいですか。当
てはまる番号 1 つに○をつけてください。なお、利用には利用料やかかりつけ医の受診が
必要になります。

今後、子どもが病気やけがの時、病児・病後児保育を利用したいか質問したところ、「利用した
い」が30.8%、「利用したいと思わない」が68.8%となった。平成30年度調査との比較では、大き
な差は見られなかった。(図表 6－3－1)

図表 6－3－1 病児・病後児保育の今後の利用希望



(4) 病児・病後児保育の今後の利用希望日数

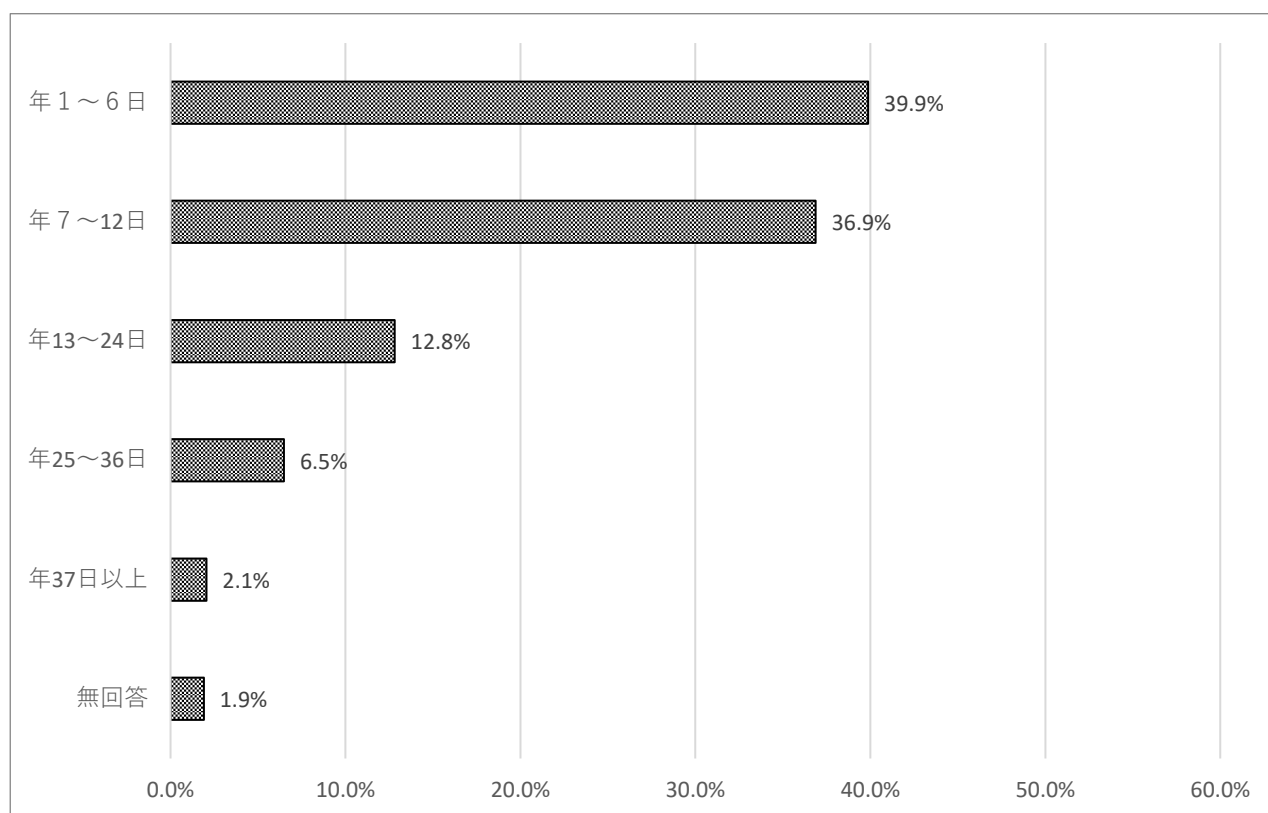
【問 30 で「1. 利用したい」と回答した方のみ】

問 31 病児・病後児保育を利用する場合、1 年間の利用日数は何日程度になると思いますか。

□内に数字でご記入ください。

子どもが病気やけがの時、病児・病後児保育を「利用したい」と回答した人の 1 年間の利用日数は何日程度になるかと思うか質問したところ、「年 1～6 日」が 39.9%で最も高く、次いで「年 7～12 日」(36.9%)、「年 13～24 日」(12.8%) の順となった。(図表 6－4－1)

図表 6－4－1 病児・病後児保育の今後の利用希望日数



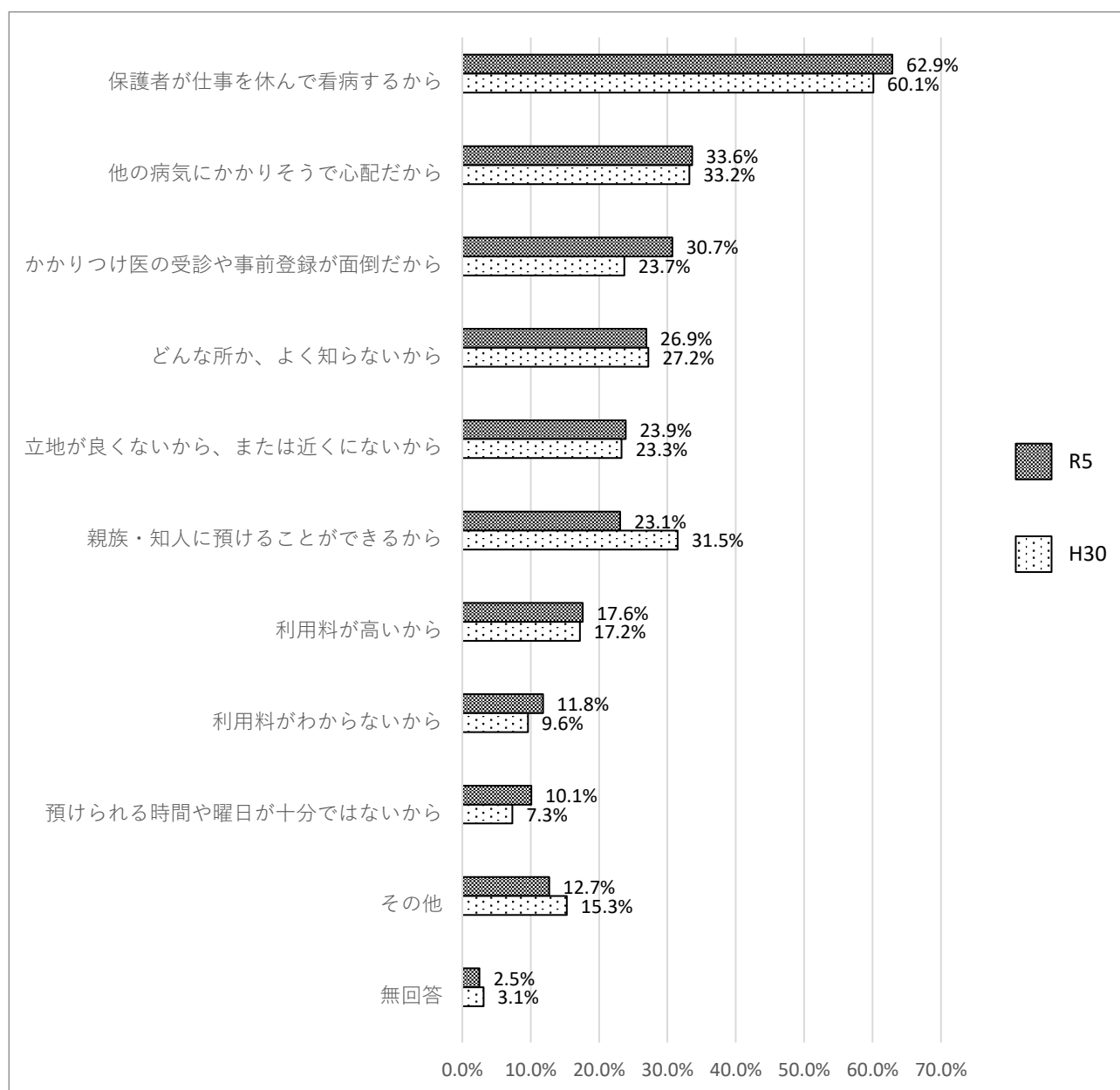
（５）病児・病後児保育を利用したいと思わない理由

【問 30 で「２．利用したいと思わない」と回答した方のみ】

問 32 利用したいと思わない理由について、当てはまる番号すべてに○をつけてください。

今後、子どもが病気やけがの時、病児・病後児保育を「利用したいと思わない」と回答した人にその理由を質問したところ、「保護者が仕事を休んで看病するから」が62.9%で最も高く、次いで、「他の病気にかかりそうで心配だから」（33.6%）、「かかりつけ医の受診や事前登録が面倒だから」（30.7%）の順になっている。（図表 6－5－1）

図表 6－5－1 病児・病後児保育を利用したいと思わない理由



7. 不定期の教育・保育事業の利用状況

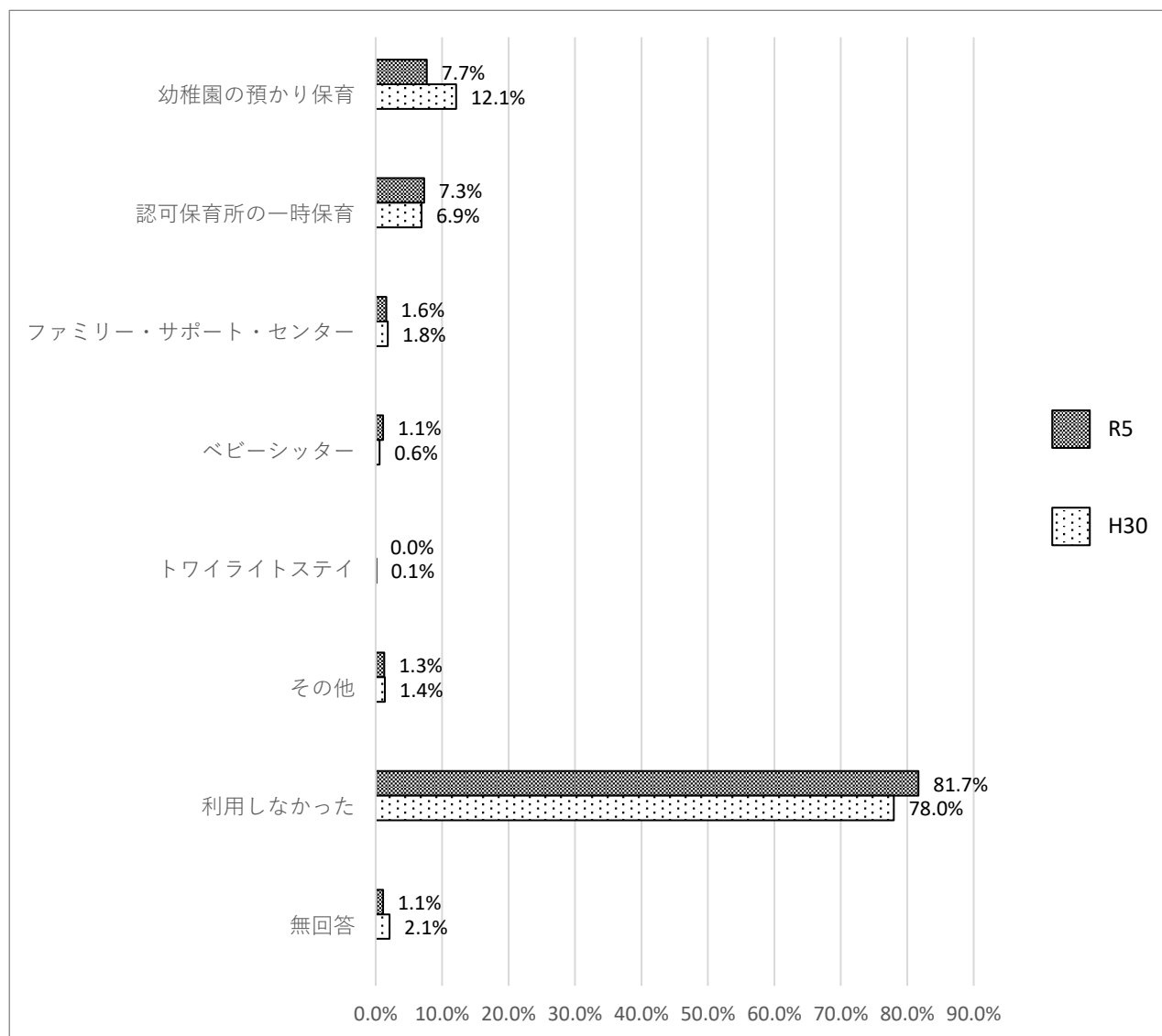
(1) 不定期の教育・保育事業の利用状況

問 33 不定期の教育・保育事業の利用状況についてうかがいます。

(1) 不定期の教育・保育事業について、利用したことがある番号すべてに○をつけてください。

不定期の教育・保育事業について、利用したことがあるものを質問したところ、「幼稚園の預かり保育」が7.7%で最も高く、次いで「認可保育所の一時保育」が7.3%となった。利用しなかったという回答は81.7%となった。平成30年度調査と比較すると、「幼稚園の預かり保育」が減少し、「利用しなかった」が増加している。(図表7-1-1)

図表 7-1-1 不定期の教育・保育事業の利用状況



（２）不定期の教育・保育事業を利用した日数

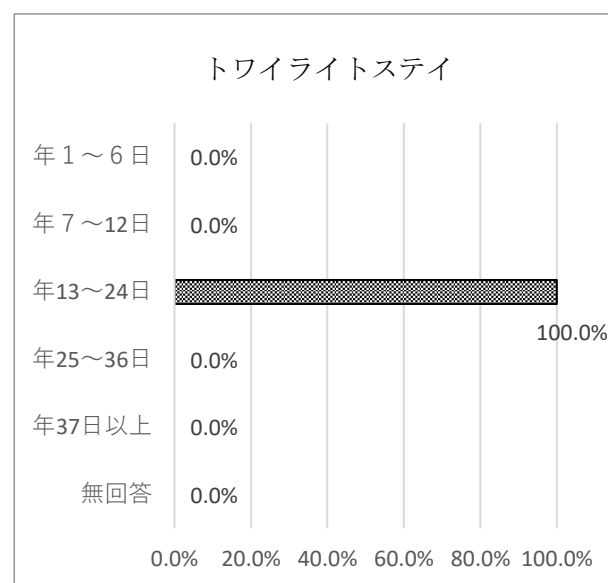
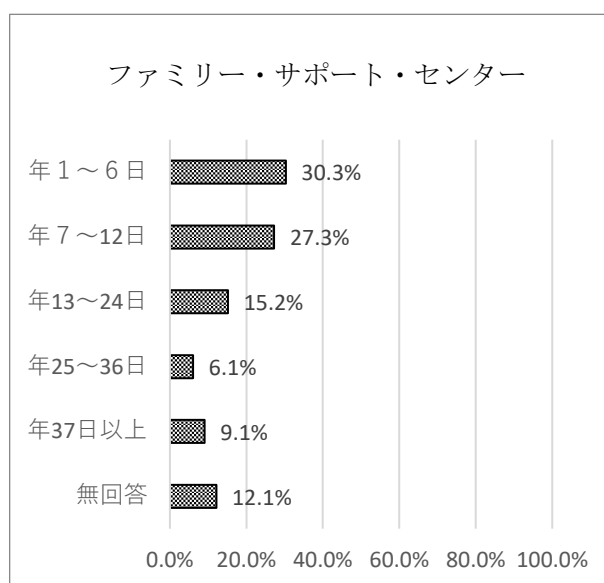
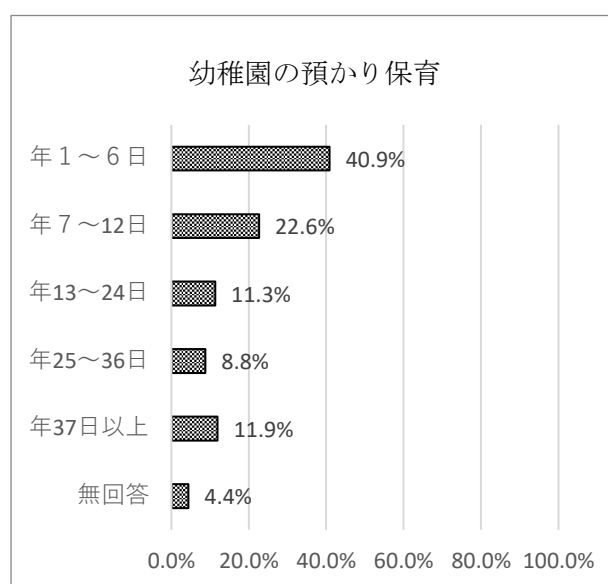
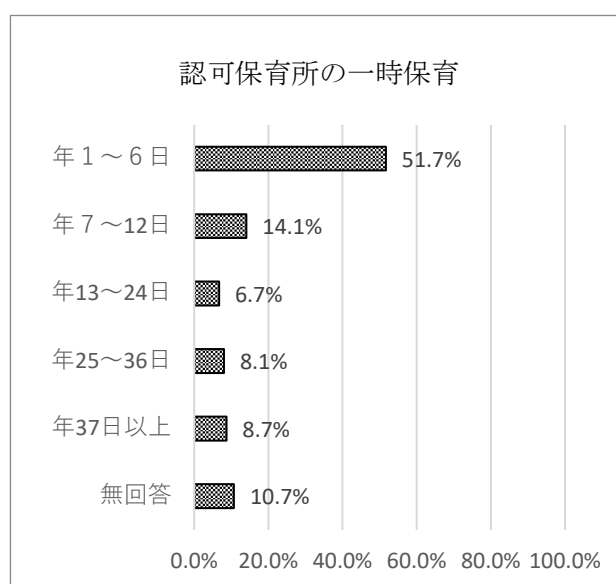
問 33 不定期の教育・保育事業の利用状況についてうかがいます。

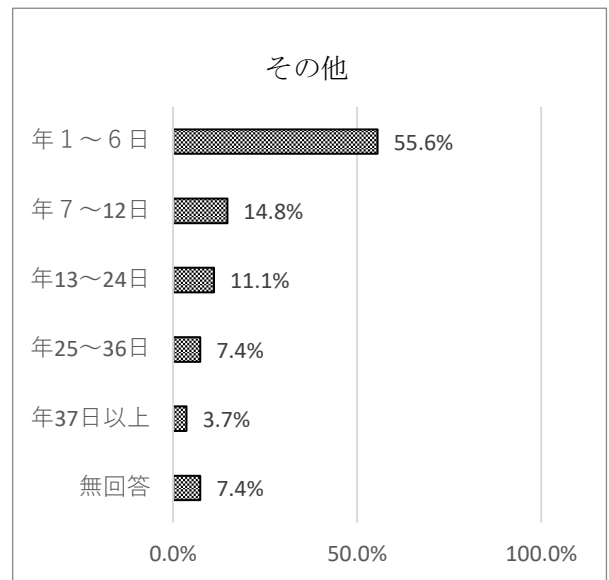
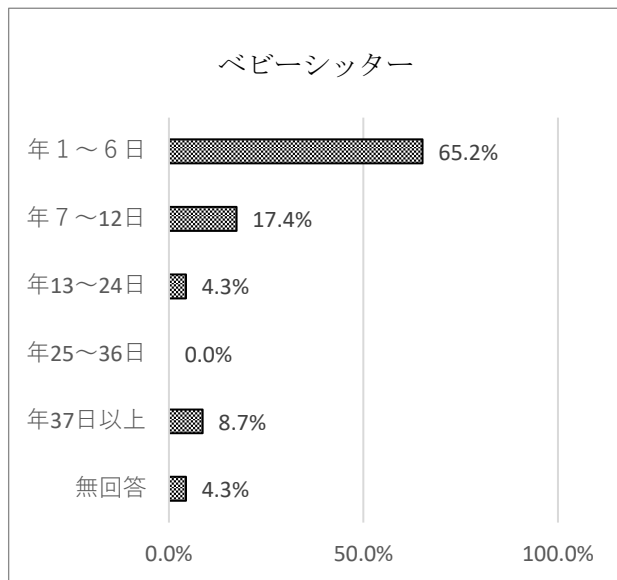
（２）（１）で○をつけた事業について、この１年間でおよそ何日利用しましたか。

□内に数字でご記入ください。

不定期の教育・保育事業についてこの１年間でおよそ何日利用したか質問したところ、以下の結果となった。（図表７－２－１）

図表 ７－２－１ 不定期の教育・保育事業を利用した日数





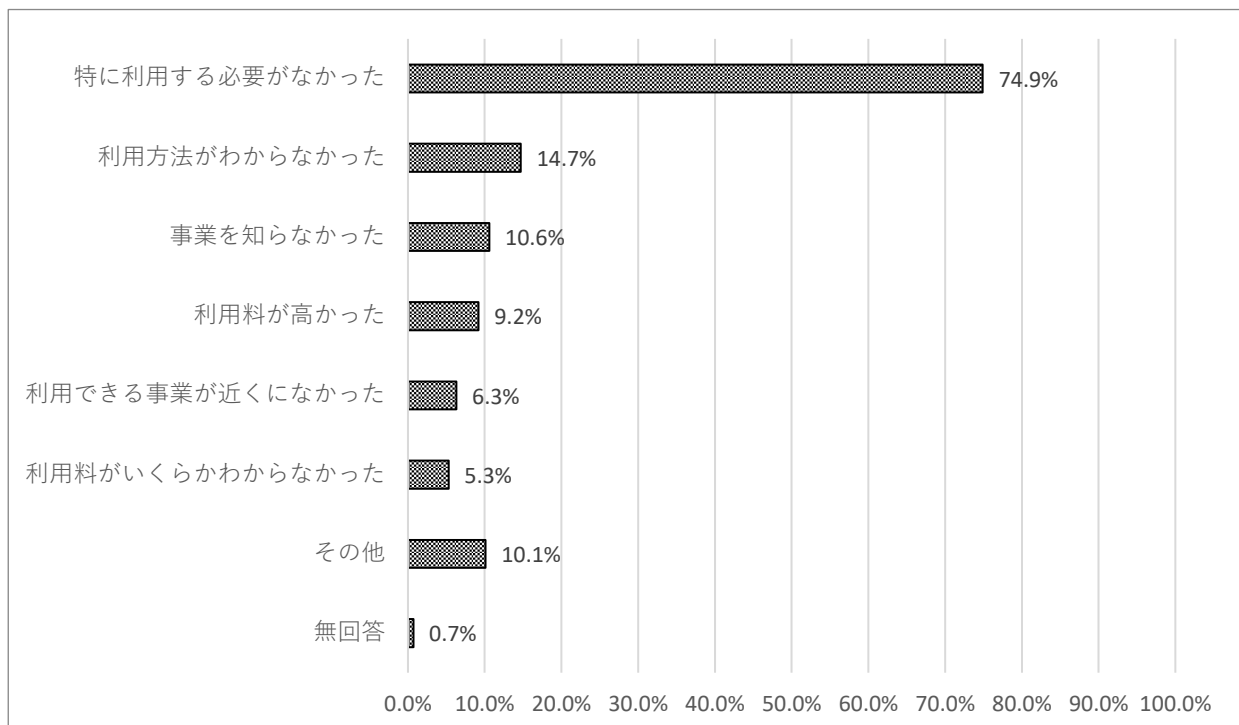
(3) 不定期の教育・保育事業を利用しなかった理由

【問33で「7. 利用しなかった」と回答した方のみ】

問34 利用しなかった理由について、当てはまる番号すべてに○をつけてください。

不定期の教育・保育事業を「利用しなかった」と回答した人に、その理由を質問したところ、「とくに利用する必要がなかった」が74.9%で最も高く、次いで「利用方法がわからなかった」(14.7%)、「事業を知らなかった」(10.6%)の順になった。(図表7-3-1)

図表7-3-1 不定期の教育・保育事業を利用しなかった理由

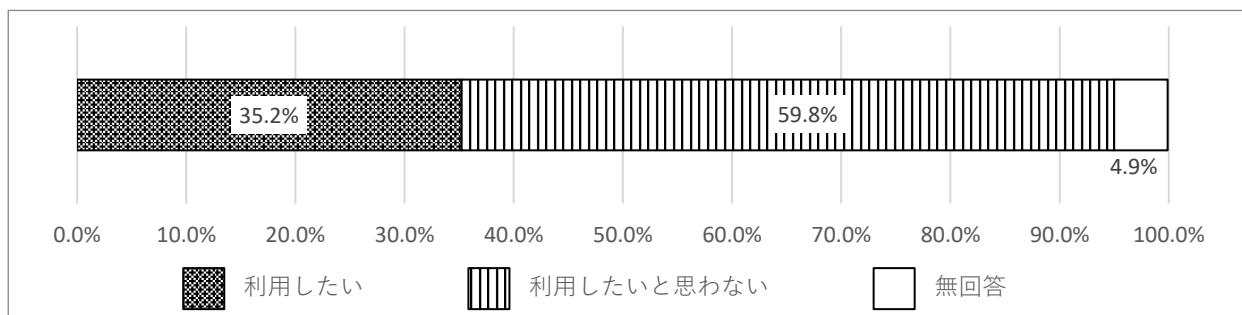


(4) 不定期の教育・保育事業の今後の利用希望

問 35 今後、不定期の教育・保育事業のいずれかを利用したいですか。
当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

不定期の教育・保育事業を今後利用したいかを質問したところ、「利用したい」が35.2%、「利用したいと思わない」が59.8%となった。(図表 7-4-1)

図表 7-4-1 不定期の教育・保育事業を利用した日数



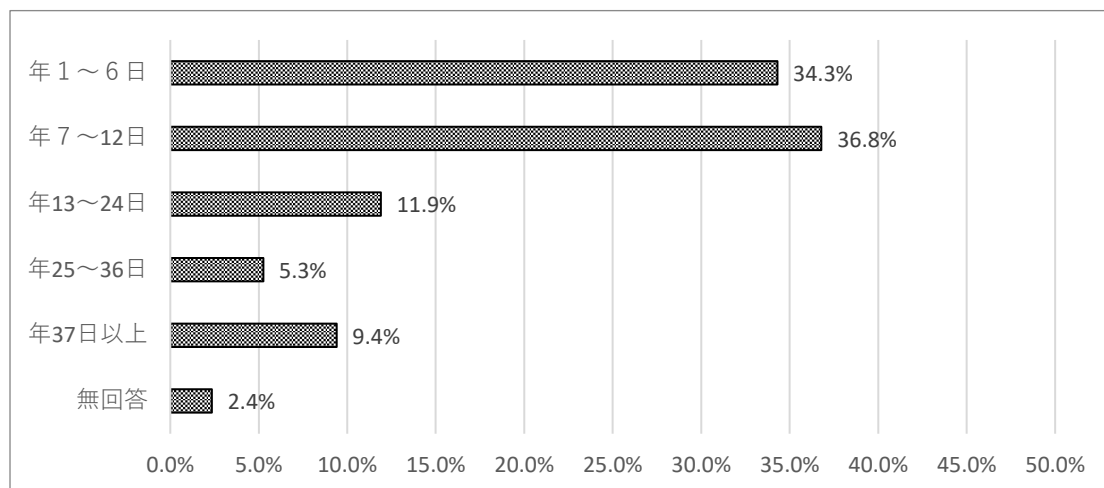
(5) 不定期の教育・保育事業の利用希望日数

【問 35 で「1. 利用したい」と回答した方のみ】

問 36 利用する場合、1 年間の利用日数は合計で何日程度になると思いますか。□内に数字でご記入ください。

不定期の教育・保育事業を「利用したい」と答えた人に、1 年間の利用日数は合計で何日程度になると思うか質問したところ、「年 7～12 日」が36.8%で最も高く、次いで「年 1～6 日」(34.3%)、「年 13 日～24 日」(11.9%) の順となった。(図表 7-5-1)

図表 7-5-1 不定期の教育・保育事業の利用希望日数



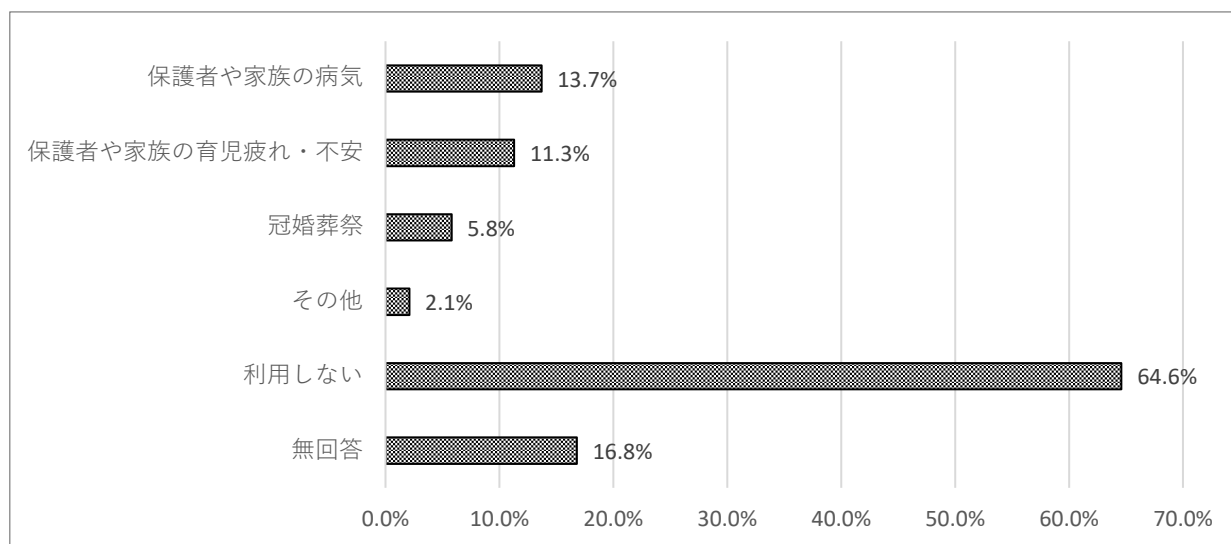
(6) ショートステイ事業利用時の用事の種類

問 37 保護者が用事の際に利用できるショートステイ事業（宿泊型一時保育）について、利用希望の有無や日数について、当てはまる番号すべてに○をつけ、必要な泊数をご記入ください。なお、事業の利用に当たっては、一定の利用料がかかります。

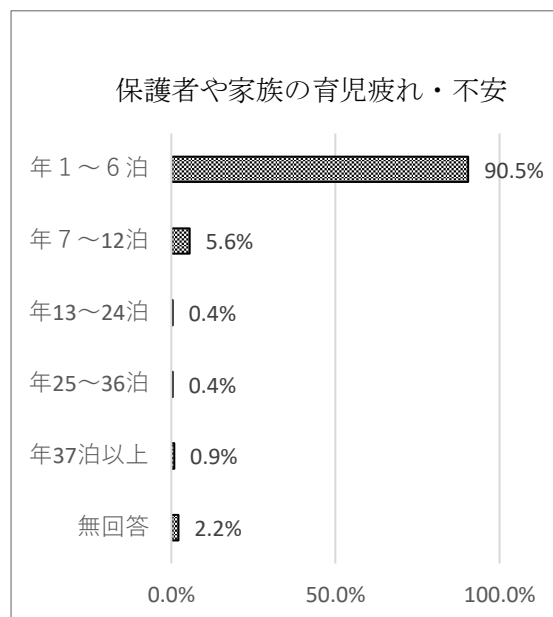
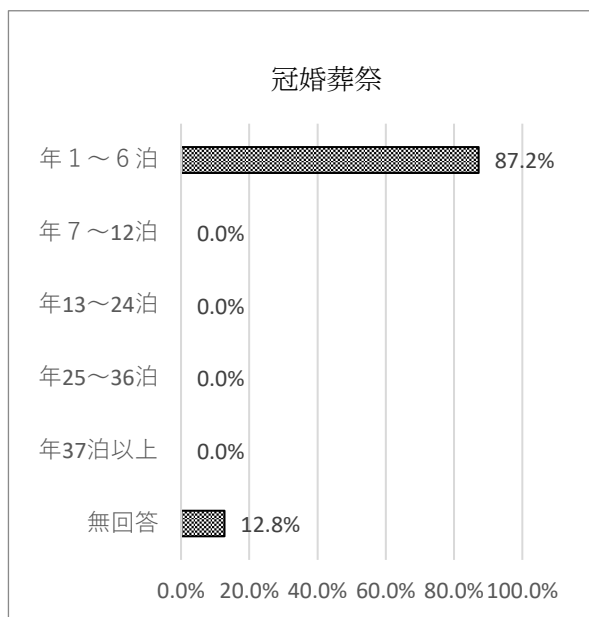
ショートステイ事業利用時の用事の種類及び日数を質問したところ、用事の種類は「保護者や家族の病気」が13.7%で最も多く、次いで、「保護者や家族の育児疲れ・不安」（11.3%）、「冠婚葬祭」（5.8%）の順となった。（図表7－6－1）

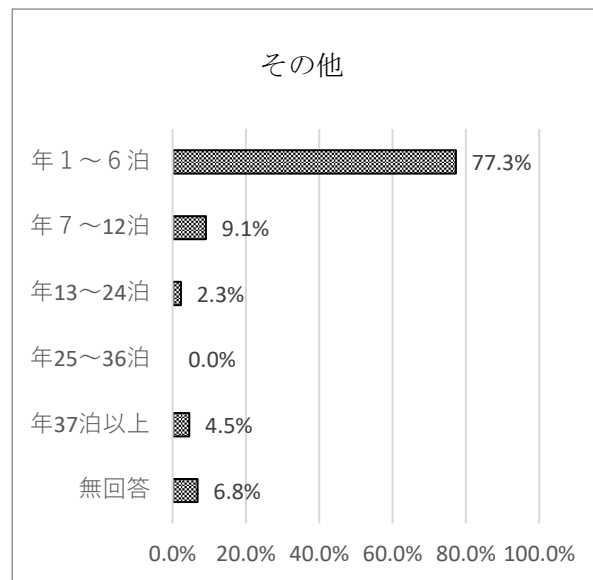
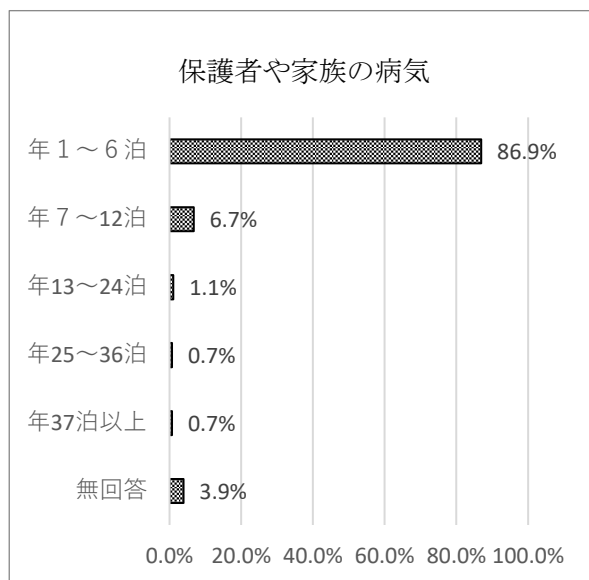
また、利用希望日数はすべての用事の種類において「年1～6泊」が最も高くなった。（図表7－6－2）

図表7－6－1 ショートステイ事業利用時の用事の種類



図表7－6－2 ショートステイ事業利用時の用事の種類ごとの利用希望日数





(7) 毎週決まった曜日に子どもを預けられる制度の利用意向

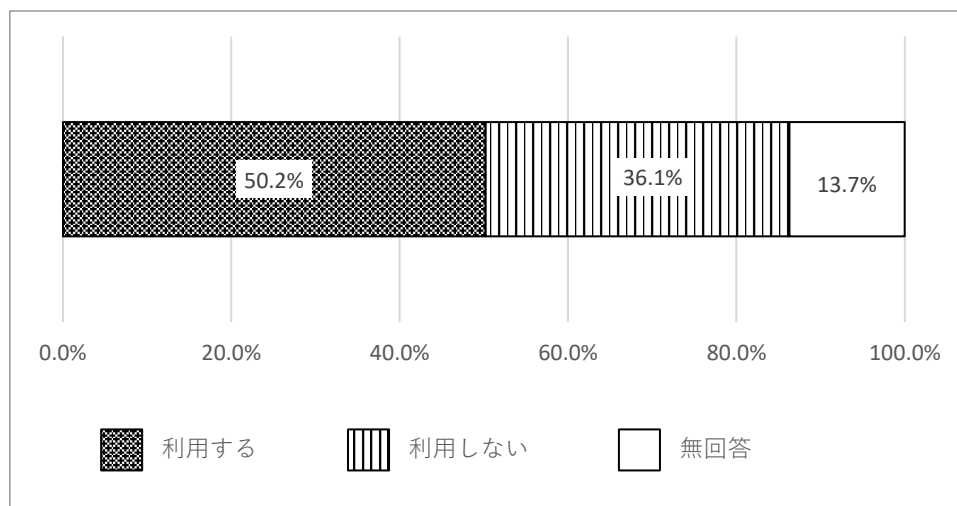
【問 17 で定期的な教育・保育事業を「2. 利用していない」と回答した方のみ】

問 38 認可保育所等で、毎週決まった曜日に子どもを預けられる制度があれば利用しますか。利用する場合は、1 日あたり最低何時間必要ですか。当てはまる番号 1 つに○を、□内に数字を記入してください。

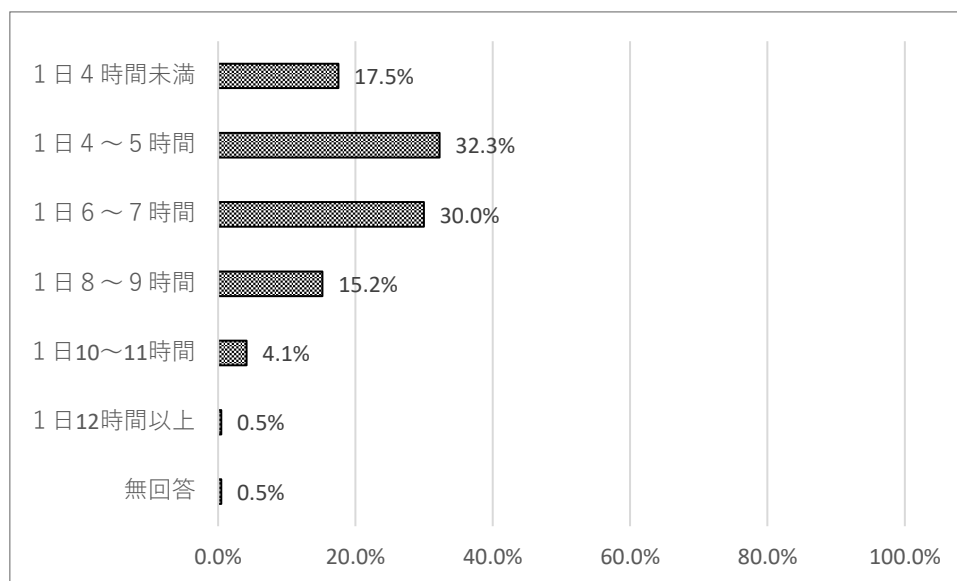
定期的な教育・保育事業を利用していない人向けの通園制度について、利用希望を質問したところ、「利用する」が50.2%、「利用しない」が36.1%となった。(図表 7-7-1)

また、「利用する」と回答した人に 1 日当たり最低何時間必要か質問したところ、「1 日 4～5 時間」が32.3%で最も高く、次いで「1 日 6～7 時間」(30.0%)、「1 日 4 時間未満」(17.5%)の順となった。(図表 7-7-2)

図表 7-7-1 毎週決まった曜日に子どもを預けられる制度の利用意向



図表 7-7-2 毎週決まった曜日に子どもを預けられる制度の最低利用時間



8. 子育てひろばの利用状況

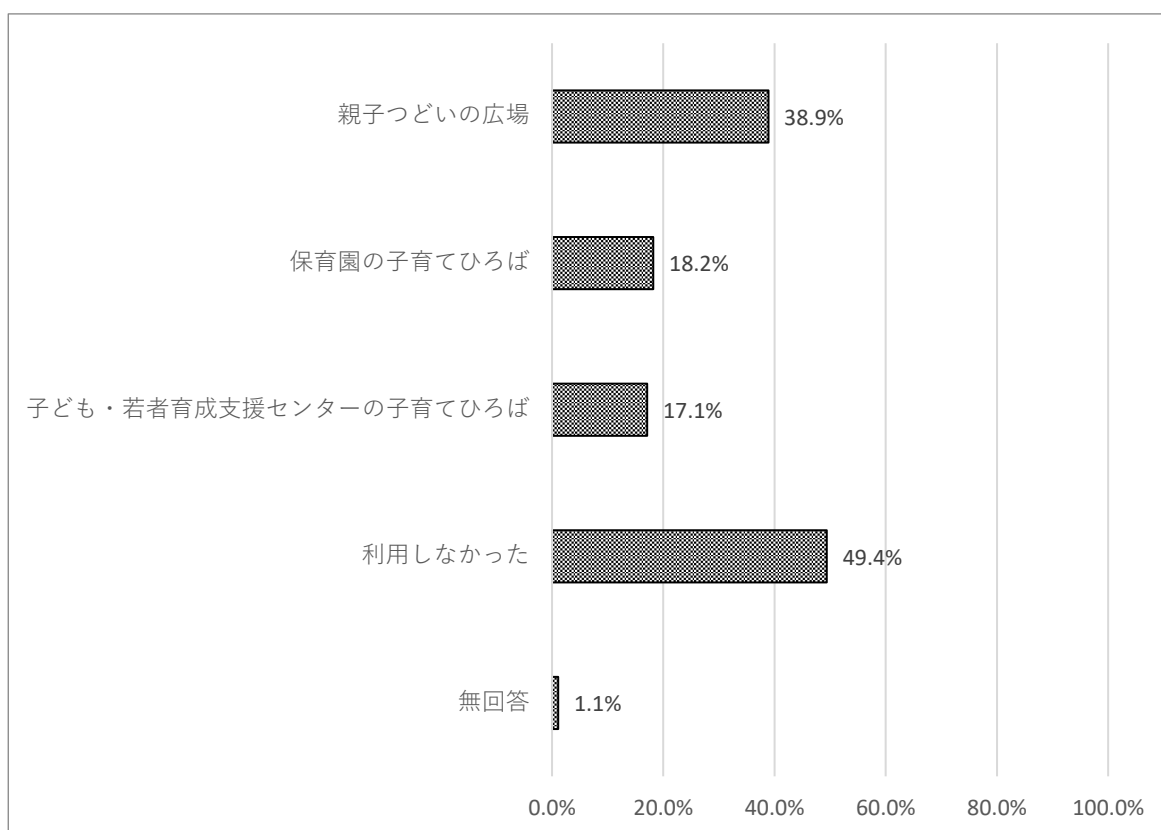
(1) 子育てひろばの利用状況

問 39 子育てひろばの利用状況についてうかがいます。

(1) 子育てひろばについて、利用したことがある番号すべてに○をつけてください。

子育てひろばについて、利用したことがあるものを質問したところ、「親子つどいの広場」が38.9%で最も高く、次いで「保育園の子育てひろば」(18.2%)、「子ども・若者育成支援センター(旧児童館)の子育てひろば」(17.1%)の順となった。(図表8-1-1)

図表8-1-1 子育てひろばの利用状況



(2) 子育てひろばの利用回数

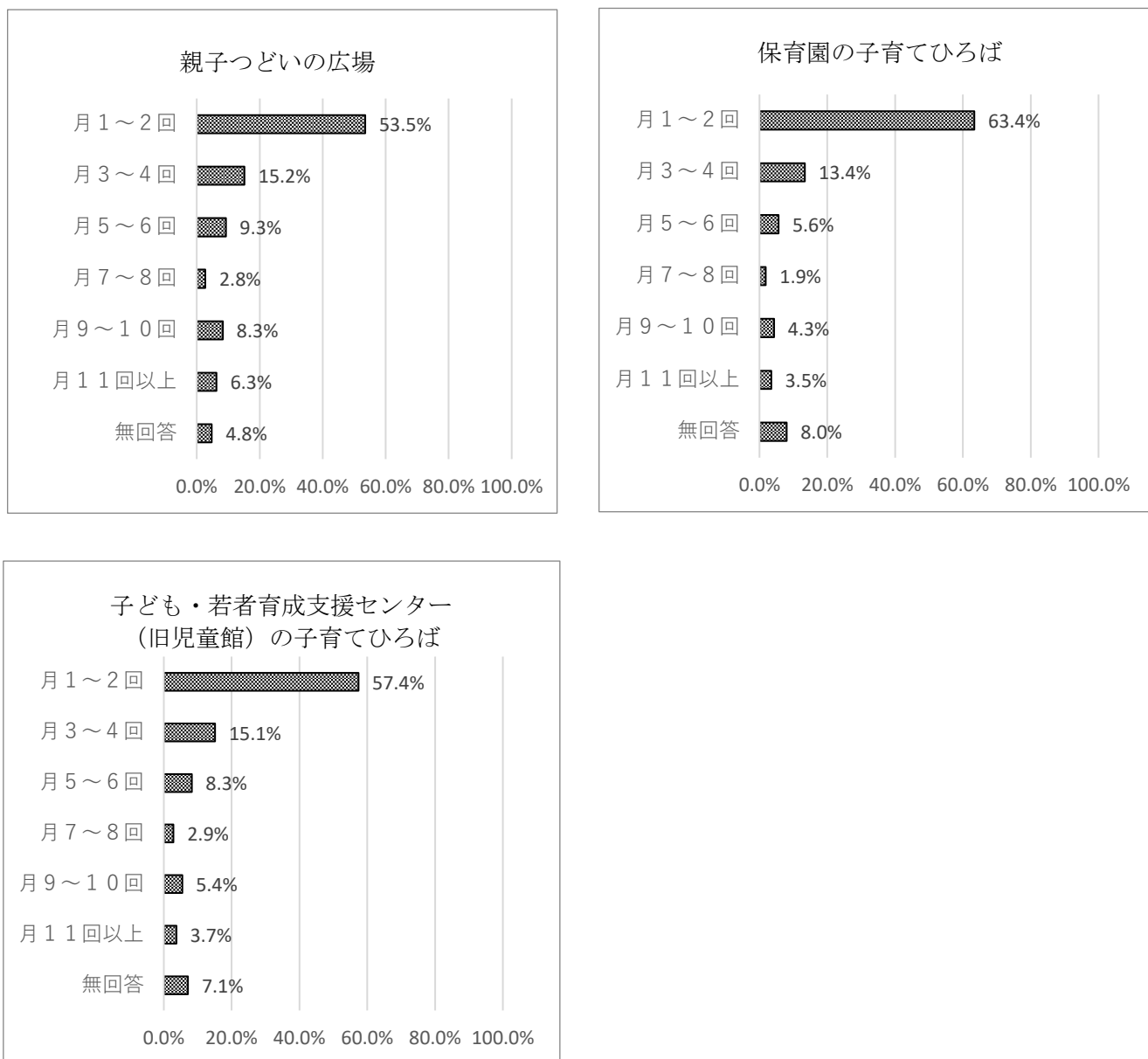
問 39 子育てひろばの利用状況についてうかがいます。

(2)(1)で○をつけたひろばについて、月におおよそ何回利用しましたか。

□内に数字でご記入ください。

子育てひろばを利用したことがあると回答した人にこの1年間でおおよそ何回利用したか質問したところ、すべてのひろばで「月1～2回」が最も高くなっている。(図表8-2-1)

図表8-2-1 子育てひろばの利用回数



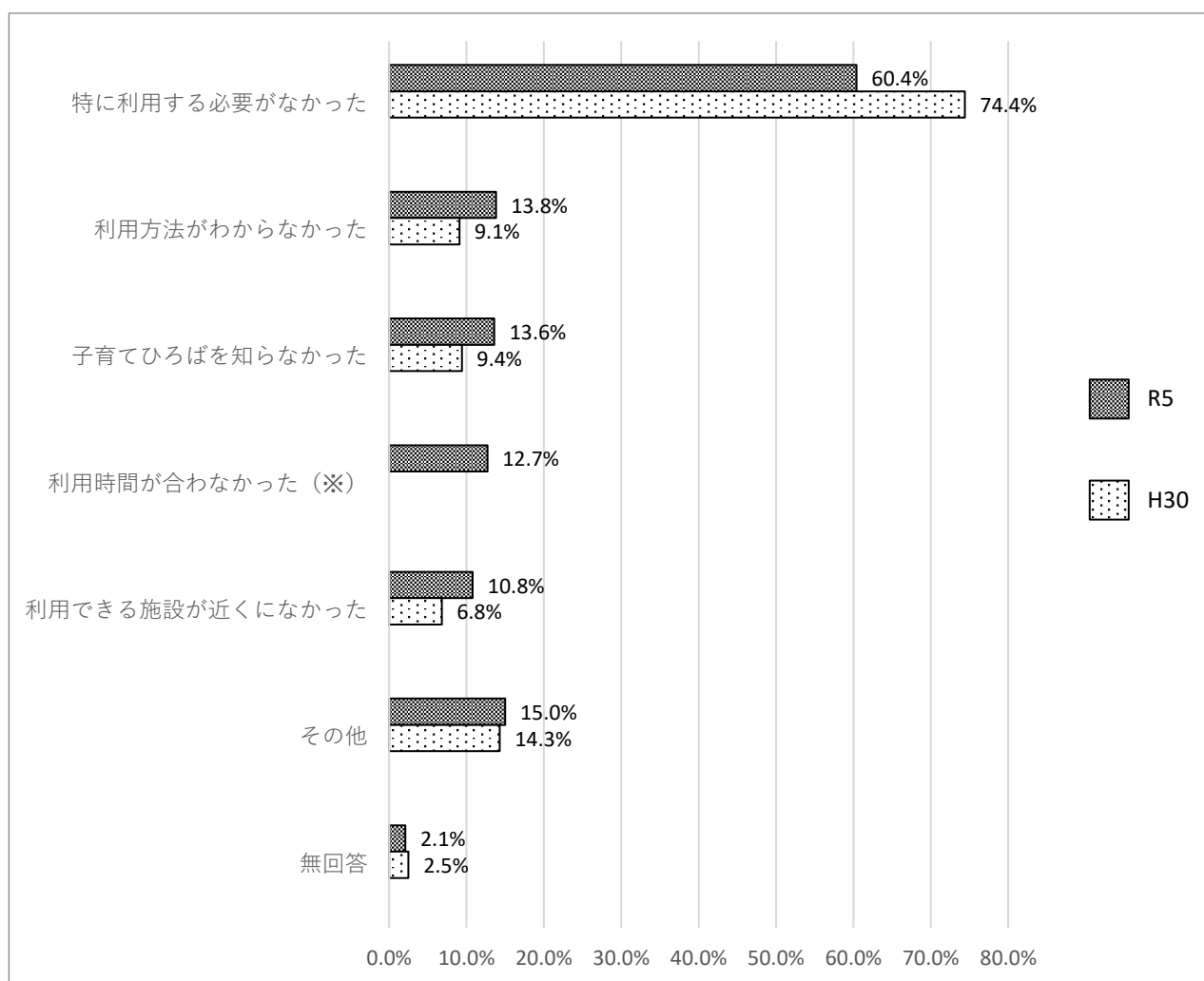
(3) 子育てひろばを利用しなかった理由

【問 39 で「4. 利用しなかった」と回答した方のみ】

問 40 利用しなかった理由について、当てはまる番号すべてに○をつけてください。

子育てひろばを「利用しなかった」と回答した人にその理由を質問したところ、「とくに利用する必要がなかった」が60.4%最も高く、次いで「利用方法がわからなかった」(13.8%)、「子育てひろばを知らなかった」(13.6%)となった。平成30年度調査では、「利用時間が合わなかった」の選択肢がなく比較ができないため、参考に結果を記載する。(図表8-3-1)

図表8-3-1 子育てひろばを利用しなかった理由



※「利用時間が合わなかった」は令和5年度調査で追加した選択肢である。

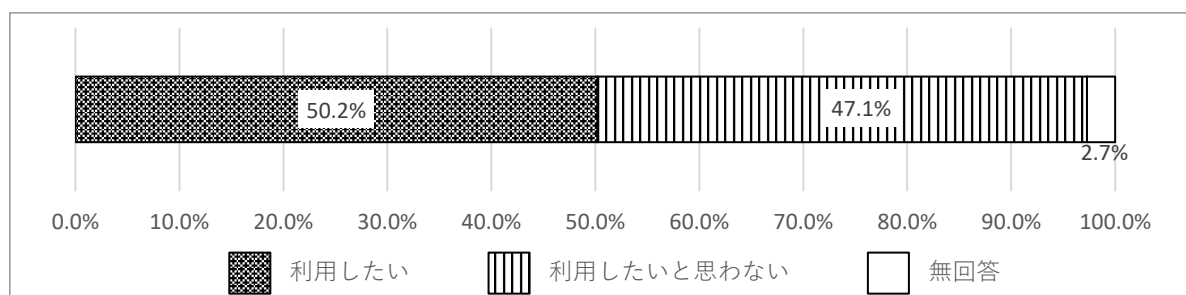
(4) 子育てひろばの今後の利用希望

【すべての方にうかがいます】

問 41 今後、子育てひろばのいずれかを利用したいですか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

子育てひろばを今後利用したいかを質問したところ、「利用したい」が50.2%、「利用したいと思わない」が47.1%となった。(図表 8-4-1)

図表 8-4-1 子育てひろばの今後の利用希望



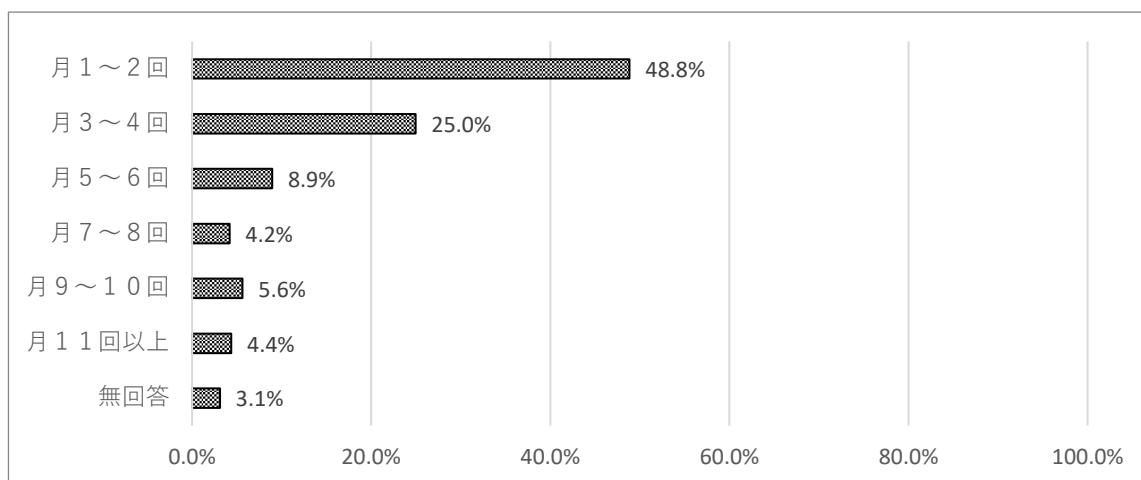
(5) 子育てひろばの今後の利用希望回数

【問 41 で「1. 利用したい」と回答した方のみ】

問 42 月当たりの利用回数はおおよそ何回程度になると思いますか。□内に数字でご記入ください。

子育てひろばを「利用したい」と回答した人に子育てひろばの今後の利用希望回数を質問したところ、「月 1～2 回」が48.8%で最も高く、次いで「月 3～4 回」(25.0%)、「月 5～6 回」(8.9%) の順となった。(図表 8-5-1)

図表 8-5-1 子育てひろばの今後の利用希望回数



9. 小学校就学後の放課後の過ごし方

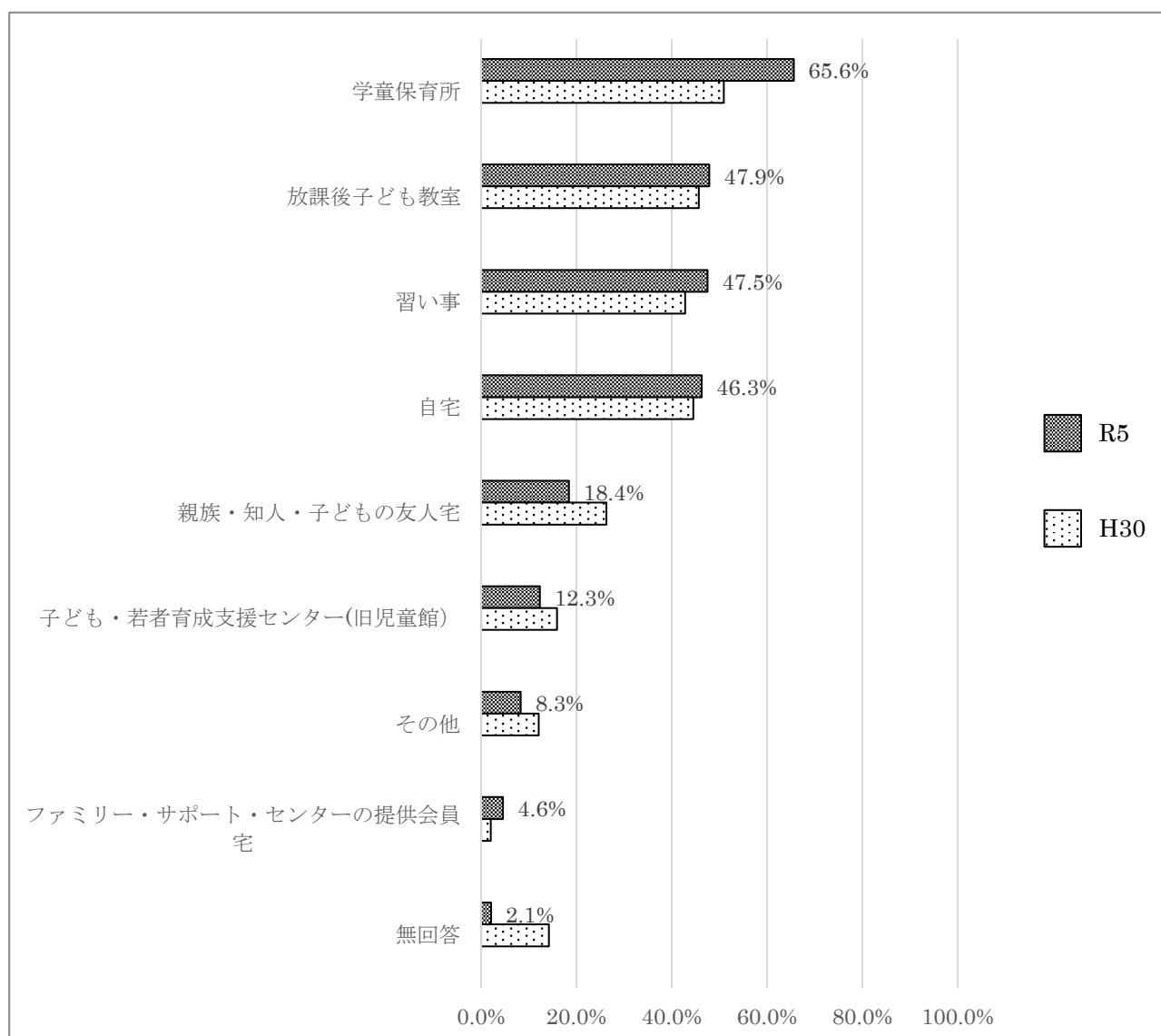
(1) 放課後の過ごし方の希望

問 43 保護者の方は、宛て名のお子さんが就学後、放課後をどこで過ごしてほしいと考えていますか。

(1) 小学1～3年生(2) 小学4～6年生それぞれで、過ごしてほしい居場所の番号すべてに○をつけてください。

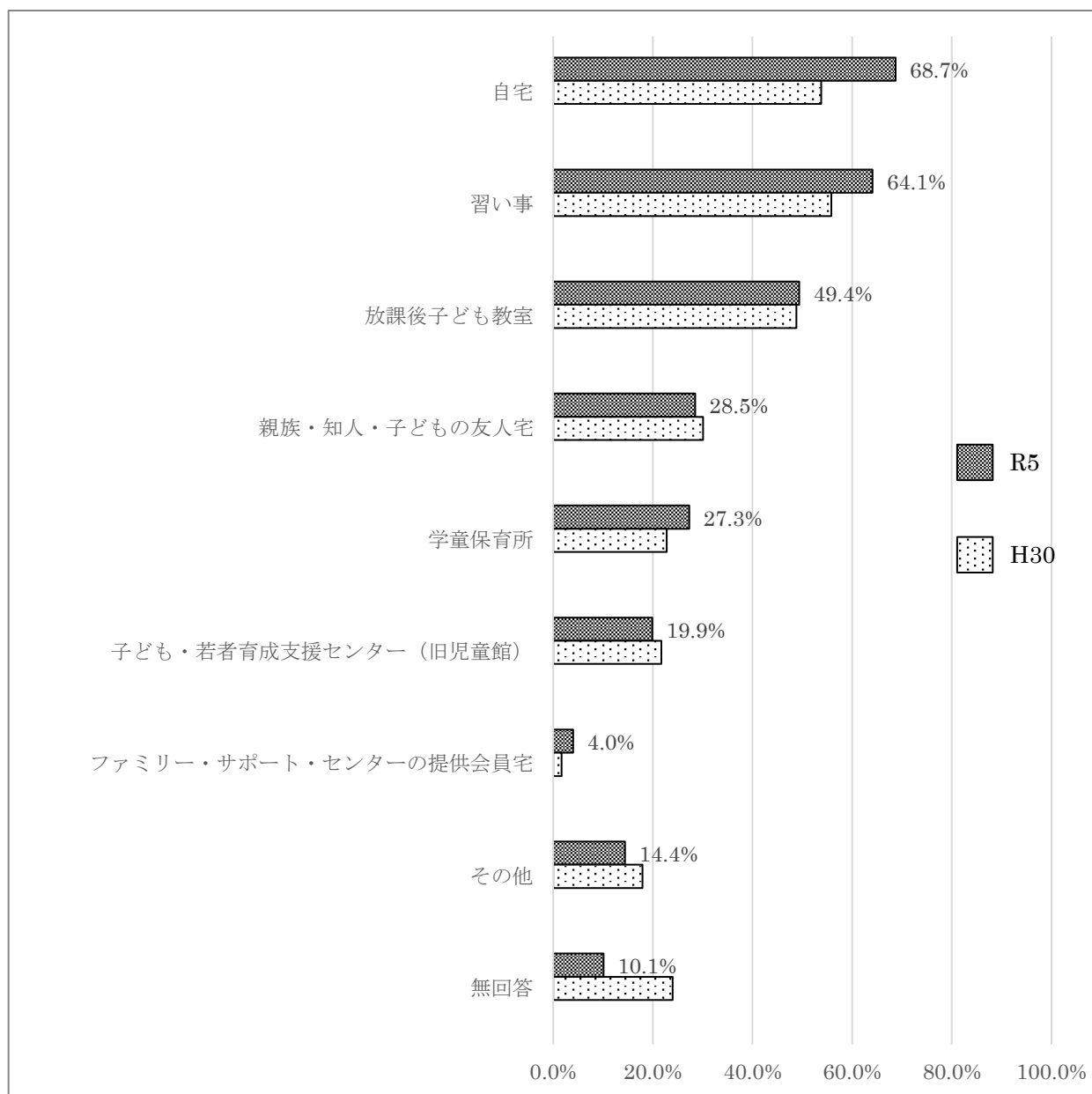
子どもが5歳の人に、子どもの就学後、放課後をどこで過ごしてほしいと考えているか質問したところ、(1) 小学1～3年生では「学童保育所」が65.6%で最も高く、次いで「放課後子ども教室」(47.9%)、「習い事」(47.5%)の順となった。平成30年度調査との比較では「学童保育所」が大きく増加し、「親族・知人・子どもの友人宅」が大きく減少した。(図表9-1-1)

図表9-1-1 小学1～3年生のころの放課後の過ごし方の希望



(2) 小学4～6年生では「自宅」が68.7%で最も高く、次いで「習い事」(64.1%)、「放課後子ども教室」(49.4%)の順となった。平成30年度調査との比較では「自宅」と「習い事」が大きく増加した。(図表9-1-2)

図表9-1-2 小学4～6年生のころの放課後の過ごし方の希望



(2) ファミリー・サポート・センターの利用日数

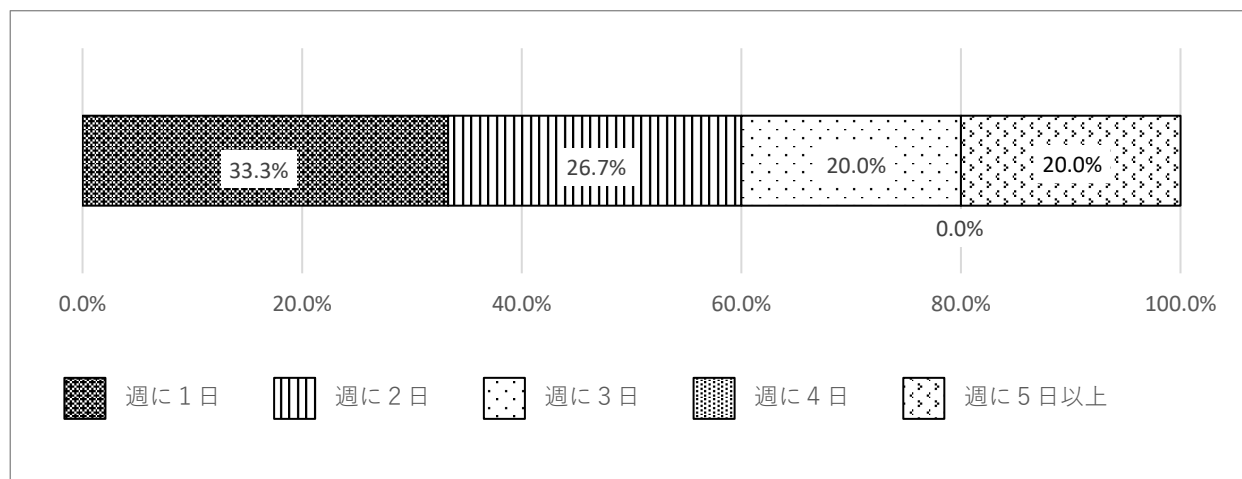
【問 43 (1) (2) で「7. ファミリー・サポート・センターの提供会員宅」と回答した方のみ】

問 44 ファミリー・サポート・センターを利用する場合、週に何日利用したいですか。

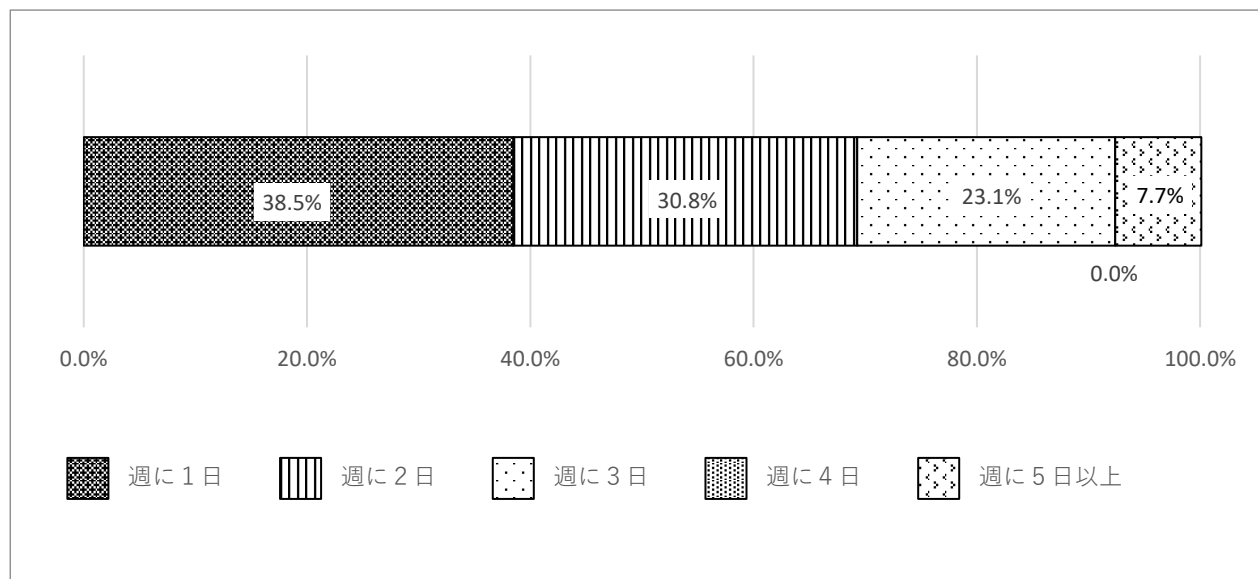
当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

子どもが5歳の人のうち、子どもの就学後、放課後を「ファミリー・サポート・センターの提供会員宅」で過ごしてほしいと答えた人に、ファミリー・サポート・センターを週に何日利用したいか質問した結果、回答者が (1) 小学1～3年生で15人、(2) 小学4～6年生で13人と母数が少ないため、参考に結果を記載する。(図表9-2-1、図表9-2-2)

図表9-2-1 小学1～3年生のころのファミリー・サポート・センターの利用日数



図表9-2-2 小学4～6年生のころのファミリー・サポート・センターの利用日数



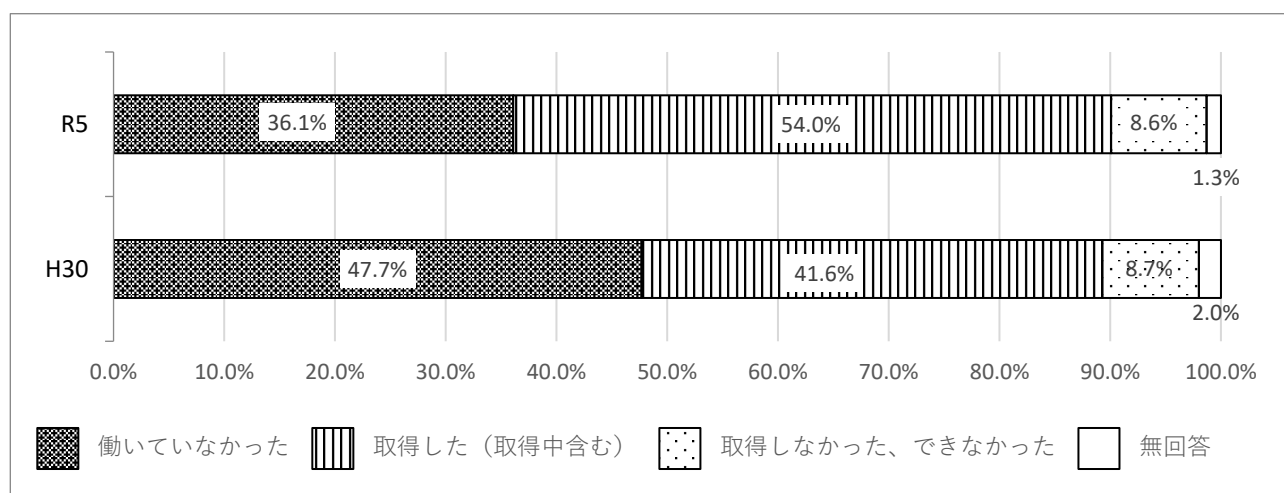
10. 保護者の職場における仕事と子育ての両立支援制度

(1) 育児休業の取得状況

問 45 宛て名のお子さんが生まれた時、育児休業を取得しましたか。(1) 母親 (2) 父親それぞれについて、当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

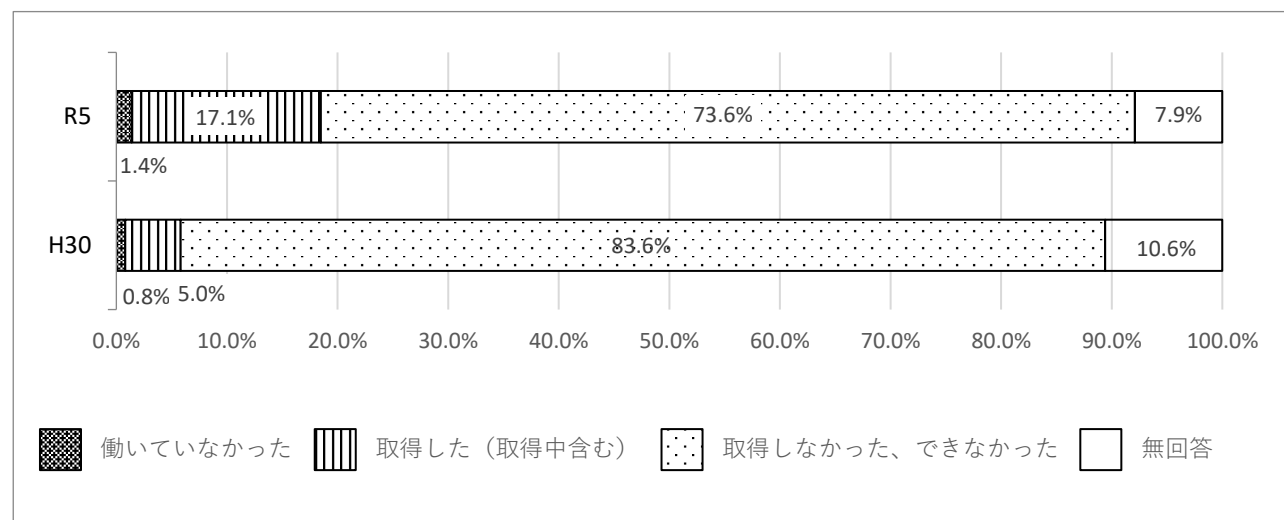
育児休業を取得したか質問したところ、母親では、「取得した（取得中含む）」が54.0%、「取得しなかった、できなかった」が8.6%、「働いていなかった」が36.1%となった。平成30年度調査と比較すると、「取得した（取得中含む）」が増加し、「働いていなかった」が減少している。（図表10－1－1）

図表10－1－1 母親の育児休業の取得状況



父親では、「取得した（取得中含む）」が17.1%、「取得しなかった、できなかった」が73.6%、「働いていなかった」が1.4%となった。平成30年度調査と比較すると、「取得した（取得中含む）」が増加し、「取得しなかった、できなかった」が減少している。（図表10－1－2）

図表10－1－2 父親の育児休業の取得状況



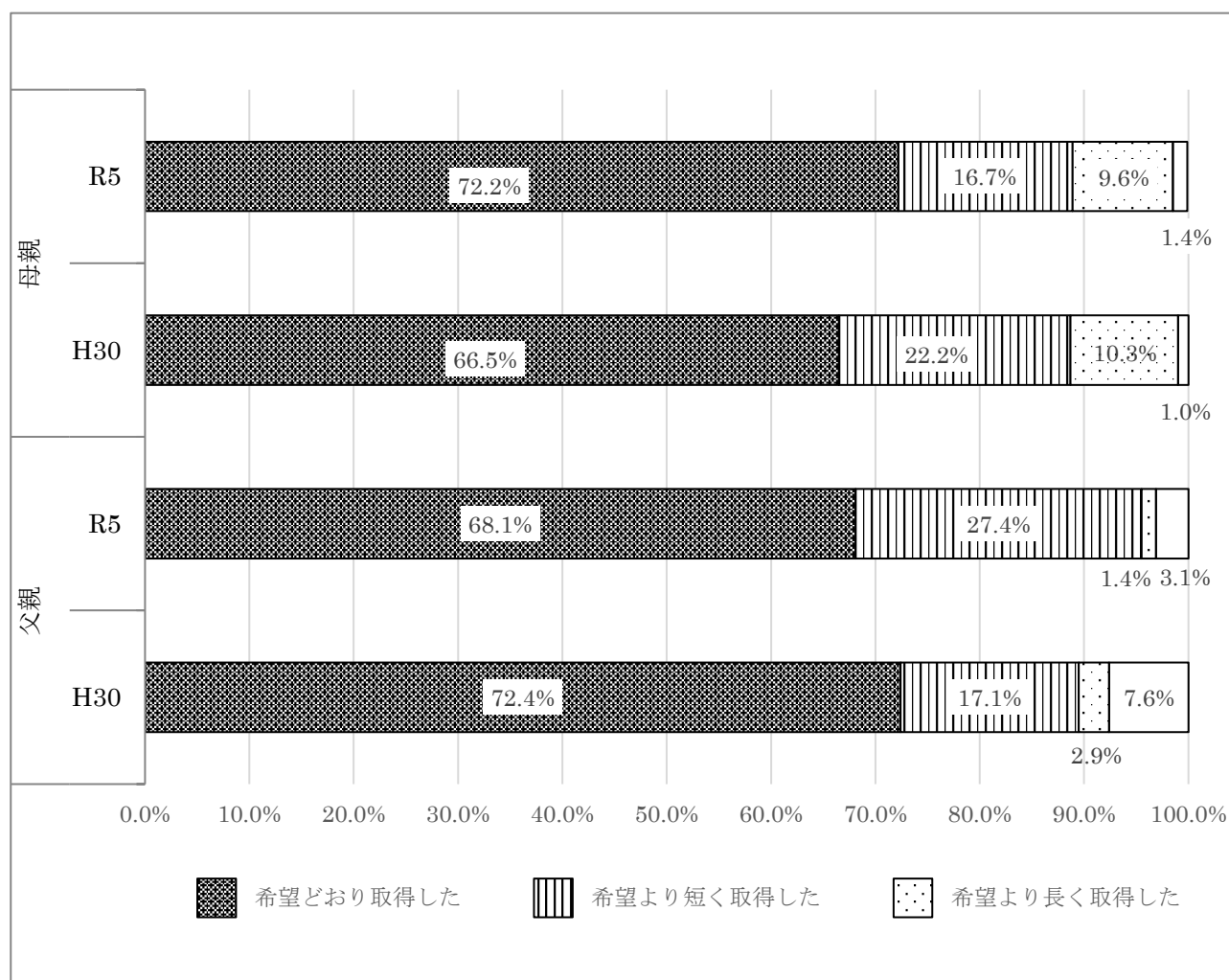
(2) 育児休業の希望取得期間と実際の取得期間の差異の状況

【問 45 で母親・父親のどちらか、または両方が「2. 取得した（取得中含む）」と回答した方のみ】

問 46 希望していた育児休業の取得期間と実際の取得期間について、当てはまる番号 1 つに○をつけてください。※取得中の方は予定でお答えください。

母親・父親のどちらか、または両方が育児休業を「取得した（取得中含む）」と答えた人に、希望していた育児休業の取得期間と実際の取得期間に差異があったか質問したところ、母親では、「希望どおり取得した」が72.2%、「希望より短く取得した」が16.7%、「希望より長く取得した」が9.6%となった。父親では、「希望どおり取得した」が68.1%、「希望より短く取得した」が27.4%、「希望より長く取得した」が1.4%となった。平成30年度調査と比較すると、母親では、「希望通り取得した」が増加しているが、父親では、「希望通り取得した」は減少した。（図表10－2－1）

図表10－2－1 育児休業の希望取得期間と実際の取得期間の差異の状況



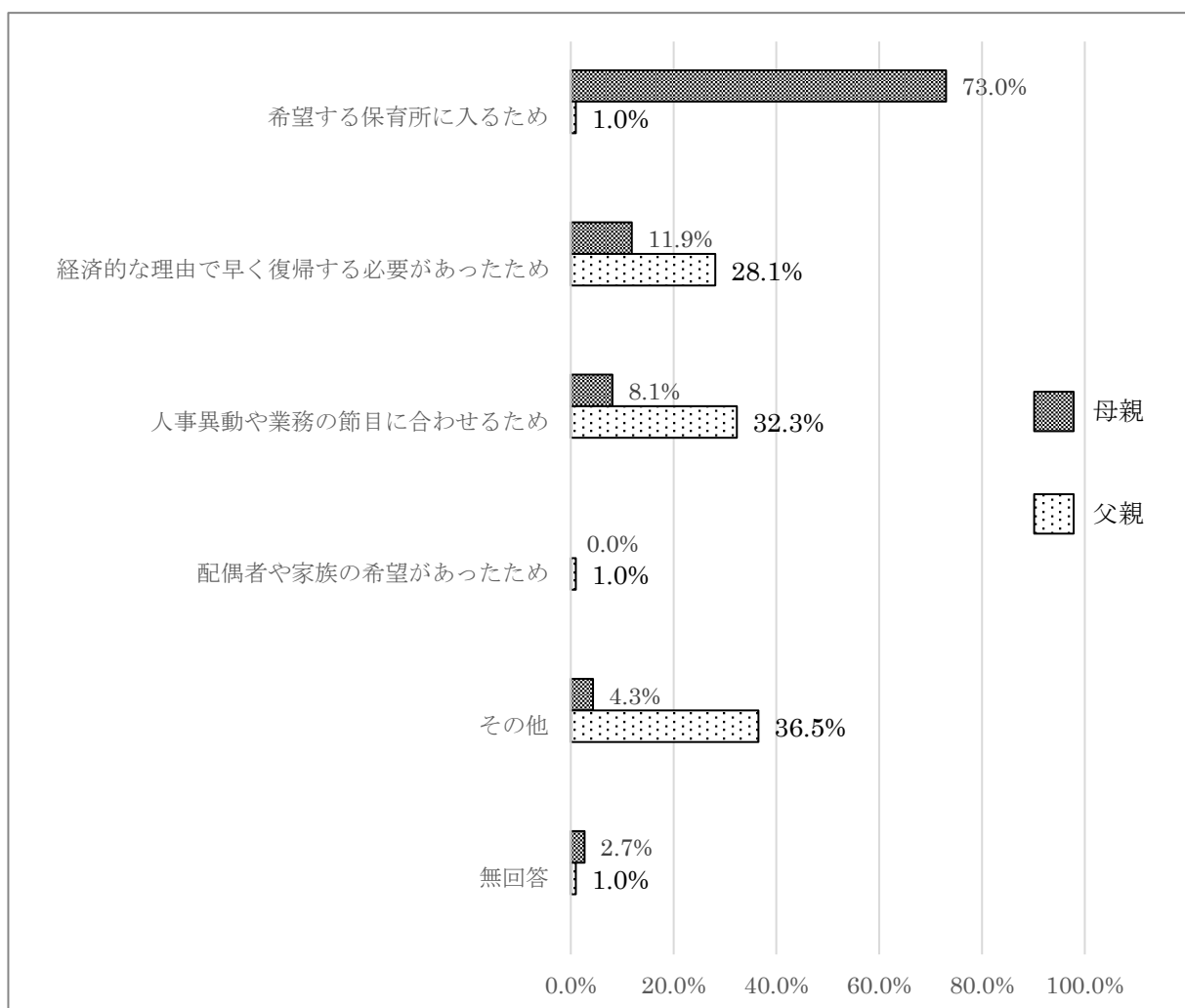
(3) 育児休業を希望より短く取得した理由

【問 46 で母親・父親のどちらか、または両方が「2. 希望より短く取得した」と回答した方のみ】

問 47 希望より短く取得した理由について、当てはまる番号すべてに○をつけてください。

母親・父親のどちらか、または両方が育児休業を「希望より短く取得した」と答えた人に、その理由を質問したところ、母親では、「希望する保育所に入るため」が73.0%で最も高く、次いで「経済的な理由で早く復帰する必要があったため」(11.9%)、「人事異動や業務の節目に合わせるため」(8.1%)の順となっている。父親では、「人事異動や業務の節目に合わせるため」が32.3%で最も高く、次いで「経済的な理由で早く復帰する必要があったため」28.1%の順となった。(図表10-3-1)

図表10-3-1 育児休業を希望より短く取得した理由



(4) 育児休業を希望より長く取得した理由

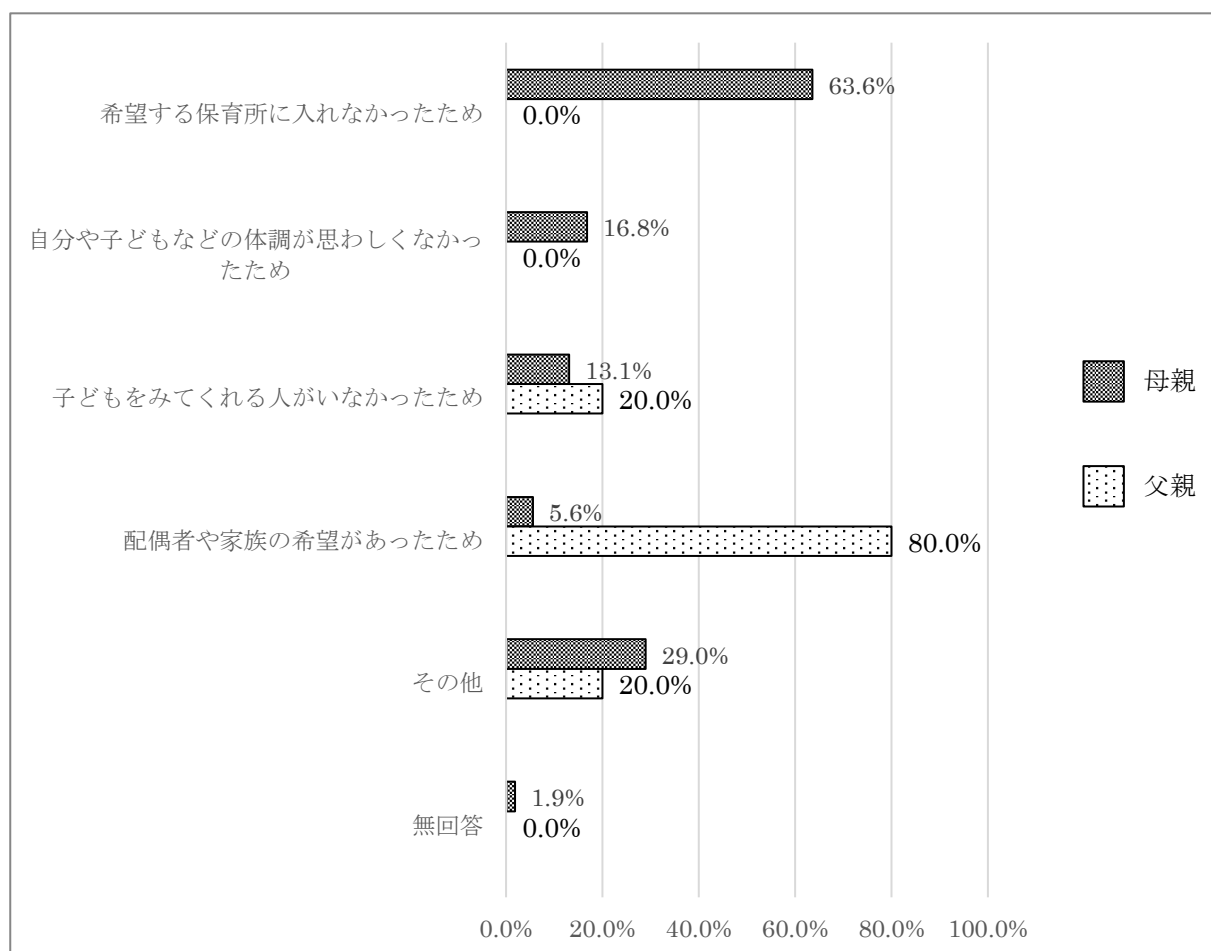
【問 46 で母親・父親のどちらか、または両方が「3. 希望より長く取得した」と回答した方のみ】

問 48 希望より長く取得した理由について、当てはまる番号すべてに○をつけてください。

母親・父親のどちらか、または両方が育児休業を「希望より長く取得した」と答えた人に、その理由を質問したところ、母親では、「希望する保育所に入れなかったため」が63.6%で最も高く、次いで「自分や子どもなどの体調が思わしくなかったため」(16.8%)、「子どもを見てくれる人がいなかったため」(13.1%)の順となっている。

父親については、回答者が5人と少ないため集計結果を参考に記載する。(図表10-4-1)

図表10-4-1 育児休業を希望より長く取得した理由



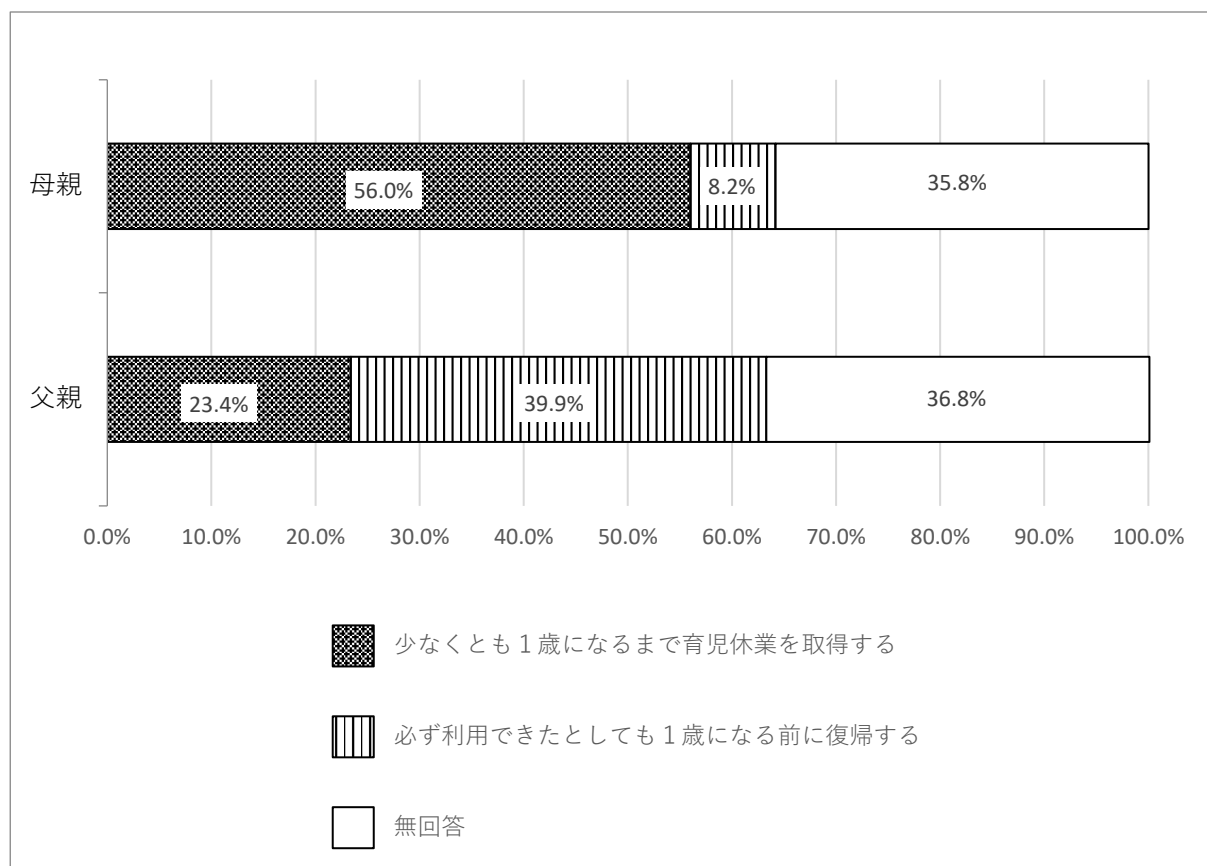
(5)「子どもが1歳になれば必ず教育・保育事業を利用できる」とした場合の育児休業の取得希望

【問 45 で母親・父親のどちらか、または両方が「2. 取得した（取得中含む）」と回答した方のみ】

問 49 あなたに0歳のお子さんがいたとして、1歳になったときに必ず利用できる教育・保育事業があった場合、1歳になるまで育児休業を取得しますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

母親・父親のどちらか、または両方が育児休業を「取得した（取得中含む）」と答えた人に、0歳の子どもがいたとして、1歳になったときに必ず利用できる教育・保育事業があった場合、1歳になるまで育児休業を取得するか聞いたところ、「1歳になるまで育児休業を取得する」は母親で56.0%、父親で23.4%となった。一方、「必ず利用できたとしても1歳になる前に復帰する」は母親で8.2%、父親で39.9%となっている。（図表10-5-1）

図表10-5-1 「子どもが1歳になれば必ず教育・保育事業を利用できる」とした場合の育児休業の取得希望



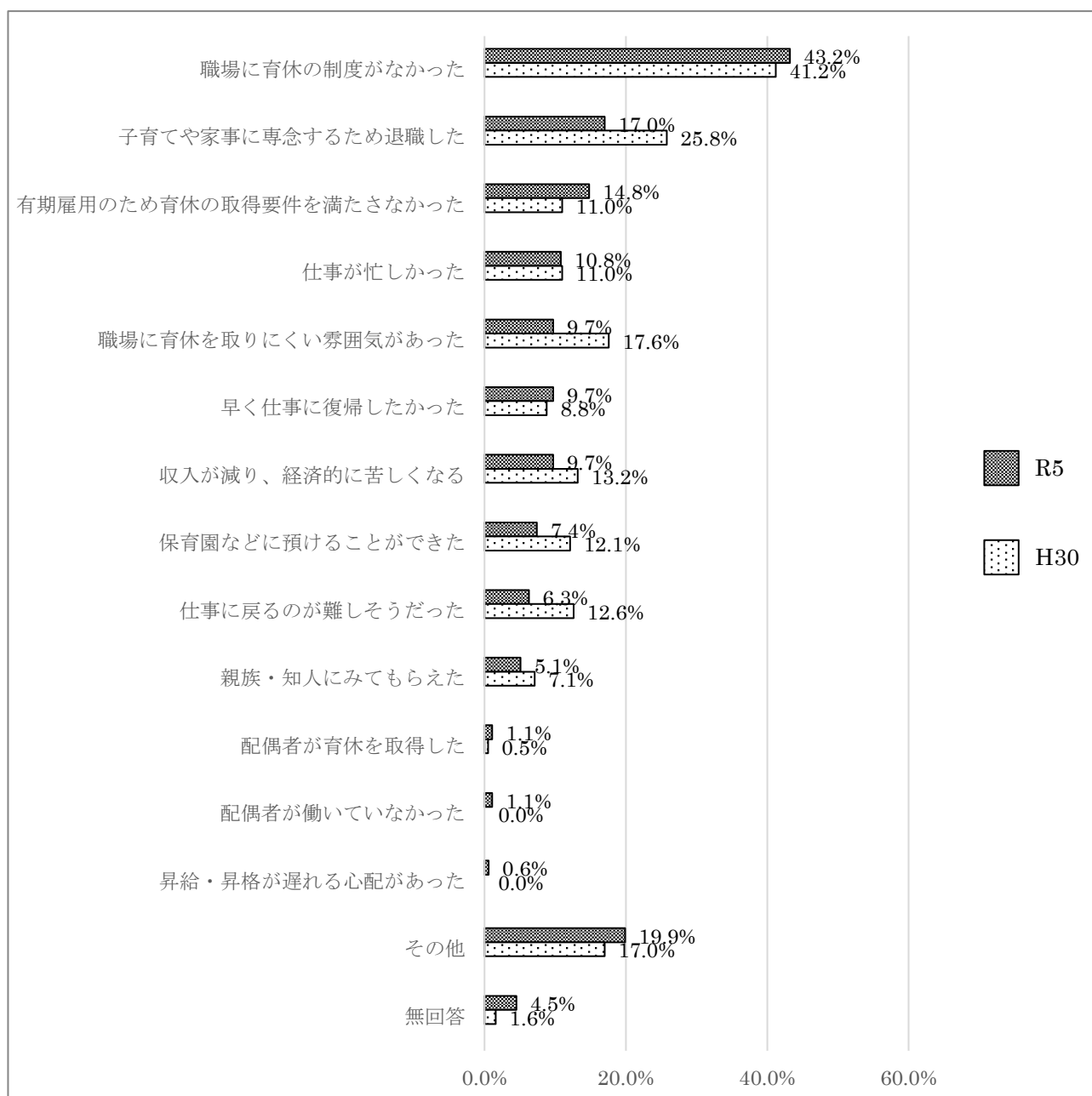
（６）育児休業を取得しなかった理由

【問 45 で母親・父親のどちらか、または両方が「３．取得しなかった、できなかった」と回答した方のみ】

問 50 取得しなかった理由について、当てはまる番号すべてに○をつけてください。

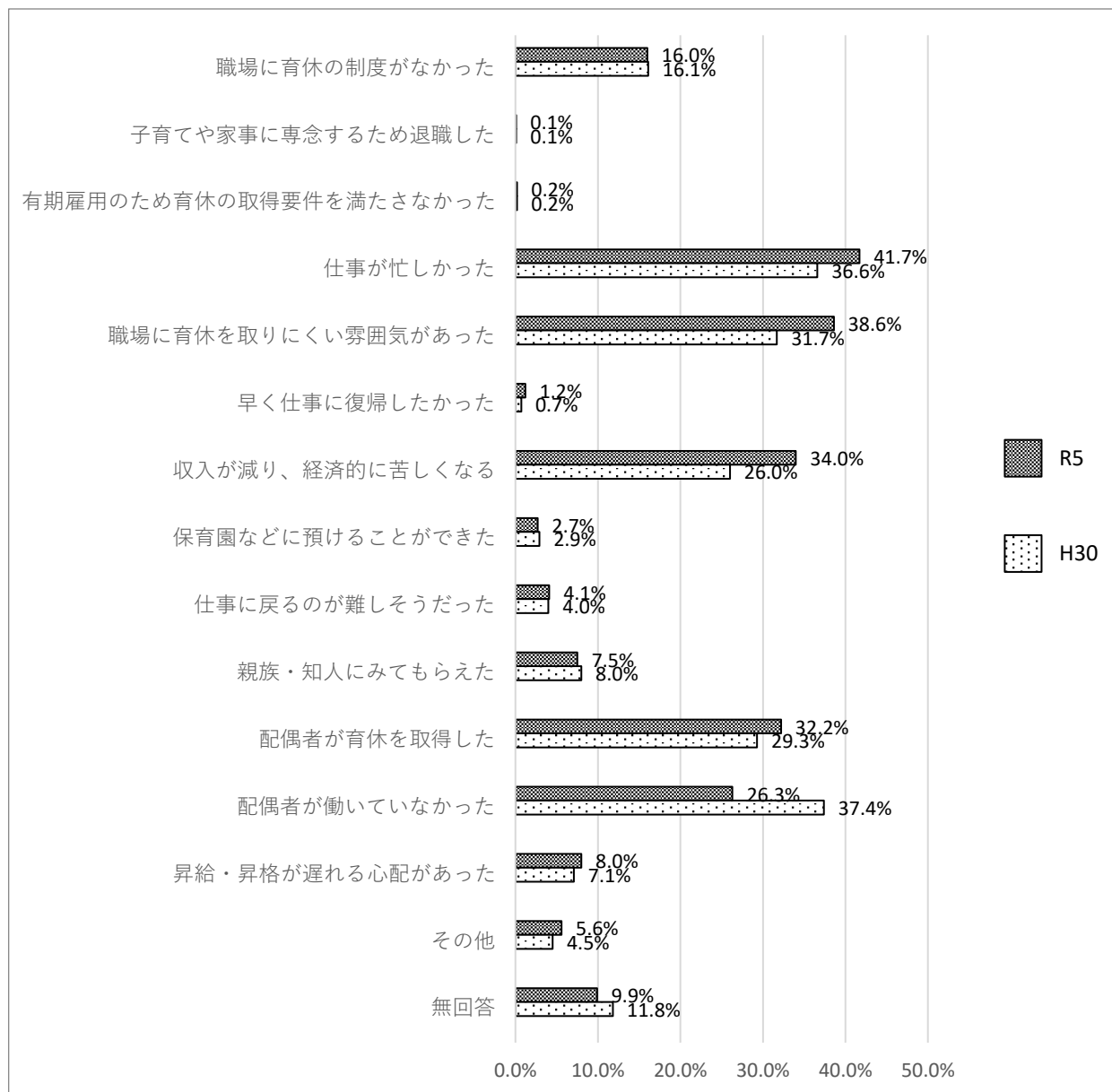
母親・父親のどちらか、または両方が育児休業を「取得しなかった、できなかった」と答えた人に、その理由を聞いたところ、母親では、「職場に育休の制度がなかった」が43.2%で最も高く、次いで、「子育てや家事に専念するために退職した」（17.0%）、「有期雇用のため育休の取得要件を満たさなかった」（14.8%）の順となった。（図表10－6－1）

図表10－6－1 育児休業を取得しなかった理由（母親）



父親では、「仕事が忙しかった」が41.7%で最も高く、次いで、「職場に育休を取りにくい雰囲気があった」(38.6%)、「収入が減り、経済的に苦しくなる」34.0%の順となった。(図表10－6－2)

図表10－6－2 育児休業を取得しなかった理由（父親）



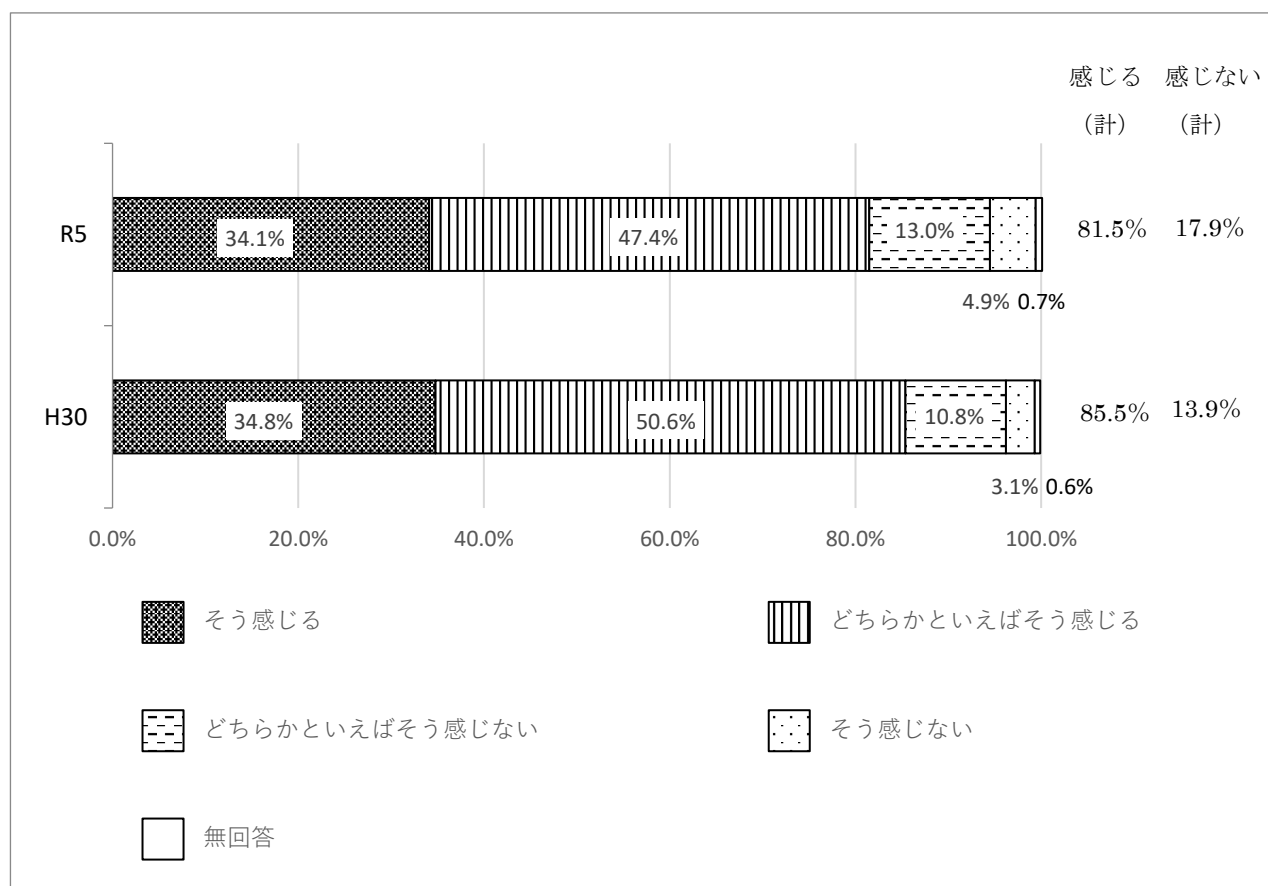
11. 日ごろの子育ての状況

(1) 安心して子育てができていると感じるか

問 51 あなたは安心して子育てができていると感じていますか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

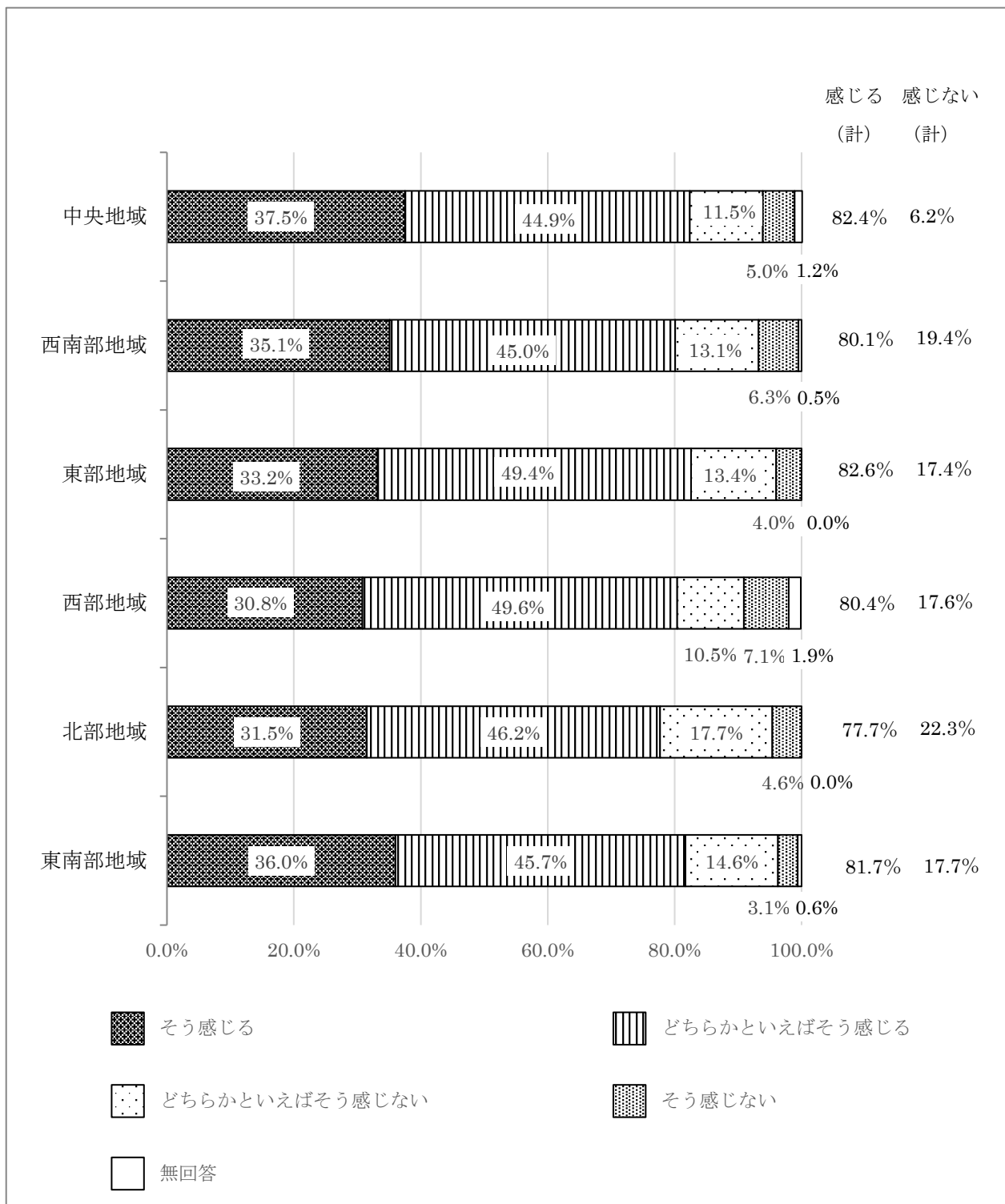
安心して子育てができていると感じているかを質問したところ、「そう感じる」(34.1%)と「どちらかといえばそう感じる」(47.4%)を合わせた「感じる(計)」は81.5%となった。一方、「どちらかといえばそう感じない」(13.0%)と「そう感じない」(4.9%)を合わせた「感じない(計)」は13.9%となった。(図表11-1-1)

図表11-1-1 安心して子育てができていると感じるか



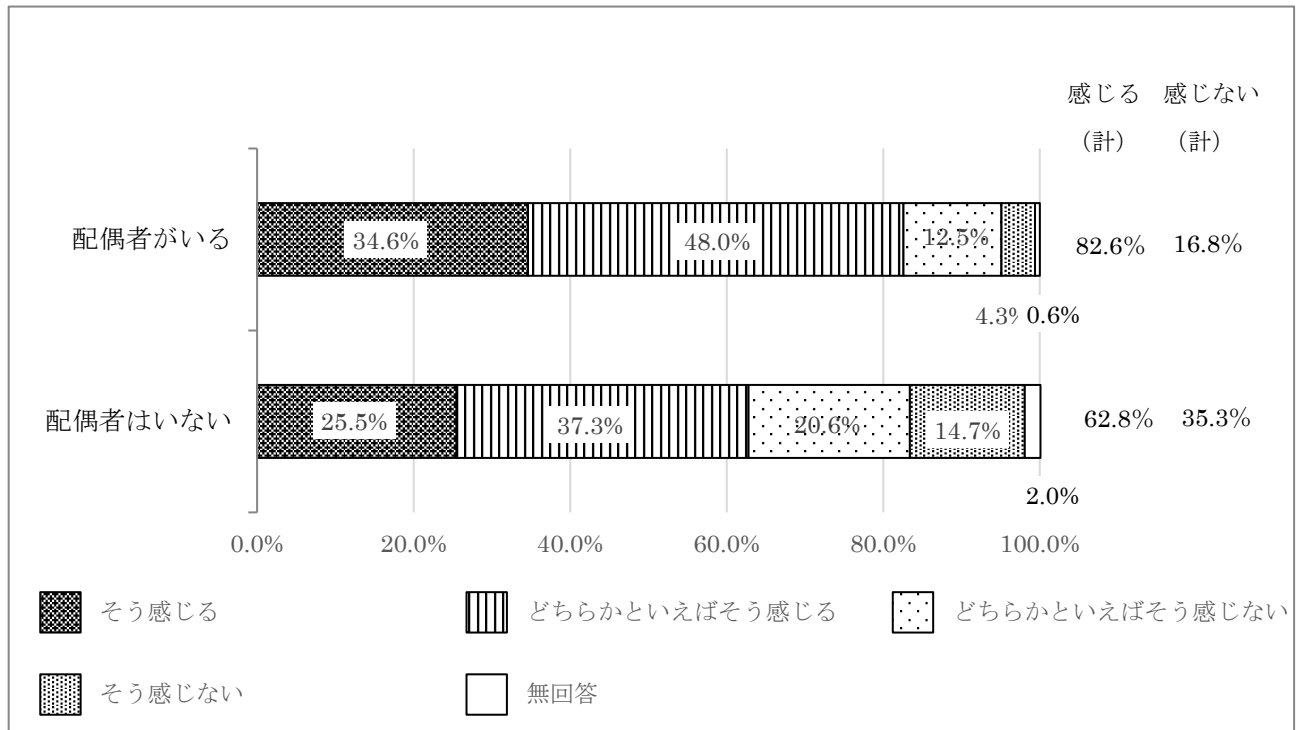
居住地域別では、「感じる（計）」は東部地域（82.6%）が最も高く、北部地域（77.7%）が最も低くなった。（図表11－１－２）

図表11－１－２ 安心して子育てができていると感じるか（居住地域別）



配偶者の有無別では、「感じる（計）」は「配偶者がいる」（82.6）が「配偶者はいない」（62.8％）を下回った。（図表11－1－2）

図表11－1－3 安心して子育てができていると感じるか（配偶者の有無別）

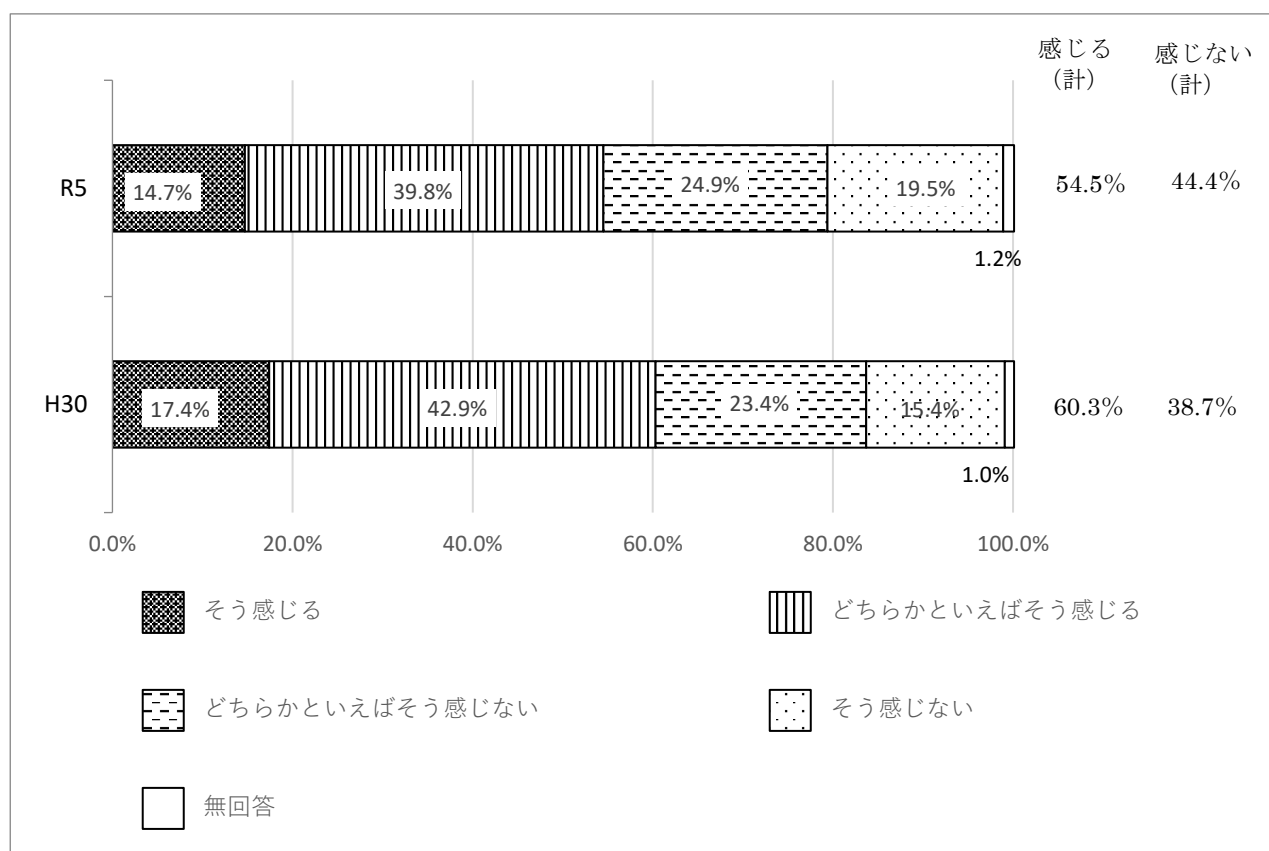


(2) 地域の方が子育てを支えてくれていると感じるか

問 52 あなたは地域の方が子育てを支えてくれていると感じていますか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

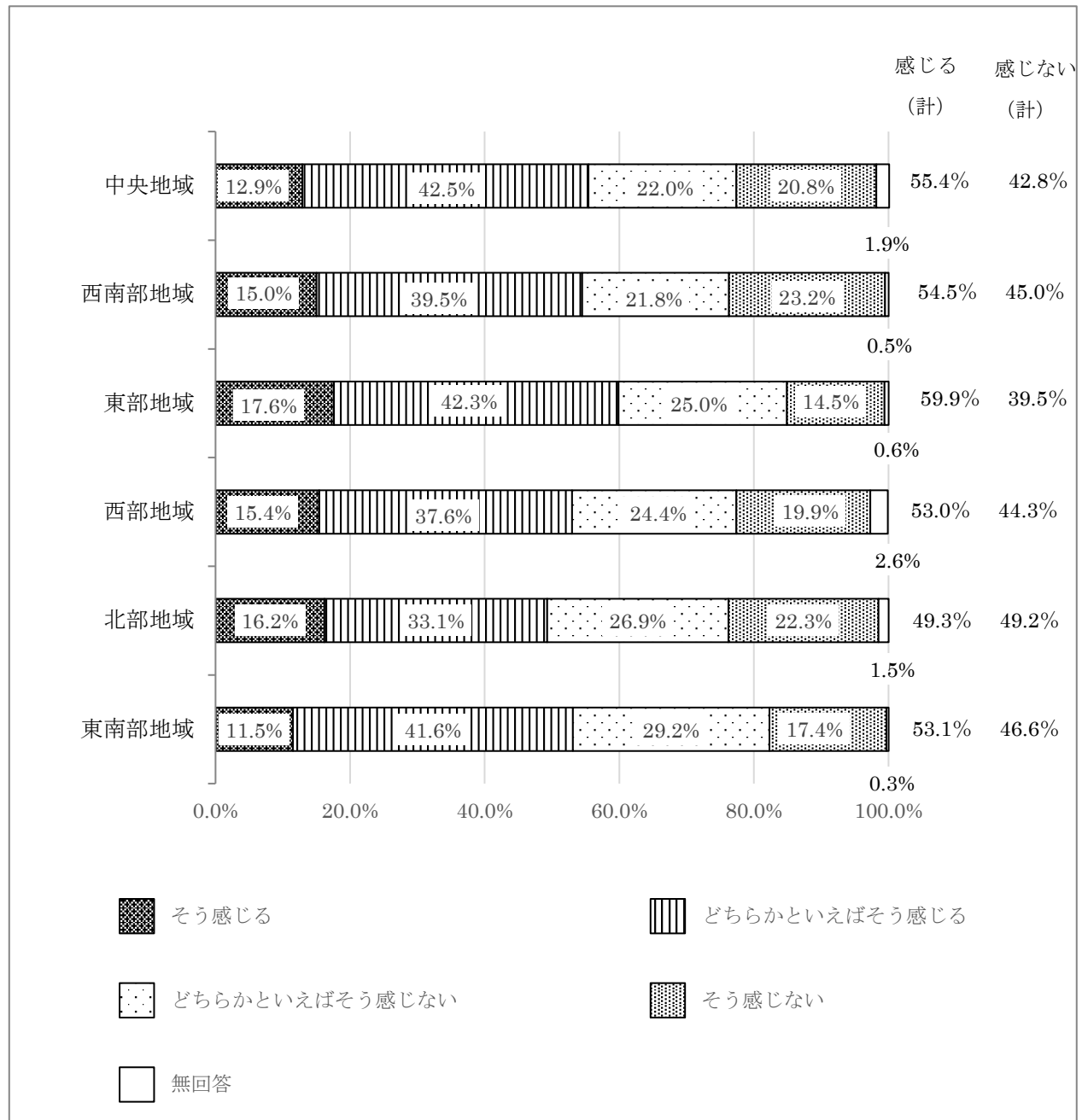
地域の方が子育てを支えてくれていると感じるかを質問したところ、「そう感じる」(14.7%)と「どちらかといえばそう感じる」(39.8%)を合わせた「感じる(計)」は54.5%となった。一方、「どちらかといえばそう感じない」(24.9%)と「そう感じない」(19.5%)を合わせた「感じない(計)」は44.4%となった。(図表11-2-1)

図表11-2-1 地域の方が子育てを支えてくれていると感じるか



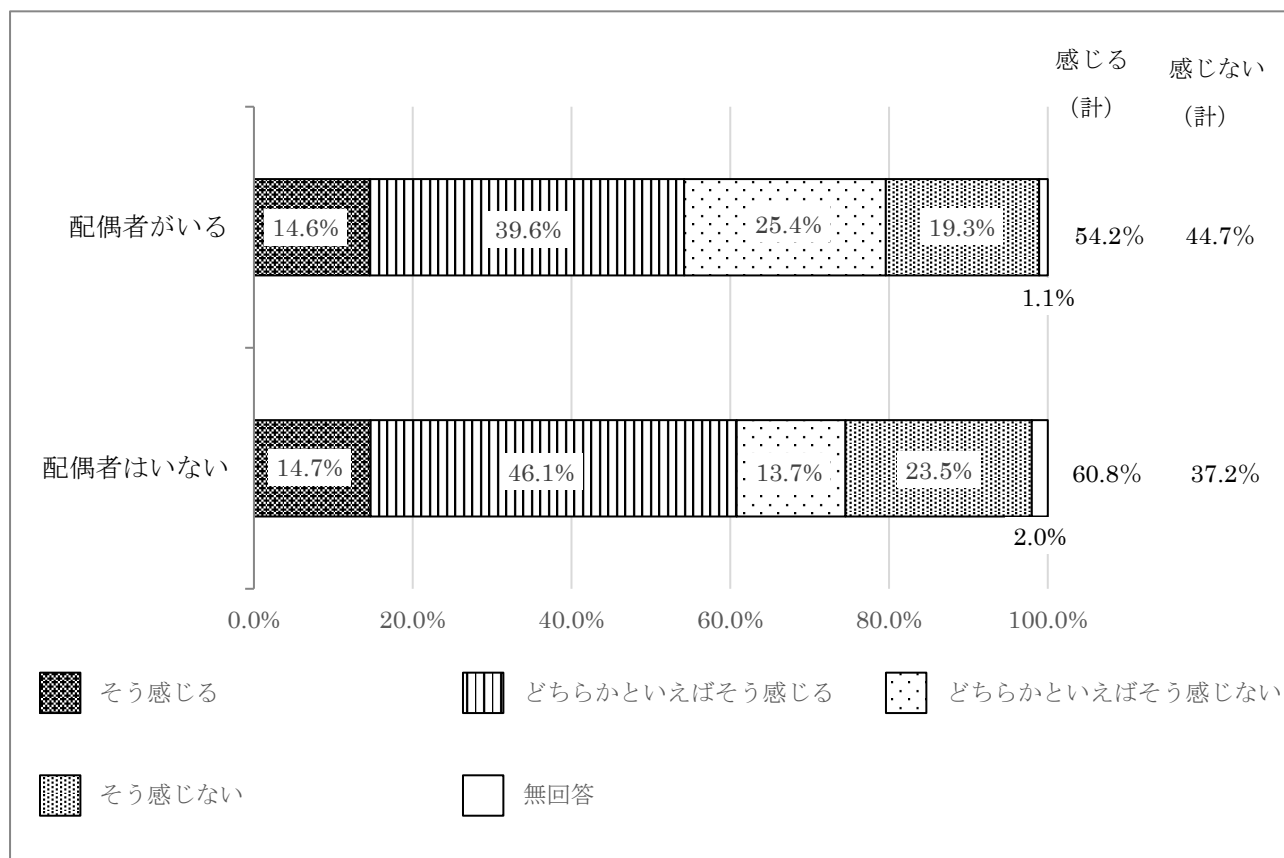
居住地域別では、「感じる（計）」は東部地域（59.9％）で最も高く、北部地域（49.3％）で最も低くなった。（図表11－2－2）

図表11－2－2 地域の人が子育てを支えてくれていると感じるか（居住地域別）



配偶者の有無別では、「感じる（計）」は「配偶者がいる」（54.2％）を、「配偶者はいない」（60.8％）が上回った。（図表 11－2－2）

図表 11－2－2 地域の人が子育てを支えてくれていると感じるか（配偶者の有無別）

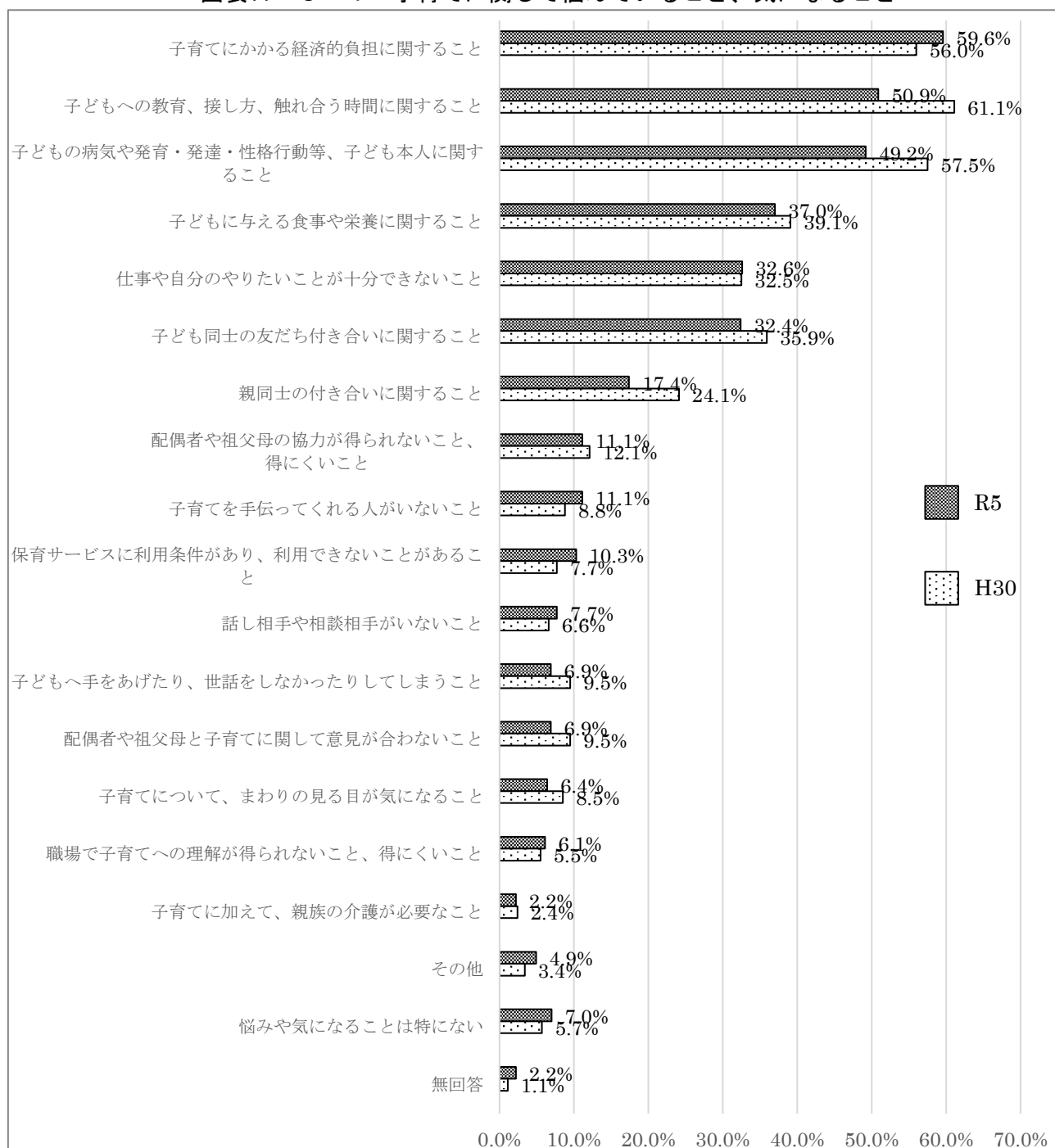


(3) 子育てに関して悩んでいること、気になること

問 53 子育てに関して悩んでいること、気になることについて、当てはまる番号すべてに○をつけてください。

子育てに関して悩んでいること、気になることを質問したところ、「子育てにかかる経済的負担に関すること」が59.6%で最も高く、次いで「子どもへの教育、接し方、触れ合う時間に関すること」(50.9%)、「子どもの病気や発達、性格行動等、子ども本人に関すること」(49.2%)の順となった。(図表11-3-1)

図表11-3-1 子育てに関して悩んでいること、気になること



(4) 子育てに関する悩みを実際に相談した相手・機関

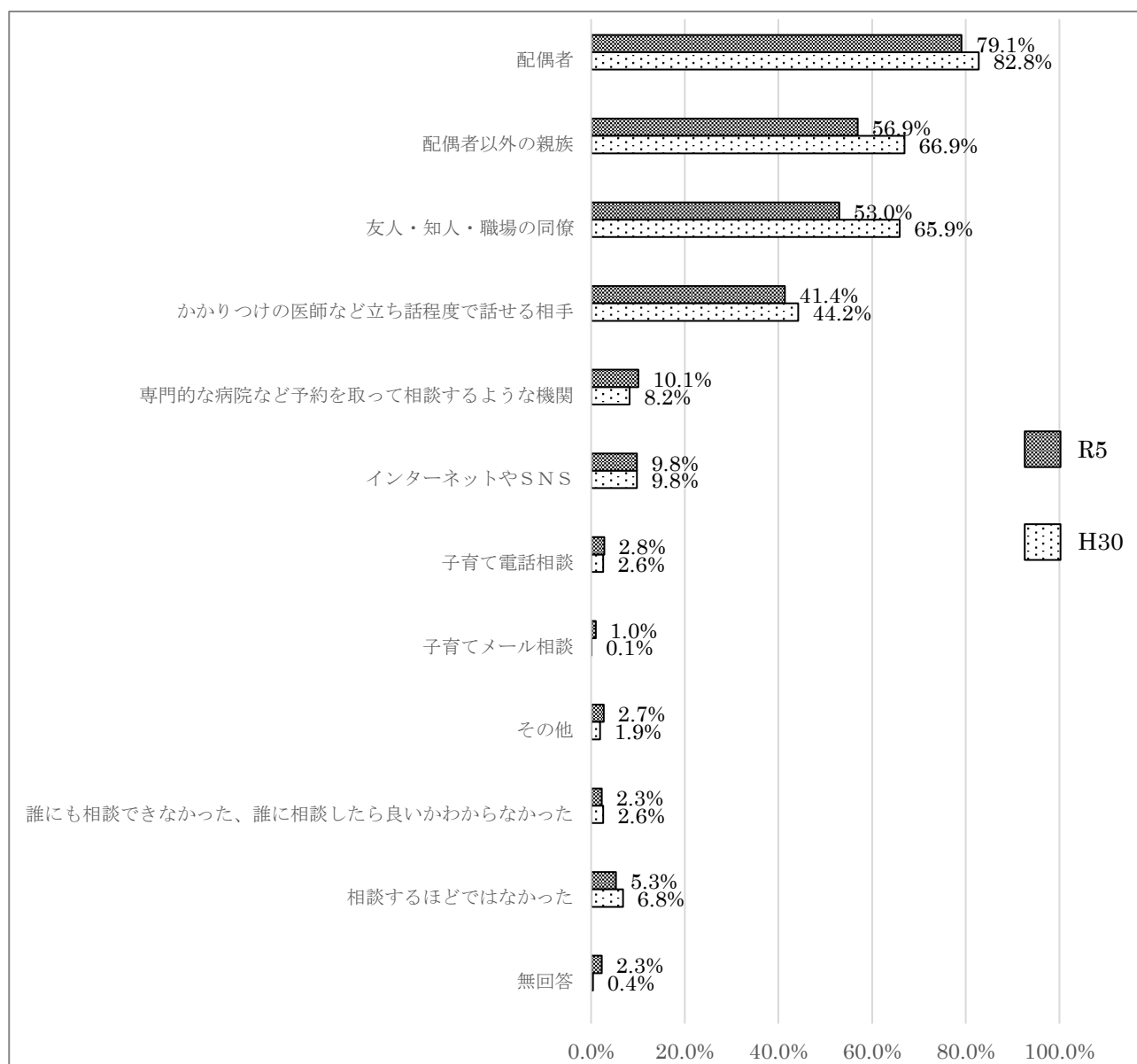
【問 53 で「1」～「17」のいずれかを回答した方のみ】

問 54 悩んでいること、気になることの相談状況についてうかがいます。

(1) 実際に相談した相手・機関について、当てはまる番号すべてに○をつけてください。

子育てに関して悩んでいること、気になることがあると答えた人に、悩んでいることや気になることを実際に相談した相手、機関を質問したところ、「配偶者」が79.1%で最も高く、次いで「配偶者以外の親族」(56.9%)、「友人・知人・職場の同僚」(53.0%)の順となった。平成30年度調査と比較すると「配偶者以外の親族」及び「友人・知人・職場の同僚」が特に大きく減少した。(図表11-4-1)

図表11-4-1 子育てに関する悩みを実際に相談した相手・機関



（５）子育てに関する悩みを相談したいと考える相手・機関

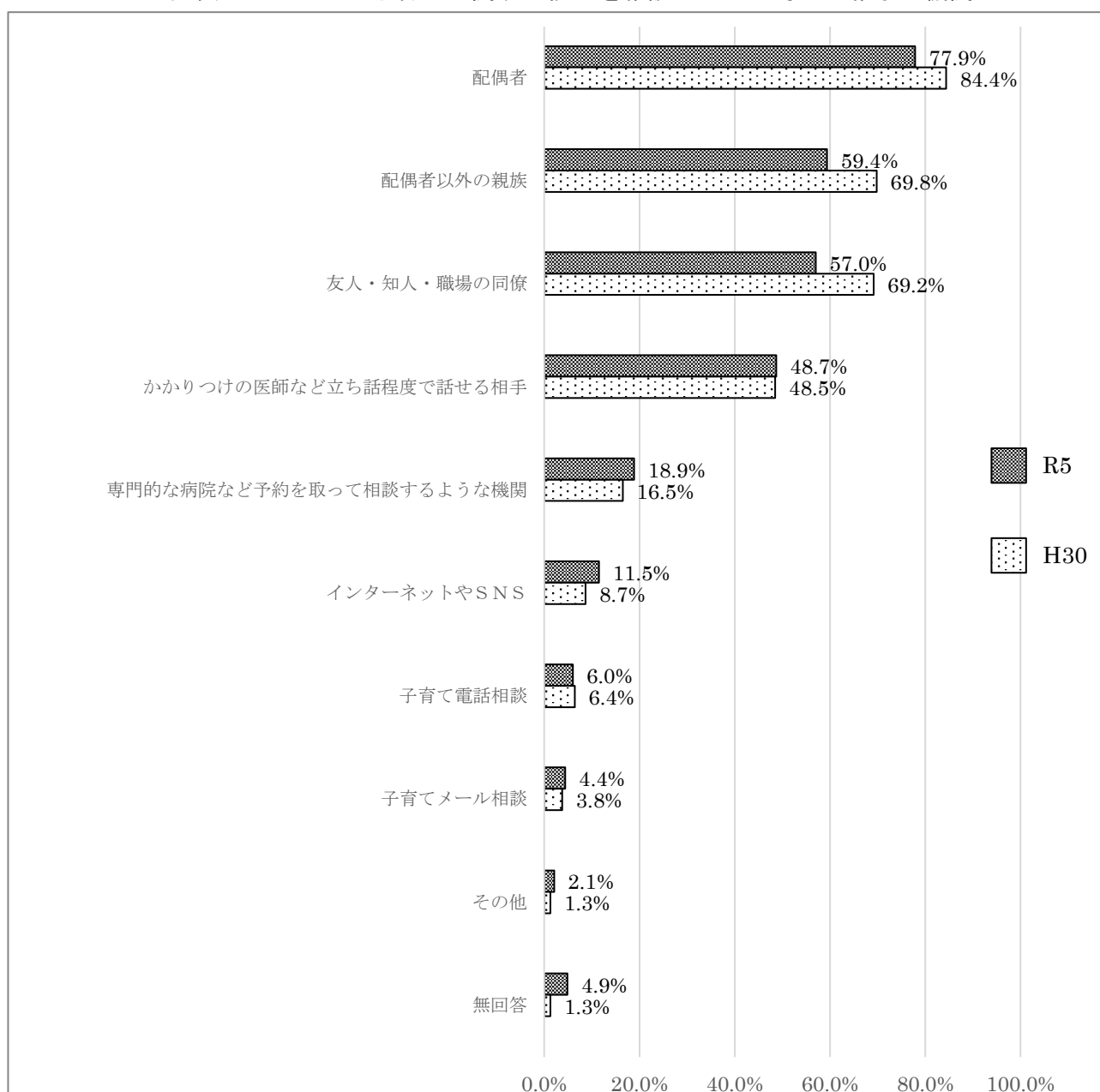
【問 53 で「１」～「１７」のいずれかを回答した方のみ】

問 54 悩んでいること、気になることの相談状況についてうかがいます。

（２）相談したいと考える相手・機関について、当てはまる番号すべてに○をつけてください。

子育てに関して悩んでいること、気になることがあると答えた人に、悩んでいることや気になることを相談したいと考える相手、機関を質問したところ、「配偶者」が77.9%で最も高く、次いで「配偶者以外の親族」(59.4%)、「友人・知人・職場の同僚」(57.0%)の順となった。平成30年度調査と比較すると「配偶者」及び「配偶者以外の親族」、「友人・知人・職場の同僚」が特に大きく減少した。（図表11－５－１）

図表11－５－１ 子育てに関する悩みを相談したいと考える相手・機関



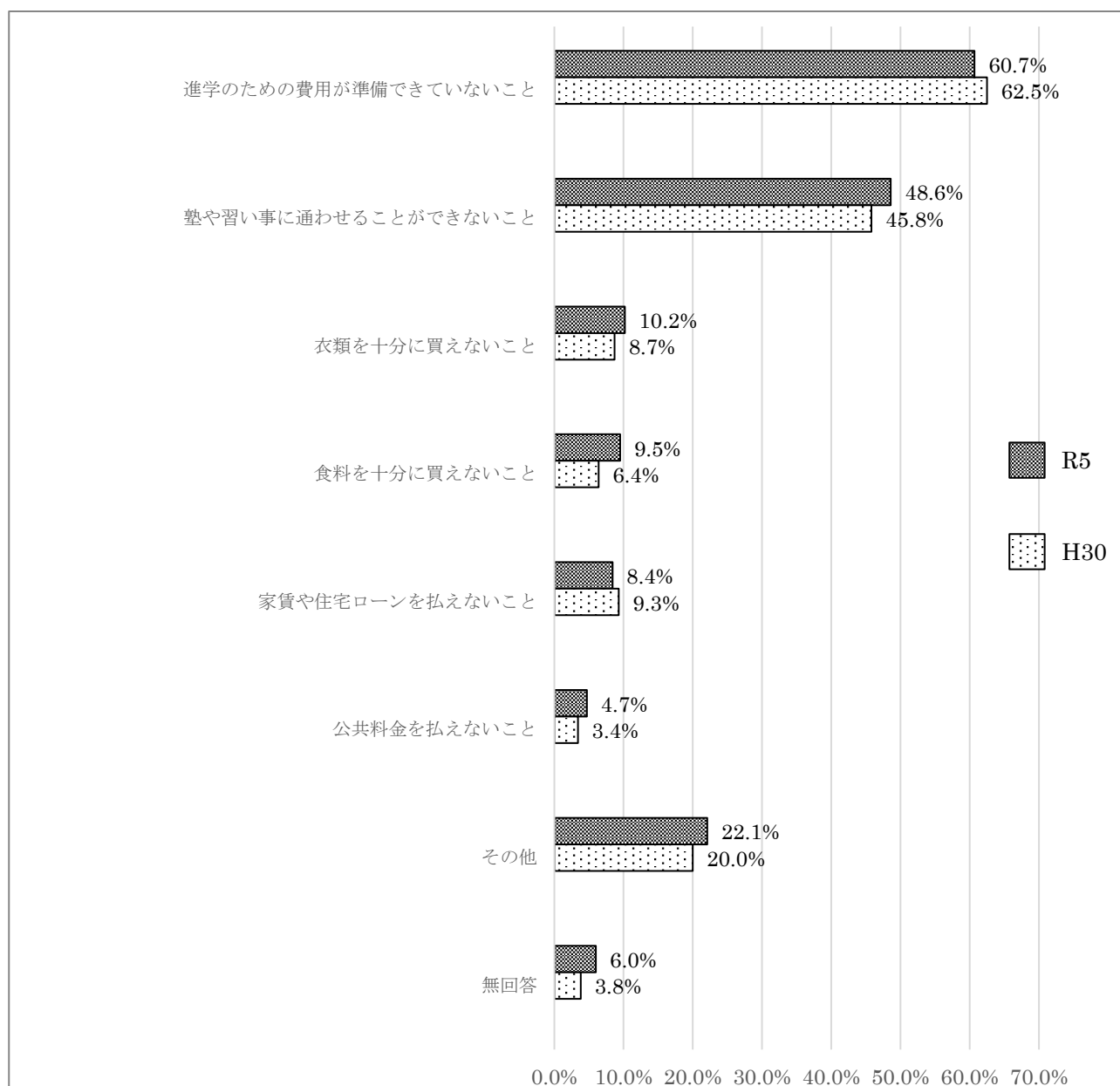
（６）子育てにかかる経済的な不安の具体的な内容

【問 53 で「４．子育てにかかる経済的負担に関すること」と回答した方のみ】

問 55 子育てにかかる経済的な不安の具体的な内容について、当てはまる番号すべてに○をつけてください。

子育てに関して悩んでいること、気になることとして「子育てにかかる経済的負担に関すること」と答えた人にその具体的な内容を聞いたところ、「進学のための費用が準備できていないこと」が60.7%で最も高く、次いで「塾や習い事に通わせることができないこと」（48.6%）、「衣類を十分を買えないこと」（10.2%）の順となった。平成30年度調査との比較では、大きな差は見られなかった（図表11－6－1）

図表11－6－1 子育てにかかる経済的な不安の具体的な内容



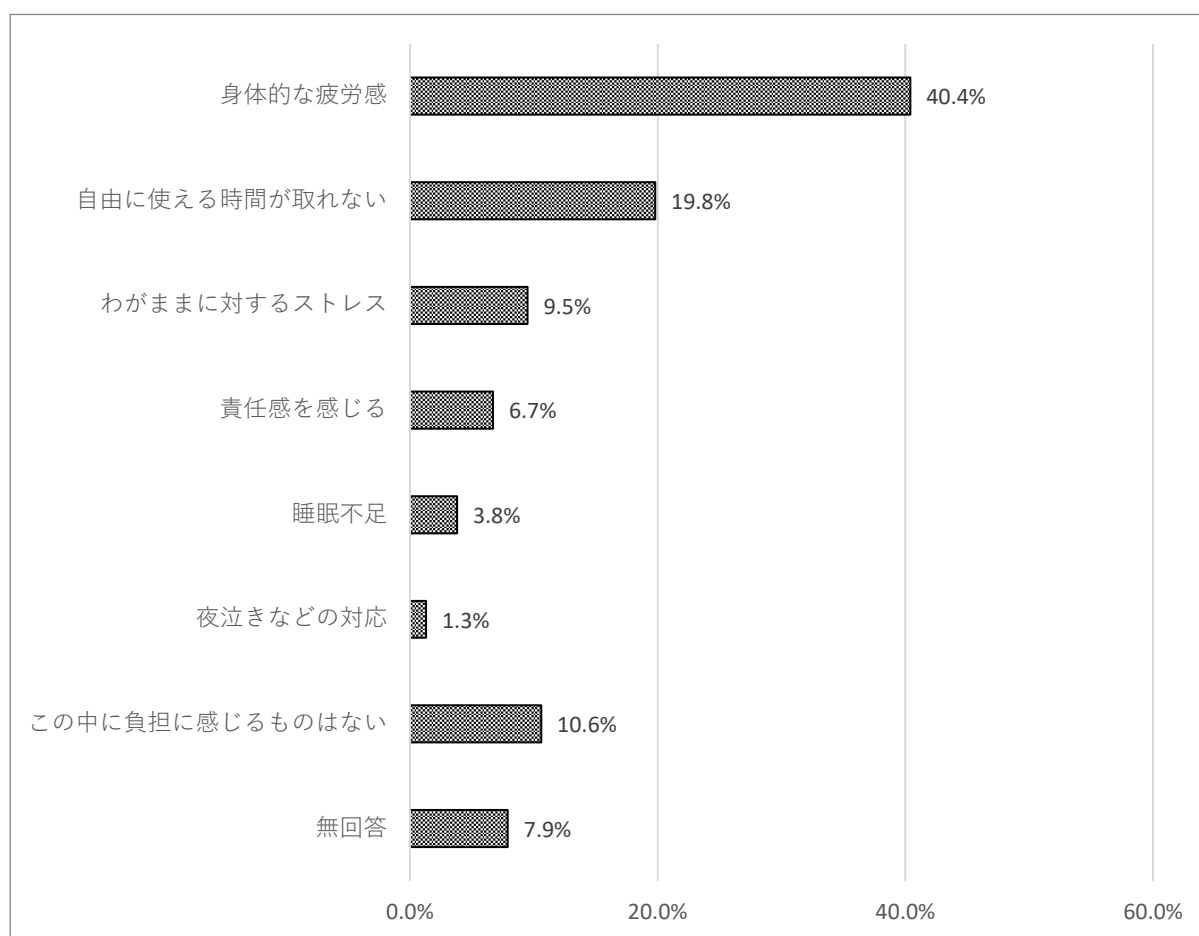
(7) 子育てにかかる負担感

問 56 子育てに係る負担感について次のうち最も感じるものに○を付けてください。

子育てにかかる負担感を質問したところ、「身体的な疲労感」が40.4%で最も高く、次いで「自由に使える時間が取れない」(19.8%)、「わがままに対するストレス」(9.5%)の順となった。

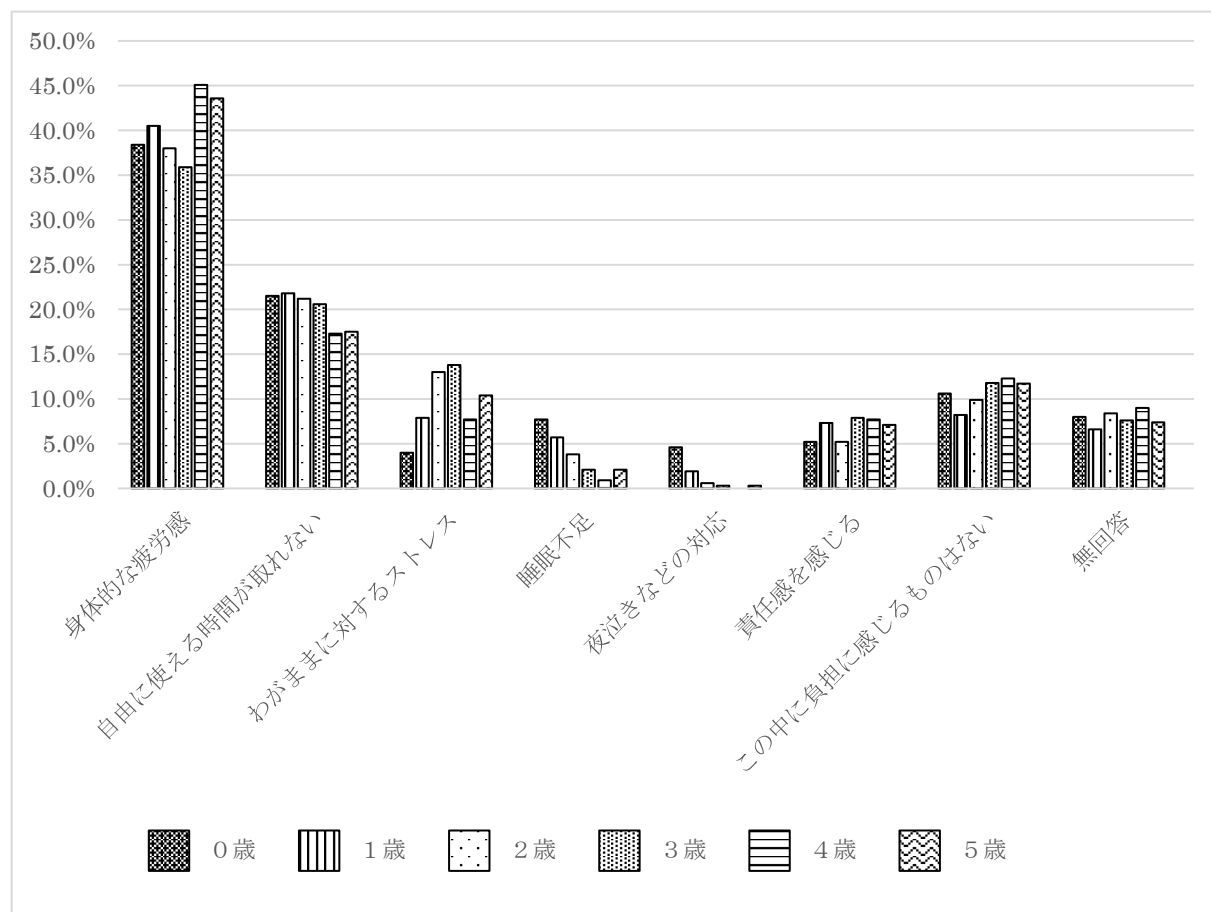
(図表11－7－1)

図表11－7－1 子育てにかかる負担感



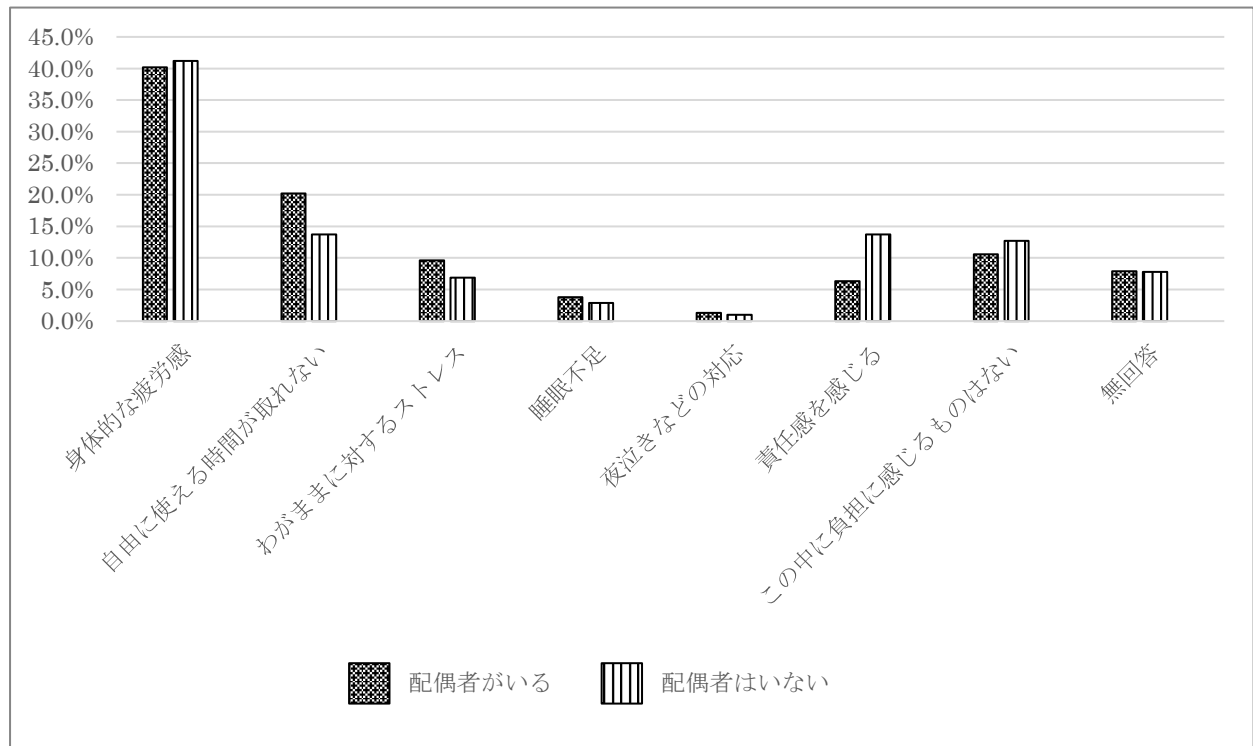
子どもの年齢別では、「身体的な疲労感」と回答した人は4歳以降で3歳以下と比較して高くなっている。一方で、「自由に使える時間が少ない」、「睡眠不足」と答えた人は子どもの年齢が高くなるほど低くなる傾向がみられた。また、「わがままに対するストレス」と答えた人は、3歳まで増加するものの、4歳以降で減少している。(図表11-7-2)

図表11-7-2 子育てにかかる負担感（子どもの年齢別）



配偶者の有無別では、「自由に使える時間が取れない」と回答した人は「配偶者がいる」(20.2%)が「配偶者はいない」(13.7%)を上回った。一方で、「責任感を感じる」と回答した人は、「配偶者はいない」(13.7%)が「配偶者がいる」(6.3%)を上回った。(図表11-7-2)

図表 11-7-2 子育てにかかる負担感（配偶者の有無別）

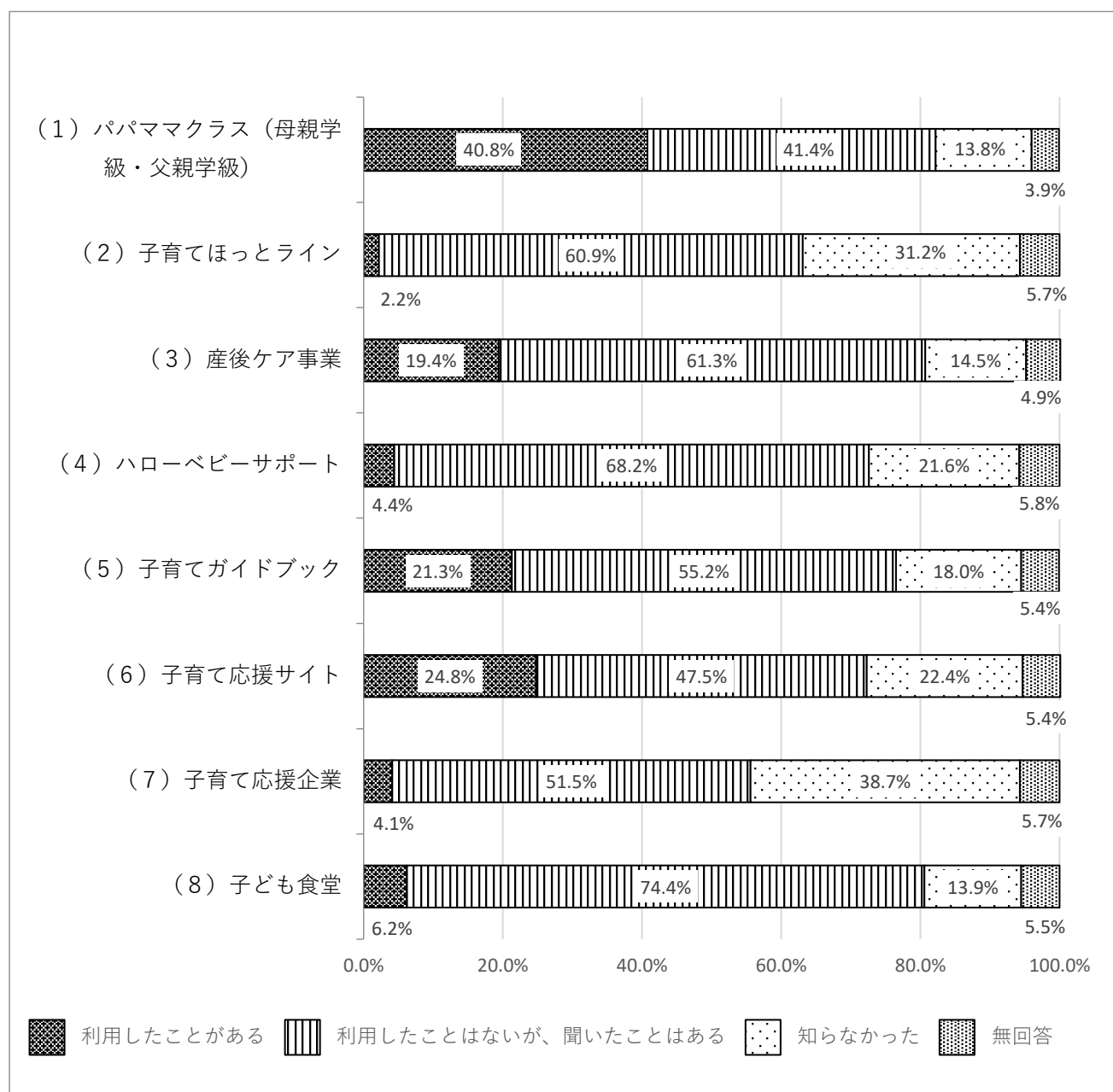


(8) 子育て支援事業の利用状況

問 57 次の(1)～(8)の事業について、これまでに利用したことがありますか。
当てはまる番号にそれぞれ1つずつ○をつけてください。

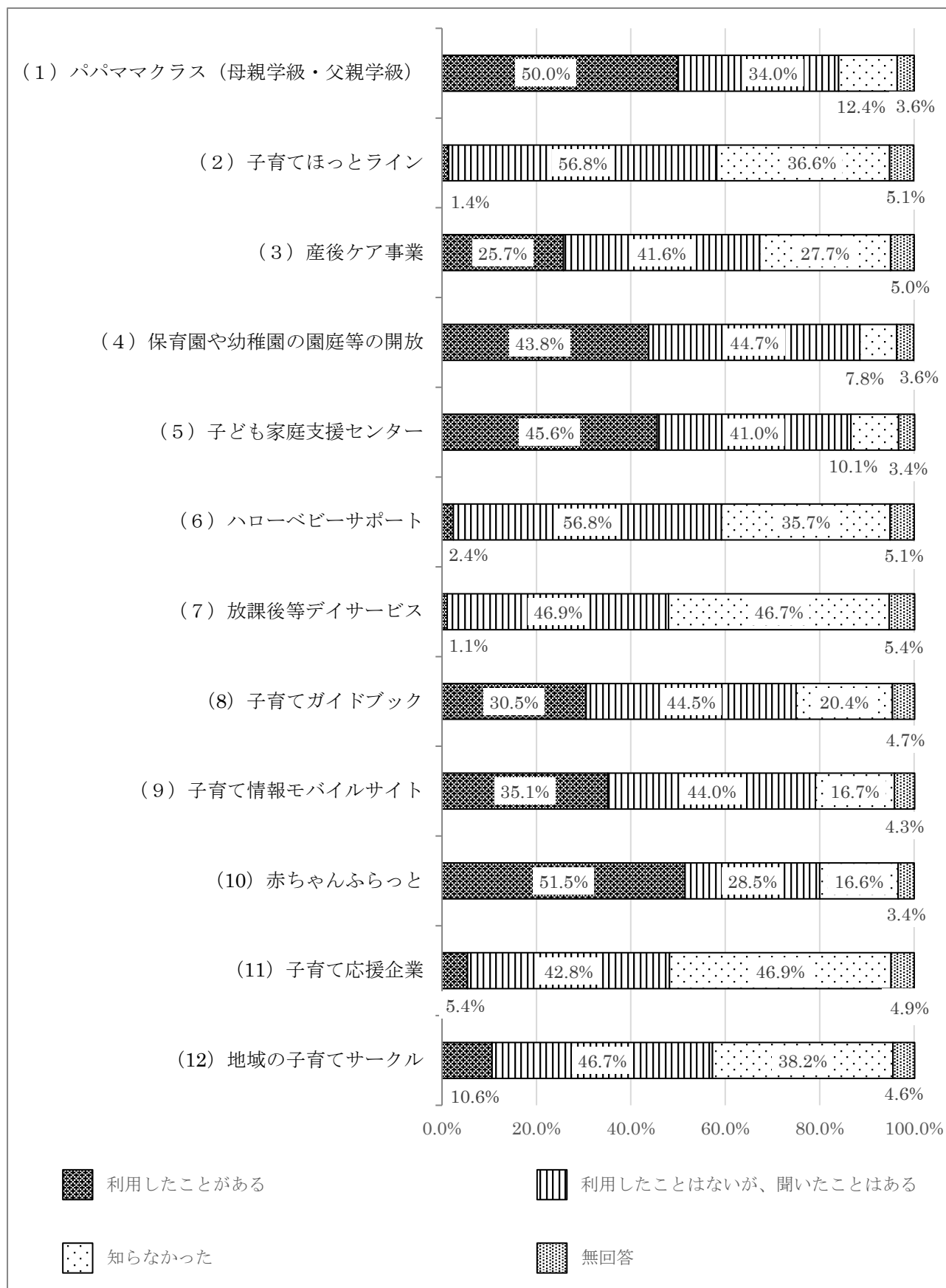
8項目の市の子育て支援事業の利用状況を質問したところ、「利用したことがある」が最も高いのは、「(1) パパママクラス (母親学級・父親学級)」の40.8%で、次いで、「(6) 子育て応援サイト」(24.8%)、「(5) 子育てガイドブック」(21.3%)の順となった。一方、「知らなかった」は「(7) 子育て応援企業」の38.7%が最も高く、「(2) 子育てほっとライン」(31.2%)、「(6) 子育て応援サイト」(22.4%)の順となった。(図表11-8-1)

図表11-8-1 子育て支援事業の利用状況



平成30年度調査とは一部項目が異なるため、参考に結果を記載する。(図表11－8－2)

図表11－8－2 子育て支援事業の利用状況（平成30年度）



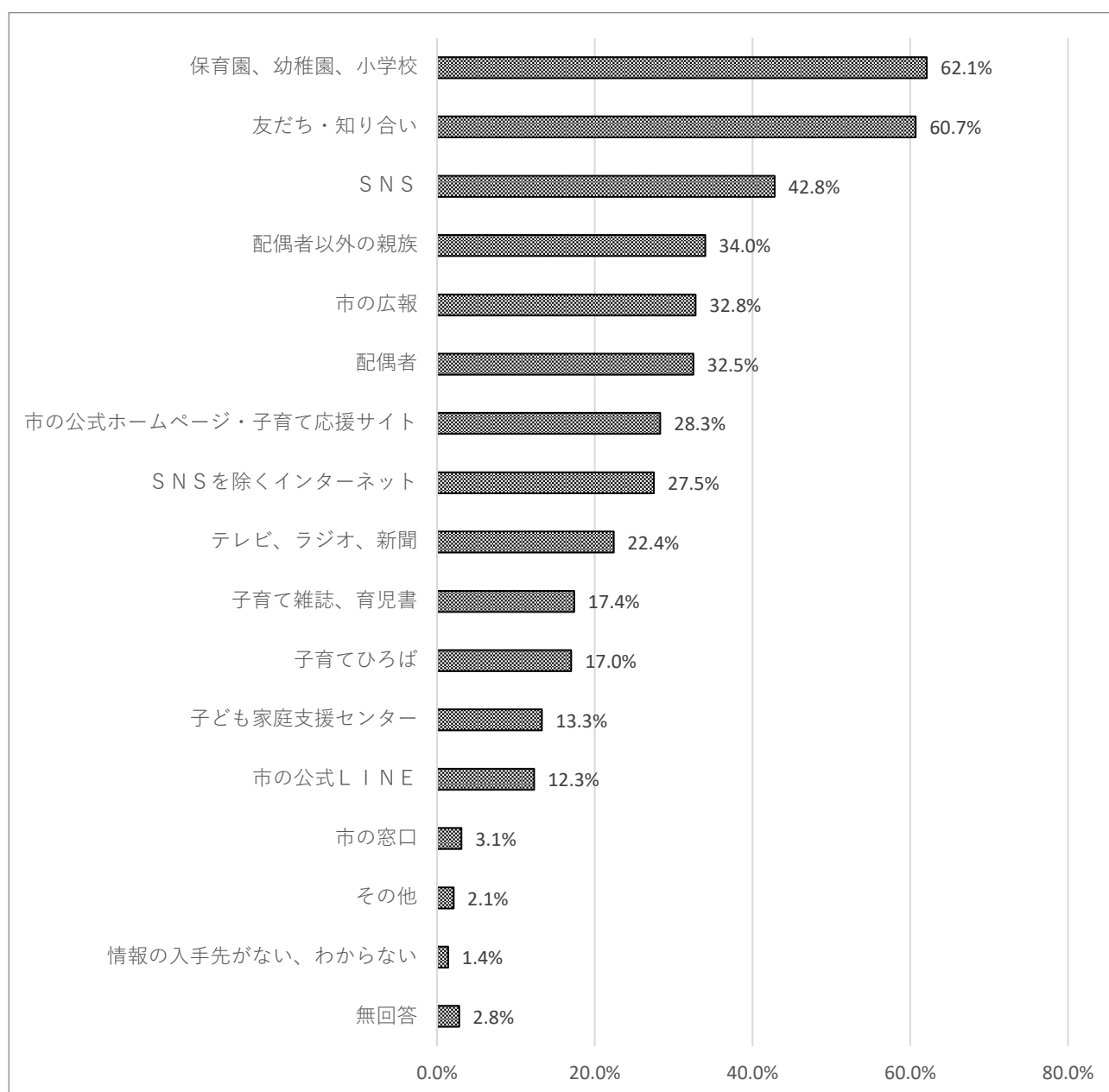
(9) 子育てに関する情報入手先

問 58 子育てに関する情報を誰から（どこから）入手していますか。

当てはまる番号すべてに○をつけてください。

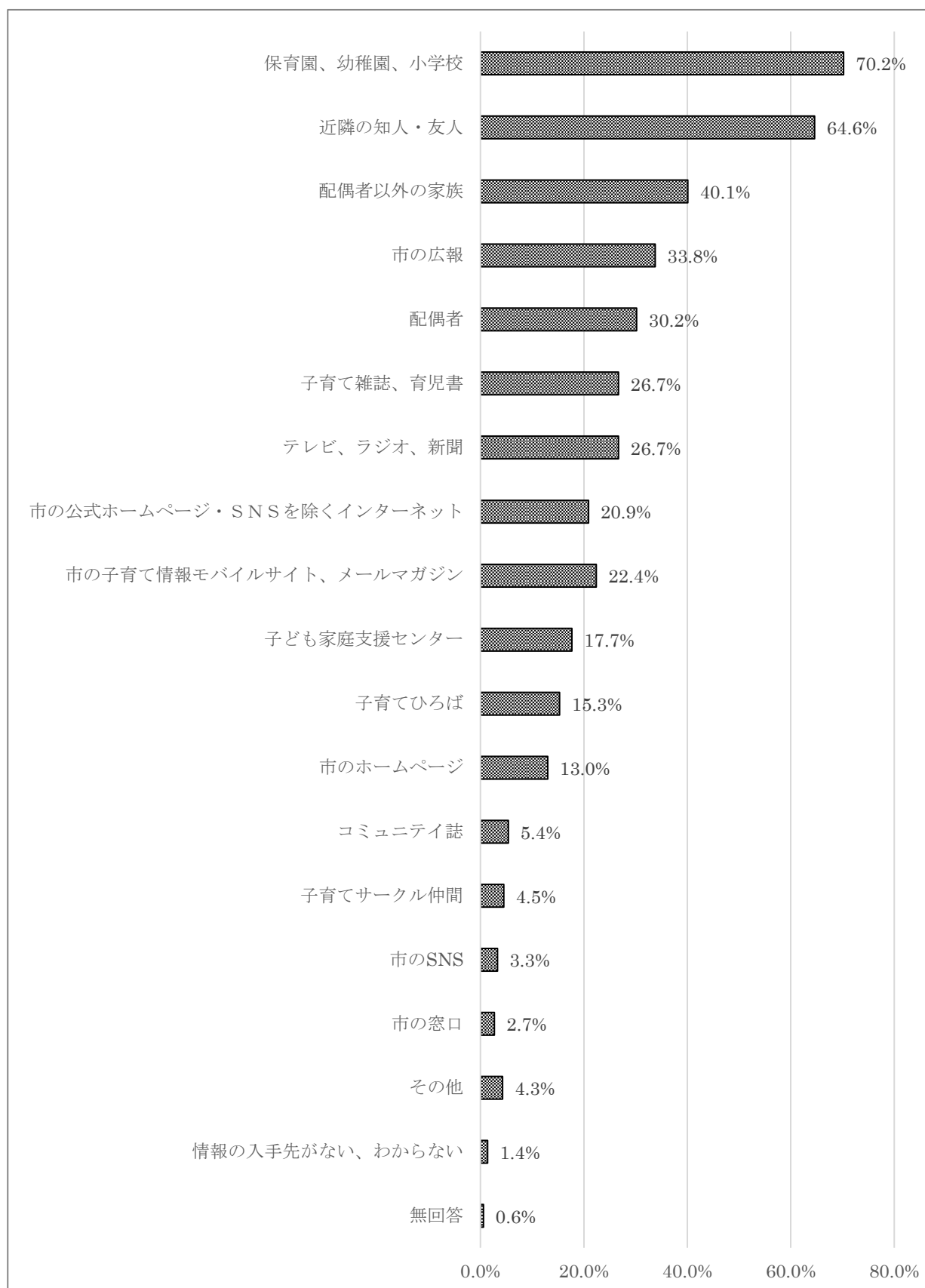
子育てに関する情報の入手先を質問したところ、「保育園、幼稚園、小学校」が62.1%で最も高く、次いで「友だち・知り合い」(60.7%)、「SNS」(42.8%)の順となった。(図表11－9－1)

図表11－9－1 子育てに関する情報入手先



平成30年度調査とは一部項目が異なるため、参考に結果を記載する。(図表11－9－2)

図表11－9－2 子育てに関する情報入手先（平成30年度）

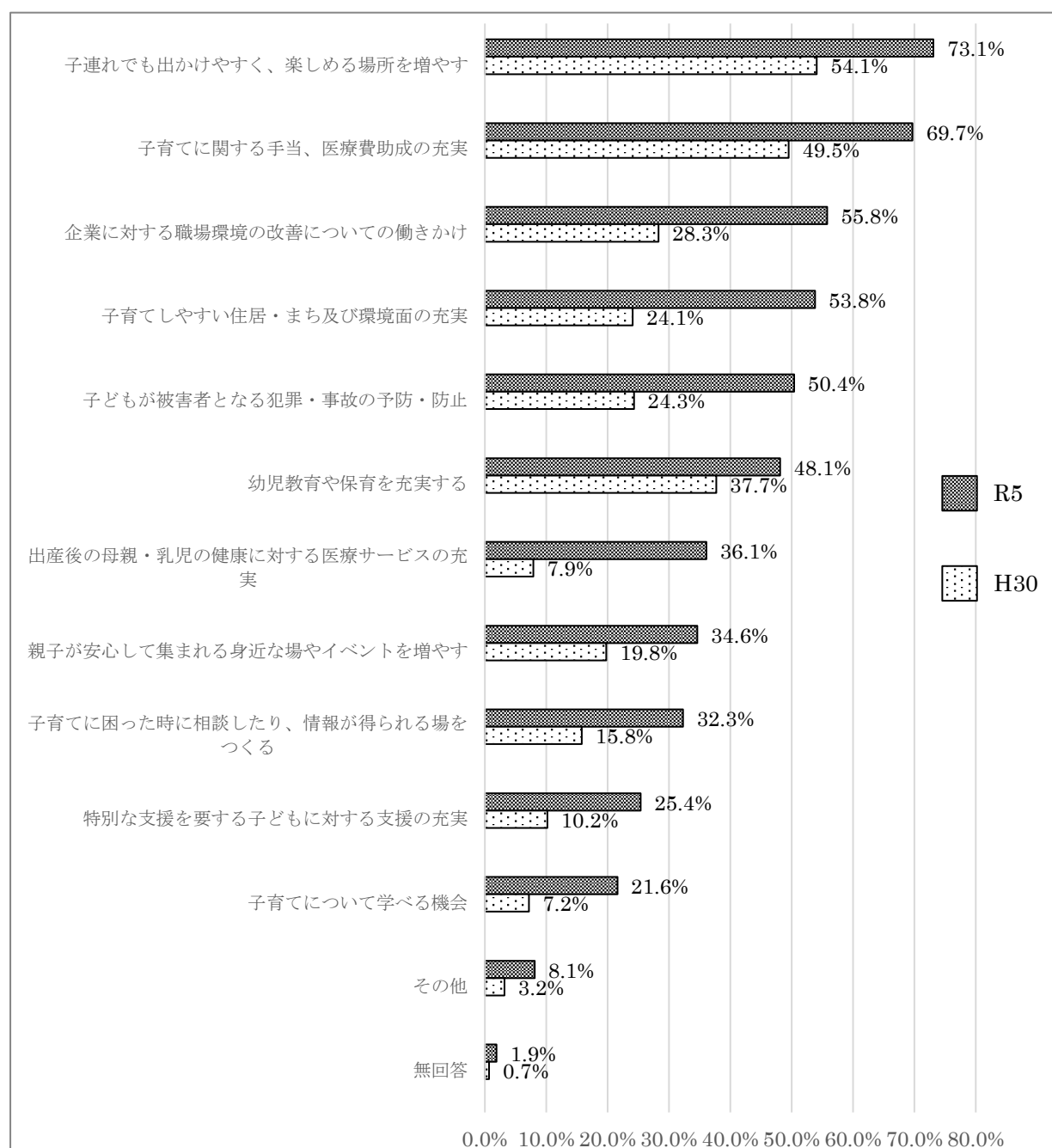


(10) 市の子育て支援環境充実のための施策のうち重要だと思う施策

問 59 あなたが考える子育て支援環境充実のための支援策について、当てはまる番号すべてに○をつけてください。

市の子育て支援環境充実のための施策のうち重要だと思う施策を質問したところ、「子連れでも出かけやすく、楽しめる場所を増やす」が73.1%で最も高く、次いで「子育てに関する手当、医療費助成の充実」(69.7%)、「企業に対する職場環境の改善についての働きかけ」(55.8%)の順となった。平成30年度は選択が3つまでと条件が異なるため、参考に結果を記載する。(図表11-10-1)

図表11-10-1 市の子育て支援環境充実のための施策のうち重要だと思う施策



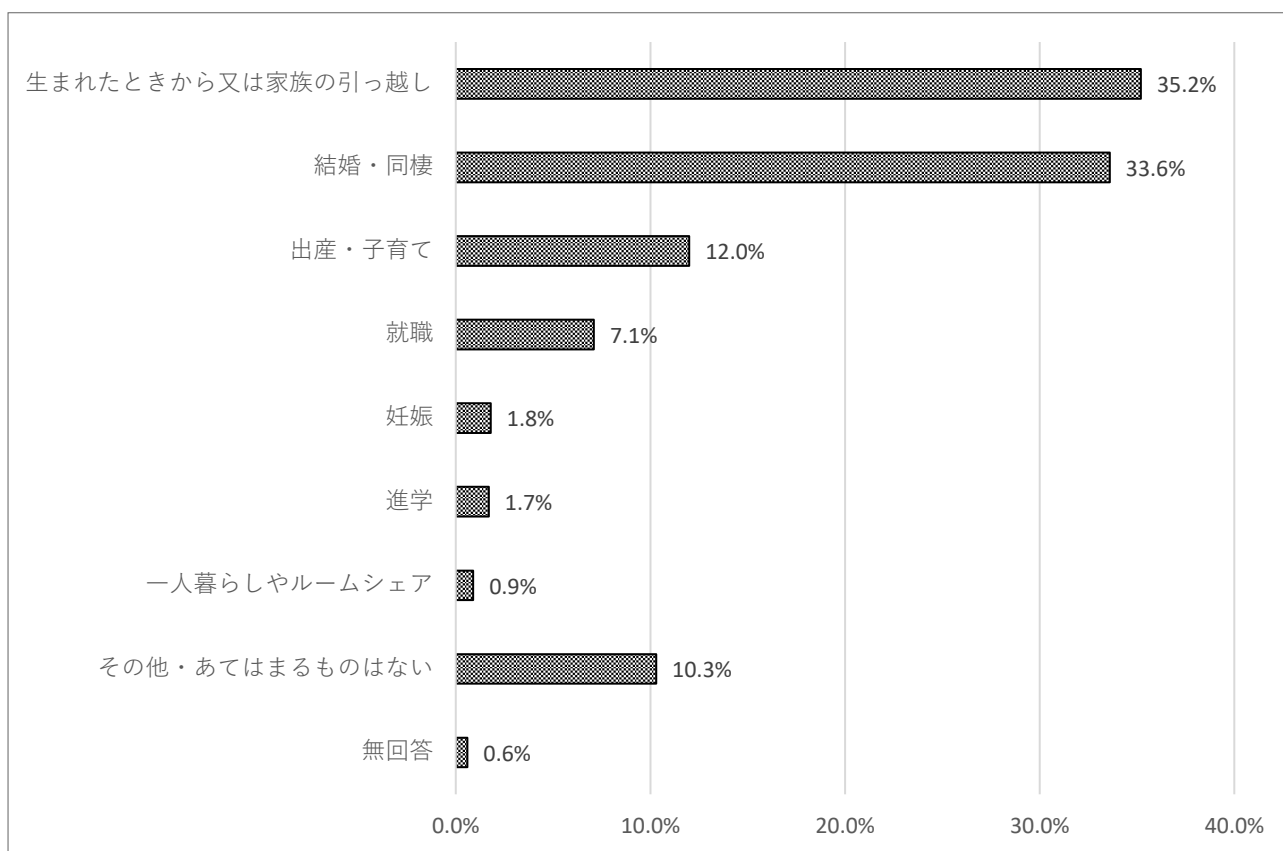
12. 八王子市での子育てについて

(1) 八王子市に住み始めたきっかけ

問 60 あなたが八王子市に住み始めたきっかけは何ですか。

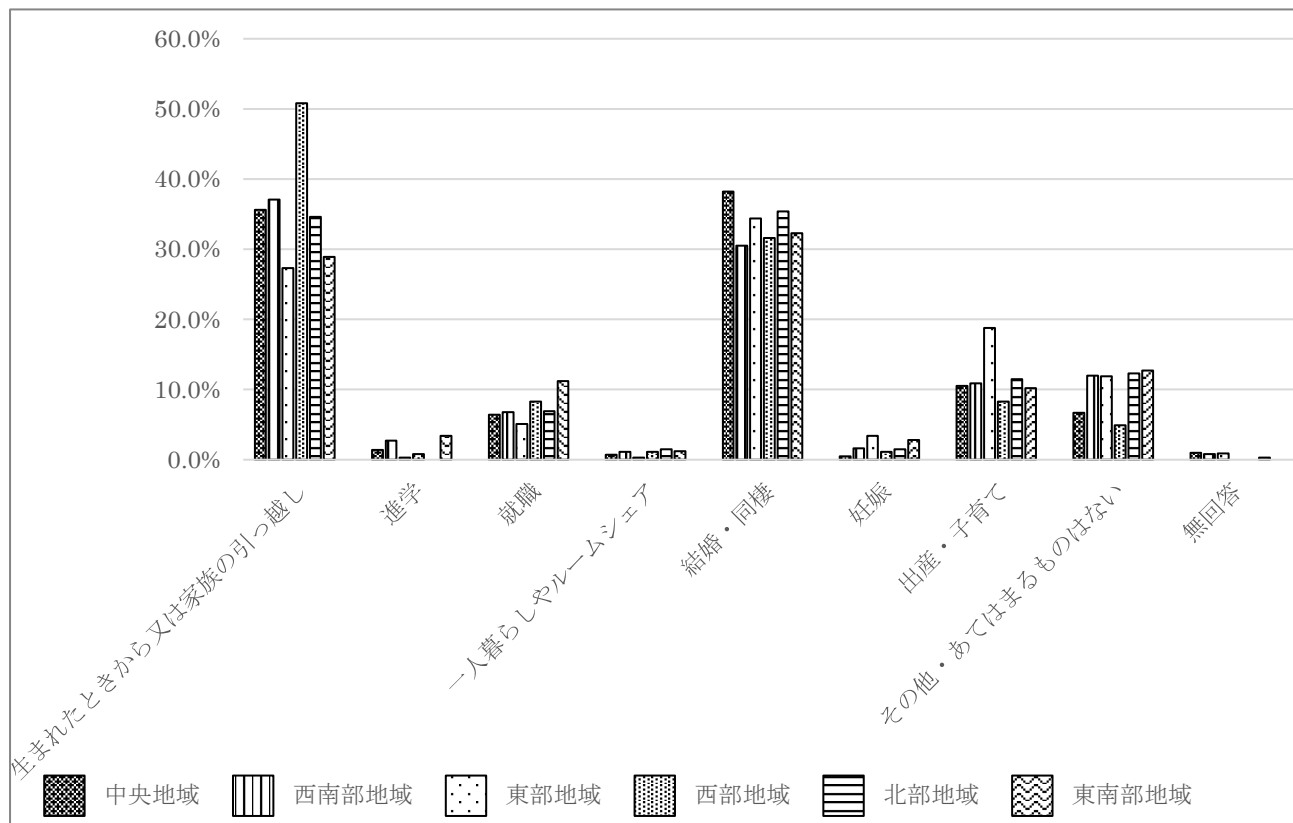
八王子市に住み始めたきっかけを質問したところ、「生まれたときから又は家族の引っ越し」が35.2%で最も高く、次いで「結婚・同棲」(33.6%)、「出産・子育て」(12.0%)の順となった。
(図表12-1-1)

図表12-1-1 八王子市に住み始めたきっかけ



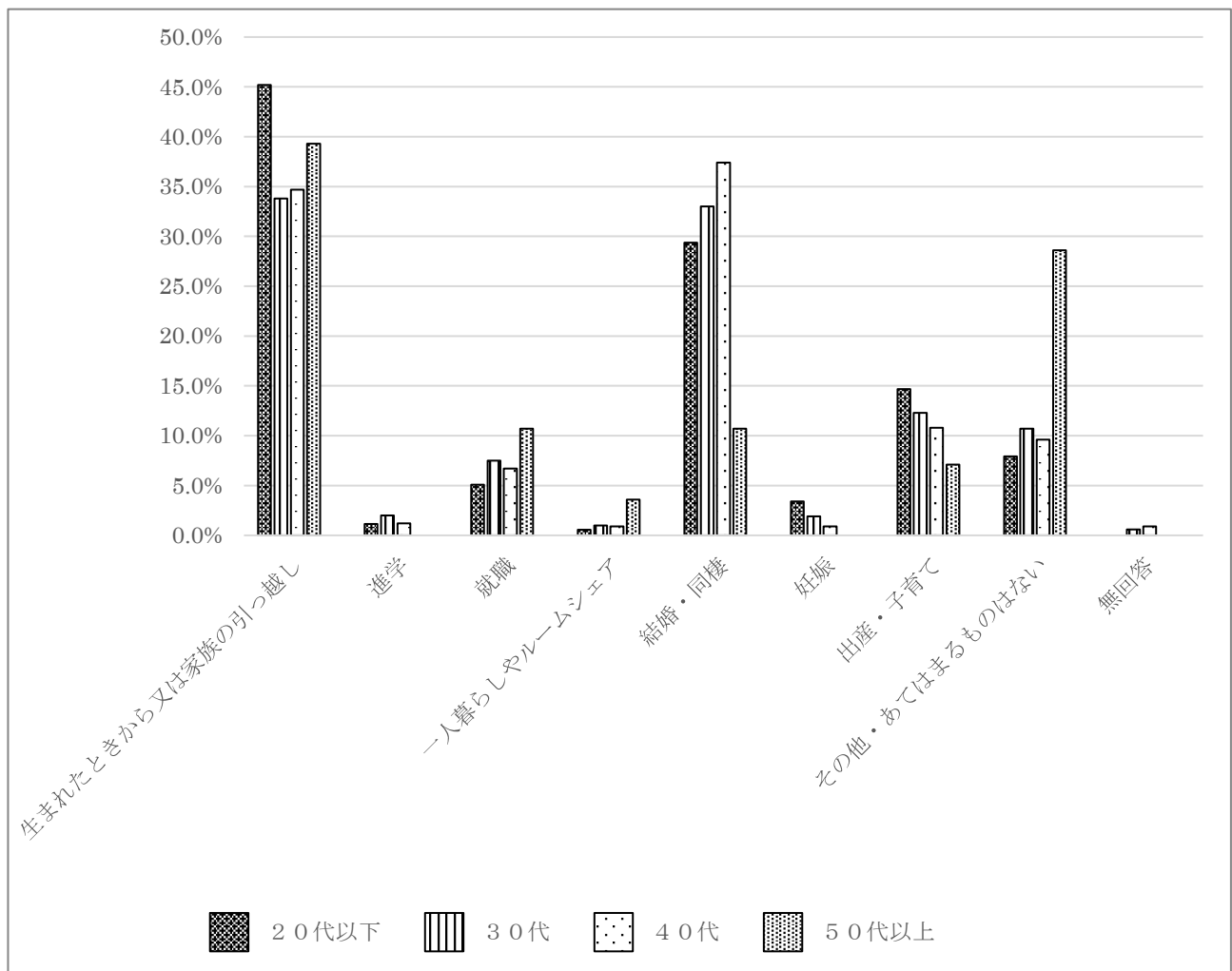
居住地域別では、「生まれたときから又は家族の引っ越し」と答えた人は、西部地域（50.8%）で高くなった。「進学」と答えた人は東南部地域（3.4%）、西南部地域（2.7%）が高くなっている。「就職」と答えた人は、東南部地域（11.2%）が高くなっている。「一人暮らしやルームシェア」では、北部地域（1.5%）が高くなっている。「結婚・同棲」と答えた人は、中央地域（38.2%）が高くなっている。「妊娠」、「出産・子育て」と答えた人は東部地域（それぞれ3.4%、18.8%）が高くなっている。（図表12－1－2）

図表12－1－2 八王子市に住み始めたきっかけ（居住地域別）



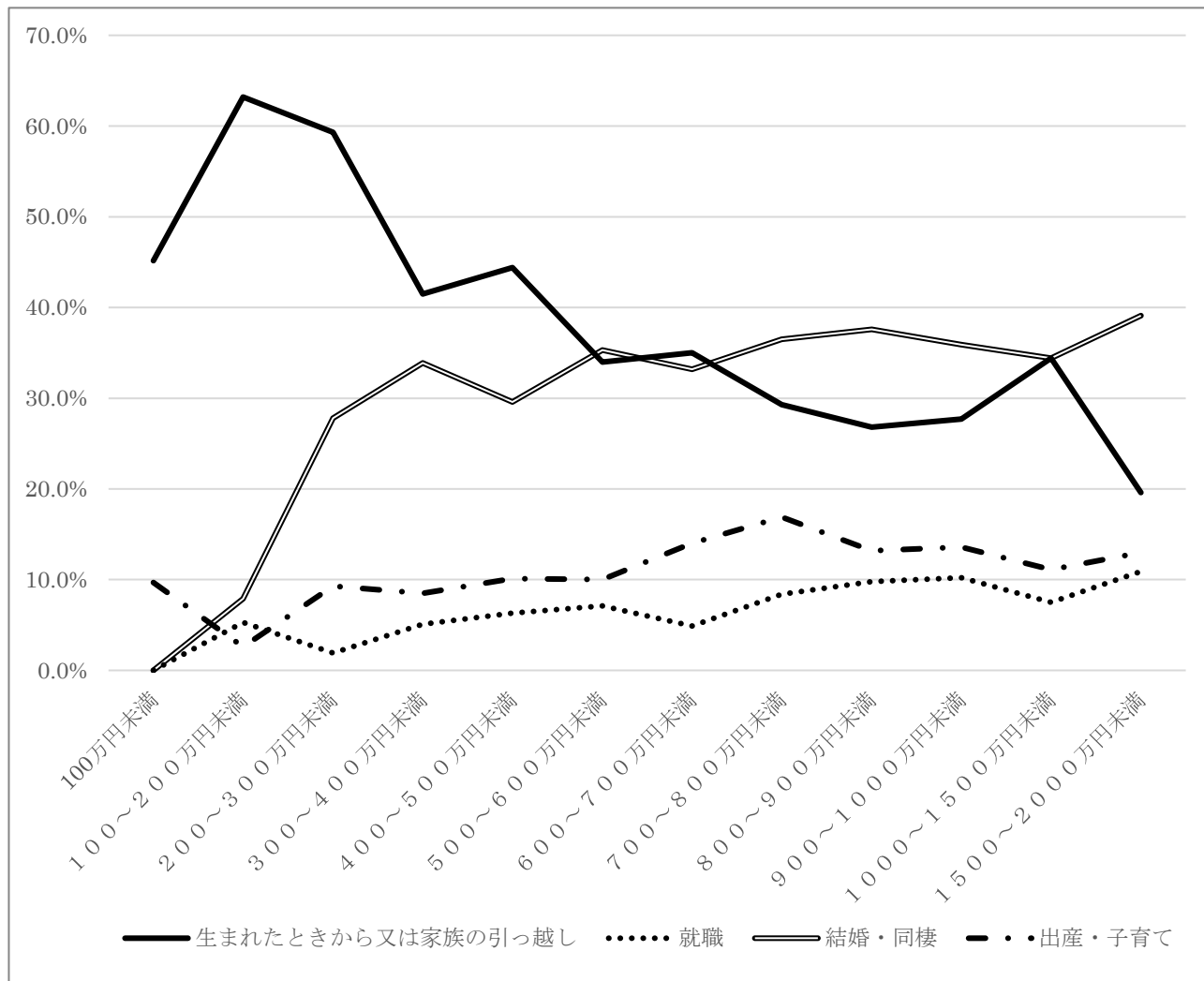
保護者の年代別では、「生まれたときから又は家族の引っ越し」と答えた人は、20代以下（44.6%）でもっとも高くなった。「就職」、「結婚・同棲」と答えた人は年代が上になるほど高くなる傾向がみられた。（ただし、「結婚・同棲」は50代のみ極端に低くなっている）。一方で、「妊娠」や「出産・子育て」と答えた人は、年代が下になるほど高くなる傾向がみられた。（図表12-1-3）

図表12-1-3 八王子市に住み始めたきっかけ（保護者の年代別）



収入別では、収入が低くなるほど「生まれたときから又は家族の引っ越し」の割合が高くなる傾向がみられ、「就職」、「結婚・同棲」、「出産・子育て」は収入が高くなるほど割合が高くなる傾向がみられた。

図表 12－１－４ 八王子市に住み始めたきっかけ（収入別）

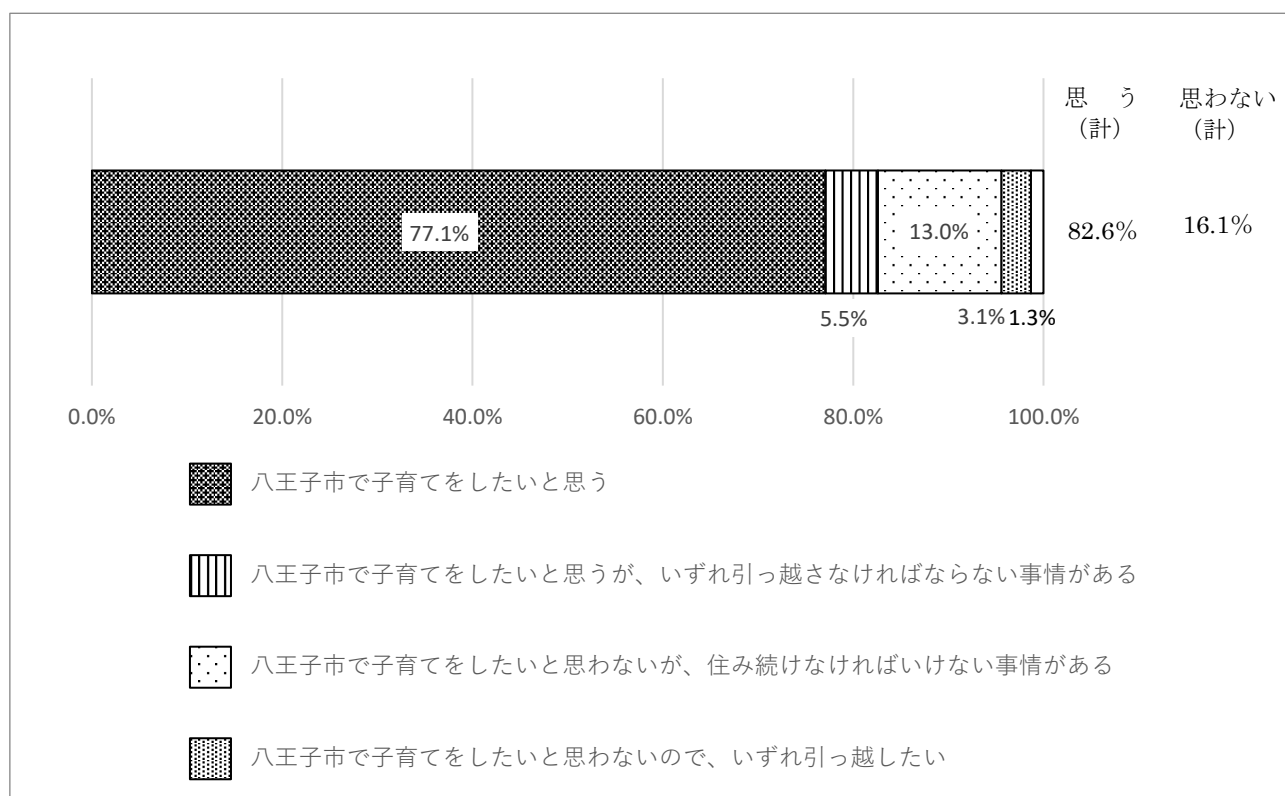


（２）今後も八王子市で子育てをしたいと思うかどうか

問 61 あなたは今後も八王子市で子育てをしたいと思いますか。（あてはまるもの１つに○）

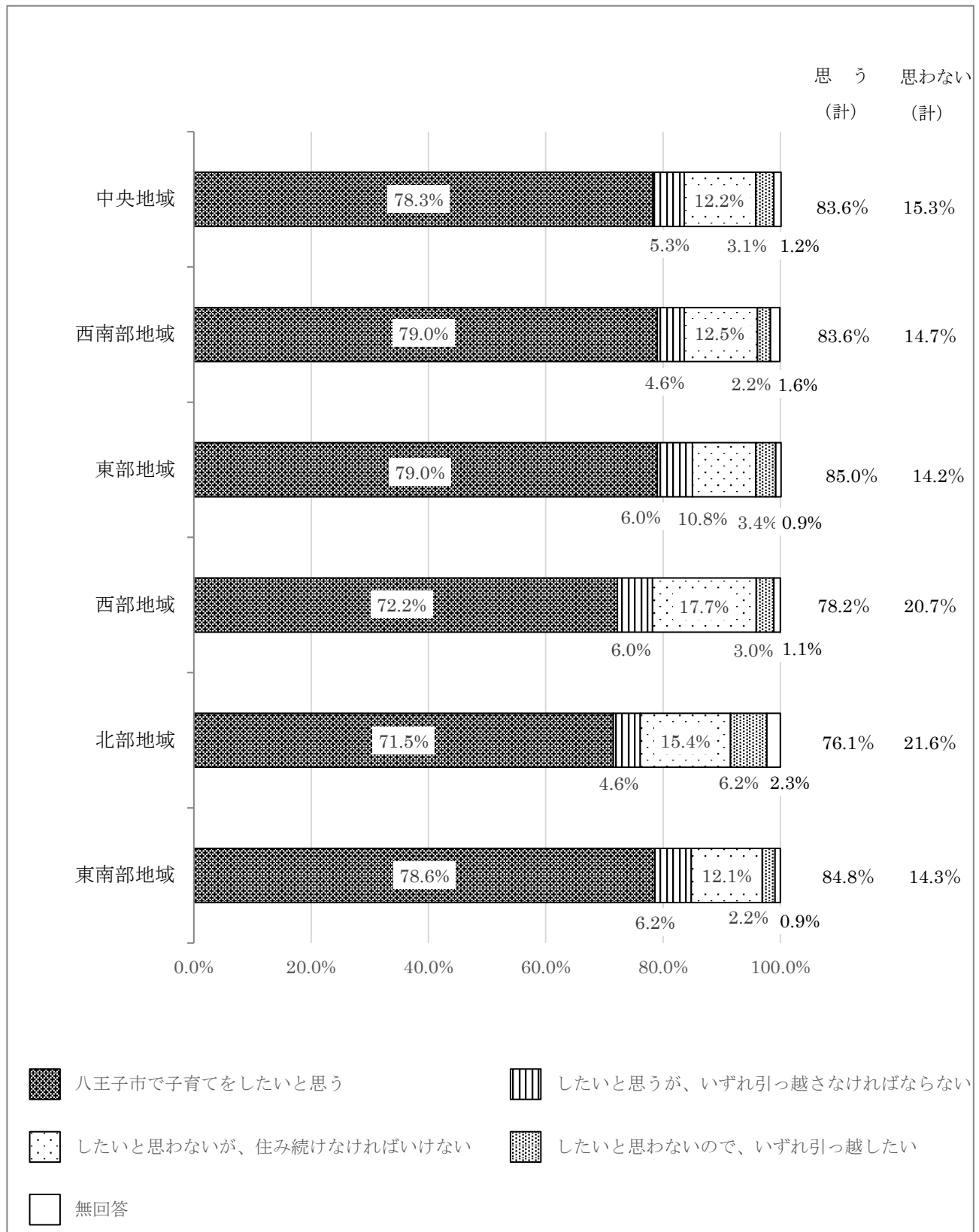
今後も八王子市で子育てをしたいと思うかどうかを質問したところ、「八王子市で子育てをしたいと思う」（77.1%）と「八王子市で子育てをしたいと思うが、いずれ引っ越さなければならない事情がある（5.5%）を合わせた「思う（計）」は82.6%となった。一方、「八王子市で子育てをしないと思わないが、住み続けなければいけない事情がある」（13.0%）と「八王子市で子育てをしないと思わないので、いずれ引っ越したい」（3.1%）を合わせた「思わない（計）」は16.1%となった。（図表12－２－１）

図表12－２－１ 今後も八王子市で子育てをしたいと思うかどうか



居住地域別では、「思う（計）」は西部地域（78.2%）及び北部地域（76.1%）が他の地域と比較して低くなった。（図表12－2－2）

図表12－2－2 今後も八王子市で子育てをしたいと思うかどうか（居住地域別）

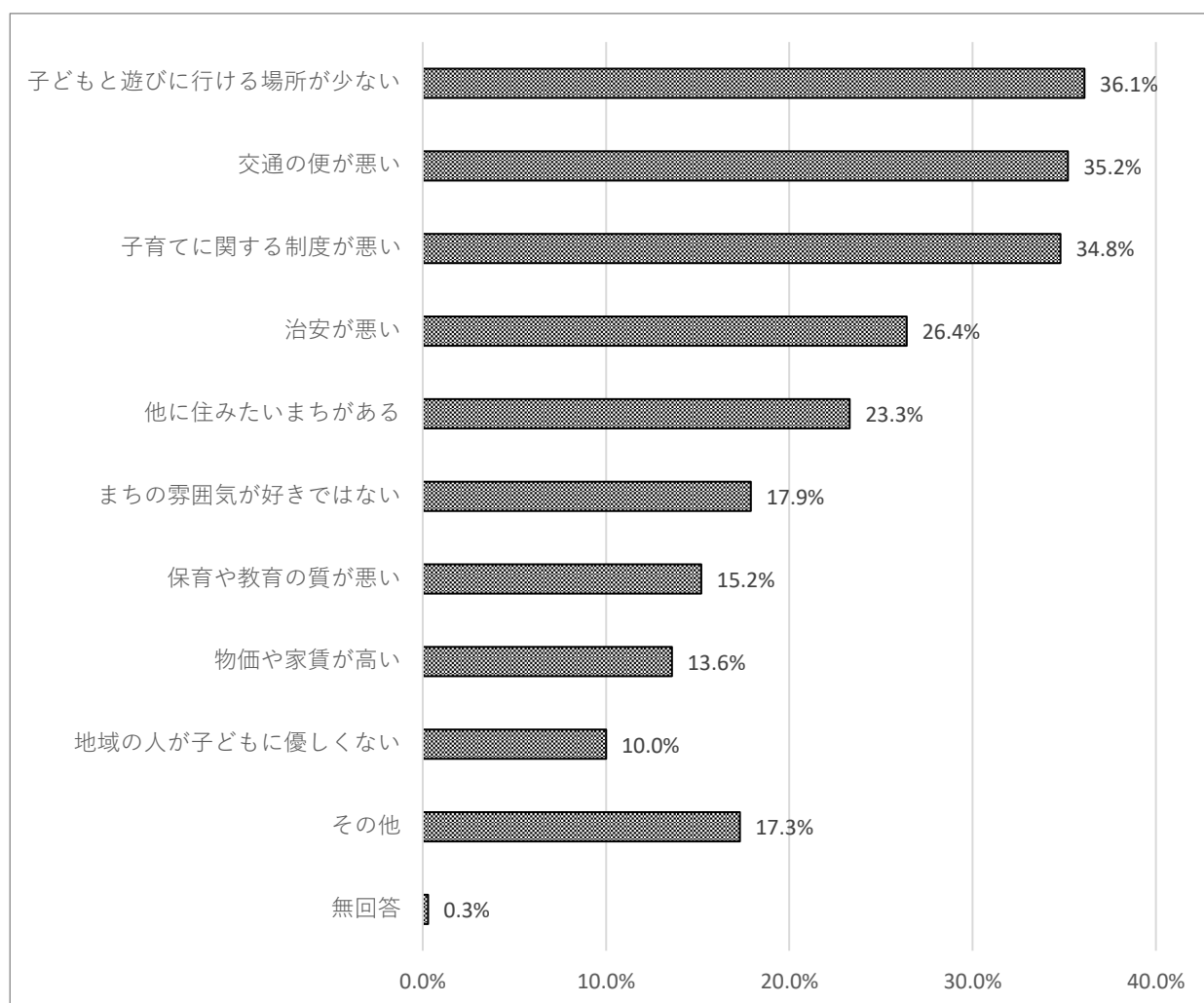


(3) 八王子市で子育てをしたくない理由

問 62 八王子市で子育てをしたくない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

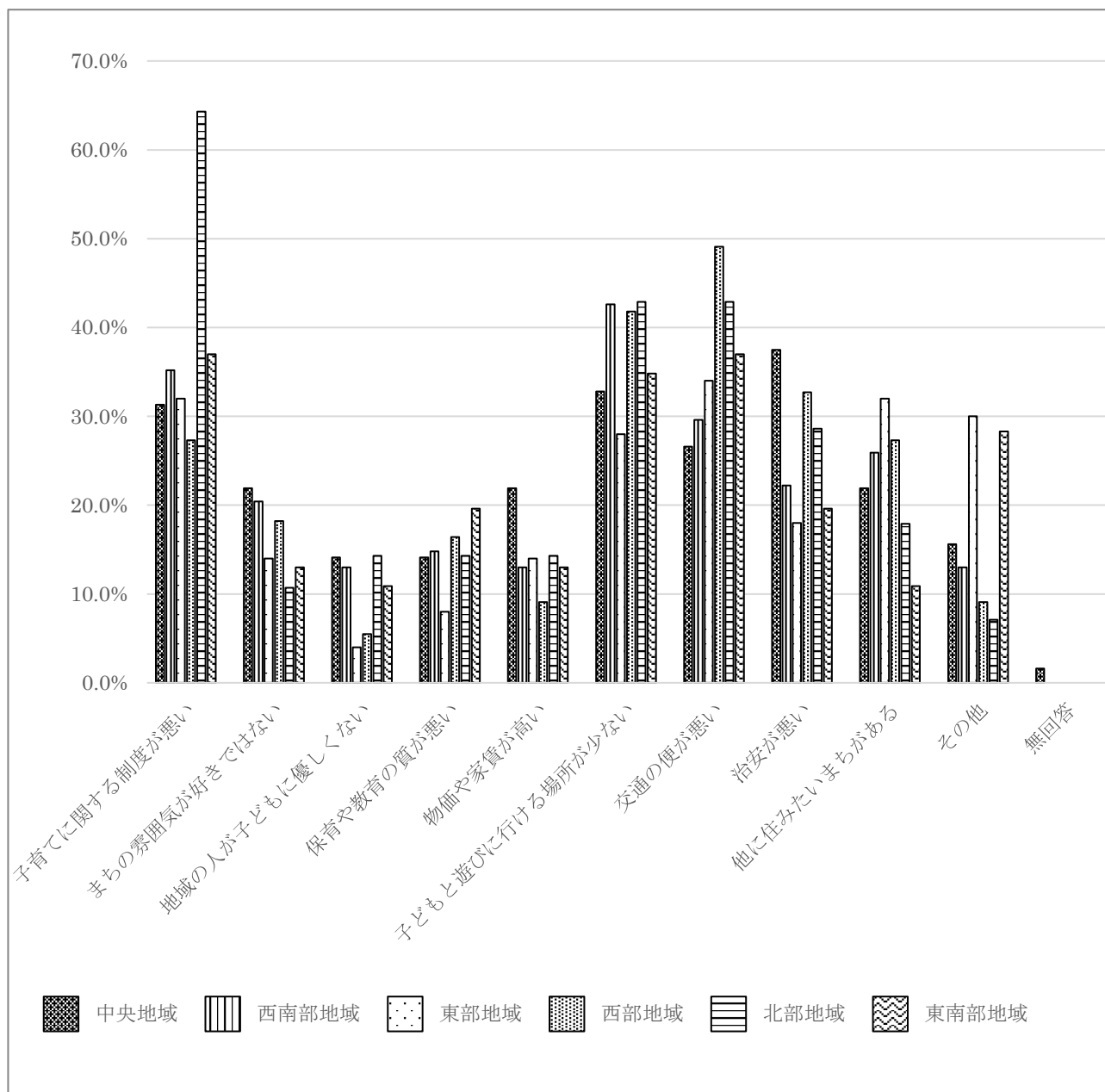
八王子市で子育てをしたいと思わないと答えた人にその理由を質問したところ、「子どもと遊びに行ける場所が少ない」が36.1%で最も高く、次いで「交通の便が悪い」(35.2%)、「子育てに関する制度が悪い」(34.8%)となった。(図表12-3-1)

図表12-3-1 八王子市で子育てをしたくない理由



居住地域別では、中央地域では「治安が悪い」、西南部地域では「子どもと遊びに行ける場所が少ない」、東部地域と西部地域では「交通の便が悪い」、北部地域では「子育てに関する制度が悪い」、東南部地域では「子育てに関する制度が悪い」及び「交通の便が悪い」が最も多く選ばれた理由となった。（図表12－3－2、図表12－3－3）

図表12－3－2 八王子市で子育てをしたくない理由（居住地域別）



図表12－3－2 八王子市で子育てをしたくない理由（居住地域別順位）

	1位	2位	3位
中央地域	治安が悪い	子どもと遊びに行ける場所が少ない	子育てに関する制度が悪い
西南部地域	子どもと遊びに行ける場所が少ない	子育てに関する制度が悪い	交通の便が悪い
東部地域	交通の便が悪い	子育てに関する制度が悪い（同率2位）	他に住みたいまちがある（同率2位）
西部地域	交通の便が悪い	子どもと遊びに行ける場所が少ない	他に住みたいまちがある
北部地域	子育てに関する制度が悪い	子どもと遊びに行ける場所が少ない（同率2位）	交通の便が悪い（同率2位）
東南部地域	子育てに関する制度が悪い（同率1位）	交通の便が悪い（同率1位）	子どもと遊びに行ける場所が少ない

(4) 自由記述

問 63 あなたが今、困っていることや悩みごとがありましたら、ご自由にお書きください。

自由記述については625件の回答があった。回答の一部を原則原文のまま記載した。

(お金に関すること)

- ・今後の教育等について。保育園に入園出来るか。小学校になった時の仕事や学童に入れるかなど心配です。
- ・2人目が欲しくても経済的に余裕がないので、手当てや保育環境の拡充をしてほしいです。1人目も保育料無償化してほしいと思います。
- ・税金をきちんと払っているのに子どもの手当てを平等にして頂きたいです。親の収入によって子どもの手当てをもらえないのは不平等だと思います。

(子育てに関すること)

- ・家族で何でも考えて解決しないといけない責任感やプレッシャーを感じる。親の責任は重く、子どもが他に迷惑をかけてしまうと非常に申し訳ない。
- ・子どもの夜間覚醒で、十分な睡眠が取れず、卒乳もできていない、疲労でうつ状態となり、仕事ができないこと。

(教育に関すること)

- ・23区にくらべて、習いごとや民間学童の選択肢が少ないと思う。公立小、中学校の設備や教育内容に物足りなさを感じる。
- ・不登校となっている子どものフリースクール、学校をもっと増やしてほしい。
- ・住所で小学校を決めるのではなく、家から小学校の距離で決めてほしい。

(施設や制度に関すること)

- ・4年生以降の子供の居場所がない。家で留守番も心配だが、習い事に通わせるお金もない、子供だけでも安心してすごせる場所が近くにないので不安、特に長期休暇が悩む。
- ・ファミサポ、利用側も提供側も登録したことがありますが、利用しづらい(マッチングしづらい)こと、手続きが手間がかかりすぎる(利用側も提供側も)で使いづらく、私ふくめ周りのママはベビーシッター等を利用する人が多いのでせつかく制度があるのにやり方が古くて使いにくいのは残念に思います。アプリでやりとりできたり、現金でのやりとり不要になったりというのは今の時代必須ではないかと思います。

(地域に関すること)

- ・自宅の前のアパートの住人が子供が庭で遊んでいる時に威嚇をしてきた、そこから気になってしまい子供たちを外で遊ばせるのに抵抗がある。
- ・八王子は異常に歩きタバコが多いので子供を連れて歩くときいやです。公園にもタバコのすいながらゴミが多く、道にはペットのフンが放置されている事が多く住民のマナーが悪いと思います。タバコのすいながらペットのフンを本当になんとかしてほしいです。
- ・町の治安があまり良くないので、今後子供が入学して1人で登下校するようになってからが心配です。

(まちづくりに関すること)

- ・公園が近くになく、少し離れた公園にも遊具がありません。楽しい遊具があるとうれしい。
- ・ベビーカーでも通りやすい、歩道の整備をしていただけると、助かります。
- ・八王子市は広いので、車や自転車が必要。(ベビーカーのせてもOKなバス。たまたまないで)子供のあそび場を巡回する専用バスがあったらいいのに。

Ⅲ 使用した調査票

八王子市 子育てに関するアンケート調査

調査ご協力をお願い

皆様には日ごろより市政にご理解とご協力をたまわり誠にありがとうございます。
さて、本市では令和2年(2020年)3月に策定した「ビジョン すくすく てくてく はちおう
じ」(子ども・若者育成支援計画)に基づき、子育て支援のための様々な施策を実施しております。
令和6年度(2024年度)に現行計画が終了することから、計画を見直すにあたり、市民の皆様の子
育てに関する生活実態やご意見・ご要望などを把握するため、「八王子市子育てに関するアンケート
調査」を実施することになりました。

この調査は、令和5年(2023年)12月1日時点の住民基本台帳の中から就学前児童がいる世帯
4,800世帯を無作為に抽出し、その保護者の方にご協力をお願いするものです。ご回答いただいた内
容は、機械的に処理しますので、回答者個人が特定されることはありません。

つきましては、お忙しいとは存じますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力いただけますよう
お願い申し上げます。

令和5年(2023年)12月 八王子市長 石森 孝志

【記入にあたってのお願い】

- 1 封筒の宛て名のお子さんについて、保護者の方がご記入ください。
- 2 回答は、令和5年(2023年)12月1日現在でご記入ください。
- 3 回答は、黒か青のボールペン、鉛筆等で濃くはっきりとご記入ください。
- 4 回答は、あてはまる項目を選んで、その番号を○印で囲んでください。
- 5 数字(年齢や時間帯等)をおうかがいする質問では、枠内に数字をご記入ください。時
間については24時間制でご記入ください。(例：午後1時 ⇒ 13時)
- 6 記入された調査票は、令和6年(2024年)1月15日(月)までに同封の返信用封筒
に入れ、郵便ポストに投函してください。切手は不要です。

◎お問い合わせ

八王子市 子ども家庭部 子どものしあわせ課

電 話：042-620-7391(月～金曜日 午前8時30分～午後5時15分)

メール：b470100@city.hachioji.tokyo.jp FAX：042-627-7776

調 査 票

お住まいの地域についてうかがいます。

問 1 お住まいの町の番号 1 つに○をつけてください。(町名五十音順)

1 時町一丁目(あ)	41 川町	81 田町	121 並木町	161 南大沢四丁目
2 時町二丁目	42 川口町	82 台町一丁目	122 梅原町	162 南大沢五丁目
3 時町三丁目	43 北野町	83 台町二丁目	123 南陽台一丁目	163 南野町
4 旭町	44 北野台一丁目	84 台町三丁目	124 南陽台二丁目	164 みなみ野一丁目
5 東町	45 北野台二丁目	85 台町四丁目	125 南陽台三丁目	165 みなみ野二丁目
6 石川町	46 北野台三丁目	86 平町	126 西浅川町	166 みなみ野三丁目
7 勢町	47 北野台四丁目	87 大森寺町	127 西片倉一丁目	167 みなみ野四丁目
8 大目町	48 北野台五丁目	88 高尾町	128 西片倉二丁目	168 みなみ野五丁目
9 上野町	49 柳丘一丁目	89 高倉町	129 西片倉三丁目	169 みなみ野六丁目
10 打越町	50 柳丘二丁目	90 高月町	130 西寺方町	170 宮下町
11 宇津木町	51 柳丘三丁目	91 滝山町一丁目	131 武分方町	171 美山町
12 宇津真町	52 清川町	92 滝山町二丁目	132 塚岡町	172 明神町一丁目
13 梅沢町	53 栢田町	93 館町	133 八幡町	173 明神町二丁目
14 裏高尾町	54 久保山町一丁目	94 丹木町一丁目	134 初沢町	174 明神町三丁目
15 通分町	55 久保山町二丁目	95 丹木町二丁目	135 東浅川町	175 明神町四丁目
16 大塚	56 越野	96 丹木町三丁目	136 栗中野	176 めじろ台一丁目
17 大森町	57 小比企町	97 寺町	137 兵衛一丁目	177 めじろ台二丁目
18 大谷町	58 小笠町	98 寺田町	138 兵衛二丁目	178 めじろ台三丁目
19 大横町	59 子安町一丁目	99 天神町	139 日吉町	179 めじろ台四丁目
20 大和田町一丁目	60 子安町二丁目	100 甘里町	140 平岡町	180 元/汪子町一丁目
21 大和田町二丁目	61 子安町三丁目	101 戸吹町	141 富士見町	181 元/汪子町二丁目
22 大和田町三丁目	62 子安町四丁目	102 中町	142 別所一丁目	182 元/汪子町三丁目
23 大和田町四丁目	63 左入町	103 長沼町	143 別所二丁目	183 元本銀町一丁目
24 大和田町五丁目	64 散田町一丁目	104 中野町	144 堀之内	184 元本銀町二丁目
25 大和田町六丁目	65 散田町二丁目	105 中野上町一丁目	145 堀之内二丁目	185 元本銀町三丁目
26 大和田町七丁目	66 散田町三丁目	106 中野上町二丁目	146 堀之内三丁目	186 元本銀町四丁目
27 小門町	67 散田町四丁目	107 中野上町三丁目	147 本町	187 元樹山町一丁目
28 尾崎町	68 散田町五丁目	108 中野上町四丁目	148 本郷町	188 元樹山町二丁目
29 小津町	69 下郷方町	109 中野上町五丁目	149 松が谷	189 元樹山町三丁目
30 鹿島	70 下郷木	110 中野山王一丁目	150 松木	190 八木町
31 加住町一丁目	71 下郷木二丁目	111 中野山王二丁目	151 丸山町	191 谷野町
32 加住町二丁目	72 下郷木三丁目	112 中野山王三丁目	152 三崎町	192 山田町
33 片倉町	73 城山手一丁目	113 長尾町	153 みついで一丁目	193 鎌水
34 叶谷町	74 城山手二丁目	114 中山	154 みついで二丁目	194 鎌水二丁目
35 上巻分方町	75 新町	115 七国一丁目	155 緑町	195 八日町
36 上郷方町	76 諏訪町	116 七国二丁目	156 南町	196 横川町
37 上川町	77 千人町一丁目	117 七国三丁目	157 南浅川町	197 横山町
38 上郷木	78 千人町二丁目	118 七国四丁目	158 南大沢一丁目	198 四谷町
39 上郷木二丁目	79 千人町三丁目	119 七国五丁目	159 南大沢二丁目	199 万町
40 上郷木三丁目	80 千人町四丁目	120 七国六丁目	160 南大沢三丁目	

封筒の宛て名のお子さんとご家族の状況についてうかがいます。

問 2 宛て名のお子さんの生年月を、□内に数字でご記入ください。(数字は一律に一字)

平成	令和	年	月	日	生	ま	れ
□	□	□	□	□	□	□	□
例				平成	0	1	0
				令和	0	6	月生まれ

問 3 宛て名のお子さんからみて、この調査票に回答している方はどなたですか。

当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

1. 母親	2. 父親	3. その他 ()
-------	-------	------------

問 4 回答している方の年代について、当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

1. 10代	2. 20代	3. 30代	4. 40代	5. 50代以上
--------	--------	--------	--------	----------

問 5 回答している方の現在の配偶関係について、当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

1. 配偶者がいる	2. 配偶者がいない
-----------	------------

問 6 日ごろ、お子さんをみてもらえる親族・知人について、当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

1. 日帰的にみてもらえる親族・知人がいる	
2. 緊急時もしくは用事の際にみてもらえる親族・知人がいる	
3. みてもらえる親族・知人はいない	
4. 親族・知人に頼むようなことがないため、わからない	
5. その他 ()	

問 7 あなたの世帯で次のような公的年金、社会保険給付金を受給していますか。(受給か非受給に○)

※該当する収入がない場合には、○をご記入ください。※兄弟姉妹等にかかわる手当等も含みます。
※「児童手当」は 15 歳までのお子さんへの給付金です(所得制限あり)。「児童育成手当」「児童扶養手当」は、所得が一定水準以下のひとり親等世帯のための補助金です。

A 児童手当 (中3までのお子さんがいる所得制限以下の子育て世帯への給付)	受給の有無	金額 (1ヵ月あたり)
B 児童育成手当 (所得制限以下のひとり親世帯への給付)	1 受給 2 非受給	円
C 児童扶養手当 (所得制限以下のひとり親世帯への給付)	1 受給 2 非受給	円
D 特別児童扶養手当 (障害のあるお子さんへの給付)	1 受給 2 非受給	円
E 年金 (遺族年金、老齢年金など)	1 受給 2 非受給	円
F 生活保護	1 受給 2 非受給	円

問 8 問 7 で回答いただいた、公的年金と社会保障給付金以外の収入についてお聞きます。
お子さんと生計を共にしている世帯全員のの方の、おおよその年間収入（税込）はいくらですか。（○は 1 つ）

※収入には、勤労収入（パート、アルバイトを含む）、事業収入（自営業等）、農業収入、不動産収入、利子・配当金、個人年金を含みますが、問 7 で回答いただいた、公的年金と社会保障給付金は除いてお考えください。

※複数の収入源がある場合（父親が勤労収入、母親に事業収入など）は、おおよその合算値（合計額）を教えてください。

1 収入はない（○円）	6 300～400 万円未満	11 800～900 万円未満
2 1～50 万円未満	7 400～500 万円未満	12 900～1000 万円未満
3 50～100 万円未満	8 500～600 万円未満	13 1000～1500 万円未満
4 100～200 万円未満	9 600～700 万円未満	14 1500～2000 万円未満
5 200～300 万円未満	10 700～800 万円未満	15 わからない

問 9 あなたの ご家庭では、過去 1 年の間に、お金が足りなくて、家族が必要とする食料を買えないことがありましたか。（○は 1 つ）

1 よくあった	2 とときどきあった	3 まれにあった	4 まったくなかった
---------	------------	----------	------------

問 10 あなたの ご家庭では、過去 1 年の間に、お金が足りなくて、家族が必要とする衣類を買えないことがありましたか。（○は 1 つ）

1 よくあった	2 とときどきあった	3 まれにあった	4 まったくなかった
---------	------------	----------	------------

問 11 世帯の家計について、最も当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

1. 赤字であり、日々の生活のために借金をしている

2. 赤字であり、貯金を取り崩している

3. 赤字でも黒字でもない

4. 黒字であるが、貯蓄はしていない

5. 黒字であり、毎月貯蓄している

6. その他（ ）

問 12 過去 1 年の間に、経済的な理由で、以下の A～H のサービス・料金について、支払えないことがありましたか。（それぞれ○は 1 つ）

	あった	なかった	該当しない (払う必要がない)
A 電話料金	→ 1	2	3
B 電気料金	→ 1	2	3
C ガス料金	→ 1	2	3
D 水道料金	→ 1	2	3
E 家賃	→ 1	2	3
F 住宅ローン	→ 1	2	3
G 税金・社会保険料	→ 1	2	3
H その他の債務	→ 1	2	3

保護者の就労状況についてうかがいます。

これ以降の質問で時間や時刻を回答する際は、30 分未満は切り下げ、30 分以上は切り上げてご記入ください。

(例) 時間：4 時間 29 分⇒4 時間 4 時間 30 分⇒5 時間
時刻：18 時 29 分⇒18 時 18 時 30 分⇒19 時

問 13 母親の現在の就労状況と今後の就労希望について、(1)～(6) にお答えください。産育休を取得中の方は取得前の状況で、就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンでお答えください。

※父子家庭の場合は記入不要

(1) 就労状況 (当てはまる番号 1 つに○)

1. フルタイム (1 週 5 日程度・1 日 8 時間程度の就労) で就労している

2. パート・アルバイト等 (フルタイム以外) で就労している

3. 現在は就労していない ⇒ (2) (3) 記入不要

(2) 週当たりの就労日数 (口内に数字で記入)

1 週当たり 日

(3) 1 日当たりの就労時間 (口内に数字で記入)

1 日当たり 時間

(4) 就労希望 (当てはまる番号 1 つに○)

1. フルタイム (1 週 5 日程度・1 日 8 時間程度の就労) を希望

2. パート・アルバイト等 (フルタイム以外) を希望

3. 就労の予定はない ⇒ (5) (6) 記入不要

(5) 週当たりの就労希望日数 (口内に数字で記入)

1 週当たり 日を希望

(6) 1 日当たりの就労希望時間 (口内に数字で記入)

1 日当たり 時間を希望

【問 13 (1) で「3. 現在は就労していない」と回答した方のみ】

問 14 今後の就労時期について、当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

1. 就労の予定はない

2. 1 年以内に就労したい

3. 1 年より先だが、就労したい

産で名のお子さんが 歳になったら

問 15 父親の現在の就労状況と今後の就労希望について、(1)～(6)にお答えください。育休を取得中の方は取得前の状況で、就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンでお答えください。 ※母子家庭の場合は記入不要

父親 (現在)	(1) 就労状況 (当てはまる番号1つに○)
	1. フルタイム (1週5日程度・1日8時間程度の就労) で就労している
	2. パート・アルバイト等 (フルタイム以外) で就労している
	3. 現在は就労していない ⇒ (2) (3) 記入不要
	(2) 週当たりの就労日数 (口内に数字で記入)
	1週当たり 日
(3) 1日当たりの就労時間 (口内に数字で記入)	
1日当たり 時間	
父親 (今後の希望)	(4) 就労希望 (当てはまる番号1つに○)
	1. フルタイム (1週5日程度・1日8時間程度の就労) を希望
	2. パート・アルバイト等 (フルタイム以外) を希望
	3. 就労の予定はない ⇒ (5) (6) 記入不要
	(5) 週当たりの就労希望日数 (口内に数字で記入)
	1週当たり 日を希望
(6) 1日当たりの就労希望時間 (口内に数字で記入)	
1日当たり 時間を希望	

【問 15 (1) で「3. 現在は就労していない」と回答した方のみ】

問 16 今後の就労時期について、当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

1. 就労の予定はない	} 宛て名のお子さんが ☐ 歳になったら
2. 1年以内に就労したい	
3. 1年より先だが、就労したい	

宛て名のお子さんの平日の定期的な教育・保育事業の利用状況についてうかがいます。

ここから定期的に、月単位で利用している事業を除きます。一時的な利用は除きます。具体的な教育・保育事業については、下表を参照ください。

(定期的な教育・保育事業一覧)

事業名	概要	利用料負担・利用料のめやす
幼稚園	幼稚園法に基づき、3歳から就学前までの子どもに幼児教育を提供する施設	0円、または25,700円までの範囲で無償化の対象
幼稚園の預かり保育	幼稚園において通常の保育時間を延長して預かる事業 (定期的な利用のみ)	無償化上限額(11,300円又は16,300円)の範囲内で無償化の対象
認可保育所	国が定める基準に基づいて、8王子市の認可を受けた保育施設 (定員20人以上)	
認定こども園	幼稚園と保育所の機能を併せ持つ施設	月額0円～54,000円 (3歳以上は0円)の間で、世帯の課税状況により決定
小規模保育	家庭的保育に互いの雰囲気のもと、少人数を1単位に保育を行う事業 (定員6～19人)	
家庭的保育	家庭的な雰囲気のもと、少人数を対象に保育を行う事業 (定員5人以下)	
事業所内保育施設	企業が従業員用に運営する施設で、地域の子どもと一緒に保育する事業	従業員の利用は施設により異なるが、地域枠利用者は認可保育所と同じ
認証保育所	事業者が定めた基準を満たし、設備を認証した保育施設	年齢、利用時間等により異なるが、3歳以上は37,000円までの範囲で無償化の対象
居宅訪問型保育	障害・疾患などで他のケアが必要な場合に、保護者の自宅で1対1の保育を行う事業	認可保育所と同じ(現在、8王子市にはなし)

問 17 現在、定期的な教育・保育事業を利用していますか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

1. 利用している ⇒ 問 18、19へ	2. 利用していない ⇒ 問 20へ
----------------------	--------------------

【問 17 で「1. 利用している」と回答した方のみ】

問 18 定期的な教育・保育事業を利用している主な理由について、当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 子どもの教育や発達のため	5. 保護者に病気や障害があるため
2. 保護者が現在就労しているため	6. 保護者が学生のため
3. 保護者が就労予定または求職中であるため	7. 次子の出生・育児のため
4. 保護者が他の家族や親族を介護しているため	8. その他 ()

【問 17 で「2. 利用していない」と回答した方のみ】

問 19 利用している教育・保育事業について、当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 幼稚園	5. 小規模保育	9. 居宅訪問型保育
2. 幼稚園の預かり保育	6. 家庭的保育	10. その他の認可外の保育施設
3. 認可保育所	7. 事業所内保育施設	11. その他 ()
4. 認定こども園	8. 認証保育所	

【問 17 で「2. 利用していない」と回答した方のみ】

問 20 宛て名のお子さんが小学校入学までに定期的な教育・保育事業のいずれかを利用する予定はありますか。当てはまる番号 1 つに○を、口内に数字で記入してください。

1. 利用する予定	→ ☐ 歳になったら利用しようと考えている
2. 利用しない	

【すべての方にうかがいます】

問 21 現在、利用している、利用していないにかかわらず、宛て名のお子さんの平日の教育・保育として、定期的に利用したい事業について、当てはまる番号すべてに○をつけてください。なお、利用には利用者負担（利用料）がかかります。

1. 幼稚園	5. 小規模保育	9. その他の認可外の保育施設
2. 幼稚園の預かり保育	6. 家庭的保育	10. 居宅訪問型保育
3. 認可保育所	7. 事業所内保育施設	11. その他（ ）
4. 認定こども園	8. 認証保育所	12. 利用しない ⇒ 問 27 へ

問 22 問 21 で「1. 幼稚園」または「2. 幼稚園の預かり保育」に○をつけ、かつ 3～11 にも○をつけた方にうかがいます。特に幼稚園の利用を強く希望しますか。当てはまる番号に○をつけてください。

1. はい	2. いいえ
-------	--------

【問 21 で「1」～「10」のいずれかを回答した方のみ】

問 23 宛て名のお子さんの平日の教育・保育として、最も利用したい事業の番号 1 つに○をつけてください。

1. 幼稚園	4. 小規模保育	7. 認証保育所
2. 認可保育所	5. 家庭的保育	8. その他の認可外の保育施設
3. 認定こども園	6. 事業所内保育施設	9. 居宅訪問型保育

【問 21 で「3」～「9」のいずれかを回答した方のみ】

問 24 希望するお迎えの時間について、該当する番号 1 つに○をつけてください。

1. 18 時より前 ⇒ 問 27 へ	2. 18 時以降 ⇒ 問 25 へ
---------------------	--------------------

【問 24 で「2. 18 時以降」と回答した方のみ】

問 25 保育園等の延長保育以降も、夜間に定期的な教育・保育事業があった場合、利用したいですか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。なお、利用には利用者負担（利用料）がかかります。

1. ほぼ毎日利用したい	3. 月に 1～2 回程度利用したい
2. 週に 1～2 回程度利用したい	4. 利用希望はない ⇒ 問 27 へ

【問 25 で「1」～「3」のいずれかを回答した方のみ】

問 26 利用したい理由について、当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. シフトや夜勤で就業時刻が夜間に及ぶから
2. 日常的に預業があるから
3. 職場が遠く、通勤時間が長いから
4. 家族や親族の通院・介護をしなければならいから
5. その他（ ）

土曜・日曜・祝日や長期休暇中における宛て名のお子さんの
定期的な教育・保育事業の利用希望についてうかがいます。

ここでいう定期的とは、月単位で利用している事業を指し、一時的な利用は除きます。具体的な教育・保育事業については、8 ページの表を参照ください。

問 27 宛て名のお子さんの土曜日、日曜日・祝日における定期的な教育・保育事業の利用希望についてうかがいます。

- (1) 利用希望について、当てはまる番号 1 つに○をつけてください。
(2) 利用する場合、何時から何時まで利用したいですか。□内に 24 時間表記でご記入ください。

(1) 利用希望（当てはまる番号 1 つに○）	3. 月に 1～2 回利用したい
1. 毎週利用したい	4. 利用する必要はない ⇒ (2) 記入不要
2. ほぼ毎週利用したい	
(2) 利用希望時間（□内に数字で記入）	
□ □ 時から □ □ 時まで	

(1) 利用希望（当てはまる番号 1 つに○）	3. 月に 1～2 回利用したい
1. 毎週利用したい	4. 利用する必要はない ⇒ (2) 記入不要
2. ほぼ毎週利用したい	
(2) 利用希望時間（□内に数字で記入）	
□ □ 時から □ □ 時まで	

【問 19 で、定期的に「1. 幼稚園」を利用していると回答した方のみ】

問 28 宛て名のお子さんの長期休暇期間中（夏休みや冬休みなど）における定期的な教育・保育事業のいずれかの事業の利用希望についてうかがいます。

- (1) 利用希望について、当てはまる番号 1 つに○をつけてください。
(2) 利用する場合、何時から何時まで利用したいですか。□内に 24 時間表記でご記入ください。

(1) 利用希望（当てはまる番号 1 つに○）	3. 週に 1～2 回利用したい
1. 毎日利用したい	4. 利用する必要はない ⇒ (2) 記入不要
2. ほぼ毎日利用したい	
(2) 利用希望時間（□内に数字で記入）	
□ □ 時から □ □ 時まで	

宛て名のお子さんが病気の際の対応についてうかがいます。

八王子市には、保育所等に通うお子さんが病気の回復期で、まだ集団保育を受けることができないとき、一時的に預けることができる施設（病児・病後児保育室）があります。

（病児・病後児保育）

対 象	生後57日から小学3年生までのお子さん
時 間	9時から17時まで
費 用	1日2,500円（延長する場合は別途施設ごとに料金が発生） ※生活保護世帯、市民税非課税世帯には利用料の負担軽減制度あり
申込方法	①市に事前登録を行う ②病院で医師に、診療情報提供書または病児病後児保育連絡票を記入し てもらう ※連絡の記入には手数料等が発生する場合があります ③各施設へ直接申し込み

（実施施設一覧）

施設名	所在地
からまつキッズウィングルーム※病後児のみ	川口町1-543
ほりのうちキッズガーデン	別所2-2-1-102
病児保育室「はる」	散田町3-8-1-10
みなみ野こどもクリニック む〜みんルーム	西片倉3-1-4

※事業者が知目事業として実施している施設としてほかほか保育園（高倉園・大和田園）があるほか、町田市と相模原市の病児保育施設も利用可能です。

問29 宛て名のお子さんが病気になったり、けがをした時の対処方法についてうかがいます。

（1）対処方法として当てはまる番号すべてに○をつけてください。

（2）（1）で○をつけた対処方法について、この1年間でおよそ何日ありましたか。□内に数字でご記入ください。

（1）病気やけがの時の対処方法	（2）日数
1. 両親のうち、寂しがらない方が対応した	□ □ 日
2. 母親が仕事を休んで対応した	□ □ 日
3. 父親が仕事を休んで対応した	□ □ 日
4. 親族・知人に頼んだ	□ □ 日
5. 病児・病後児保育を利用した	□ □ 日
6. ファミリー・サポート・センターを利用した	□ □ 日
7. ベビーシッターを利用した	□ □ 日
8. 仕方なく子どもだけで留守番させた	□ □ 日
9. その他（ ）	□ □ 日
10. 病気やケガをするようなことはなかった	—

問30 今後、宛て名のお子さんが病気やけがの時、病児・病後児保育を利用したいですか。当てはまる番号1つに○をつけてください。なお、利用には利用料やかかりつけ医の受診が必要になります。

1. 利用したい ⇒ 問31へ	2. 利用したいと思わない ⇒ 問32へ
-----------------	----------------------

【問30で「1. 利用したい」と回答した方のみ】

問31 病児・病後児保育を利用する場合、1年間の利用日数は何日程度になると思いますか。
□内に数字でご記入ください。

□ □ 日程度

【問30で「2. 利用したいと思わない」と回答した方のみ】

問32 利用したいと思わない理由について、当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 保護者が仕事を休んで看病するから
2. 親族・知人に預けることができるから
3. どんな所か、よく知らないから
4. 利用料が高いから
5. 利用料がわからないから
6. 他の病気にかかりそうで心配だから
7. 立地が良くないから、または近くはないから
8. 預けられる時間や曜日が十分ではないから
9. かかりつけ医の受診や事前登録が面倒だから
10. その他（ ）

宛て名のお子さんの不定期の教育・保育事業等の利用についてうかがいます。

育児疲れのリフレッシュや仕事と子育ての両立など、目的に合わせて一時的な保育を利用することができます。

（不定期の教育・保育事業一例）

事業名	概要	利用料のめやす
認可保育所の一時保育 ※利用は未就園児のみ	保護者が病気・療育・リフレッシュなどで、一時的に保育を必要とする場合、認可保育所でお子さんを預かる事業。	各園により異なる
幼稚園の預かり保育 ※幼稚園利用者のみ	幼稚園において通常の保育時間を延長して預かる事業（不定期の利用のみ）。	各園により異なる
ファミリー・サポート・センター	地域住民（ボランティア）が子どもを預かる事業。	1時間 700円～900円
ショートステイ （宿泊型一時保育）	保護者が一時的にお子さんの養育ができないときに、お子さんを宿泊で預かり、食事・入浴等を行う事業。	1泊2日 6,000～6,800円※施設により異なる
トワイライトステイ （夜間一時保育）	保護者が一時的にお子さんの面倒を見られないときに、17時から22時までの間、食事・学習援助などを行う事業。	1回 1,400円
ベビーシッター	民間が派遣するベビーシッターが家庭で保育する事業。	各事業前により異なる

問33 不定期の教育・保育事業の利用状況についてうかがいます。

（1）不定期の教育・保育事業について、利用したことがある番号すべてに○をつけてください。

（2）（1）で○をつけた事業について、この1年間でおよそ何日利用しましたか。

□内に数字でご記入ください。

（1）利用したことがある事業	（2）年間利用日数
1. 認可保育所の一時保育	□ □ 日
2. 幼稚園の預かり保育（定期的な利用は除く）	□ □ 日
3. ファミリー・サポート・センター	□ □ 日
4. トワイライトステイ（夜間一時保育）	□ □ 日
5. ベビーシッター	□ □ 日
6. その他（ ）	□ □ 日
7. 利用しなかった ⇒ 問34へ	—

【問 33 で「7. 利用しなかった」と回答した方のみ】

問 34 利用しなかった理由について、当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 特に利用する必要がなかった	5. 利用料が高かった
2. 事業を知らなかった	6. 利用料がいくらかわからなかった
3. 利用方法がわからなかった	7. その他（ ）
4. 利用できる事業が近くなかった	

問 35 今後、不定期の教育・保育事業のいずれかを利用したいですか。

当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

1. 利用したい ⇒問 36 へ	2. 利用したいと思わない ⇒問 37 へ
------------------	-----------------------

【問 35 で「1. 利用したい」と回答した方のみ】

問 36 利用する場合、1 年間の利用日数は合計で何日程度になると思いますか。□内に数字でご記入ください。

□ □ 日程度

問 37 保護者が用事*の際に利用できるショートステイ事業（宿泊型一時保育）について、利用希望の有無や日数について、当てはまる番号すべてに○をつけ、必要な泊数をご記入ください。なお、事業の利用に当たっては、一定の利用料がかかります。※冠婚葬祭、保護者・家族（兄弟姉妹含む）の育児、兄弟や育児不安、病気など

(1) 用事の種類	(2) 日数
1. 冠婚葬祭	□ □ 泊
2. 保護者や家族の育児疲れ・不安	□ □ 泊
3. 保護者や家族の病気	□ □ 泊
4. その他	□ □ 泊
5. 利用しない	—

【問 17 で定期的な教育・保育事業を「2. 利用していない」と回答した方のみ】

問 38 認可保育所等で、毎週決まった曜日に子どもを預けられる制度があれば利用しますか。利用する場合は、1 日あたり最低何時間必要ですか。当てはまる番号 1 つに○を、□内に数字を記入してください。※子どもを預けるための要件はありません。また利用に当たっては、一定の利用料が発生します。

1. 利用する → 1 日あたり最低 □ □ 時間は必要
2. 利用しない

地域の子育て支援事業（子育てひろば）の利用状況についてうかがいます。

八王子市では、小さなお子さんとパパ・ママが親子で楽しく遊べ、ほっとできる場所として、子育てひろばがあります。ひろばの概要や実施施設は下表のとおりで、利用料は原則無料です。

（子育てひろばの概要）

事業名	施設	実施場所
親子つどいの広場	概ね 0 歳～3 歳未満のお子さんとその保護者が利用可能。講座やイベント、子育て相談も実施。	市内 11 か所
保育園の子育てひろば	0 歳から 3 歳くらいまでのお子さんとその保護者が利用可能。	市内 10 園の公立保育園と 17 園の私立保育園
子ども・若者育成支援センター（旧児童館）の子育てひろば	0 歳から 3 歳までのお子さんとその保護者が利用可能。講座やイベント、乳幼児クラブも実施。	市内 10 か所の児童館

問 39 子育てひろばの利用状況についてうかがいます。

（1）子育てひろばについて、利用したことがある番号すべてに○をつけてください。

（2）（1）で○をつけたひろばについて、月におおよそ何回利用しましたか。

□内に数字でご記入ください。

(1) 利用したことがある事業	(2) 月当たりの利用回数
1. 親子つどいの広場	□ □ 回
2. 保育園の子育てひろば	□ □ 回
3. 子ども・若者育成支援センター（旧児童館）の子育てひろば	□ □ 回
4. 利用しなかった ⇒問 40 へ	—

【問 39 で「4. 利用しなかった」と回答した方のみ】

問 40 利用しなかった理由について、当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 特に利用する必要がなかった	4. 利用できる施設が近くになかった
2. 子育てひろばを知らなかった	5. 利用時間が合わなかった
3. 利用方法がわからなかった	6. その他（ ）

【すべての方にうかがいます】

問 41 今後、子育てひろばのいずれかを利用したいですか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

1. 利用したい ⇒問 42 へ	2. 利用したいと思わない ⇒問 43 へ
------------------	-----------------------

【問 41 で「1. 利用したい」と回答した方のみ】

問 42 月当たりの利用回数はおおよそ何回程度になると思いますか。□内に数字でご記入ください。

月当たり □ □ 回程度

【宛て名のお子さんの誕生日が平成 29 年 4 月 2 日から平成 30 年 4 月 1 日までの方のみ回答。
それ以外の方は問 45 へ】宛て名のお子さんの小学校就学後についてうかがいます。

八王子市では、子どもたちが放課後に安心して過ごせるよう居場所づくりを行っています。

(子ども・若者育成支援センター (旧児童館)、学童保育所等の概要)

事業名	概要	費用・保育料等のめやす
子ども・若者育成支援センター (旧児童館)	いろいろな年齢の子どもたちが自由に遊び、体験活動を行う施設。市内 12 か所に設置。	原則として無料
放課後子ども教室	安全管理員が見守る中、子どもたちが小学校の校庭や教室などを利用して、遊んだり学習したりして過ごす事業。市内 65 小学校区で実施。	原則として無料
学童保育所	就労等により放課後に保護者が家庭にいない児童を対象に保育を行う施設。市内 68 小学校区に設置。	1 か月 7,000 円 (おやつ代含む) ※ 2 人目以降は 4,500 円。免除制度あり。
ファミリー・サポート・センター	地域住民 (提供会員) が子どもを預かる事業。	1 時間 700 円～900 円

問 43 保護者の方は、宛て名のお子さんが就学後、放課後をどこで過ごしてほしいと考えていますか。

(1) 小学 1～3 年生 (2) 小学 4～6 年生それぞれで、過ごしてほしい居場所の番号すべてに○をつけてください。

(1) 宛て名のお子さんが小学 1～3 年生のとき

1. 自宅	4. 子ども・若者育成支援センター (旧児童館)
2. 親族・知人・子どもの友人宅	5. 放課後子ども教室
3. 習い事 (ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾等)	6. 学童保育所
	7. ファミリー・サポート・センターの提供会員宅 →問 44 へ
	8. その他 (公民館、公園など)

(2) 宛て名のお子さんが小学 4～6 年生のとき

1. 自宅	4. 子ども・若者育成支援センター (旧児童館)
2. 親族・知人・子どもの友人宅	5. 放課後子ども教室
3. 習い事 (ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾等)	6. 学童保育所
	7. ファミリー・サポート・センターの提供会員宅 →問 44 へ
	8. その他 (公民館、公園など)

【問 43 (1) (2) で「7. ファミリー・サポート・センターの提供会員宅」と回答した方のみ】

問 44 ファミリー・サポート・センターを利用する場合、週に何日利用したいですか。

当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

(1) 宛て名のお子さんが小学 1～3 年生のとき

1. 週に 1 日	2. 週に 2 日	3. 週に 3 日	4. 週に 4 日	5. 週に 5 日以上
-----------	-----------	-----------	-----------	-------------

(2) 宛て名のお子さんが小学 4～6 年生のとき

1. 週に 1 日	2. 週に 2 日	3. 週に 3 日	4. 週に 4 日	5. 週に 5 日以上
-----------	-----------	-----------	-----------	-------------

保護者の方の職場における仕事と子育ての両立支援制度についてうかがいます。

問 45 宛て名のお子さんが生まれた時、育児休業を取得しましたか。(1) 母親 (2) 父親それぞれについて、当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

(1) 母 親	(2) 父 親
1. 働いていなかった →問 51 へ	1. 働いていなかった →問 51 へ
2. 取得した (取得中含む) →問 46 へ	2. 取得した (取得中含む) →問 46 へ
3. 取得しなかった、できなかった →問 50 へ	3. 取得しなかった、できなかった →問 50 へ

【問 45 で母親・父親のどちらか、または両方が「2. 取得した (取得中含む)」と回答した方のみ】

問 46 希望していた育児休業の取得期間と実際の取得期間について、当てはまる番号 1 つに○をつけてください。※取得中の方は予定でお答えください。

(1) 母 親	(2) 父 親
1. 希望どおり取得した →問 51 へ	1. 希望どおり取得した →問 51 へ
2. 希望より短く取得した →問 47 へ	2. 希望より短く取得した →問 47 へ
3. 希望より長く取得した →問 48 へ	3. 希望より長く取得した →問 48 へ

【問 46 で母親・父親のどちらか、または両方が「2. 希望より短く取得した」と回答した方のみ】

問 47 希望より長く取得した理由について、当てはまる番号すべてに○をつけてください。

(1) 母 親	(2) 父 親
1. 希望する保育所に入るため	1. 希望する保育所に入るため
2. 配偶者や家族の希望があったため	2. 配偶者や家族の希望があったため
3. 経済的な理由で早く復帰する必要があるため	3. 経済的な理由で早く復帰する必要があるため
4. 人事異動や業務の節目に合わせるため	4. 人事異動や業務の節目に合わせるため
5. その他 ()	5. その他 ()

【問 46 で母親・父親のどちらか、または両方が「3. 希望より長く取得した」と回答した方のみ】

問 48 希望より長く取得した理由について、当てはまる番号すべてに○をつけてください。

(1) 母 親	(2) 父 親
1. 希望する保育所に入れなかったため	1. 希望する保育所に入れなかったため
2. 自分や子どもなどの体調が悪化したため	2. 自分や子どもなどの体調が悪化したため
3. 配偶者や家族の希望があったため	3. 配偶者や家族の希望があったため
4. 子どもをみてくれる人がいなかったため	4. 子どもをみてくれる人がいなかったため
5. その他 ()	5. その他 ()

問 53 子育てに関して悩んでいること、気になることについて、当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 子どもの病気や発育・発達・性格行動等、子ども本人に関すること
2. 子ども同士の友だち付き合いに関すること（いじめ等を含む）
3. 親同士の付き合いに関すること（いじめ等を含む）
4. 子育てにかかる経済的負担に関すること
5. 子どもに与える食事や栄養に関すること
6. 子どもへの教育、療育、接し方、触れ合う時間に関すること
7. 話し相手や相談相手がいらないこと
8. 仕事や自分のやりたいことも手があがり、世話をしなかりしてしまふこと
9. 子育てのストレスで子どもへ手をあげたり、世話をしなかりしてしまふこと
10. 配偶者や祖父母と子育てに関して意見が合わないこと
11. 配偶者や祖父母の協力が得られないこと、得にくいこと
12. 子育てを手伝ってくれる人がいないこと
13. 子育てについて、親族・近隣・職場などまわりの見る目が気になること
14. 職場で子育てへの理解が得られないこと、得にくいこと
15. 保育サービスに利用条件があり、利用できないことがあること
16. 子育てに加えて、親族の介護が必要なこと
17. その他（ ）
18. 悩みや気になることは特になし ⇒ 問 55へ

【問 53 で「1」～「17」のいずれかを回答した方のみ】

問 54 悩んでいること、気になることの相談状況についてうかがいます。

(1) 実際に相談した相手・機関について、当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 配偶者	7. かかりつけの医師や子どもが通う幼稚園や保育園の先生、子育てひろ
2. 配偶者以外の親族	8. ばの職員など立ち話程度で話せる相手
3. 友人・知人・職場の同僚	9. 専門的な病院や行政の相談窓口など予約を取って相談するような機関
4. 子育て電話相談	10. その他（ ）
5. 子育てメール相談	11. 誰にも相談できなかった、誰に相談したら良いかわからなかった
6. インターネットやSNS	12. 相談するほどではなかった

(2) 相談したいと考える相手・機関について、当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 配偶者	6. インターネットやSNS
2. 配偶者以外の親族	7. かかりつけの医師や子どもが通う幼稚園や保育園の先生、子育てひろ
3. 友人・知人・職場の同僚	8. ばの職員など立ち話程度で話せる相手
4. 子育て電話相談	9. 専門的な病院や行政の相談窓口など予約を取って相談するような機関
5. 子育てメール相談	10. その他（ ）

【問 45 で母親・父親のどちらか、または両方が「2. 取得した（取得中含む）」と回答した方のみ】

問 49 あなたに0歳のお子さんがいたとして、1歳になったときに必ず利用できる教育・保育事業があった場合、1歳になるまで育児休業を取得しますか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

(1) 母 親	(2) 父 親
1. 少なくとも1歳になるまで育児休業を取得する	1. 少なくとも1歳になるまで育児休業を取得する
2. 必ず利用できたとしても1歳になる前に復帰する	2. 必ず利用できたとしても1歳になる前に復帰する

【問 45 で母親・父親のどちらか、または両方が「3. 取得しなかった、できなかった」と回答した方のみ】

問 50 取得しなかった理由について、当てはまる番号すべてに○をつけてください。

(1) 母 親	(2) 父 親
1. 職場に育児を取りにくい雰囲気があった	1. 職場に育児を取りにくい雰囲気があった
2. 仕事が多かった	2. 仕事が多かった
3. 早く仕事に復帰したかった	3. 早く仕事に復帰したかった
4. 仕事に戻るのが難しそうだった	4. 仕事に戻るのが難しそうだった
5. 昇給・昇格が遅れる心配があった	5. 昇給・昇格が遅れる心配があった
6. 収入が減り、経済的に苦しくなる	6. 収入が減り、経済的に苦しくなる
7. 保育園などに預けることができた	7. 保育園などに預けることができた
8. 配偶者が育児を取得した	8. 配偶者が育児を取得した
9. 配偶者が働いていなかった	9. 配偶者が働いていなかった
10. 親族・知人にみてもらえた	10. 親族・知人にみてもらえた
11. 子育てや家事に専念するため退職した	11. 子育てや家事に専念するため退職した
12. 職場に育児の制度がなかった（就業規則に定めがなかった）※自営業を含む	12. 職場に育児の制度がなかった（就業規則に定めがなかった）※自営業を含む
13. 有期雇用のため育児の取得要件を満たさなかった	13. 有期雇用のため育児の取得要件を満たさなかった
14. その他（ ）	14. その他（ ）

日ごろの子育てについてうかがいます

問 51 あなたは安心して子育てができていると感じていますか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

1. そう感じる	3. どちらかといえばそう感じない
2. どちらかといえばそう感じる	4. そう感じない

問 52 あなたは地域の人が子育てを支えてくれていると感じていますか。

当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

1. そう感じる	3. どちらかといえばそう感じない
2. どちらかといえばそう感じる	4. そう感じない

【問53で「4. 子育てにかかる経済的負担に関すること」と回答した方のみ】

問55 子育てにかかる経済的な不安の具体的な内容について、当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 食料を十分に買えないこと	5. 塾や習い事に通わせることができないこと
2. 衣類を十分に買えないこと	6. 進学のための費用が準備できていないこと
3. 公共料金（電話・電気・ガス・水道）を払えないこと	7. その他（ ）
4. 家賃や住宅ローンを払えないこと	

問56 子育てに係る負担感について次のうち最も感じるものに○を付けてください。

1. 身体的な疲労感	5. 夜泣きなどの対応
2. 自由に使える時間が取れない	6. 責任感を感じる
3. わがままに対するストレス	7. この中に負担に感じるものはない
4. 睡眠不足	

問57 次の（1）～（12）の事業について、これまでに利用したことがありますか。

当てはまる番号にそれぞれ1つずつ○をつけてください。

	利用したことがある	聞いていない	知らない
(1) ババママクラス（母親学級・父親学級）	1	2	3
(2) 子育てほっとライン	1	2	3
(3) 産後ケア事業（助産師による産後のサポート）	1	2	3
(4) ハローベビーサポート（産前産後の家事お手伝い）	1	2	3
(5) 子育てガイドブック	1	2	3
(6) 子育て応援サイト	1	2	3
(7) 子育て応援企業	1	2	3
(8) 子ども食堂	1	2	3

問58 子育てに関する情報を誰から（どこから）入手していますか。

当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 配偶者	9. 市の公式LINE（すぐすぐ★メール含む）
2. 配偶者以外の親族	10. 市の窓口
3. 友だち・知り合い	11. SNS（インスタグラムやXなど）
4. 保育園、幼稚園、小学校	12. SNSを除くインターネット
5. 子ども家庭支援センター	13. テレビ、ラジオ、新聞
6. 子育てひろば	14. 子育て雑誌、育児書
7. 市の広報	15. その他（ ）
8. 市の公式ホームページ・子育て応援サイト	16. 情報の入手先がない、わからない

問59 あなたが考える子育て支援環境充実のための支援策について、当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 親子が安心して集まれる身近な場やイベントを増やす	
2. 子連れでも出かけやすく、楽しめる場所を増やす	
3. 幼児教育や保育を充実する	
4. 子育てに困った時に相談したり、情報が得られる場をつくる	
5. 子育てについて学べる機会	
6. 子育てに関する手当、医療費助成の充実	
7. 出産後の母親・乳児の健康に対する医療サービスの充実	
8. 虐待を受けた子どもや障害のある子どもなど特別な支援を要する子どもに対する支援の充実	
9. 子育てしやすい住居・まち及び環境面の充実	
10. 残業時間の短縮・休暇の取得促進・育児休業制度など企業に対する働き環境の改善についての働きかけ（仕事と家庭生活の調和の促進）	
11. 子どもが被害者となる犯罪・事故の予防・防止	
12. その他（ ）	

八王子市での子育てについてうかがいます

問60 あなたが八王子市に住み始めたきっかけは何ですか。

1. 生まれたときから又は家族の引っ越し	5. 結婚・同棲
2. 進学	6. 妊娠
3. 就職	7. 出産・子育て
4. 一人暮らしやルームシェア	8. その他・あてはまるものはない

問61 あなたは今後八王子市で子育てをしたいと思いますか。（あてはまるもの1つに○）

1. 八王子市で子育てをしたいと思う	3. 八王子市で子育てをしたいと思わないが、住み続けなければならない事情がある
2. 八王子市で子育てをしたいと思うが、いずれ引っ越さなければならぬ事情がある	4. 八王子市で子育てをしたいと思わないので、いずれ引っ越したい

【問61で「3または4」を選択した方のみ】

問62 八王子市で子育てをしない理由は何か。（あてはまるものすべてに○）

1. 子育てに関する制度が悪い	6. 子どもと遊びに行ける場所が少ない
2. まちの雰囲気が好きではない	7. 交通の便が悪い
3. 地域の人が子どもに優しくない	8. 治安が悪い
4. 保育や教育の質が悪い	9. 他に住みたいまちがある
5. 物価や家賃が高い	10. その他（ ）

問63 あなたが今、困っていることや悩みごとがありましたら、ご自由にお書きください。

--

調査は以上で終了です。同封の返信用封筒に入れ、ポストに投函してください。ご協力ありがとうございました。

第二期八王子市子ども・若者育成支援計画
づくりに向けたアンケート調査
(就学前児童保護者)

令和6年8月

発 行 八王子市 子ども家庭部 子どものしあわせ課
〒192-8501 八王子市元本郷町三丁目24番1号
T E L : 042-620-7391 (直通)
